

事業名		であいサポート支援事業			2111-03	
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越	
款	05	労働費	当初予算額	3,128,000 円	—	
項	01	労働諸費	最終予算額	3,128,000 円	—	
目	01	労働諸費	決 算 額	3,127,900 円	—	
事業の目的		結婚を希望する市民等に出会いの機会を提供することにより結婚を支援し、少子化対策及び市内定住の促進を図る。				
事業の概要		結婚希望者に対し、相談・紹介・助言などを行う民間団体である加須市結婚相談所「であいサポート i」の円滑な運営を側面から支援（補助金・適切な指導・助言・事業協力）。 団体活動は、市補助金、イベント参加者負担金及び会員登録費用による運営。 加須市結婚相談所の登録者数の増加を図ることも含め、婚活グルメツアーを実施する。				
事業の実績・成果						
・結婚相談やお見合いイベント開催等により、結婚希望者の出会いをサポートする「加須市結婚相談所であいサポート i」に助成した。 事業の円滑な運営を側面から支援することにより、結婚を希望する市民等に出会いの機会を提供し、結婚へ向けた支援を行い、4 組が結婚に至った。						
○活動実績（相談員 14 人のうち、事務局 5 人）						
相談・紹介実績		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
	登録者数（人）	166 (男 105・女 61)	106 (男 63・女 43)	114 (男 69・女 45)	124 (男 84・女 40)	138 (男 98・女 40)
	相談件数（件）	1,300	934	1,177	1,658	1,726
	紹介者数（人）	179	106	141	173	114
	お見合い件数（組）	91	20	39	72	66
	結婚成立件数（組）	9	8	3	2	4
※お互いの条件に合う人を紹介、希望によりお見合いを設定						
○令和 5 年度 であいふれあいのつどい(お見合いパーティー) 実績						
回数	年 月 日	対 象	参加総数 (人)	男性(人)	女性(人)	マッチング組数 (組) (重複含む)
1	令和 5 年 5 月 28 日 (日)	25～47 歳の男女	15	8	7	5
2 (※)	8 月 6 日 (日)	25～47 歳の男女	—	—	—	—
3	10 月 22 日 (日)	35～50 歳の男女	29	15	14	14
4	12 月 16 日 (土)	25～45 歳の男女	32	17	15	8
5 (※)	令和 6 年 3 月 3 日 (日)	23～40 歳の男女	20	10	10	5
(※)第 2 回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 (※)第 5 回は、栃木県さくら市との「姉妹都市婚活グルメツアー」						

○令和5年度 婚活セミナー

日 時 令和5年10月22日（日）

場 所 市民プラザかぞ

実 績 コミュニケーションアップ講座（参加者 男性15人 女性13人）

日 時 令和5年12月16日（日）

場 所 市民プラザかぞ

実 績 ネイルメイクアップ講座 （参加者 女性13人）

モチベーションアップ講座 （参加者 男性15人）

○日曜相談会

新規会員登録の増加及び休日の結婚相談を希望する会員の要望に応えるため、令和2年度7月より日曜相談会を実施している。

日 時 毎月第4日曜日 10:00～12:00

相談件数 142件

○姉妹都市婚活グルメツアー

参加者の結婚へのきっかけをつくるとともに、両市の絆を深めることを目的として、姉妹都市である栃木県さくら市との協働により、加須市の食（グルメ）を活用した「姉妹都市婚活グルメツアー」を実施した。

日 時 令和6年3月3日（日）

会 場 加須市内（市民プラザかぞ・むさしの村）

参加実績 加須市10人 さくら市10人 計20人

マッチング組数 5組

事業名		就業支援事業			3112-01
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	954,000 円	—
項	01	労働諸費	最終予算額	672,000 円	—
目	01	労働諸費	決 算 額	290,522 円	—
事業の目的		市民が安定した生活を営めるよう、厳しい雇用情勢に対応し、求職者の早期就業を支援する。			
事業の概要		国や県、関係機関と連携し、セミナーや相談会等を開催するとともに、内職相談を実施する。また、就業支援に関する情報を市ホームページや SNS などを通じ広く提供する。			
事業の実績・成果					
就業を希望する市民に対して、国・県及びその他関係機関との連携により、それぞれの状況に応じた就業支援セミナー等を実施することにより、早期就業を支援した。					
・ 就業支援セミナー等の利用実績 (単位：人)					
催事名			参加人数	共催者	
生活保護受給者等就労相談 (全 44 回、生活保護受給者等を対象とした相談員による就労相談)			159	ハローワーク行田	
就業支援セミナー (全 7 回、求職活動の内容や面接履歴書作成等の指導)			92	ハローワーク行田	
県北地域障害者就職面接会 (障がい者を対象とした面接会)			60	ハローワーク熊谷・本庄・行田、埼玉労働局、埼玉県主催 加須市後援	
埼玉県セカンドキャリアセンター (就職相談全103回、セミナー全3回、求職者の活動を幅広く支援)			420	埼玉県人材活躍支援課	
シニアのためのいきいき就職座談会 (概ね60歳以上を対象とした座談会)			13	埼玉県人材活躍支援課	
シニアのための合同企業面接会 (全1回、概ね60歳以上を対象とした面接会)			48	埼玉県人材活躍支援課	
加須地域合同就職相談会 (業務を拡大し広く人材を募集する企業の面接会)			57	埼玉県雇用労働課 ハローワーク行田	
若年者向け就職面接会in加須 (概ね44歳以下を対象とした面接会)			16	ハローワーク行田	
福祉の仕事就職面接会 (福祉関連業種の面接会)			37	ハローワーク行田	
ハローワーク行田ミニ面接会 (年齢不問の面接会)			33	ハローワーク行田	
我が子の職業的自立に悩む親・家族セミナー&個別相談 (未就労のこどもを抱える保護者へ向けたセミナーと相談会)			31	埼玉県雇用労働課 久喜市	
サポステ出張就職相談会 (全20回、働くことに悩みを抱える若者と保護者を対象とした就業支援)			49	埼玉とうぶ若者サポートステーション	
合 計			1,015		

・ かぞホッとメールによる「就業支援情報」の配信

配信メール件数：11 件

登録者数

年 代	男 (人)	女 (人)	計 (人)	構成比 (%)
10 代以下 (～19 歳)	2	3	5	1.0
20 代 (20～29 歳)	8	12	20	4.0
30 代 (30～39 歳)	11	64	75	15.0
40 代 (40～49 歳)	36	108	144	28.7
50 代 (50～59 歳)	34	114	148	29.5
60 代以上 (60 歳～)	61	48	109	21.8
合 計	152	349	501	100.0

・ ハローワーク求人情報の提供

ハローワーク行田が定期的に発行するハローワーク求人情報を、公共施設や加須駅など 32 か所に設置し、情報を入手しやすい環境を整えた。

・ 内職相談

内職をお探しの方へ内職提供登録事業者のあっ旋と紹介を行った。

内職相談受付状況の推移

(単位：件)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
相談件数	84	66	60	45	60
紹介件数	52	46	40	38	43
決定件数※	21	23	16	13	8

※決定件数は相談者より連絡があった件数

事業名		勤労者支援事業			3112-02
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	2,916,000 円	—
項	01	労働諸費	最終予算額	2,888,000 円	—
目	01	労働諸費	決 算 額	1,921,000 円	—
事業の目的		勤労者の労働意欲を高揚するため、勤労者福祉（勤労者の生活の安定・向上）の充実を図る。			
事業の概要		勤労者の生活環境改善のために必要な資金の融資あっ旋を行う。 勤労者生活資金 貸付限度額 100 万円 失業者生活資金 貸付限度額 50 万円 埼玉県の融資制度利用者に対する保証料補助及び利子補給を行う。 労働セミナーを開催する。			
事業の実績・成果					
勤労者の生活の安定のために必要な資金の融資あっ旋や労働セミナーの開催等を行うことにより、勤労者の労働意欲の高揚を図った。					
・ 預託金額及び融資残額 (単位：円)					
令和 5 年度 預託金額		令和 5 年度末 融資残額			
勤労者住宅資金 1,918,000		8 件 6,287,813			
勤労者生活資金 0		0			
失業者生活資金 0		0			
合 計 1,918,000		8 件 6,287,813			
・ 融資あっ旋金額の推移（新規分） (単位：円)					
区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
勤労者生活資金	0	0	0	0	0
失業者生活資金	0	0	0	0	0
合 計	0	0	0	0	0
・ 埼玉県勤労者向け融資制度利用者に対する助成の推移 (単位：円)					
区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
保証料助成	17,084	30,311	0	0	0
利子補給	0	0	0	0	0
・ 労働セミナーの開催					
勤労者の労働意欲の高揚と勤労者福祉の充実を図るため、埼玉県との共催により、動画配信方式によるセミナー「労働法の基礎セミナー ～賃金～」を令和 5 年 7 月 12 日(水)から令和 6 年 3 月 15 日(金)まで、「労働法の基礎セミナー ～社会保険・労働保険～」を令和 5 年 9 月 13 日(水)から令和 6 年 3 月 15 日(金)までの期間で開催し埼玉県公式 YouTube にて配信した。					

事業名		シルバー人材センター支援事業			3112-04
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	19,050,000 円	—
項	01	労働諸費	最終予算額	19,050,000 円	—
目	01	労働諸費	決 算 額	19,050,000 円	—
事業の目的		高齢者が健康で生きがいのある充実した暮らしを送れるよう、高齢者の社会参加を促進する。			
事業の概要		高齢者の就業支援事業を実施する公益社団法人加須市シルバー人材センターの運営費を補助するとともに、適切な指導・助言・事業協力等を実施する。			
事業の実績・成果					
高齢者の就業支援事業を実施する公益社団法人加須市シルバー人材センターに助成し、事業の円滑な運営を側面から支援することにより、高齢者の社会参加を促進した。					
・ 会員数の推移 (単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会員数	867	881	896	893	925
・ 主な受託実績					
	受託件数(件)	契約金額(円)	金額比率(%)	主な仕事	
公共事業	1,074	182,424,155	37.0	公園等清掃、除草、植木剪定	
一般企業等	2,291	230,700,828	46.9	除草、清掃、軽作業	
個人家庭等	2,786	79,111,737	16.1	除草、植木剪定、障子等張替え	
合 計	6,151	492,236,720	100.0		
・ 主な取り組み					
(1) 会員の増強					
・ 女性限定入会説明会や女性向けイベントの開催により女性会員を増加させるとともに、保育・福祉関係など女性向けの就業先を開拓。					
・ 会員に対し、就業に関する知識や技能、マナー等の習得、安全就業の徹底など、会員のスキルアップを促進する研修会及び講習会を開催。					
・ シルバー人材センターのホームページに就業案内、行事日程、会員募集等を随時更新し情報を発信。また、市民まつり等に参加しPR活動を行う他、広報紙「シルバーかぞ」(年2回全戸配布)を発行。					
(2) 就業機会の拡大					
・ 女性会員が馴染みやすい仕事の確保として、家事援助の拡大、パソコンを使った仕事や育児支援など新たな就業先を開拓。					
・ 未就業の会員に対して就業相談会を実施するなど、会員と仕事との良好なマッチングを図り退会を抑制。					
・ 企業訪問やシルバー事業の紹介等を実施し、企業等の新規就業先を開拓。					

事業名		中小企業退職金共済掛金助成事業			3112-10	
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	05	労働費	当初予算額	9,214,000 円	—	
項	01	労働諸費	最終予算額	9,458,000 円	—	
目	01	労働諸費	決 算 額	9,457,800 円	—	
事業の目的		雇用を安定させ労働意欲を高揚するため、市内中小企業における勤労者福祉の充実（退職金の確保）を図る。				
事業の概要		市内中小企業に対して、中小企業退職金共済法に定める退職金掛金の一部を助成する。 ・新規加入月から3年間 ・一人につき掛金月額（上限5,000 円）に0.2 を乗じて得た年間総額				
事業の実績・成果						
市内の中小企業の事業主に対して、中小企業退職金共済法に定める退職金掛金の一部を助成することにより、中小企業者の費用負担を軽減し、勤労者の雇用の安定と労働意欲の高揚を図った。						
・ 令和5年度の実績						
区 分		補助対象数	補助交付数	補助交付率（％）		
事業所数		170	162	95.3		
従業員数(人)		1,118	1,105	98.8		
・ 補助金交付事業所等の推移						
区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業所数		146	147	158	155	162
従業員数(人)		1,025	1,063	1,036	1,028	1,105
補助金総額(円)		9,194,000	9,456,200	8,920,600	8,362,600	9,457,800

事業名		ふるさとハローワーク事業			3112-12
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	1,312,000 円	—
項	01	労働諸費	最終予算額	1,312,000 円	—
目	01	労働諸費	決 算 額	1,120,808 円	—
事業の目的		職業紹介機能を整え、市民の就業機会の増加を図る。			
事業の概要		加須市ふるさとハローワークを国とともに管理・運営し、求職者に身近で便利な職業相談・職業紹介サービスを提供する。			
事業の実績・成果					
加須市ふるさとハローワークを国とともに管理・運営し、求職中の市民に、より身近な場所で職業相談・職業紹介サービスを提供することにより、早期就業を支援した。					
・ 利用実績					(単位：人)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
求人検索	5,179	2,467	2,610	1,916	1,847
職業相談	5,317	5,179	6,914	5,559	5,907
職業紹介	2,209	1,624	2,107	1,654	1,705
就職決定者	470	357	429	434	399

事業名		女性就業支援事業			3113-01
担当課		人権・男女共同参画課		現 年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	54,000 円	—
項	01	労働諸費	最終予算額	54,000 円	—
目	01	労働諸費	決 算 額	4,100 円	—
事業の目的		活力ある産業のまちづくりを支援するため、女性の活躍を支え女性のための就業支援を行う。			
事業の概要		女性の様々なニーズに対応できるよう、多様な就労形態等の情報を発信し、潜在的に就労意識のある女性の発掘から就業に向けて支援する。			
事業の実績・成果					
○女性就業支援セミナー					
結婚・出産・育児・介護等により仕事を辞めた女性の、再び仕事を始めたい、働きたいという希望を叶えるため、就業支援セミナーを実施して、再就職するための知識を提供し、参加者の意識を高めることができた。					
第1回	日 時	令和5年6月29日（木）10:00～11:30			
	場 所	市民プラザかぞ 3 階 301 会議室			
	テ ー マ	「Check✓面接のポイント ～やればやるほど自信につながる～」			
	参加者数	15 人 （ハローワーク行田、産業振興課共催による）			
第2回	日 時	令和5年8月29日（火）10:30～12:30			
	場 所	行田市男女共同参画推進センター V I V Aぎょうだ2階			
	テ ー マ	「面接での印象力アップの秘訣～面接前に必見 好印象は作れる！～」			
		同時開催 ミニ合同企業説明会・相談会			
	参加者数	22 人 （埼玉県、ハローワーク行田、行田市、羽生市共催による）			
第3回	日 時	令和5年11月27日（月）10:00～11:30			
	場 所	市民プラザかぞ 5 階 活動室			
	テ ー マ	「Check✓面接のポイント ～やればやるほど自信につながる～」			
	参加者数	7 人 （ハローワーク行田、産業振興課共催による）			
第4回	日 時	令和6年1月15日（月）10:30～12:00			
	テ ー マ	「在宅ワーカー育成セミナー 入門コース」			
	参加者数	6 人 （埼玉県、川口市、本庄市、狭山市、三郷市、蓮田市共催による） ※埼玉県が実施するWEB開催への共催			
第5回	日 時	令和6年1月29日（月）10:00～11:00			
	場 所	市民プラザかぞ 5 階 活動室			
	テ ー マ	「Check✓面接のポイント ～やればやるほど自信につながる～」			
		（ハローワーク行田、産業振興課共催による）			
	参加者数	9 人			

事業名		景気・雇用対策推進事業			3231-10
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	05	労働費	当初予算額	5,874,000 円	—
項	01	労働諸費	最終予算額	5,630,000 円	—
目	01	労働諸費	決 算 額	3,286,800 円	—
事業の目的		経済環境や雇用情勢の変化に対処し、市内景気の着実な拡大と雇用の安定・創出を図るため、各施策を推進する。			
事業の概要		市内の景気・雇用の実態把握と分析による効果的な事業実施の基礎資料作成を目的として、中小企業実態調査を実施（3年に1度）する。			
事業の実績・成果					
市内の景気雇用対策に取り組むための基礎資料を得るため、令和5年10月1日を基準日として、市内中小企業等1,500件を対象に経済状況や雇用状況についてアンケート調査を実施し、報告書を作成した。					
抽出方法（2階層抽出）					
・大規模事業所（従業員数20人以上）：全体調査 402 件					
・小規模事業所（従業員数20人未満）：無作為抽出 1,098 件					
【調査票の回収結果】					
			令和2年度	令和5年度	
①調査対象事業所			1,500 件	1,500 件	
②うち廃業、宛名不明			183 件	71 件	
③実質調査対象事業所数（①－②）			1,317 件	1,429 件	
④回収数			789 件	705 件	
⑤うち有効回収率			754 件	704 件	
⑥回収率（④／①）			52.6%	47.0%	
⑦実質有効回収率（⑤／③）			57.3%	49.3%	

事業名	農業委員会運営事業			3211-10
担当課	農業委員会		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	21,915,000 円
項	01	農業費	最終予算額	31,672,000 円
目	01	農業委員会費	決 算 額	22,259,701 円
事業の目的	優良農地を維持保全し、効率的な農地の利活用を図るため、農業委員、農地利用最適化推進委員及び事務局が連携して取り組み、農業委員会業務を適正に執行する。			
事業の概要	・農業委員会法第6条第1項事務（農地権利移転許可、農地転用の意見、遊休農地への対応等） ・農業委員会法第6条第2項事務（農地等の利用の最適化の推進） ・農業委員会法第6条第3項事務（法人化、農業経営の合理化、情報提供等） ・農業者年金基金からの委託業務等。			

事業の実績・成果

- ・農業委員会の業務を適正に執行した。（原則、毎月25日に農業委員会総会を開催）

○農地移動件数の推移

（単位：件）

農地法第3条	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	172	177	242	262	226

※農地法第3条： 農地の売買・貸借等による権利移動

（単位：件）

農地法第4条	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	38	43	59	54	34

※農地法第4条： 農地の所有者が自ら農地を農地以外に転用する場合

（単位：件）

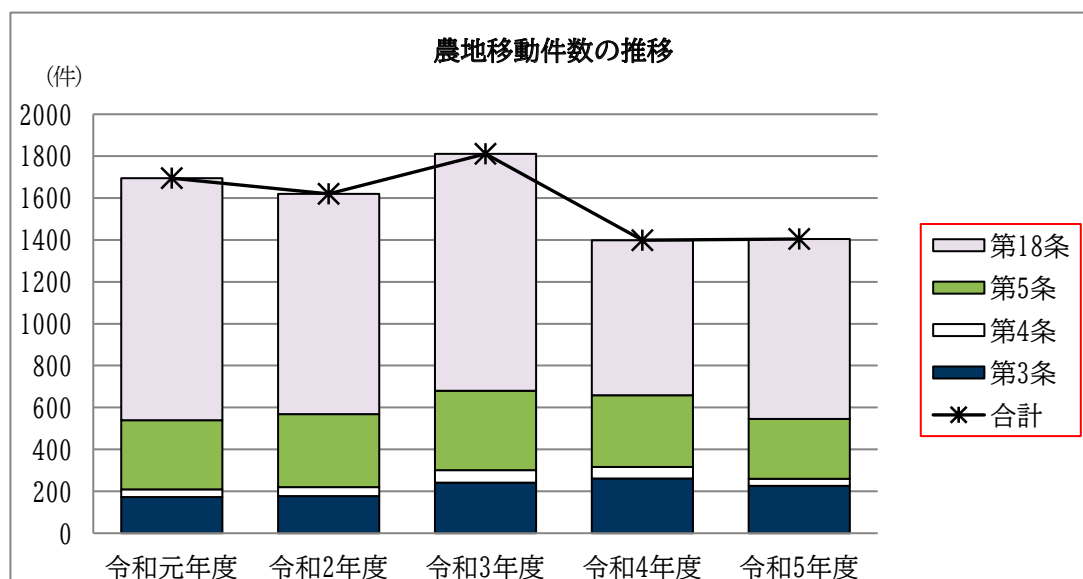
農地法第5条	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	330	348	379	342	286

※農地法第5条： 権利移動を伴い農地を農地以外に転用する場合

（単位：件）

農地法第18条	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	1154	1052	1131	741	858

※農地法第18条： 農地の貸借の合意解約



○農地パトロールの実施

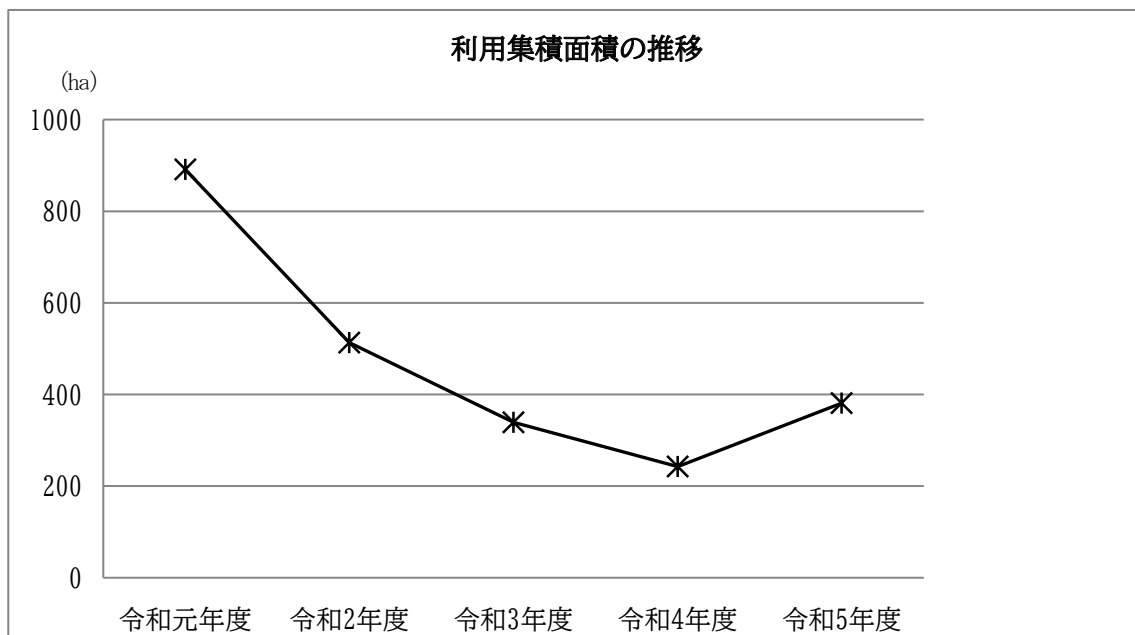
全農業委員及び農地利用最適化推進委員による管内の全農地のパトロールを実施
地域のパトロールを各地区の担当農業委員及び農地利用最適化推進委員と連携して通年実施

○農用地利用集積の推移

年2回、10月・2月に農業経営基盤強化促進法に基づく利用集積申出受付を実施
その他、通年、農地中間管理事業による利用集積申出を受理

(単位: ha)

利用集積面積	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	890.98	513.04	339.29	242.60	381.08



・目指すべき将来の農地利用の姿を明確化した「地域計画」及び計画に掲載する10年後の耕作者等を示した「目標地図」を作成するため、農地所有者及び耕作者を対象とした農業経営意向調査を実施した。
対象：市街化区域を除く市内の農地所有者及び耕作者 10,982 件

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 8,195,000 円

・令和5年度 地域計画策定支援（意向調査）委託【R5.12 補】

事業名		耕作放棄地解消事業			3211-11
担当課		農業委員会		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	155,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	155,000 円	—
目	01	農業委員会費	決 算 額	71,758 円	—
事業の目的		優良農地の保全及び耕作放棄地の発生の防止と解消に向け、農地の有効活用を図る。			
事業の概要		毎年1回の農地利用状況調査を実施し、所有者に対する利用意向調査及び、利用に向けた指導を行う。また、耕作放棄地を解消し、作物の生産を再開する農業者、農業者組織、農業参入法人等が行う再生作業や必要な施設の整備等の取組を総合的に支援する。 また、農業委員及び推進委員の個別訪問を実施し、耕作放棄地の新たな発生を未然に防ぐ。			
事業の実績・成果					
・市内全域の耕作放棄地等を把握するため、農業委員及び農地利用最適化推進委員による耕作放棄地の現地調査を実施し、耕作放棄地の再生、活用が図られるよう努めた。 また、農地の適正管理について、所有者等への改善指導を行った。					
○市内耕作放棄地の推移					(単位:ha)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
耕作放棄地	101.2	105.5	92.7	96.7	90.7
○市内耕作放棄地が再生された農地の推移					(単位:ha)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
営農再開により再生された農地	9.5	6.6	4.1	4.0	7.0

事業名		農業管理事業			3211-12
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,227,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	3,227,000 円	—
目	02	農業総務費	決 算 額	2,579,280 円	—
事業の目的		農業施策全般に関わる管理事務を適正に行い、農村環境の保全に資する。			
事業の概要		・ 農業振興課及び各総合支所農政建設課の効率的な管理運営、事務を適正に行う。 ・ 県からの移譲を受けた農地転用許可事務等を適切に執行していく。			
事業の実績・成果					
・ 管理運営、事務 所管の公用車の管理、施設の保険料等の諸経費の支払い、関係機関負担金の支払い等、課及び各総合支所農政建設課の事務を適正に行った。					
・ 農地転用許可事務					
[農地転用許可件数]			(単位：件)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	農地法第4条	26	28	39	32
	農地法第5条	212	222	224	226
※農地法第4条：農地の所有者が自ら農地を農地以外に転用する場合 (農地法第4条の農地転用許可件数には、取消も含む。)					
※農地法第5条：権利移動を伴い農地を農地以外に転用する場合 (農地法第5条の農地転用許可件数には、計画変更、取消及び不許可も含む。)					

事業名		農業振興ビジョン進行管理事業			3211-02
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	45,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	24,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	24,000 円	—
事業の目的		令和3年3月に策定した第2次農業振興ビジョンについて、各施策を推進し、進捗状況を確認し、PDCAを実施することにより加須市農業の振興を図る。			
事業の概要		農業振興ビジョン推進会議を設置し、農業振興ビジョン達成のための施策の進捗状況の確認・検証をし、さらに各施策を進める。 ・第2次加須市農業振興ビジョン（令和3年3月策定） ・計画期間：令和3年度～令和12年度			
事業の実績・成果					
加須市農業振興ビジョンについて、各施策の進捗状況の確認及び評価を行うとともに、事業の推進を図るため、加須市農業振興ビジョン推進会議において進捗状況を確認した。					
・開催日 令和5年8月4日 ・出席委員数 10名（14名中） ・議事内容 第2次加須市農業振興ビジョン令和4年度実施状況について					
令和4年度については32項目中、21項目（65.6%）が「目標を達成」と評価された。 〔令和4年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）〕					
区 分		取組項目数		割 合	
1 目標を達成		21		65.6%	
2 概ね達成		5		15.6%	
3 やや遅れている		4		12.5%	
4 大幅に遅れている		2		6.3%	
〔令和4年度取組結果（基本方針ごとの評価数）〕					
基本方針		目標達成	概ね達成	やや遅れ	大幅遅れ
1 良好な生産基盤の確保と農地の有効活用		6	0	0	0
2 「稼ぐ」農業の確立		5	2	0	1
3 多様な担い手の育成		7	1	1	0
4 市民や他産業と協働する「かぞ農業」の実現		3	2	3	1

事業名		多面的機能支援事業			3211-06	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	30,694,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	30,694,000 円	—	
目	03	農業振興費	決 算 額	30,341,283 円	—	
事業の目的		集落機能の健全化を促進するとともに、農地、水路等の生産環境の適切な保全を図る。				
事業の概要		農地の多面的機能の向上を図るため、農地・農村環境保全等の共同活動を行う組織に対し、適切な指導・支援を行う。 交付金負担割合（国 1/2、県 1/4、市 1/4） ・加須地域 7 団体 ・騎西地域 12 団体 ・北川辺地域 18 団体 ・大利根地域 2 団体 合 計39 団体				
事業の実績・成果						
水路、農道等の維持管理に対する農業経営体への負担を軽減し、農業・農村の多面的機能の適切な発揮と農業経営体への農地集積をより一層促進することを図るために、農地・水保全管理支払制度を改変するかたちで、平成 27 年度に法制化された。 ・認定（活動組織⇄市）認定年度：令和 5 年度 → 協定終了年度：令和 9 年度 3 団体 認定年度：令和 4 年度 → 協定終了年度：令和 8 年度 30 団体 認定年度：令和 2 年度 → 協定終了年度：令和 6 年度 6 団体						
活動組織名		対象農用地 面積（ha）	年度交付金 額（円）	年度交付金額内訳（円）		
				国 1/2	県 1/4	市 1/4
大越美土里の会		18.18	818,100	409,050	204,525	204,525
種足野通川資源保全ネットワーク		57.54	2,589,300	1,294,650	647,325	647,325
内田ヶ谷東部資源保全ネットワーク		26.09	1,943,497	971,748	485,873	485,876
牛重環境保全協議会		22.5	1,012,500	506,250	253,125	253,125
下崎環境保全協議会		28.69	1,278,570	639,285	319,642	319,643
芋茎環境保全協議会		10.4	468,000	234,000	117,000	117,000
鴻荃資源保全ネットワーク		41.8	1,881,000	940,500	470,250	470,250
日出安環境保全協議会		11.9	535,500	267,750	133,875	133,875
外田ヶ谷環境保全協議会		12	540,000	270,000	135,000	135,000
伊賀袋区水と緑を守る会		9.2	409,200	204,600	102,300	102,300
飯積区水と緑を守る会		20.6	920,600	460,300	230,150	230,150
麦倉北区水と緑を守る会		12.43	537,430	268,715	134,357	134,358
麦倉中区水と緑を守る会		8.56	383,120	191,560	95,780	95,780
麦倉南区水と緑を守る会		20.6	920,600	460,300	230,150	230,150

元久保区水と緑を守る会	6.61	289,930	144,965	72,482	72,483
柳生南区水と緑を守る会	2.28	100,040	50,020	25,010	25,010
柳生北区水と緑を守る会	7.55	331,110	165,555	82,777	82,778
藤畑区水と緑を守る会	4.55	199,630	99,815	49,907	49,908
小野袋区水と緑を守る会	8.83	394,630	197,315	98,657	98,658
柏戸区水と緑を守る会	11.77	525,970	262,985	131,492	131,493
向古河区水と緑を守る会	20.6	920,600	460,300	230,150	230,150
駒場区水と緑を守る会	8.92	395,160	197,580	98,790	98,790
本郷区水と緑を守る会	6.53	289,370	144,685	72,342	72,343
栄東区水と緑を守る会	9.95	440,870	220,435	110,217	110,218
大曽区水と緑を守る会	12.82	576,900	288,450	144,225	144,225
高野区水と緑を守る会	3.27	147,150	73,575	36,787	36,788
柳生新田区水と緑を守る会	8.91	400,950	200,475	100,237	100,238
佐波農地環境保全協議会	8.37	376,650	188,325	94,162	94,163
西郷環境保全協議会	2.8	126,000	63,000	31,500	31,500
上崎環境保全協議会	22.16	997,200	498,600	249,300	249,300
町屋新田みどりの会	30.2	880,200	440,100	220,050	220,050
戸川みどり会	33.92	1,001,700	500,850	250,425	250,425
割目地区環境保全グループ	37.08	1,097,000	548,500	274,250	274,250
戸室10区環境保全協議会	22.84	675,500	337,750	168,875	168,875
上樋遣川地域環境保全協議会	22.58	1,014,820	507,410	253,705	253,705
北辻地区環境保全協議会	37.66	1,129,200	564,600	282,300	282,300
ぴっか美化新川通	19.84	1,499,286	749,643	374,821	374,822
種足古川環境保全協議会	24.53	727,500	363,750	181,875	181,875
志多見西地区環境保全協議会	64.67	1,566,500	783,250	391,625	391,625

合 計	739.73	30,341,283	15,170,641	7,585,313	7,585,329
-----	--------	------------	------------	-----------	-----------

・活動内容

① 農地維持支払交付金…21,658,300 円

畦畔・農用地法面・水路等の草刈、側溝の泥上げ、農業用施設の点検等

② 資源向上支払交付金事業(地域資源の質的向上を図る共同活動) … 7,281,930 円

施設の軽微な補修、地域住民との交流等の普及・啓発活動、植栽等の景観形成、水質・生態系保全活動等

③ 資源向上支払交付金事業(施設の長寿命化を図る活動) … 1,401,053 円

老朽化が進む農業用排水路、農道等の施設の長寿命化のための補修・更新等の活動等

事業名		加須の農業PR事業			3212-03	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	1,781,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	1,781,000 円	—	
目	03	農業振興費	決 算 額	1,416,345 円	—	
事業の目的		加須市の農業・農産物を市内外に PR することで、消費拡大や生産農家所得の向上を図る。				
事業の概要		加須市の農産物の更なる販売促進が図られるよう、PR・広報活動、即売会等を行うとともに、効果的な方法を検討する。 また、メディア取材等に的確な資料を提供する。				
事業の実績・成果						
・各地域農業まつり等への支援 各地域で開催される農業まつり等の運営に対して補助をし、本市農業のPRを図った。 (単位：円)						
事業名		事業内容		事業費	市補助金	
加須地域農業まつり		農産物品評会、農産物直売、農機具展示・相談等		1,071,177	813,000	
騎西農産物収穫祭		農産物直売、食品展示販売等		353,007	250,000	
北川辺ふるさと秋まつり		農産物直売、食品展示販売等		100,000	100,000	
童謡のふる里おおとね市民まつり		農産物直売、食品展示販売等		28,072	28,072	
・青空市場の開催 加須市の農産物のPRと消費拡大を図ることを目的として青空市場を実施した。 [参加団体数の推移]						
事業名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市民平和祭		3	中止	中止	中止	3
加須地域市民まつり		雨天中止	中止	中止	8	雨天中止
加須はなさき公園春まつり		中止	中止	中止	3	3
※令和2・3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により中止						
・本庁舎玄関ホールへの養殖魚等の展示 加須市の農産物についての理解の醸成を図るため、市本庁舎玄関ホールに加須市の主要農産物ポスターや養殖魚を展示し、本市農産物等のPRを図った。 養殖魚・・・ヒレナガニシキゴイ						
・農産物PRイベント 渡良瀬遊水地まつり、浦和競馬地域連携、かぞどんとこいフェア（日本橋）等などのイベントにおいても、加須産農産物のPR販売を実施した。						
・農業都市のPR 「田んぼでGO！第1回世界大会」を株式会社誠農社と共催で5月13日（土）に開催。151名の参加があり、加須市が農業都市であることを広くPRした。						

事業名		農産物ブランド育成事業			3212-05				
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越				
款	06	農林水産業費	当初予算額	11,094,000 円	—				
項	01	農業費	最終予算額	11,081,000 円	—				
目	03	農業振興費	決 算 額	10,318,373 円	—				
事業の目的		加須市農産物のブランド化を進め、付加価値の高い「売れる農産物」づくりに資する。							
事業の概要		・市として農産物の共通ブランドを確立させ、市産品のさらなる振興を図るとともに、農産物を使用した加工品の開発の検討を行う。 ・浮野の会の支援をする。							
事業の実績・成果									
・そば、いちじくの産地としての定着、ブランド化を推進するため生産者へ支援を行った。									
そば産地づくり推進支援事業（種子代相当額の一部を助成） 作付け拡大支援事業									
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
助成農家数（件）		2	7	3	1	4			
拡大面積（㎡）		6,385	46,731	23,384	6,177	92,853			
交付金（円）		22,347	163,557	81,843	21,619	324,985			
生産継続支援事業									
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
助成農家数（件）		21	6	2	0	1			
対象面積（㎡）		284,773	25,784	11,644	0	14,602			
交付金（円）		973,861	89,098	30,274	0	37,965			
いちじく作付拡大対策事業（いちじくの苗木（挿木）購入費の一部を支援）									
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度			
助成農家数（件）		3	4	5	9	3			
苗木購入数量（本）		205	175	406	414	380			
市補助金（円）		39,461	33,687	71,050	82,800	76,000			
・北川辺こしひかりの更なる知名度アップのために商標シール、のぼり旗によりPRを行った。 [ロゴシール頒布実績]									
サイズ （規格）	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	枚数 （枚）	金額 （円）	購入者数 （人）	枚数 （枚）	金額 （円）	購入者数 （人）	枚数 （枚）	金額 （円）	購入者数 （人）
大 （12.5cm×10cm） 5 円／枚	1,220	6,100	7	1,114	5,570	11	940	4,700	4
小 （6cm×4cm） 3 円／枚	3,410	10,230	14	5,075	15,225	23	3,260	9,780	10
合 計	4,630	16,330	21	6,189	20,795	34	4,200	14,480	14

・良質な農産物の生産技術の研究や新たな加工品づくりに取り組む団体へ支援を行い、ブランド育成に努めた。

(単位:円)

事業主体	事業内容	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市騎西稲作経営研究会	現地検討会、坪刈りの実施	38,000	38,000	38,000
北川辺米の会	現地検討会、適期刈取指導会の実施	38,000	38,000	38,000
北川辺農産物加工研究会	全体会議、加工実習の実施	38,000	38,000	38,000
農業創生センター加工部会	役員会、打合せ会の実施	30,000	30,000	30,000

・転作麦作付けの拡大と定着化に係る助成

土地利用型作物としての麦の作付拡大及び定着化の推進を図るため、カントリーエレベーターの利用に係る麦の乾燥調製料金の一部(1/3以内)を助成し、土地利用型作物としての転作麦の作付け拡大と定着化を推進した。

[助成農家等の推移]

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助成農家(戸)	76	79	79	80	81
補助金額(円)	8,200,880	7,450,866	8,972,925	7,472,227	9,343,745
麦荷受重量(t)	1,589.8	1,258.2	1,538.1	1,199.6	1,610.1

・農産物の加須ブランドの認定

市内の優れた農産物等を活用し、市のイメージの向上と地域経済の活性化を目指すための、かぞブランド認定制度において、令和5年12月19日に新たに1品目(下記②)が認定された。

- ①北川辺コシヒカリ ②特別栽培米コシヒカリ ③きゅうり(加須市園芸組合)
 ④きゅうり(加須市騎西園芸組合) ⑤いちごとまと ⑥木甘坊 ⑦つるつきいちご
 ⑧加須市騎西産の茄子 ⑨加須産のいちじく ⑩加須市騎西産の梨 ⑪香り豚
 ⑫加須産の胡蝶蘭 ⑬加須産のシクラメン ⑭加須市産酒米 五百万石 ⑮ねぎ
 ⑯彩の国 いもぶた ⑰加須産のカトレア ⑱加須市産酒米 山田錦
 ⑲ストロベリーフィールズナカヤマの苺 ⑳関口農園の朝もぎ完熟梨
 ㉑シャインマスカット ㉒平飼い有精卵 おぼろ月

事業名		加須市ライスセンター管理運営事業			3212-06
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	886,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	679,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	678,196 円	—
事業の目的		米の一大産地として穀類の付加価値を高め、地域農産物のブランド化を図る。			
事業の概要		ライスセンターの運営 遠赤外線乾燥調製施設 60 石×3 基 色彩選別機 1 基 6 インチもみすり機 1 基 温湯消毒器 1 基 精米機（移動用）1 基 フォークリフト 1 台			
事業の実績・成果					
株式会社かぞ農業公社が、指定管理による施設の管理運営を行い、特別栽培米及び一般米の乾燥調製を行った。6 月から 9 月の平均気温が観測史上最高となる異常な高温になるなど気象の不順があったが、荷受重量及び施設使用料が増加した。					
・指定管理の期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日の3年間					
・業務内容 (1) 施設及び設備の管理運営 (2) 穀類の乾燥及び調整 (3) センターの利用の許可 (4) センターの利用料金の徴収					
・業務実績					
		面積 (ha)	荷受重量 (kg)	施設使用料 (円)	
	令和元年度	54.95	234,631.0	5,396,526	
	令和2年度	49.82	262,440.0	6,639,729	
	令和3年度	46.31	273,715.9	6,925,010	
	令和4年度	47.62	297,275.8	7,521,077	
	令和5年度	53.00	338,358.7	8,560,475	
・施設の修繕 昇降機平ベルト交換修繕 660,000 円					

事業名		園芸振興事業			3212-07
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	5,965,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	5,965,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	5,283,473 円	—
事業の目的		園芸農家関係団体の活動への支援を通じ、園芸農家の経営の安定・合理化、産地力の強化促進する。			
事業の概要		・園芸農業者（野菜・果樹）で組織する各農業団体に補助金を交付し、活動を支援。（野菜4団体、果樹3団体） ・園芸農家への機械設備の整備を支援する。			
事業の実績・成果					
・園芸団体運営補助事業 市内の園芸農業者（野菜・果樹・花き）で組織する各農業団体の運営や事業を支援し、本市園芸農業の振興を図った。					
(単位：円)					
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
加須市園芸組合連合会		670,000	670,000	670,000	670,000
事業内容：加須地域内の園芸農業者（野菜、果樹、花き）で組織する各農業部会（胡瓜・茄子、梨、葡萄、花き）の運営や事業、園芸農産物の生産改良及び販売改善等を支援し、本市園芸農業の振興を図った。					
(単位：円)					
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
加須市騎西いちじく組合		15,000	15,000	15,000	15,000
事業内容：騎西地域内のいちじく農家の発展に期するため、計画的にいちじくを生産・生産物の共同出荷・講習を実施し、いちじく栽培技術の向上及び安定推進を支援し、地域農業の振興を図った。					
(単位：円)					
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
加須市騎西露地野菜研究会		10,000	10,000	10,000	10,000
事業内容：騎西地域内のブロッコリーの露地野菜農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。					
(単位：円)					
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
加須市騎西果実生産協同組合		50,000	50,000	50,000	50,000
事業内容：騎西地域内の梨農家の発展に期するため、計画的に梨の生産・生産物の共同出荷・講習を実施し、梨栽培技術の向上及び安定推進を支援し、地域農業の振興を図った。					
(単位：円)					
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
加須市騎西園芸組合		80,000	80,000	80,000	80,000
事業内容：騎西地域内の胡瓜・茄子の施設野菜農家で組織する団体により、農産物の生産改良及び販売改善新技術の研究導入等を支援し、野菜生産技術の向上と経営の安定を図った。					
(単位：円)					
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和5年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
青果物出荷協議会		200,000	200,000	200,000	200,000
事業内容：北川辺地域内の系統販売農家の会員相互の事業上の連絡・協調、出荷体制の確立、環境保全型農業の推進を支援し、地域農業の振興を図った。					

・梨赤星病防除対策事業

市内の梨栽培農家で組織する団体による、薬剤の共同購入及び啓発看板の設置等により梨園周辺住民の理解が得られ、病原元となる植物抑制が図られた。

(単位：円)

事業主体	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市園芸組合連合会 梨部会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000

・多目的防災網設置補助金

防ひょう・防風網の整備(新設及び張替え)を行う農家に対して整備費用の一部を支援した。

補助率：資材費の3分の1以内

	加須地域	騎西地域	計
作物	いちじく、ブルーベリー	梨、ブルーベリー	
件数	2件	4件	6件
金額	547,039円	1,193,252円	1,740,291円
ほ場面積	3,873㎡	8,025㎡	11,898㎡

・果樹産地育成総合対策事業

騎西梨撰果所利用組合に対して、園芸農家の経営の安定・合理化、産地力の強化促進を図るため、県補助金を活用し、梨撰果所の撰果設備(自動撰果事務処理装置)の更新費用の一部(1/2以内)を支援した。

事業費5,000,000円 補助額2,500,000円(県補助金880,000円、市負担分1,620,000円)

事業名		花・植木振興事業		3212-08		
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	166,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	166,000 円	—	
目	03	農業振興費	決 算 額	166,000 円	—	
事業の目的		地元花卉市場の立地を活かし、本市の花卉園芸の振興を図る。				
事業の概要		・花卉生産団体へ補助金を交付し事業費を支援する。(3 団体)				
事業の実績・成果						
市内で花き園芸を営む農業者の団体に対し、運営費及び事業費の一部を助成し、花き園芸農業の活性化及び花・植木の生産振興を図った。						
[花・植木栽培育成事業費補助金]				(単位：円)		
事業主体		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須花きかがやき会		100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
加須市騎西花卉園芸組合		5,000	5,000	5,000	5,000	5,000
加須市北川辺花卉園芸組合		61,000	61,000	61,000	61,000	61,000

事業名		エコ農業推進事業			3212-10	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	9,171,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	9,171,000 円	—	
目	03	農業振興費	決 算 額	5,593,060 円	—	
事業の目的		市民の食の安全・環境対策への関心が高まるなか、農産物の安全安心による付加価値を高めるとともに、地球温暖化や生物多様性に配慮した営農活動を促進し、農業経営の安定と環境保全に資する。				
事業の概要		環境保全のため、営農活動から排出される廃ビニール廃プラスチック（産業廃棄物）の適正処理や、減農薬、減化学肥料、有機農業等の取組に対する支援を行う。				
事業の実績・成果						
・特別栽培農産物の生産促進						
農林水産省の「特別栽培農産物に係る表示ガイドライン」に基づき、栽培期間中、節減対象農薬及び化学肥料（窒素成分）の双方を慣行の 5 割以下に減らして栽培された特別栽培農産物の生産促進を図った。 〔生産面積の推移〕 （単位：a）						
種 別		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
米		7,685	5,181	8,623	7,209	5,731
麦		0	0	0	3,351	110
大豆		0	0	0	0	140
野菜・果樹		0	556	211	65	58
・環境保全型農業推進事業補助金…補助金額 70,000 円						
市内の園芸農業者で組織する団体による、環境に配慮した害虫の共同駆除により、害虫発生抑制が図られた。 （単位：円）						
事業主体		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
加須市園芸組合 連合会		70,000	70,000	70,000	70,000	70,000
・環境保全型農業直接支援対策事業						
地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者の組織する団体に対して、当該営農活動の実施に対する支援を行い、農業分野の有する環境保全機能を発揮させた。 〔取組実績〕						
区 分		令和 5 年度				
団体構成員数		17 人				
取組作物・面積		・有機農業による水稻 1,441a ・緑肥の取組による水稻 18a ・有機農業による野菜類 125a ・有機農業による大豆 12a ・有機農業による小麦 26a ・秋耕による水稻 417a 合計 2,039a				
交付額		1,968,960 円				
・農業用廃プラスチック処理運営協議会補助金						
使用済み農業用プラスチック（廃プラ）を適正に処理するため、この収集処理を行う団体に対し、補助金（処理費用の一部）を交付した。この取組により野外での廃プラ焼却（野焼き）や不法投棄等に歯止めをかけ、更にリサイクルを推進し、廃プラの適正処理が図られた。						
(1) 塩化ビニール…補助金額 711,150 円 （単位：kg）						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
処 理 量		23,510	22,200	20,210	16,000	12,930
(2) ポリエチレン…補助金額 2,842,950 円 （単位：kg）						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
処 理 量		56,710	54,540	55,200	56,920	51,690

事業名		農作物災害対策事業			3212-11
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,020,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	68,351,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	41,147,000 円	—
事業の目的		天災による災害によって損失を受けた農業者に対し、被害農作物の回復等に要する補助及び農業経営に必要な資金の補助等を構ずることにより、農業経営の安定を図ることを目的とする。			
事業の概要		被害状況を勘案し、病虫害の防除用農薬購入費、樹勢・草勢の回復用肥料購入費、農業用施設の建設費及び農業経営の継続に対する取組支援の助成を行う。			
事業の実績・成果					
・ 農業共済組合事業負担金 農業災害補償法に基づく埼玉県農業共済組合に対し、区域市町で事務費負担金を負担した。 農業共済事業事務費負担金 2,020,000 円					
・ 収入保険制度の周知支援 平成 31 年 1 月から始まった収入保険制度について、ポスター掲示や市のホームページで周知を行った。					
・ 農業災害対策事業補助金 令和 5 年 6 月から 9 月の高温・干ばつによる災害については、埼玉県の特別災害の指定を受け、市内において農地を耕し、農作物に被害が生じた農業者に対して、被害農作物の次期作等に要する種苗及び肥料購入費の助成措置を講じ、農業生産力の維持及び農業経営の安定を図ることを目的として、農業者の営農支援を行った。					
[農業災害対策事業補助金]					
地 域	種 別	補助金交付人数	補 助 金 額		
加 須	水 稻	87 人	5,081,000 円		
	大 豆	30 人	14,664,000 円		
騎 西	水 稻	77 人	7,186,000 円		
	大 豆	3 人	223,000 円		
北川辺	水 稻	3 人	284,000 円		
	大 豆	1 人	130,000 円		
大利根	水 稻	3 人	93,000 円		
	大 豆	5 人	11,466,000 円		
小 計	水 稻	170 人	12,644,000 円		
	大 豆	39 人	26,483,000 円		
合 計	水稻・大豆	209 人	39,127,000 円		

事業名		経営安定・自給力向上事業			3212-12
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	7,348,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	6,459,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	6,459,000 円	—
事業の目的		経営所得安定対策等の推進により農業経営の安定を促進するとともに食料自給率の向上に資する。また、農業再生協議会の運営により地域農業の調整役を担う。			
事業の概要		農業経営の安定と生産力の確保を図るため、各種交付金等により助成する。			
事業の実績・成果					
・加須市農業再生協議会の事務局業務 加須市農業再生協議会の運営により、4 地域（加須、騎西、北川辺、大利根）の農業に関する調整を行うとともに、経営所得安定対策等を推進することにより、安定した農業経営の促進に資した。 また、各地域の水田農業推進協議会との綿密な調整を図るため、幹事会（2 回）、通常総会及び臨時総会を開催し地域農業の調整役を担った。					
会議名		期日	場所	議案	
幹事会 （第 1 回）		令和 5 年 6 月 8 日	ほくさい農業協同組合 加須中央支店	・加須市農業再生協議会通常総会議案書（案）について	
通常総会		令和 5 年 6 月 28 日	ほくさい農業協同組合 加須中央支店	・加須市農業再生協議会令和 4 年度事業報告及び収支決算の承認について ・監査報告 ・加須市農業再生協議会役員の選任（案）について ・加須市農業再生協議会令和 5 年度事業計画（案）及び収支予算（案）について ・加須市農業再生協議会で採用する畦畔率について	
幹事会 （第 2 回）		令和 6 年 1 月 29 日	加須市役所	・加須市農業再生協議会臨時総会議案書（案）について	
臨時総会		令和 6 年 2 月 5 日	ほくさい農業協同組合 加須中央支店	・地域水田農業推進協議会への令和 6 年産主食用米の「生産の目安」（案）について	

事業名		農業公社支援事業			3213-01			
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越			
款	06	農林水産業費	当初予算額	15,080,000 円	—			
項	01	農業費	最終予算額	11,020,000 円	—			
目	03	農業振興費	決 算 額	11,015,730 円	—			
事業の目的		農作業受託による経営支援や農地の利用集積調整等により、農地の有効活用を促進する。						
事業の概要		良好な農地を次代に引き継ぐため次の支援を行う ・農地の集積・流動化の支援 ・不耕作地の解消支援 ・経営農地の農産物栽培事業支援 ・公社の事業及び経営支援						
事業の実績・成果								
株式会社かぞ農業公社の経営農地は、年々増加している状況の中で、農作業を効率的に行うため市が購入した農業用機械を農業公社に無償貸与した。								
・業務実績				(単位：a)				
作業内訳		経 営 農 地					農地の集積	
		水 稻	小麦	蕎 麦	大 豆	野菜等		計
令和元年度		3,160	390	1,330	720	180	5,780	4,951
令和2年度		2,628	990	1,110	580	180	5,488	5,352
令和3年度		2,893	990	630	668	200	5,381	5,380
令和4年度		2,888	1,347	838	690	145	5,908	5,410
令和5年度		2,790	1,651	838	691	140	6,110	5,655
・農業用機械等の更新								
・トラクター		1 台	4,477,000 円					
・普通型コンバイン		1 台	5,455,000 円					
・軽トラック		1 台	1,037,530 円					

事業名		担い手育成支援事業			3213-02	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,565,000 円	2,489,000 円	
項	01	農業費	最終予算額	13,315,000 円	2,489,000 円	
目	03	農業振興費	決 算 額	1,287,064 円	2,489,000 円	
事業の目的		認定農業者等の担い手の育成及び確保を図り、優れた農業経営体の構築に資する。				
事業の概要		・ 認定農業者の確保・育成に努めるとともに、担い手組織活性化のための支援を行う。 ・ 制度資金活用に係る利子補給・利子助成を行い、経営支援を行う。 近代化資金 1%以内 ・ 農福連携の推進				
事業の実績・成果						
・ 市内農業者で組織する担い手関連団体の運営や各種事業に対して補助し、農業の振興を図った。 (単位:円)						
事業主体		事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ヤング農マン KAZO		まちなか賑わいフェスティバル参加、定例会の開催(毎月)など	30,000	30,000	30,000	30,000
加須市農村女性組織連合会		農業まつり参加、研修会、料理教室実施など	50,000	50,000	50,000	50,000
加須市若手農業女性生活研究会		研修会、手芸教室実施など	40,000	40,000	40,000	40,000
加須市北川辺 4H クラブ		市民まつり参加、他団体交流会など	44,000	44,000	44,000	44,000
大利根農業青年会議所		市民まつり参加、研修会参加など	30,000	30,000	30,000	30,000
童謡のふる里おおとね主穀作受託協議会		特別栽培米栽培・販売、視察研修実施など	50,000	50,000	50,000	50,000
・ 担い手農家の経営改善等、担い手の育成・確保のための推進及び支援を行った。 [認定農業者数(各年度3月31日現在)] (単位:経営体)						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市認定		270	277	260	273	268
国・埼玉県認定		—	6	12	17	23
合計		270	283	272	290	291
※国又は都道府県の認定…令和2年4月から実施						
[新規認定農業者数(市認定)(各年度3月31日現在)] (単位:経営体)						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規認定数		11	19	17	23	3
・ 農業近代化資金借入に対する利子補給実績 925,365 円 (上期 42 件 457,509 円、下期 45 件 467,856 円) 農業近代化資金の借入者に対し利子補給を行い、農業者等の資本整備の高度化を図り、農業経営の近代化に努めた。						

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 2,489,000 円

・前年度からの繰越事業の内容

農地利用効率化等支援事業（2,489,000 円）

地域の担い手が融資を受け、農業用機械・施設等を導入する際、融資残について補助金を交付することにより主体的な経営展開を支援した。

〔対象地区・内容〕

地区名・事業対象者	整備内容		補助額	事業費
加須地域第2地区・ 新規（第3-1号）	直進アシスト田植機	1台	2,489,000 円	8,298,000 円
	薬剤散布機	1台		
	自動操舵後付けキット	一式		
	薬剤散布ボート	1台		
	パイプハウス	1棟		
	乾燥機	1台		

※新規：認定新規就農者

・令和4年度から令和5年度へ繰越した理由

令和4年度当初に「農地利用効率化等支援交付金」を要望する農業者がいたため、6月補正予算で8,191,000円を計上したが、不採択となった。12月に同交付金の追加要望調査があり、別の農業者が2,489,000円を要望したところ、採択となったが、年度内の事業完了が困難なため、農地利用効率化等支援交付金を令和5年度に繰越した。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 4,810,000 円

・翌年度への繰越事業の内容

担い手確保・経営強化支援事業（4,810,000 円）

地域の担い手が融資を受け、農業用機械・施設等を導入する際、融資残について補助金を交付することにより主体的な経営展開を支援する。

〔対象地区・内容〕

地区名・事業対象者	整備内容	補助額	事業費	
加須地域第2地区・ 認定（第4加-11号）	ゴムライニングローラー	1台	4,810,000 円	9,656,570 円
	フロントローダー	1台		
	リバーシブルプラウ	1台		
	搭載型シーダー	1台		
	フレールモア	1台		

※認定：認定農業者

・令和5年度から令和6年度へ繰越す理由

12月に国の「担い手確保・経営強化支援事業」を要望する農業者がおり、4,810,000円を要望したところ、採択となったが、年度内の事業完了が困難なため。

事業名		新規就農者育成事業			3213-07	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	21,843,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	36,843,000 円	—	
目	03	農業振興費	決 算 額	28,529,050 円	—	
事業の目的		今後の加須市の農業の新たな担い手を確保するため、新規就農者の育成を図る。				
事業の概要		・研修事業：農業研修生に奨励金を交付 ① 研修生 月額 30 千円(上限 3 年) ② 受入農家 月額 20 千円 (上限 3 年) ・助成事業：農業用設備等に導入費用の一部に補助金を交付 (上限 1,000 千円) ・加須の農業担い手塾の開講：定員 10 名 ・営農開始資金 (農業次世代人材投資資金) の交付 (上限 1,500 千円、3 年間) ・経営継承・発展支援事業補助金の交付 (上限 1,000 千円) ・初期投資促進事業補助金 (経営発展支援事業) の交付 (上限 7,500 千円)				
事業の実績・成果						
・研修事業 (1) 対象者 市内に住所を有する方で、市内で就農することが確実と見込まれ、年齢が 64 歳以下の方 (2) 支援内容 次のいずれかの研修を受講した場合、1 ヶ月当たり 3 万円を支給 (最長 3 年間) ① 埼玉県農業大学校が実施する研修 ② 市内の農業者、農業生産法人等のもとの研修 ※研修生を受け入れた農業者等 (埼玉県農業大学校を除く) に対し、1 ヶ月当たり 2 万円を支給 [新規就農者育成数・研修奨励金の推移]						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
新規対象者数 (人)		0	0	1	0	1
新規対象者支給額 (円)		0	0	360,000	0	360,000
事業継続者数 (人)		0	0	0	0	0
事業継続者支給額 (円)		0	0	0	0	0
合 計		0	0	1	0	1
		0	0	360,000	0	360,000
[新規就農者研修受入農家数・謝金の推移]						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
研修受入農家数 (人)		0	0	0	0	0
受入農家支給額 (円)		0	0	0	0	0
・助成事業 (1) 対象者 市内に住所を有する方で、次のいずれかの要件に該当する方 ① 埼玉県就農計画認定要領に基づく就農計画の認定を受けた方 ② 新たな営農類型に変更しようとする方 ③ 就農に意欲と熱意があると認められる方						

(2) 支援内容

市内で就農するときから 5 年以内に必要となった農業用設備又は農業用機械を取得する場合、費用の 2 分の 1 以内の額（上限 100 万円、1 年度限り）を助成

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
新規対象者数（人）	2	1	4	3	1
対象者認定番号等 ※	新規(第 31-1 号) 新規(第 1-2 号)	新規(第 30-1 号)	新規(第 1-3 号) 新規(第 1-4 号) - 新規(第 2-3 号)	新規(第 3-1 号) 新規(第 3-15 号) -	新規(第 4-1 号)
新規対象者補助金額（円）	2,000,000	1,000,000	3,938,921	3,000,000	1,000,000

※新規：認定新規就農者

-：認定新規就農者以外

・営農開始資金

※「農業次世代人材投資資金」から「営農開始資金」へ令和 4 年度に名称変更

(1) 対象者

農業経営者となることについて強い意欲を有している 50 歳未満（農業次世代人材投資資金は 45 歳未満）の独立・自営就農する方

(2) 支援内容

農業経営開始から経営が安定するまで最長 3 年間（農業次世代人材投資資金は最長 5 年間）、最大資金 150 万円を交付

※令和 3 年度は、令和 4 年度交付分の前倒し交付（150 万円）を実施した。

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
給付対象者数（人）	2	1	2	3	3
対象者認定番号 ※	新規(第 30-3 号) 新規(第 30-2 号)	新規(第 30-3 号)	新規(第 30-3 号) 新規(第 2-1 号)	新規(第 30-3 号) 新規(第 2-1 号) 新規(第 3-1 号)	新規(第 30-3 号) 新規(第 2-1 号) 新規(第 3-1 号)
給付金額（円）	2,000,000	1,500,000	3,750,000	3,000,000	3,650,450

※新規：認定新規就農者

・経営継承・発展支援事業

(1) 対象者

中心経営体である先代事業者から経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者であって、要件等を満たしたもの

(2) 支援内容

機械装置等費や研修費等、補助対象経費となる事業を実施する場合、100 万円（国と市町村が 1/2 ずつ負担）を上限に交付

	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
給付対象者数（人）	3	1	0
対象者認定番号等 ※	- 認定(第 2 騎- 6 号) 認定(第 2 騎-13 号)	認定(第 31-大 3 号)	
給付金額（円）	3,000,000	1,000,000	0

※認定：認定農業者

-：認定農業者以外

・初期投資促進事業（経営発展支援事業）

(1) 対象者

49 歳以下の認定新規就農者であって、要件等を満たしたもの

(2) 支援内容

次世代を担う農業者となることを志向する新規就農者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等をする場合、750 万円（国が1/2、県が1/4 ずつ負担）を上限に交付

	令和 5 年度
給付対象者数（人）	3
対象者認定番号 ※	新規(第 4-6 号) 新規(第 4-4 号) 新規(第 4-3 号)
給付金額（円）	22,500,000

※新規：認定新規就農者

・加須の農業担い手塾

	令和元年度 (第 5 期)	令和 2 年度	令和 3 年度 (第 6 期)	令和 4 年度 (第 7 期)	令和 5 年度 (第 8 期)
受講者数（人）	8	中止	10	11	10

事業名		地産地消推進事業			3214-01		
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越		
款	06	農林水産業費	当初予算額	11,784,000 円	—		
項	01	農業費	最終予算額	12,395,000 円	—		
目	03	農業振興費	決 算 額	10,761,756 円	—		
事業の目的		地域農産物の地域内消費を促進し、安全・安心を求める消費者ニーズに対応するとともに、生産者の所得向上を図る。					
事業の概要		地元農産物の地域内消費拡大を図るために、直売所への出荷団体の支援、地場産小麦の地域内流通推進等地産地消の啓発を行う。					
事業の実績・成果							
・学校給食への地元農産物の提供 [提供実績の推移] (単位：kg)							
	品目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	じゃがいも	1,764	1,523	1,721	1,476	781	
	たまねぎ	6,237	4,152	4,242	3,427	2,970	
	ねぎ	3,179	3,193	4,620	4,372	3,586	
	だいこん	1,407	1,942	3,148	1,614	1,161	
	きゅうり	3,718	3,737	3,879	4,489	3,899	
[学校給食における地元農産物の使用率の推移 ※地産地消事業としては、令和4年度以降]							
	品目	使用量	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
野菜	全体使用量(kg)		117,358	117,533	120,432	111,770	108,886
	地元農産物使用量(kg)		20,255	21,510	24,041	23,590	17,213
	地元農産物使用率(%)		17.3	18.3	20.0	21.1	15.8
・加須産小麦「あやひかり」の推進 (1) 加須産小麦「あやひかり」の粉を手打ちうどんや和洋菓子等の地元加工食品事業者等へ供給し、地場産農産物の地域内利用率の向上を図った。 2,123,550 円 契約額 あやひかり供給実績 (8,325 kg) ① 手打ちうどん (6,275 kg) … (手打うどん会5店舗) 手打ちうどん販売 ② 和洋菓子 (350 kg) … (和洋菓子4団体) いがまんじゅう等販売 ③ その他 (1,700 kg) … 直売所販売等 (2) 地産地消推進事業補助金 324,000 円 あやひかり加工業者に対する補助金による支援							
・農産物直売農家めぐり 47,000 円 消費者(市民等)に対し、直売農家・直売所を周知・PRするため、民間バスを使用して農産物直売農家めぐりを開催した。 開催日 令和5年9月15日(金) 参加者数10名 直売農家等3軒							
・農産物直売所の活性化のための取組 市内農産物直売所に対し、補助金による支援を行った。							
(単位：円)							
事業団体				市補助金			
加須農産物直売所協議会				50,000			
騎西農産物直売所利用組合				50,000			
道の駅かぞわたらせ農産物出荷組合				50,000			
JAほくさい北川辺農産物直売部会				50,000			
童謡のふる里おおとね農業創生センター生産者部会				50,000			
加須市グリーン・ツーリズム振興組合				650,000			

- ・地場産野菜購入費支援
物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。

事業名		道の駅かぞわたらせ管理運営事業			3214-02
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	203,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	203,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	131,971 円	—
事業の目的		地域の農産物及び特産品の推奨及び販売並びに地域情報の発信を行い、産業の振興及び地域の活性化を図る。			
事業の概要		指定管理者による農産物直売施設、レストラン、物産施設等の管理運営及び農産物の販売促進と生産者・消費者の交流を目的とした各種イベントを実施する。			
事業の実績・成果					
農産物直売施設を拠点に、農産物出荷組合及び指定管理者と連携し、イベントの開催、地元新鮮野菜の販売等を行い、産業の振興及び地域の活性化につなげることができた。					
＜指定管理制度の導入＞					
・平成31年4月1日から、新たな指定管理者による施設管理となった。					
指定管理者 ウム・ヴェルト株式会社					
指定期間 平成31年4月から10年間					
(1) イベント事業					
○令和5年4月9日：昭和平成オールドカー展示会					
○令和5年9月9日、10日、16日～18日、23日、24日：新米フェア（特別価格による新米の売出し。9月10日に試食を実施）					
○令和6年1月1日：早朝展望デッキ解放（豚汁の無料配布）					
(2) 来客者数 (単位：人)					
令和元年度		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
200,983		201,648	175,693	167,252	178,483
(3) 販売実績 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
農産物直売施設	98,480,445	110,920,977	98,187,254	93,925,439	114,684,690
レストラン	37,927,200	35,197,840	41,833,289	42,881,146	43,636,451
物産施設	37,367,850	30,978,810	27,464,954	23,976,589	28,953,489
合 計	173,775,495	177,097,627	167,485,497	160,783,174	187,274,630
(4) 物産施設（旧スポーツ遊学館） 利用状況の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来館者数（人）	41,367	31,864	27,548	27,405	31,925
自転車(大人)(人)	1,143	1,563	1,076	1,004	754
自転車(子供)(人)	202	211	181	55	95
双眼鏡（回）	3	1	0	0	0
会議室（回）	—	—	—	—	—
カヌー（艇）	10	46	46	46	61
シャワー（回）	37	86	7	0	0
※来場者数は、レジ通過者数をカウント					

事業名		童謡のふる里おおとね農業創生センター管理運営事業			3214-03
担当課		農政建設課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	229,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	8,342,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	190,168 円	—
事業の目的		市内で栽培された農作物を活かし、消費者ニーズに応えた付加価値を付けた地元農産物を販売促進し地域農業の振興を図る。			
事業の概要		農産物直売室・各種加工室・農村レストラン等を指定管理者（米米倶楽部）が一体的に管理運営し、地元農産物の販売を促進する。			
事業の実績・成果					
農産物直売所・農村レストラン等の修繕を行い、利便性の向上を図った。 農村レストラン及び農産物直売所の販売促進のため、市ホームページやパブリシティなどを積極的に活用し、PRに努め集客を図った。					
管理運営事業					
(1) 施設等の修繕 ・直売所外灯修繕（68,200 円）					
(2) パブリシティ、新聞掲載等によるPR ・ホテイアオイ植付（埼玉新聞・6/8 掲載） ・ホテイアオイ開花情報（埼玉新聞・8/18 掲載、埼玉花めぐり 2024・埼玉新聞社、花めぐり図鑑・日本文芸社） ・イベント情報（埼玉新聞・5/8 掲載、9/17 掲載） ・つつきいちごの紹介（産経新聞・1/12 掲載） ・他市町広報紙によるホテイアオイの紹介（関東どまんなかサミット）					
(3) テレビ・ラジオ放送取材 ・定点カメラによるホテイアオイ花園（NHKさいたま放送局・8/10～9/26 設置） ・FMわたらせ「かぞトピ」（9/7 放送(特裁米コシヒカリ)、12/21 放送(つつきいちご)) ・WEBサイト「埼玉日和」（2/21～公開・農業創生センター施設情報）					
(4) 来客者数（5 月 1 日～4 月 30 日） （単位：人）					
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
来客者数		179,966	170,175	170,195	179,019
※ 直売所はレジ通過客数、レストランは来客数					
(5) 販売実績（5 月 1 日～4 月 30 日） （単位：円）					
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
農村レストラン		41,242,903	38,689,585	41,265,020	45,356,490
農産物直売所 （うち特別栽培米）		218,892,763 (7,904,716)	231,221,841 (9,725,797)	227,553,281 (10,144,903)	237,605,343 (8,907,684)
上記直売所実績のうち各部会の販売実績（補助団体）（5 月 1 日～4 月 30 日） （単位：円）					
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
生産者部会		40,342,646	45,582,381	44,844,575	47,263,215
加工部会		10,644,743	10,797,964	10,792,755	11,902,890
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 8,113,000 円					
・令和 6 年 2 月補正により、農業創生センター第 2 駐車場舗装及び案内看板等設置工事の予算を確保したが、履行期間が短く、年度内の事業完了が困難であるため、繰越しを行った。					

事業名		市民農園管理運営事業			3214-05
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	7,671,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	10,309,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	7,506,772 円	—
事業の目的		都市住民が農村との交流を体験できる事業を広く展開し、農業に対する理解を深める。			
事業の概要		・市民農園（加須地域 233 区画、北川辺地域 122 区画）、バーベキューサイト、加工実習室等の管理運営を行う。 ・グリーンファーム加須を活用したうどん・そば打ち講座、豆腐・こんにゃく作り講座などを実施する。			
事業の実績・成果					
市民農園を都市住民の方々が利用することにより、食の安全・農業に対する理解が深まったとともに、地域農業者と都市住民の交流の場として活用された。					
・加須地域の市民農園					
[市民農園・グリーンファーム加須の利用状況]					
市民農園は、農作業や地域農業者との交流を通じて都市住民の方々（農業体験のない市民）に、農業への理解の醸成を図るため整備した施設であり、広く市民に利用されている。					
総区画数 233 区画 50㎡… 222 区画（賃貸借料 1 区画当たり年間 8,000 円）					
80㎡… 11 区画（賃貸借料 1 区画当たり年間 12,000 円）					
市民農園利用区画数の推移（単位：区画）					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用区画	233	232	231	232	232
※3 月末時点の貸出利用状況					
[加工実習室・情報交換室・研修室利用状況]					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用回数(回)	419	56	101	149	159
利用人数(人)	10,479	872	1,178	1,865	1,862
[バーベキューサイト利用状況]					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用炉数(炉)	118	15	26	20	84
利用人数(人)	1,926	232	302	577	947
[各種交流講座等の開催]					
講座名	開催回数(回)	参加人数(人)	事業費		
手づくりこんにゃく講座	3	29	委託費 19,800 円、材料費 9,146 円		
そば打ち講座	5	25	委託費 33,000 円、材料費 21,300 円		
[収穫祭 11 月 26 日(日)]					
浮野営農組合、市民農園利用者との共同により、「市民農園収穫祭」を実施した。					

〔グリーンファーム加須の施設管理〕

市民農園の管理及び各種講座を開催している、グリーンファーム加須の適正な管理を行った。

(主な経費)

(単位：円)

経 費 名	内 容	金 額
委 託 料	施設管理補助、施設警備等	2,725,464
報 酬	会計年度任用職員報酬	2,314,770
修 繕 料	非常警報設備修繕工事等	593,543
土地借上料	市民農園用地借上料	772,454
機器借上料	複合機借上料	8,844
光 熱 水 費	水道、ガス、電気代	391,500

・北川辺地域の市民農園

〔北川辺農園利用状況（総区画数 122 区画、1 区画 35 m²、貸借料 1 区画当たり年間 3,000 円）〕

新古河農園 52 区画

風張農園 22 区画

柳生新田農園 18 区画

土部農園 12 区画

久保山農園 18 区画

北川辺農園利用区画数の推移

(単位：区画)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
新古河農園	50	52	52	52	52
風張農園	19	18	20	20	20
柳生新田農園	9	9	10	10	14
土部農園	11	12	12	12	12
久保山農園	15	16	18	18	18

※3 月末時点の貸出利用状況

土地借上料

(単位：円)

経 費 名	内 容	金 額
借 上 料	北川辺農園用地借上料	188,133

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 2,046,000 円

・翌年度への繰越事業の内容

令和 5 年度 グリーンファーム加須研修室空調機更新工事【R6.2 補】（2,046,000 円）

グリーンファーム加須の研修室で空調設備が故障したため、今後も利用者が安心して利用できるよう、空調設備の更新工事を実施する。

・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰越す理由

2 月補正予算で計上し、履行期間が短く、年度内の事業完了が困難であるため。

事業名		加須未来館グリーンツーリズム推進事業			3214-06
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	3,566,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	3,636,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	3,546,675 円	—
事業の目的		都市と農村の交流活動を促進し、地域農業の振興と周辺地域の活性化を図る。			
事業の概要		加須未来館の施設を利用し、グリーン・ツーリズム推進講座（郷土料理講座、工芸講座）農業体験、ふれあいイベントなどを実施する。			
事業の実績・成果					
加須未来館を拠点として、グリーン・ツーリズム推進事業を展開することにより、都市住民との積極的な交流を図った。					
・各種講座					
事業費：750,000円					
〔農業体験講座〕					
		講座内容	参加人数（延べ）		
		水稻（コシヒカリ）づくり体験	57人		
		さつまいもづくり体験	68人		
		大根づくり体験	36人		
		春じゃがいもづくり体験	52人		
〔ふれあい料理講座〕					
手作り味噌講座等 13講座 参加人数 188人					
〔ふれあい工芸講座〕					
ラベンダーのポプリ等 5講座 参加人数 28人					
・グリーン・ツーリズム推進事業（ふれあいイベント）					
事業費：40,000円					
		イベント	開催日	来場者数	
		春のふれあい感謝祭	令和5年 5月 3日（水）・4日（木）	2,659 人	
		ラベンダー祭り	令和5年 6月 18日（日）	496 人	
		夏休み子ども広場	令和5年 8月 6日（日）	378 人	
		秋の収穫感謝祭	令和5年11月 19日（日）	269 人	
		新春子ども広場	令和6年 1月 7日（日）	318 人	
・施設等維持管理・備品購入					
事業費：632,918 円					
やぐるまの里休憩所鍵交換					
れすとらんコスモガスコンロ等交換					
れすとらんコスモ冷凍庫購入					

事業名		ライスパーク農業体験推進事業			3214-07
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	548,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	548,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	350,449 円	—
事業の目的		各種農業体験を通じ、農業者以外の市民等の農業に対する理解を促進するため、農業体験者数の増加を図る。			
事業の概要		計画的に農作物の栽培をし、各種農業体験及び加工体験を適切に実施する。			
事業の実績・成果					
農村環境を活かした農業体験を通じて、学習機会の提供と昔ながらの体験の中から伝承につなげるとともに、農業への理解促進を図った。					
○田んぼオーナー制による米作り体験実施（収入額：60,000 円 1 区画(50 m ²)5,000 円）					
オーナー区画数 14 区画 内訳：一般9 区画、ふるさと納税3 区画、幼稚園1 区画、保育所1 区画					
		体験内容	実施日	参加者数	
田 植 え 体 験	田んぼオーナー	令和5 年5 月 5 日	77 人		
	保育所・幼稚園	令和5 年5 月 9 日	55 人		
	開 智 中 学 校	令和5 年5 月10 日	94 人		
稲 刈 り 体 験	田んぼオーナー	令和5 年9 月 2 日	47 人		
	保育所・幼稚園	令和5 年9 月 5 日	53 人		
脱穀・粳摺り体験		田んぼオーナー	令和5 年9 月16 日	39 人	
○サツマイモ苗植え体験及び芋掘り体験実施（収入額：34,900 円 苗植え無料、芋掘り1 株100 円）					
【サツマイモ苗植え体験】					
実 施 日 令和5 年5 月24 日					
参加者数 52 人					
内訳：北川辺保育所 52 人					
【サツマイモ堀体験】					
実施期間 令和5 年11 月1 日～11 月13 日					
参加者数 322 人					
内訳：一般249 人、北川辺保育所73 人（無料）					
※一般の芋ほり体験は1 人5 株まで					
※社会福祉協議会北川辺支所の主催事業親子ふれあい体験を受入れ					
○そば打ち講座開催（収入額：46,000 円 参加費1 人2,000 円）					
		1 回目	2 回目	3 回目	
開 催 日		令和5 年12 月17 日	令和6 年2 月4 日	令和6 年3 月10 日	
参加者数		6 人	9 人	8 人	
○まんじゅう作り講座開催（収入額：7,800 円 参加費1 組600 円）					
開 催 日 令和5 年11 月12 日					
参加者数 13 組 15 名					

事業名		ライスパーク管理運営事業			3214-08	
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	9,274,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	9,274,000 円	—	
目	03	農業振興費	決 算 額	8,610,913 円	—	
事業の目的		農とのふれあい促進を図るため、施設の適切な維持管理及び運営により、快適な利用環境を形成する。				
事業の概要		管理棟、水塚等各施設の管理運営と利用者への貸出業務を適切に行う。				
事業の実績・成果						
農業体験施設としての機能を活用し充実した活動拠点として、各種団体をサポートし利用者の支援を行った。						
○管理運営の主な内容						
・委託（警備、清掃、高木剪定）						
・修繕（浄化槽中継槽汚水ポンプ、キュービクルLBS、男子トイレ小便器、厨房内蛇口交換、厨房内配管）						
○施設利用者の状況						
(単位：人)						
施 設 名		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ふれあい農園		524	414	229	562	785
農業体験室		440	139	147	69	102
ふれあい広場		179	407	294	331	635
研修室		1,086	405	629	1,291	1,730
料理室・厨房		485	300	240	355	663
情報室		0	16	3	5	19
読書コーナー・ロビー		212	21	24	92	510
その他		2,489	2,310	1,983	902	961
合 計		5,415	4,012	3,549	3,607	5,405

事業名		道の駅かぞわたらせ簡易パーキング維持管理事業			3311-14
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,315,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	2,315,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	2,311,761 円	—
事業の目的		物産販売施設等の利用者の増加を図るため、簡易パーキングの適正な管理による施設の好感度アップに努める。			
事業の概要		埼玉県行田県土整備事務所との管理覚書に基づき、トイレ、休憩所及びパーキング内の清掃を行うとともに、ゴミの収集・処分を行う。			
事業の実績・成果					
・道の駅かぞわたらせに立ち寄った利用者が快適に過ごせるよう、常に清潔で衛生的な状態を保つことができた。					
○維持管理実施内容					
清掃員 2 人（ウム・ヴェルトへの委託）					
時 間 8 時～10 時 2 時間/1 日					
日 数 366 日					
内 容 パーキングトイレ・休憩所・周辺清掃：毎日実施					
休憩所窓清掃：月 1 回実施					
周辺除草：年 10 回実施（繁茂期）					
トイレ消耗品交換・補充、ゴミ収集・処分：適宜					
○対象施設の内訳					
①簡易パーキング面積：6,298 m ²					
②トイレ面積：62.0 m ²					
・男子用（洋式便器 3・小便器 4・手洗い設備 3・おむつ交換台 1）					
・女子用（洋式便器 7・手洗い設備 4・おむつ交換台 1）					
・多目的トイレ（洋式便器 1・手洗い設備 1・おむつ交換台 1）					
③休憩所面積：56.0 m ²					

事業名		道の駅おおとね簡易パーキング維持管理事業		3311-15	
担当課		農政建設課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,470,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	2,470,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	2,469,108 円	—
事業の目的		観光資源でもある道の駅のイメージアップに努める。			
事業の概要		埼玉県行田県土整備事務所との管理覚書に基づき、トイレ、休憩所及びパーキング内の清掃を行うとともに、ゴミの収集・処分を行う。			
事業の実績・成果					
道の駅「童謡のふる里おおとね」に設置されたトイレ、休憩所、駐車場及び外周広場等の清掃を定期的に実施し、常に清潔で衛生的な状態を保つことができた。					
○実施内容（シルバー人材センター）					
トイレ、休憩所、周辺清掃 毎日実施					
休憩所窓清掃 月1回実施					
周辺除草 年10回実施（繁茂期）					
ゴミ運搬処理					
○対象施設の内訳					
①簡易パーキング面積：9,000 m ²					
②トイレ面積：81.00 m ²					
・男子用（洋式便器2・小便器6・手洗い設備3・おむつ交換台1）					
・女子用（洋式便器6・手洗い設備3・おむつ交換台1）					
・多目的トイレ（洋式便器1・手洗い設備1）					
③休憩所面積：94.50 m ²					

事業名		加須未来館周辺景観形成事業			4222-03
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	321,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	321,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	311,600 円	—
事業の目的		魅力的な景観を形成することによる集客力の向上を図る。			
事業の概要		加須未来館周辺の遊休農地等を活用し、花卉等を栽培する。			
事業の実績・成果					
加須未来館周辺の休耕田等に景観形成作物（コスモス等）の栽培を実施し、加須未来館への集客の向上と遊休農地化の解消を図った。					
・受託者 加須市グリーン・ツーリズム振興組合 （コスモス）市の花コスモス普及事業に記載					
（菜の花）令和6年3月開花（令和5年12月7日播種） 事業面積 4,792 m ²					

事業名		道の駅おおとね周辺景観形成事業			4222-05
担当課		農政建設課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	1,134,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	1,134,000 円	—
目	03	農業振興費	決 算 額	1,124,788 円	—
事業の目的		道の駅おおとね周辺の魅力的な景観形成を推進する。			
事業の概要		道の駅周辺の景観形成を目的として、ホテイアオイの植付を行い、まちづくり事業を推進する。			
事業の実績・成果					
道の駅童謡のふる里おおとね周辺の景観形成と集客を目的に、株式会社米米倶楽部に対し補助を行い、ホテイアオイの植付け（約 8,000 m ² ）を実施した。 ホテイアオイを適正に管理することにより、来客者に対し観賞する機会を 6 月から 9 月まで提供することができた。					
管理・事業に係る経費					
・土地借上料（地権者 11 名）123,788 円					
・負担金補助及び交付金（米米倶楽部）1,000,000 円					
・切手代1,000 円					
					

事業名		畜産振興事業			3212-09
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	2,925,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	2,925,000 円	—
目	04	畜産業費	決 算 額	2,890,000 円	—
事業の目的		家畜伝染病の予防等に取り組む関係団体の活動を支援し、畜産経営の安定・振興を図る。			
事業の概要		畜産経営の安定及び振興を図るため、畜産農家で組織する団体の活動費助成及び活動支援を行う。 また、家畜伝染病自衛防疫協議会を畜産農家、J A、獣医師、市で組織し、家畜伝染病予防法に基づく予防や自衛防疫事業、畜舎病虫害発生防除対策事業を実施する。			
事業の実績・成果					
・ 畜産振興団体育成強化事業 畜産農家の経営の合理化と安定を図るため、畜産団体の各種活動を支援した。 畜産環境保全対策事業等の推進					
(単位：円)					
事業主体	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市畜産連合会	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000
・ 加須市家畜伝染病自衛防疫事業 家畜伝染病の発生と蔓延の防止を徹底するため、家畜伝染病予防法に基づく自衛防疫事業を支援し、ワクチン接種が円滑に実施された。					
(単位：円)					
事業主体	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市家畜伝染病自衛防疫協議会	1,473,308	1,499,024	1,621,000	1,621,000	1,621,000
・ 畜舎害虫発生防除対策事業 畜舎及び堆肥舎から発生する蚊や蠅の防除と悪臭の防止を徹底するため、畜産団体が実施する畜舎害虫防除薬剤を一括購入する事業を支援し、害虫発生防除対策が図られた。					
(単位：円)					
事業主体	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市家畜伝染病自衛防疫協議会	991,647	992,186	1,031,862	1,033,000	1,074,000

事業名		北川辺排水機場維持管理事業			1217-02
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	18,274,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	21,526,400 円	—
目	05	農地費	決 算 額	21,340,110 円	—
事業の目的		市民の生命財産を守るため、台風や大雨時の雨水を渡良瀬川に強制的に排水し、冠水被害を軽減する。			
事業の概要		・排水機場の運転監視 ・施設の点検・修繕 ・維持管理委託(北川辺領土地改良区)			
事業の実績・成果					
・災害に備えて、排水機場の機能を十分に発揮できるよう、施設の日常的な保守点検や必要に応じた修繕を実施したことにより、台風や大雨時に排水機場を支障なく運転することができた。					
○維持管理の主な内容					
・管理委託 排水機場維持管理業務委託（北川辺領土地改良区） 天井クレーン法定点検業務委託					
・保守点検委託 排水機場保守点検業務委託 自家用電気工作物保安管理業務委託 消防設備保守点検業務委託					
・修繕 1号主ポンプ冷却水電動弁緊急修繕 2号主ポンプ原動機他緊急修繕 水位計外緊急修繕					
○主ポンプ稼働日数 (単位：日)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
稼働日数	55	31	35	29	21
○主ポンプ稼働時間 (単位：時間)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
稼働時間	478	282	271	207	108
○主ポンプ排水量 (単位：m³)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
排水量	11,220,234	7,207,081	6,881,032	5,276,272	2,653,274

事業名		北川辺排水機場大規模修繕事業			1217-03
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	21,302,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	21,302,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	20,752,875 円	—
事業の目的		市民の生命財産を守るため、台風や大雨時の雨水を渡良瀬川に強制的に排水し、冠水被害を軽減する。			
事業の概要		年次計画に基づいた排水機場の修繕を実施する。			
事業の実績・成果					
・主要設備の年次計画（令和４年度～令和１３年度）に基づいた大規模修繕を実施したことにより、施設の信頼性を向上させることができた。					
○大規模修繕の実施状況 （単位：円）					
		修繕内容	修繕費用		
令和４年度		３号主ポンプ原動機点検整備修繕	5,280,000		
		監視制御装置 UPS 交換修繕	1,760,000		
令和５年度		監視制御装置 ITV システム等修繕	16,335,000		
○かんがい排水事業（基幹水利施設補修型）					
・埼玉県が実施するかんがい排水事業に係る調査業務委託に対する負担金 4,417,875 円					

事業名		水路維持管理事業			1217-08
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	30,952,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	34,181,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	33,586,038 円	—
事業の目的		農業用排水路の機能維持と環境保全に努め、農業の振興を図る。			
事業の概要		農業用排水路の浚渫について自治協力団体へ費用の 1/2(限度額 200 円/m)を交付（重機運搬費は全額補助） 自治協力団体等へ水路延長などを考慮し、水路維持管理委託料を支給 土地改良区管理用排水路へ維持管理に関する費用の助成 市街化調整区域を流れる市管理水路の維持管理（雑草刈払、浚渫清掃、転落防止柵）			
事業の実績・成果					
自治協力団体等への市管理用排水路の水路管理委託料及び水路浚渫補助金を交付し、市民との協働による水路維持管理（通水機能及び水路環境の維持）を行った。 市街化調整区域を流れる市管理水路の維持管理を行った。 土地改良区管理水路の維持管理費の一部を負担することにより、治水・利水機能の維持を図った。					
自治協力団体等水路管理委託料					
加須地域		915,000 円			
騎西地域		479,465 円			
大利根地域		379,350 円			
※北川辺地域については、多面的機能支援事業の農地維持支払交付金を、18 の活動組織に交付し水路等の維持管理を実施している。					
農業用排水路水路浚渫補助					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金（円）	580,600	536,600	750,000	679,600	612,000
件数	9	6	11	8	5
土地改良区等負担金					
見沼代用水協力協議会負担金		1,386,000 円			
羽生領島中領用排水路土地改良区負担金		11,110,265 円			
施設管理強化推進委員会負担金		3,074,762 円			

事業名		幹線用排水路改修事業			1217-09
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	5,800,000 円	53,801,000 円
項	01	農業費	最終予算額	42,555,000 円	53,801,000 円
目	05	農地費	決 算 額	35,764,344 円	46,836,300 円
事業の目的		農業用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業環境の保全を図る。			
事業の概要		幹線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。			
事業の実績・成果					
自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い幹線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。					
工事施工場所					
加須地域		馬内地区、下高柳地区、南篠崎二丁目外地区において、水路改修工事を行った。			
北川辺地域		飯積・麦倉地区において、水路改修工事を行った。			
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	6,401,880	3,047,000	9,345,600	8,649,300	5,544,000
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
工事費	91,745,500	149,946,500	20,398,400	28,868,400	25,674,000
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 46,836,300 円					
・ 前年度からの繰越事業の内容、及び令和4年度から令和5年度へ繰り越した理由					
加須地域					
令和4年度 上谷那用排水路改修工事【9 補】(2,937,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
水路緊急安全点検防護柵設置工事等(12,730,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
騎西地域					
令和4年度 水路緊急安全点検防護柵設置工事（2 期）(2,230,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
北川辺地域					
水路緊急安全点検防護柵等設置工事【9 補】(14,190,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
大利根地域					
18-11 水路改修工事測量設計委託【3 補】(2,299,000 円)					
測量・設計に時間を要したため。					
令和5年度 18-11 水路改修工事【R5.3 補】(6,570,300 円)					
測量・設計に時間を要したため。					
令和4年度 水路緊急点検防護柵等設置工事（その3）【9 補】(5,880,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					

事業名		枝線用排水路改修事業			1217-10
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	39,761,000 円	17,900,000 円
項	01	農業費	最終予算額	160,011,000 円	17,900,000 円
目	05	農地費	決 算 額	109,761,887 円	16,990,000 円
事業の目的		農業用排水路改修によって、市街化調整区域の浸水被害の防止と農業環境の保全を図る。			
事業の概要		枝線用排水路の改修工事、修繕、緊急工事を実施。			
事業の実績・成果					
自治協力団体等からの要望箇所を排水路整備事業評価システムにより評価を行い、事業効果の高い枝線用排水路の改修等を実施し、浸水被害の軽減と農業用水の安定供給が図られた。					
工事施工場所					
加須地域 大越地区、上・中樋遣川地区、下三俣地区、馬内地区において、水路改修工事を行った。					
北川辺地域 向古河地区、栄地区、柳生地区において、水路改修工事を行った。					
大利根地域 北大桑地区、旗井地区において、水路改修工事を行った。					
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	3,143,800	7,977,200	8,661,400	12,590,600	16,157,900
工事費	29,986,400	45,374,000	68,597,980	60,360,900	83,025,800
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 16,990,000 円					
・ 前年度からの繰越事業の内容、及び令和4年度から令和5年度へ繰り越した理由					
加須地域					
令和4年度 上寺前用排水路改修工事【6 補】 (6,415,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
令和4年度 六十軒用排水路改修工事【9 補】 (2,908,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
北川辺地域					
令和4年度 向古河地区排水路改修工事に伴う測量設計委託【12 補】 (2,343,000 円)					
測量・設計に期間を要したため。					
令和4年度 柳生地区排水路改修工事【12 補】 (5,324,000 円)					
水路脇の陥没調査や改修工事に期間を要したため。					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 36,100,000 円					
・ 翌年度への繰越事業の内容、及び令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由					
加須地域					
令和5年度 本村用排水路改修工事【R5.12 補】 (2,500,000 円)					
資材の搬入に期間を要したため。					
北川辺地域					
令和5年度 柳生地区排水路改修工事【R5.9 補】 (7,000,000 円)					
水路脇の陥没調査や資材の搬入に期間を要したため。					
大利根地域					
令和5年度 20-198 枝線排水路改修工事設計委託【R5.9 補】 (5,000,000 円)					
測量・設計に期間を要したため。					
令和5年度 18-232 排水路改修工事【R5.6 補】 (7,000,000 円)					
測量・設計に期間を要したため。					
18-232 排水路(南)改修工事【R5.9 補】 (14,600,000 円)					
測量・設計に期間を要したため。					

事業名		土地改良区管理用排水路整備支援事業			1218-01
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	44,677,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	48,147,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	34,176,541 円	—
事業の目的		農業用水の安定供給、風水害による農業被害の軽減など、農業経営基盤安定のため、関係団体と連携して農業用施設の適正な改修、維持管理等のマネジメントを行う。			
事業の概要		土地改良区管理水路の機能の維持・向上のための改修事業において、土地改良区へ事業費用を一部負担し、用排水路の整備を支援する。			
事業の実績・成果					
県や土地改良区が実施する用排水路整備事業における事業費の一部を負担し、幹線用排水路の整備を支援することにより、溢水被害の防止や農業生産基盤の安定化を推進している。 また、各事業団体へ工事費や維持管理の一部を負担することによって、農業用施設の適切な維持管理が行われた。					
【加須地域】					
県土地改良事業団体連合会賦課金				248,300 円	
土地改良施設維持管理適正化事業賦課金				1,314,804 円	
【騎西地域】					
令和5年度 古箆田落排水路整備工事の費用負担金（備前堀土地改良区）				5,090,000 円	
令和5年度上高柳地区排水路整備補修工事の費用負担金（青毛堀土地改良区）				3,600,000 円	
【北川辺地域】					
土地改良施設維持管理適正化事業賦課金				600,000 円	
【大利根地域】					
県営農地防災事業（湛水防除）負担金（稻荷木落）				23,323,437 円	

事業名		中川上流地区排水対策整備促進事業			1218-02
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	216,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	216,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	201,347 円	—
事業の目的		中川上流地区における、老朽化及び地盤沈下による不同沈下した農業排水路等について、埼玉県が行う河川整備事業との一体的な整備を進める。			
事業の概要		国営かんがい排水事業による、老朽化した農業用排水施設整備改修を促進し、中川上流地区の排水機能向上を図る。			
事業の実績・成果					
令和元年 8 月 27 日「中川上流地区国営事業等推進協議会」の設立。 会員 羽生領島中領用排水路土地改良区、羽生市、加須市、久喜市、幸手市、ほくさい農業協同組合、埼玉みずほ農業協同組合					
令和元年から現在まで、国（農林水産省）による中川上流地区の地区調査が実施されており、事業規模、負担割合、造成施設等について、協議を継続している。					
【令和 5 年度 推進協議会等】 令和 5 年 4 月 25 日 担当国会議を開催。 令和 5 年 5 月 31 日 担当国会議を開催。 令和 5 年 7 月 6 日 担当国会議を開催。 令和 5 年 8 月 3 日 担当国会議を開催。 令和 5 年 9 月 27 日 担当国会議を開催。 令和 5 年 12 月 12 日 推進協議会（令和 5 年度第 1 回総会）を書面開催。 令和 6 年 2 月 7 日 担当国会議を開催。 令和 6 年 3 月 27 日 推進協議会幹事会を開催。					
・ 令和 5 年度中川上流地区国営事業等推進協議会負担金 200,800 円 ・ 消耗品費 推進協議会等で使用した文房具等 547 円					

事業名		会の川整備支援事業			1218-03
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	33,675,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	33,675,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	33,611,000 円	—
事業の目的		埼玉県、見沼代用水土地改良区などの関係機関と連携を図り、用排水路としての機能を維持し、街中に貴重なうるおいとふれあいの空間を提供し、沿川地域の安全、利便の向上を図る。			
事業の概要		会の川沿線整備計画に基づき、護岸整備及び沿線道路整備等を進める。 見沼代用水土地改良区に対し、雑草刈払い等の維持管理費用を負担する。 水辺周辺活用事業地域協議会の設立、運営、護岸改修に係る関係機関との調整、附帯施設の整備 会の川フェンスの計画的な更新			
事業の実績・成果					
会の川において初期に施工された護岸は、昭和 40～50 年代のもので、老朽化が進み、堤塘土砂の吸出しにより護岸崩落などが生じている。このため、これまで県の水辺再生事業などを活用した整備を継続してきており、護岸改修ほか水辺環境の整備等が県、市によって実施されている。また、市から土地改良区へ、会の川の維持管理費に係る一部負担を行っている。					
委託費					
会の川フェンス改修設計委託 L=120m				451,000 円	
工事費					
会の川フェンス設置工事 L=154.8m				6,985,000 円	
負担金					
会の川用悪水路管理費及び修繕工事負担金				4,000,000 円	
令和 5 年度概要					
① 雑草刈払業務（諏訪堰～葛西用水合流点） A=25,612 m ²					
② 堰管理（一畝歩堰、切所堰、嵯峨堰、肱曲堰） 4 箇所					
③ 雨量計設置（嵯峨堰） 1 箇所					
④ 一畝歩堰修繕工事 一式					
⑤ ゲート等保守点検業務 4 箇所 7 施設					
⑥ 堤塘補修（陥没補修、雑木伐採） 一式					
【水辺周辺活用事業（農業用水）】					
令和 3 年度から「水辺周辺活用事業（農業用水）」に会の川が採択され、埼玉県と加須市で事業を開始、会の川の護岸工事に着手。					
○令和 5 年度事業概要					
・ 県事業（護岸工事）					
工事場所：浜町地内（とりせん前）					
工事大要：左岸 延長約 84m の護岸工事（ブロック積み護岸工）					
・ 加須市の事業負担 22,175,000 円（事業費の 25%）					
（このうち、11,087,500 円（事業費の 12.5%）を見沼代用水土地改良区から負担金として受けたため、加須市の負担は実質 11,087,500 円となった。）					
・ 事業を円滑に進めるため、地元自治会、各種団体、関係行政機関による地域協議会を開催（書面開催）した。					

事業名		渡沼・中渡地区溢水対策事業		1218-04	
担当課		農政建設課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	1,500,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	1,500,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	1,500,000 円	—
事業の目的		溢水や浸水被害を防止するため、流域を含めた広域的な視点により、関係団体と連携し、農業用施設の改修及び適正管理等のマネジメントを行う。			
事業の概要		土地改良区管理水路の機能・維持向上のための改修事業において、土地改良区への事業費用を一部負担し、農業用施設の整備支援する。			
事業の実績・成果					
羽生領島中領用排水路土地改良区において令和３年度から令和５年度に実施した、開二九落排水路に設置されている水位調整堰改修工事及び導水渠浚渫工事の事業費の一部を負担することにより、周辺の溢水被害軽減や農業用排水路の機能維持・向上が図られた。					
羽生領島中領用排水路土地改良区負担金			1,500,000 円		

事業名		農地利用集積推進事業			3211-03	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	06	農林水産業費	当初予算額	11,251,000 円	—	
項	01	農業費	最終予算額	31,354,000 円	—	
目	05	農地費	決 算 額	27,220,810 円	—	
事業の目的		耕作できなくなった農地を担い手農家に集積し、効率的かつ安定的な農業経営を実現する。				
事業の概要		農地を円滑に担い手に集積していくため、出し手の貸付希望農地を把握し、出し手と担い手農家とのマッチングを行い、担い手農家に農地を集積していく。				
事業の実績・成果						
・ 農地利用集積円滑化事業						
市が担い手農家から賃貸料として収入し、所有者に対して賃借料として支出した。						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
累計利用権設定面積(ａ)		8,608	7,022	6,009	5,362	4,643
賃借料支払額(円)		3,980,696	2,970,911	2,657,934	2,430,960	2,210,569
※累計利用権設定面積には無償貸借分は含まない。						
・ 農地中間管理事業						
農地中間管理機構（公益社団法人埼玉県農林公社）を活用した担い手への農地の集積及び集約化を推進するため、農地の集積等に協力する地域及び農業者等に対し、機構集積協力金を交付した。						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
集積面積（ａ）		61,542	18,983	28,829	3,993	13,004
地域集積協力金(円)		79,292,400	103,538,400	34,760,000	21,891,600	16,428,000
経営転換協力金(円)		22,500	1,825,500	868,500	390,000	1,116,000
・ 人・農地プランに位置付けられた中心経営体数						
地 区		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
加須地域第１地区		10	12	13	16	16
加須地域第２地区		27	23	26	30	35
加須地域第３地区		17	17	18	18	19
騎西地域第１地区		21	26	29	30	31
騎西地域第２地区		21	27	29	31	33
北川辺地区		29	33	31	35	38
大利根地区		39	39	36	36	36

事業名		ほ場等整備推進事業		3211-05	
担当課		農業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	54,301,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	55,978,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	50,144,531 円	—
事業の目的		良好な生産基盤を確保することにより、生産コストの低減を図るとともに、経営規模の拡大を促進する。			
事業の概要		ほ場を拡大し、農作業の効率化を支援するため、埼玉型加須方式ほ場整備事業（県営）及びほ場区画拡大事業（機構営）を活用した基盤整備を推進する。 また、個人での区画の拡大を支援するため、市単による畦畔除去及びそれに伴う整地等に係る経費の一部を助成する。 このほか、県営ほ場整備事業等への各種負担金を支出する。			
事業の実績・成果					
・ほ場整備事業の推進					
1 土地改良施設維持管理適正化事業賦課金 3,655,800 円					
第 43 期生 大利根地域 大利根南部水利組合第 3 揚水機場ポンプ盤等修繕					
第 44 期生 加須地域 南大桑揚水機場管理組合南大桑揚水機場ポンプ盤等修繕					
第 45 期生 加須地域 三俣地区揚水機場管理組合学頭深沼揚水機場キュービクル嵩上げ等 下谷水利組合小沢、大道下揚水機場配管等修繕 戸川町屋揚水機場管理組合卯ノ森揚水機場ポンプ等修繕					
第 46 期生 加須地域 戸川町屋揚水機場管理組合内川、前川揚水機場ポンプ等修繕					
第 47 期生 加須地域 三俣水利組合三俣揚水機場電気設備整備等修繕					
2 土地改良施設維持管理適正化事業による整備補修工事 17,930,000 円					
第 44 期生 加須地域 南大桑揚水機場管理組合南大桑揚水機場					
第 46 期生 加須地域 戸川町屋揚水機場管理組合前川揚水機場					
3 ほ場区画拡大事業（農地中間管理機構営）による基盤整備の推進 12,581,704 円 （馬内地区、道目・細間・北平野地区）					
4 加須土地改良推進協議会負担金 174,400 円					
・農地の畦畔除去・整地に係る助成					
[加須市農地集積事業補助金] 6,030,000 円					
年度	件数（件）	畦畔除去（m）	整地面積（㎡）		
令和元年度	58	4,109	195,416		
令和2年度	106	6,594	334,947		
令和3年度	73	5,427	262,363		
令和4年度	103	7,500	315,804		
令和5年度	108	7,123	322,632		
・農業経営改善事業資金返済補助金					
かんがい排水・農道舗装・土地改良事業（平成5年度から平成23年度）実施のために借入れた農林漁業資金の償還に充てるため、補助金を交付した。					
地域名	地 区	補助団体数	補助金額(円)		
騎西	鴻荃	1	3,098,822		
合 計		1	3,098,822		
・農業水利施設支援補助金					
物価高騰に係る対応（事業者支援）を実施した（巻末参照）。					

事業名		旧川環境保全事業		4212-09	
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	300,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	300,000 円	—
目	05	農地費	決 算 額	299,000 円	—
事業の目的		旧川の水辺環境の保全を図ると共に、排水路機能と貯水機能の維持を図る。			
事業の概要		旧川周辺の環境美化、施設維持等の活動を行う。			
事業の実績・成果					
・北川辺地域の市民及び「旧川の自然と環境を守る会」との協働により、旧川周辺の環境美化や水質保全を推進するとともに、旧川クリーン大作戦を実施した。					
○「旧川の自然と環境を守る会」の活動					
令和5年 6月 4日		水路清掃（雑草の刈払い）			
令和5年 7月 16日		環境美化活動（ゴミ拾い）			
令和5年 8月 6日		水路清掃（雑草の刈払い）			
令和5年 11月 12日		環境美化活動（ごみ拾い）			
令和6年 3月 3日		旧川クリーン大作戦			
○旧川クリーン大作戦					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加対象	新型コロナウイルス	新型コロナウイルス	新型コロナウイルス	北川辺全域	北川辺全域
参加人数	感染拡大防止のため	感染拡大防止のため	感染拡大防止のため	97 人	80 人
ゴミ回収量	中止	中止	中止	トラック 4 台分	トラック 6 台分

事業名		農業集落排水事業特別会計繰出事業			4422-01
担当課		下水道課		現 年	前年度からの繰越
款	06	農林水産業費	当初予算額	488,789,000 円	—
項	01	農業費	最終予算額	488,789,000 円	—
目	06	農業集落排水事業費	決 算 額	488,789,000 円	—
事業の目的		農村生活環境の改善と農業用排水路の水質保全に寄与する農業集落排水事業の健全かつ円滑な運営を図る。			
事業の概要		農業集落排水事業特別会計の収支の均衡を図るため、同会計への繰出金を措置する。			
事業の実績・成果					
・農業集落排水事業特別会計に繰り出すことにより、円滑な事業運営が図られた。					
○農業集落排水事業特別会計繰出金の推移					(単位：円)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加 須 市	501,573,000	518,367,000	508,516,000	493,651,000	488,789,000

事業名		企業内人権教育指導者育成事業			2511-06	
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	07	商工費	当初予算額	64,000 円	—	
項	01	商工費	最終予算額	60,000 円	—	
目	02	商工業振興費	決 算 額	59,700 円	—	
事業の目的		人権尊重社会を実現するため、市内の企業における人権教育指導者を育成し、企業の社会的責任と自覚を促す。				
事業の概要		市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等を対象に年5回の人権問題指導者研修会を生涯学習課、人権・男女共同参画課と共催で開催する。				
事業の実績・成果						
人権・同和問題に対する理解と認識を深め、企業の社会的責任と自覚を促すため、人権問題指導者研修会との共催により、企業内人権教育指導者研修会を開催し、企業内における指導者の育成と資質の向上を図った。						
また、新たに商工会と連携し、商工会の会員へ通知することで参加企業数、参加人数の増加を図った。						
・ 対象						
市内企業の経営者、労務担当者及び職場のリーダー等（商工会員）						
・ 企業内人権教育指導者研修会実施内容						
		テーマ	講師	延参加 企業数 (社)	延参加 人数 (人)	
1		こども ヤングケアラーの現状と支援等について	埼玉県立大学 保健医療福祉学部 教授 上原 美子 氏	13	14	
2		性的少数者 性の多様性等（LGBTQ+）について	埼玉大学 基盤教育研究センター 准教授 渡辺 大輔 氏	13	14	
3		同和問題 同和問題の現状と課題等について	部落解放同盟埼玉県連合会 書記長 小野寺 一規 氏	12	14	
4		高齢者 「共に学び、考え、行動する」健康 いきがいづくり等について	生きがい彩の会 上松 広志 氏	11	12	
5		外国人 在住外国人の実情等について	ふじみの国際交流センター 副理事長 永田 信雄 氏	15	16	
・ 企業内人権教育指導者研修会の実施状況の推移						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
研修回数	(回)	5	3	4	5	5
延参加企業数	(社)	76	37	116	52	64
延参加人数	(人)	87	39	136	58	70
企業参加率	(%)	6.8	3.3	10.8	4.9	2.9
※令和3年度は書面開催のため、参加予定者を全ての回に参加として計上。						

事業名		商業振興プラン進行管理事業			3221-02
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	48,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	48,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	30,000 円	—
事業の目的		加須市商業振興プランに定める各施策を推進し、商業の振興を図る。			
事業の概要		商工会、市内事業者、市民などで構成する加須市商業振興プラン推進会議を開催し、第2次商業振興プランに定める各施策の進行を管理する。 【計画期間】平成30年度～令和4年度			
事業の実績・成果					
「加須市商業振興プラン」の適切な進行管理を行うために「加須市商業振興プラン推進会議」を設置し、基本方針ごとに具体的な取り組みや事業の進行管理等について検証や意見交換を行った。					
令和5年8月9日（水） 第1回 加須市商業振興プラン推進会議開催 ・第2次加須市商業振興プランの達成度評価及び成果について					
○委員16名、うち11名出席					
・ 令和4年度取組結果（評価区分ごとの項目数等）					
区 分		取組項目数		割 合	
1 目標を達成		18		29.5%	
2 概ね達成		13		21.3%	
3 やや遅れている		12		19.7%	
4 大幅に遅れている		18		29.5%	
計		61		100%	
・ 令和4年度取組結果（基本方針ごとの項目数等）					
区 分		目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている
1 商店街や地域商店の魅力アップ		9	2	3	7
2 起業者やチャレンジ事業者への支援		5	6	3	5
3 商店街や地域商業のにぎわい創出		4	5	6	6
計		18	13	12	18

事業名	個店魅力アップ促進事業			3221-03
担当課	産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,497,000 円
項	01	商工費	最終予算額	1,497,000 円
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,354,548 円

事業の目的 元気でがんばる商店を支援し、地域商業の振興を図る。

事業の概要 地域商店の良さを伝える「加須の逸品カタログ (KAZO FAN)」の作成支援と「かぞまちばる」の開催支援として事業費の一部を補助する。

事業の実績・成果

- ・一店逸品事業（補助金交付額 750,000 円）

市内のこだわりのお店や加須の逸品を紹介する第 16 弾カタログ「KAZO FAN (かぞファン)」の作成を支援することにより、個店の良さや魅力のPRを図った。

KAZO FAN (加須の逸品カタログ) 参加店舗数
(単位：店舗)

令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
153	166	177	187	181

発行部数 50,000 部



第 16 弾「加須の逸品カタログ」

- ・まちばる開催事業（補助金交付額 600,000 円）

地域経済の活性化と個店の魅力アップを目的とし、令和 5 年 11 月 10 日（金）から 11 月 30 日（木）までの間に、かぞまちばる実行委員会が開催した「かぞまちばる」を支援し、市内飲食店等の魅力のPRを図った。

※まちばる参加者が、飲食した店舗 3 店舗から 5 店舗分のスタンプを集めて応募すると、抽選で商品券が当たる「まちばるラリー」も実施。

まちばる参加店舗数

(単位：店舗)

令和 元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
48	50	53	54	55



「かぞまちばる」リーフレット

事業名		商店街共同施設支援事業			3221-04
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,590,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	1,590,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,132,200 円	—
事業の目的		商店街の近代化及び美化を促進し、商店街の振興や活性化を図る。			
事業の概要		商店街等が所有している共同施設（街路灯など）の維持管理や新設・補修（LED化含む）に係る費用の一部を補助する。			
		【電灯料補助金】1基あたり1,800円			
		【街路灯新設補助金】1基あたり工事費査定額を設置基数で除した額の1/3以内の額。（1基あたりの限度額：10万円）			
		【街路灯補修補助金】工事査定額の15%以内の額			
事業の実績・成果					
商店街の近代化や美化を促進し、商店街の振興を図るため、商業団体が共同で設置した街路灯等の維持管理を側面から支援し、安心・安全なまちづくり及び商店街の環境整備を促進した。					
・街路灯電灯料補助の推移					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
団 体 数	17	17	16	16	16
街路灯基数	843	827	809	712	704
（LED基数）	(526)	(516)	(539)	(529)	(532)
補 助 基 数	767	727	686	659	619
補助金額（円）	1,380,600	1,308,600	1,234,800	1,186,200	1,114,200
※補助金額は、1基につき年間1,800円					
・街路灯補修補助の推移					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
団 体 数	2	1	1	0	1
基 数	137	1	32	0	8
補助金額（円）	682,716	2,805	89,760	0	18,000
※工事費査定額の15パーセント以内の額					

事業名		創業支援事業			3222-04
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	3,554,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	14,131,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	7,707,000 円	—
事業の目的		創業者を支援することにより、次代を担う新たな産業の育成を図る。			
事業の概要		・創業に係る費用の一部を補助するほか、運転資金、設備資金の融資あっ旋、保証料助成、利子補給を行う。 ・市商工会や県創業ベンチャー支援センターと連携し創業者への相談やセミナー開催に向けた支援を行う。 ・ワンストップ相談窓口の周知及びPRを積極的に行い、より多くの創業者が利用し創業への足掛かりとなるよう支援する。			
事業の実績・成果					
・ 融資制度の周知 広報紙や市のホームページで制度融資のPRをするとともに、案内チラシを市内金融機関に設置し、制度の周知に努めた。 令和5年度から、経営が不安定で基盤が弱く、経営が安定しづらい創業初期の事業者の資金繰りを支援することにより地域経済の活性化を図るため、既存融資制度を拡充した。					
		令和4年度まで	令和5年度から		
借入限度額		15,000,000 円	30,000,000 円		
信用保証料助成金額		上限 300,000 円	上限 500,000 円		
利子補給補助率		支払利息の 20%	支払利息の 50%		
令和5年度末融資残額		1,500,000 円			
融資の相談及び実行件数等の推移					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
融資に関する相談件数	1	1	11	4	7
融資実行件数	0	0	0	0	1
融資実行金額(円)	0	0	0	0	1,500,000
・ 創業者への支援 産業競争力強化法に基づく「創業支援等事業計画」が国（経済産業大臣・総務大臣）から認定（平成28年5月20日、令和元年6月12日・令和2年12月23日・令和4年7月11日・令和5年6月23日改正）されたことを受け、市と市商工会等が連携し、「KAZO 創業塾」や「創業支援ワンストップ相談窓口」を設置し、創業に向けた相談を随時受付ける体制を整備し、創業支援の充実を図った。					
KAZO 創業塾の参加者数の推移					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
参加者数	30	46	25	57	44
※各年度2回実施					

創業に関する相談等の推移

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
創業に関する相談件数	2	4	18	15	34
認定特定創業支援等事業による証明発行件数	2	5	9	6	17

・ 創業支援補助金

地域経済の活性化や雇用の創出、産業振興を目的に、創業時、創業初期の経営安定や必要な設備の充実を図るため、令和5年度から創業支援補助金を新設した。

補助対象者は市内でこれから創業しようとする者または創業後5年未満の中小企業者。

補助額上限 100 万円（補助率 1/2）。

創業支援補助金交付の推移

区 分	令和5年度
補助件数（件）	12
補助金額（円）	7,707,000

事業名		産業チャレンジ支援事業			3222-05	
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	07	商工費	当初予算額	8,251,000 円	—	
項	01	商工費	最終予算額	16,961,000 円	—	
目	02	商工業振興費	決 算 額	15,449,288 円	—	
事業の目的		意欲ある市内中小企業を支援することで、産業の活性化を図る。				
事業の概要		・ 埼玉県の承認を得た経営革新計画を作成・実行する事業者の事業費の一部を補助する。 ・ 展示商談会等出展費用や 6 次産業化商品開発費用の一部を補助する。 ・ 市内で電気工事業を開業するための登録等の認定事務を行う。				
事業の実績・成果						
・ 展示商談会等出展事業補助金 市内の中小企業の展示商談会等に出展する事業所に対して、出展費用の一部を助成することにより、中小企業者の費用負担を軽減し、販路拡大や新規参入などへの企業意欲の高揚を図った。						
展示商談会等出展事業補助金の交付実績						
区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
出展企業数（件）		13	4	7	9	11
補助金額（円）		535,582	352,861	701,285	924,094	1,880,944
・ 6 次産業化事業補助金 市内農業者による 6 次産業化商品の開発及び販売に向けた量産化に必要な経費の一部を助成することにより、市内産業の活性化を図った。						
6 次産業化事業補助金の交付実績						
区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
研究開発費に対する補助金(円)		2 件 384,107	1 件 200,000	0 件 —	0 件 —	0 件 —
設備設置費に対する補助金(円)		0 件 —	1 件 55,770	0 件 —	0 件 —	2 件 1,299,986
合 計		2 件 384,107	2 件 255,770	0 件 —	0 件 —	2 件 1,299,986
・ 経営革新支援補助金 埼玉県の承認を得た経営革新計画に基づき、経営の向上のための積極的な経営革新を行おうとする市内中小企業者を支援するため、令和 5 年度から経営革新支援補助金を支援した。 補助対象者は創業後 5 年以上の中小企業者。 補助額上限 100 万円（補助率 1/2）。						
経営革新支援補助金の交付実績						
区 分		令和 5 年度				
補助件数（件）		17				
補助金額（円）		12,267,000				

事業名		移動スーパー支援事業			3222-08
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,000,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	1,000,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,000,000 円	—
事業の目的		主に買い物弱者を対象として新たに「移動スーパー」を導入することで、新たな経営スタイルを目指す事業者や個人事業者を支援し、事業への積極的な参入を促す。			
事業の概要		移動販売車を使用し、市内の任意の地域を週に 1 回以上巡回して生鮮三品及び日常生活物資等を販売しようとする事業者等に対し、事業費の一部を補助する。			
事業の実績・成果					
主に買い物弱者を対象として新たに「移動スーパー」を導入する事業者を支援するため、補助制度について市ホームページ等で周知を図った。					
・ 移動スーパー支援事業補助金交付件数等の推移					
区分		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	
補助件数（件）		1	0	1	
補助金額（円）		1,000,000	0	1,000,000	
補助上限額 100 万円（補助率 2/3）					
・ 令和 5 年度に事業を開始した事業者について					
運行地域 加須地域（三俣・大桑・水深地区）					
事業開始日 令和5年10月30日（月）					
※以降、毎週月曜日～金曜日に定期運行（1 週間に延べ 32 箇所販売）					

事業名		にぎわう商店街推進事業			3223-01
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	2,152,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	2,133,880 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,535,673 円	—
事業の目的		商店街や地域商店の賑わいづくりを促進することにより、地域商業の活性化を図る。			
事業の概要		商工会や商店街（会）が実施する賑わいづくりや中心市街地スタッフ会議等が独自に取り組む事業費の一部を補助する。			
事業の実績・成果					
・ 商店街（会）等が独自に取り組む賑わい創出イベントへの支援 商店街や地域商店に活気や人を呼び込む取組を促進し、商店街や地域商店の利用促進を期待したが、新型コロナウイルス感染症の影響等により、一部のイベントについては開催が中止となった。					
【にぎわう商店街推進事業補助金】					
商店街（会）イベント実施状況					
事業名		開催日	事業実施商店街（会）		
桜見っどナイト		中止	不動岡奉仕会		
ナイトバザール		中止	加須駅通り商店会		
夕涼みにイカナイト		令和5年8月5日	不動岡奉仕会		
節分会 福の市		令和6年2月3日	不動岡奉仕会		
商店街（会）別補助金交付状況（単位：円）					
商店街（会）名		事業費	補助金額		
加須一番街商店会		499,690	245,000		
加須ぎんざ商店会		—	—		
加須駅通り商店会		1,004,520	501,000		
不動岡奉仕会		—	—		
合 計		1,504,210	746,000		
・ まちなかの賑わい創出を支援する取組み 加須市商工会や商店街が実施するまちなかの賑わい創出を支援し、地域商業の活性化を図った。 （単位：円）					
イベント名		事業費	補助金額		
【まちなか賑わい創出事業補助金】					
まちなか賑わいフェスティバル 令和5年8月26日（土）		1,140,720	100,000		
中心市街地商店街共同売出し 令和5年10月26日（木）～10月29日（日）		457,600	165,000		
【商店街活性化事業補助金】					
彩の街騎西スタンプ会事業 ・ 六彩市、ありゃりゃーい市、騎西だるま市 ・ 新春初売り出しセール 令和6年1月5日～		1,500,029	500,000		

事業名		市（いち）の開催促進事業			3223-02
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	228,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	228,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		市内商業者の活動を支援し、商業の活性化を進めるとともに、商農連携により産業の振興を図る。			
事業の概要		地産地消・商農連携をテーマとした「マルシェ de 加須」を開催するマルシェ de 加須実行委員会の運営について、商工会と連携して支援するとともに、イベント開催等における事業費を補助する。			
事業の実績・成果					
マルシェ de 加須実行委員会により開催されるマルシェ（市（いち））では、地元産の新鮮野菜やグルメなどを提供し、まちなか賑わいの創出、地産地消や商業と農業の連携など、本市や個店の魅力をPRする場として効果が期待されているが、マルシェ de 加須実行委員会の判断により、マルシェ（市（いち））の開催が中止となった。					
・ マルシェ de 加須実行委員会 会員数 27 人（令和 5 年度末現在）					
・ マルシェ（市（いち））の開催状況					
	開催回数（回）	出店数（店）	来場者数（人）	売上額（円）	
令和元年度	8	83	10,909	4,431,150	
令和 2 年度	0	中止	中止	中止	
令和 3 年度	0	中止	中止	中止	
令和 4 年度	0	中止	中止	中止	
令和 5 年度	0	中止	中止	中止	

事業名		商工団体等振興支援事業			3223-03
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	32,634,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	32,634,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	32,434,000 円	—
事業の目的		市内中小企業の振興と経営の安定化を支援するとともに、本市特産品の魅力を市内外にPRすることにより、市内商業の振興と活性化を図る。			
事業の概要		本市商工業及び地場産業の振興と活性化を推進する各種団体等の事業費の一部を補助する。			
事業の実績・成果					
・ 市商工業の振興と活性化を図るため、加須市商工会に対し補助金を交付した。 加須市商工会会員数 2,214 人（令和5年度末現在）					
(単位：円)					
事業主体（事業内容）			総事業費	市補助金	自己資金等
加須市商工会 ・ 経営改善普及事業（小規模事業者を中心とした金融・税務・経営・労務等の相談、指導、研修会等の開催及び経営発達支援事業、加須みらい経営塾、KAZO 創業塾、専門家派遣事業の実施、経営革新計画の推進、補助金申請支援、よろず相談窓口・事業環境変化対応型相談窓口の開設、お買い物・経営者アンケートの実施） ・ 地域総合振興事業 ・ 商業サービス業関連事業（一店逸品事業、歳末セール、中心市街地事業、研修会、空き店舗対策、スタンプ会支援・まちばるの開催等） ・ 工業関連事業（研修会、技能講習会、販路開拓支援、ものづくり研究会（MONO KAZO）の開催等） ・ 建設関連事業（絆券交付事業等、地域振興等） ・ 青年部関連事業（人材育成研修会、キッズタウンフェスタ、サンタが家にやってくる、各地区事業等） ・ 女性部関連事業（地域振興・環境・健康増進、広報紙発行） ・ 各地域観光振興事業 ・ 広報事業（商工会情報発行、年5回） ・ 委員会関連事業（総務、金融、会員増強、機能強化） ・ 絆サポート事業の実施			198,242,612	32,344,000	165,898,612
・ 市の地場産業である武州織物工業の発展、活性化を支援するため、地場産業団体に側面から支援し、地場産業団体の振興を図った。					
(単位：円)					
事業主体		事業内容	総事業費	市補助金	自己資金等
武州織物工業協同組合		工場見学や情報交換等を行う技術研修会の実施	104,278	50,000	54,278
石織商店		百貨店催事（武州正藍染のPRと展示販売）への出展	277,330	40,000	237,330

事業名		騎西ルネサンス推進事業			3223-04
担当課		地域振興課（騎西）		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,140,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	0 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		騎西地域の街なかにぎわいと活気を創出するため、加須市商工会青年部や市民活動団体等の取組みを支援する。			
事業の概要		加須市商工会青年部が開催する「奇彩ハロウィン」や市民活動団体「きさいルネサンス“藤”」が空き店舗を活用して実施する「ものづくり通り」を支援する。			
事業の実績・成果					

○加須市騎西地域街なかにぎわい創出事業

騎西地域の商店街の活性化及び振興を図るため、市民活動団体「きさいルネサンス“藤”」に対して補助金を交付し、商店街等でのイベント（騎西藤まつり、夕涼み会等）の開催時に空き店舗や空き地等を活用した、街なかの賑わいづくりを目的とする「ものづくり通り」を実施する事業であったが、令和5年度は実施団体の人手不足等に伴い、中止となった。

（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助金額	330,924	—	213,622	—	—

○「奇彩ハロウィン」開催事業

地域経済の活性化を図るため、加須市商工会（青年部）に対して「奇彩ハロウィン」を開催するための補助金を交付し、商店街の魅力向上及び地域の賑わいづくりを行う事業であったが、令和5年度は実施団体の人手不足等に伴い、中止となった。

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
来場者数	11,000	—	—	—	—

事業名		事業資金融資あっ旋事業			3231-01
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	18,600,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	16,023,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	7,895,000 円	—
事業の目的		中小企業の経営安定化と事業発展を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化を図る。			
事業の概要		市内中小企業者に対し、運転資金、設備資金などの事業に必要な資金の融資あっ旋を行う。(預託事業) 融資限度額 ・事業資金 2,000 万円 ・特別小口資金 2,000 万円 ・不況対策資金 2,000 万円			
事業の実績・成果					
市内中小企業者に対し、必要な事業資金（事業資金、特別小口資金、不況対策資金）の融資あっ旋を行い、経営の安定と設備の近代化・事業の拡大等を促進した。					
・ 預託内容等 (単位：円)					
令和 5 年度 預託金額		令和 5 年度末 融資残額			
事業資金 6,420,000		22 件 76,695,063			
特別小口資金 997,000		6 件 15,017,000			
不況対策資金 478,000		1 件 5,776,000			
合 計 7,895,000		29 件 97,488,063			
・ 融資実行の状況（融資実行件数、金額の推移） (単位：円)					
区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業資金	13 件 146,700,000	1 件 10,000,000	6 件 72,200,000	1 件 10,000,000	2 件 14,100,000
特別小口資金	0 件 —	0 件 —	2 件 16,000,000	2 件 11,000,000	1 件 3,000,000
不況対策資金	1 件 10,000,000	0 件 —	1 件 10,000,000	0 件 —	0 件 —
合 計	14 件 156,700,000	1 件 10,000,000	9 件 98,200,000	3 件 21,000,000	3 件 17,100,000

事業名		中小企業融資支援事業			3231-02
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	4,477,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	4,267,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,997,624 円	—
事業の目的		市内中小企業の経営安定化と事業発展を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化を図る。			
事業の概要		事業資金、特別小口資金及び不況対策資金の保証料助成や利子補給等を行い、負担軽減を図る。 ・保証料補助 支払済みの保証料の全額（上限 30 万円、起業家育成資金は上限 50 万円）を補助 ・利子補給 毎年又は完済後の支払利子額の 20%（起業家育成資金は 50%）を補給			
事業の実績・成果					
事業資金等の融資あっ旋を行った中小企業者に対し、保証料助成や利子補給を行い、市内中小企業の経営の安定と設備の近代化・事業の拡大等を促進した。					
・ 中小企業資金利子補給（毎年利子補給分含む）（単位：円）					
区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業資金	15 件 530,112	17 件 941,711	15 件 567,911	13 件 794,240	3 件 156,510
特別小口資金	3 件 17,823	4 件 50,519	2 件 38,333	2 件 39,270	0 件 —
不況対策資金	15 件 110,417	12 件 326,643	10 件 200,033	4 件 36,882	3 件 69,154
起業家育成資金	2 件 8,414	1 件 1,001	1 件 22,991	0 件 —	0 件 —
県短期事業資金	1 件 14,876	0 件 —	0 件 —	0 件 —	0 件 —
合 計	36 件 681,642	34 件 1,319,874	28 件 829,268	19 件 870,392	6 件 225,664
・ 市制度融資保証料補助の推移（単位：円）					
区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
事業資金	12 件 2,468,875	4 件 914,688	6 件 1,599,625	0 件 —	3 件 546,315
特別小口資金	0 件 —	0 件 —	2 件 211,200	2 件 242,000	0 件 —
不況対策資金	1 件 225,500	0 件 —	1 件 166,025	0 件 —	0 件 —
起業家育成資金	0 件 —	0 件 —	0 件 —	0 件 —	0 件 —
合 計	13 件 2,694,375	4 件 914,688	9 件 1,976,850	2 件 242,000	3 件 546,315
・ 代位弁済補填の推移（単位：円）					
区 分	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
補填金額	0 件 —	0 件 —	1 件 391,638	0 件 —	2 件 1,225,645

事業名		ちょこっとおたすけ絆サポート券全世帯配布事業			3231-06
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	0 円	—
項	01	商工費	最終予算額	298,226,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	34,144,611 円	—
事業の目的		物価高騰等の影響を受けている全ての市民の生活を支援及び市内経済の活性化を図るため、市内全世帯に「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。			
事業の概要		加須市商工会が発行するちょこっとおたすけ絆サポート券を全世帯に配布する。 対象者：令和6年1月1日時点で加須市に住民登録がある世帯の世帯主 配布額：1世帯あたり5,000円分 配布方法：簡易書留郵便			
事業の実績・成果					
物価高騰に係る対応（生活者支援及び事業者支援）を実施した（巻末参照）。					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 264,081,389 円					
・ 翌年度への繰越事業の内容					
令和6年1月1日時点で加須市に住民登録がある住民登録がある世帯の世帯主に対してちょこっとおたすけ絆サポート券を支給。（5,000円分）					
・ 令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由					
ちょこっとおたすけ絆サポート券の換金期間が令和6年度に差し掛かるため。					

事業名		住宅改修等需要促進事業			3231-11
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	22,092,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	26,092,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	19,896,479 円	—
事業の目的		市内事業者への工事受注機会を拡大し、工業の振興及び地域経済の活性化を図るとともに居住環境の向上を図る。			
事業の概要		市民が市内施工業者により自己所有の居宅等を改修する場合、その工事費用の一部を助成する。 ・対象工事：200 千円以上（税抜） ・補助率：工事費用の 5%相当額 ・助成金交付限度額：50 千円			
事業の実績・成果					
市民が市内施工業者により自己所有の居宅を改修する場合、その工事費用の一部を助成することにより、市内事業者の工事受注機会の拡大を図った。 令和 5 年 7 月 11 日の大雨・落雷・突風被害に伴う居宅改修については、災害に係る住宅修繕等資金助成を行った。					
・ 住宅改修補助の推移					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
補助件数(件)	305	309	368	432	443
補助金額(円)	12,225,000	12,404,000	15,943,000	18,940,000	18,874,000
補助対象金額(円)	432,063,760	377,771,258	457,114,611	592,805,760	600,594,600

事業名		かぞブランド創出事業			3231-12
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,298,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	1,298,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	982,646 円	—
事業の目的		市内の優れた産品や製品、農作物等を「かぞブランド」として認定し、本市の知名度及び産品の付加価値の向上を図り、産業振興及び地域活性化に資する。			
事業の概要		かぞブランド認定委員及び公募により選ばれた市民モニターにより①加須らしさ②優位性・独自性③信頼性・安全性④市場性・将来性について審査し、認定委員会で決定後、市が認定する。			

事業の実績・成果

- ・ 「かぞブランド」認定品として新たに4品（アスメシ丼（King、Queen）、加須麦酒ボトルビール、力太郎うどん、平飼い有精卵 おぼろ月）を認定した。

かぞブランド認定品数

区 分	令和5年度 新規認定品数	合 計
① 一次産品	1	22
② 加工品	3	33
③ 工芸品	0	8
④ 工業製品	0	5
⑤ 飲食店メニュー	0	4
合 計	4	72

- ・ 付加価値の向上を図ることができるかぞブランド認定シール（小）を17,800枚販売した。
- ・ 表紙、裏表紙を一体の画像での作成や掲載写真をリニューアルし、テーマ性を強化してビジュアルを向上させた。ページをめくるだけで楽しくなるレイアウトのパンフレット「かぞブランドブック 2024」を13,000冊作成した。



事業名		地域通貨発行による地域福祉サービス支援事業			3231-13
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,560,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	1,560,000 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	1,560,000 円	—
事業の目的		地域の支え合い（共助）や高齢者の生きがいづくりを推進するとともに、高齢者福祉の充実を図る。併せて地域産業の振興を図る。			
事業の概要		生活支援を必要とする方をサポートして謝礼として受け取る「絆サポート券(500 円)」の販売を促進するとともに、商工会と連携し、各種事業で絆サポート券を活用する。			
事業の実績・成果					
高齢者等の生活支援サービスの充実を図り、元気な高齢者の「生きがいづくり」、「介護予防」、併せて地域商業の振興を図った。また、加須市商工会と連携を図り、広報紙やチラシ等を活用し、おたすけサポーターや利用会員の募集、絆サポート券の利用等についてPRを行った。					
・ 総事業費 3,133,973 円（加須市商工会）					
・ 補助金額 1,560,000 円					
・ ちょこっとおたすけ絆サポート事業の利用状況					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用会員登録数(人)	946	851	339	382	460
サポーター登録数(人)	86	93	91	111	120
活動時間(時間)	3,772	2,314	2,556	2,843	2,981
活動時間数の内訳 (単位：時間)					
お手伝いサービスの内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
買物代行、犬の散歩代行など	95	124	143	90	97
買物や通院など外出の付き添い、話し相手	2,778	1,434	1,770	2,176	2,470
掃除や洗濯・部屋の模様替えなど	386	276	235	225	269
庭の草むしりや芝刈り・枝の切り落としなど	513	480	408	352	145
合 計	3,772	2,314	2,556	2,843	2,981
・ ちょこっとおたすけ絆サポート券の利用状況					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
券販売枚数(枚)	23,736	23,642	28,814	42,681	43,127
券換金枚数(枚)	24,862	23,483	25,534	37,545	40,381
取扱店舗数(店舗)	596	732	724	743	738

事業名		産業連携推進事業			3233-01
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	201,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	189,120 円	—
目	02	商工業振興費	決 算 額	109,000 円	—
事業の目的		「持続可能な開発目標（SDGs）」達成を通じた地域中小企業等の競争力強化や企業間連携・官民連携による地域課題の解決を図る。			
事業の概要		企業間連携や官民連携を強化することを目的に、年1回程度ビジネス懇談会を開催する。企業訪問や研修等を通じて、企業のSDGs導入や様々な地域課題の解決を促進する。			
事業の実績・成果					
・ 市内企業がSDGsに関連する社会課題を解決するための情報やノウハウを収集し、今後、さらなる取引先との良好な関係を築き上げるとともに、地域社会においてなくてはならない存在となる企業に発展するきっかけの提供を図るため、三井住友海上火災保険株式会社、加須市商工会と連携し、市内企業向けSDGsセミナーを初めて開催した。 また、市内企業の連携強化を図るため、SDGsセミナー終了後、同日にビジネス懇談会を初めて開催した。 開 催 日：令和6年2月9日（金） 会 場：加須市商工会3階会議室 参加企業数：8社 ・ 中心市街地商店街のイベントを盛り上げるため、加須市商工会と連携し、埼玉縣信用金庫加須支店とのコラボイベントを開催した。 開 催 日：令和5年10月29日（日） 会 場：埼玉縣信用金庫加須支店駐車場 ・ 企業訪問 市内企業の実態や行政への要望等を把握し、実情に即した商工労働振興施策を展開していく基礎資料とするため、41社の企業訪問を実施した。					

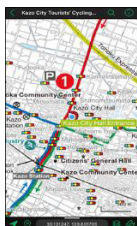
事業名		デジタル商店街運営促進事業			3233-02	
担当課		産業振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	07	商工費	当初予算額	100,000 円	—	
項	01	商工費	最終予算額	100,000 円	—	
目	02	商工業振興費	決 算 額	100,000 円	—	
事業の目的		市内事業者が様々な媒体を活用し、積極的な情報発信とサービス向上に寄与する取り組みを支援することにより、地域経済の活性化を図る。				
事業の概要		中小事業者や個人商店、直売農家等がインターネットサービスやSNS等を活用して情報発信や個別サービスを提供をできるバーチャルタウン「はなまる加須」を支援し、市内事業者の利用促進のための周知を図る。				
事業の実績・成果						
デジタル技術を活用した情報発信ツールによる市内事業者の販売力向上等を目的として支援している株式会社FUNSが運営するバーチャルタウン「はなまる加須」内に、加須市役所を設置し、加須市役所ページを開設した。						
・ はなまる加須の登録事業者数 145 件（うち市内 136 件）（令和 6 年 3 月 31 日現在）						
業 種	農業	建設業	製造業	電気・水道業	情報通信業	運輸業
件数(市内)	13 (12)	27 (25)	17 (16)	0 (0)	5 (5)	0 (0)
業 種	卸売・小売業	不動産業	飲食店・宿泊業	医療・福祉	教育・学習支援業	サービス業
件数(市内)	22 (21)	2 (1)	17 (16)	7 (7)	14 (14)	21 (19)
・ 令和 5 年度はなまる加須の年間サイト閲覧件数 251,549 件						
・ デジタル商店街運営促進事業補助金（単位：円）						
事業主体（事業内容）			総事業費	市補助金	自己資金	
はなまる加須の活性化に寄与する事業 ・ はなまる加須内に加須市役所アイコン設置及び加須市役所ページ制作			176,000	100,000	76,000	

事業名		誘客促進ビジョン進行管理事業			3311-02
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	63,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	33,000 円	—
目	03	観光費	決 算 額	33,000 円	—
事業の目的		観光の振興を推進するため、誘客促進ビジョンに掲げた取組を着実に実行する。			
事業の概要		取組状況を取りまとめ、進行管理調書を作成するとともに、誘客促進ビジョン推進会議を開催し、様々な視点からの意見や助言を受けることで、進捗を的確に管理する。			
事業の実績・成果					
誘客促進ビジョンに掲げた取組みについて、令和4年度実績を取りまとめ、進捗状況の確認や意見交換を行う「加須市誘客促進ビジョン推進会議」を開催した。					
・日 時 令和5年8月23日（水）					
・参加人数 14名					

事業名		「うどん」と「こいのぼり」によるまちおこし事業			3311-04
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	465,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	465,000 円	—
目	03	観光費	決 算 額	435,528 円	—
事業の目的		加須市の特産品である「うどん」と「こいのぼり」の魅力を全国に発信し、観光による交流人口の増加を図りながら、地域の賑わいと地域経済の活性化を図る。			
事業の概要		「うどん」「こいのぼり」に関わる様々な団体や関係者と連携したを展開して知名度アップを図る。			
事業の実績・成果					
1 うどんによるまちおこし事業内容 ○うどん情報誌「るるぶ特別編集加須」掲載店との連携により、各店考案のうどんの日特典を実施した。 ・協力店 24 店舗 ○市内各スーパーに「うどんのまち加須」のポスター掲示を依頼した。 ・協力店 12 店舗 ○地域の祭り等に参加する市内の団体に対し市所有のうどん釜等の貸出しをおこなった。 ・貸出し 2 団体 ○加須手打うどん会へ補助金を交付した。 360,000 円 2 こいのぼりによるまちおこし事業内容 公共施設をはじめ、市内事業所、関係団体と連携し、特産品であるこいのぼりを掲揚・展示し「こいのぼりのまち加須」をPRした。 ○掲揚・展示場所 市役所本庁舎、総合支所、小中学校、幼稚園、保育園、加須市民体育館、文化・学習センター、図書館、道の駅おとおね、道の駅かぞわたらせ、加須駅北口前広場、加須駅南口ロータリー、東京スカイツリータウン®、加須駅構内、東武ストア加須店、加須駅前商店会 ○関係団体との連携 ・加須市物産観光協会 市所有の手描きこいのぼりの虫干しを兼ねた「こいのぼり展示会」を開催した。 (開催日：令和6年1月27日・28日、来場者数：422人) ・鯉のぼり作家コミュニティ「鯉師会」 鯉師会制作のこいのぼりをパストラルかぞにおいて展示した。 (展示期間：令和5年3月23日～5月7日) ジャンボこいのぼり虫干し見学会において手描きこいのぼり教室を開催した。(開催日：令和5年10月29日) ○加須市鯉幟組合へ補助金を交付した。 70,000 円 					



事業名		観光資源活用事業			3311-18
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	2,434,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	1,656,000 円	—
目	03	観光費	決 算 額	1,558,242 円	—
事業の目的		観光によるまちおこしを図るために、観光資源を活用した市のPRを推進する。			
事業の概要		本市が有する観光資源やその魅力、イベント等の情報を広く発信するとともに、関係団体等と連携した取組の推進により、市内への誘客及びにぎわいの創出を図る。			
事業の実績・成果					
既存の観光資源を有効活用し、観光客を誘致し交流人口の拡大を図るため、マスメディアや冊子媒体、他県他市からの問い合わせ等を通して観光情報を発信した。					
○観光入込客数の推移 (単位：千人)					
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
観光入込客数	2,554.4	1,094.2	1,200.0	1,469.2	1,772.4
○その他					
・埼玉県物産観光協会への負担金					
・近隣観光施設ネットワーク連絡会議への参加					

事業名		観光サイクリング推進事業		3312-01	
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	1,646,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	1,646,000 円	—
目	03	観光費	決 算 額	1,575,429 円	—
事業の目的		サイクリング適地としての認知度を高め、サイクリングによる交流人口の拡大を図る。			
事業の概要		「観光サイクリング」のブランド化の推進や、サイクリングイベントを開催する。 また、年間を通して自転車による観光を推進するため、観光レンタサイクルの維持管理や利用促進を図る。			
事業の実績・成果					
加須市の観光サイクリングブランド「KAZOLING」を推進するため、サイクリングイベントの開催や観光レンタサイクルの貸出を行うとともに、サイクリングマップを作成し、観光サイクリングの普及啓発を図った。					
1 サイクリングイベント 312,953円 ・KAZOLING PHOTO RALLY 本市を訪れるサイクリストの交流人口の拡大と、知名度の向上を図るため、市内外の立寄りスポットや協力店などのラリーポイントを自転車でめぐり、写真撮影を行うフォトラリーを実施した。 開催期間：10月1日～11月10日 参加者数：65名 ラリーポイント：11カ所（立寄りスポット：7、店舗等：4） 主要経費：チラシ・ポスター印刷費、参加者賞品代、旅費					
2 かぞ観光レンタサイクル 400,956 円 環境に優しい交通手段の提供、交通アクセスの利便性の向上、観光事業の推進及び地域の活性化に寄与することを目的とし、市内5箇所において無料のレンタサイクル貸出事業を実施した。 また、老朽化が顕著な一般用9台、こども用2台の車両の入替えを行った。					
観光レンタサイクル利用実績 (単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須市商工会館	846	359	736	696	884
花崎コミュニティセンター	95	71	112	133	156
騎西文化・学習センター	39	10	51	42	31
北川辺文化・学習センター	12	7	7	11	13
道の駅童謡のふる里おとおね	3	8	20	31	26
合 計	995	455	926	913	1,110
主要経費：ヘルメット・自転車購入費、修繕料、傷害保険料、自転車運搬費、登録手数料					
3 観光サイクリングマップ作成 861,520 円 モデルコースや立寄りスポットを掲載し、英語表記に対応したサイクリングマップを作成した。 また、スマートフォンアプリを活用することにより、画面の地図に現在地が表示できるものとした。 (作成部数：12,000 部)					
					
サイクリングマップ		アプリ画面			

事業名		物産観光協会支援事業			3314-03
担当課		観光振興課		現 年	前年度からの繰越
款	07	商工費	当初予算額	11,710,000 円	—
項	01	商工費	最終予算額	11,710,000 円	—
目	03	観光費	決 算 額	11,710,000 円	—
事業の目的		交流人口の増加を図り、賑わいの創出と地域経済の活性化を図る。			
事業の概要		加須市物産観光協会の運営を支援する。 【物産観光協会事業】 ・物産・観光イベントの開催 ・宣伝PR・観光案内所の運営 ・観光催物等の後援 ・観光資源の保存、創出			
事業の実績・成果					
1 加須市物産観光協会が実施した事業について補助金を交付し支援を行った。 加須市物産観光協会への補助金 11,710,000 円					
【協会の主な事業内容】					
■物産・観光イベント等開催事業					
○物産・観光イベント等の開催 日本橋どんとこい！かぞフェア、藤まつり、あじさい祭り、騎西だるま市、オニバスフェスタ、遊水地探鳥ハイキング、こいのぼり展示会（手描きこいのぼり教室）、加須グルメフェスティバル					
○物産・観光イベント等への参加、協力 東京スカイツリータウン®こいのぼりフェスティバル、東武鉄道健康ハイキング、喜びの道の駅☆ゆめきらり出展ほか					
■普及事業					
○地域の祭行事や伝統芸能への助成、支援 かぞ どんとこい！祭り、加須駅前こいのぼり掲揚、出初式、總願寺節分会、騎西夏祭り、イルミネーション大作戦、北川辺商工会サマーフェスタ、おおとね商工夏まつり、北大桑円満寺千手観世音大祭ほか					
■宣伝事業					
○メディア等への情報発信 テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等のマスコミ各社へ情報提供					
○観光大使制度の運用 新規委嘱者：10 人、令和 5 年度末の観光大使：101 人(組)					
○浦和競馬北埼玉シリーズへの協力					
○観光案内所の運営、ホームページの管理・運営					
○市内各所（加須駅前広場、加須駅構内ほか）でのこいのぼりを展示					
■観光拠点地振興事業					
○地域に根ざし、交流拠点ともなる歴史ある観光資源の保存 植木剪定等に係る助成（不動ヶ岡不動尊總願寺、千方神社、玉敷神社）					
■観光サイクリング促進事業					
○加須市の観光サイクリングブランド「KAZOLING」関連イベントの実施 ・KAZOLING グルメ&サイクリング 2024 ゲストライダーを招致しサイクリングとグルメを堪能するサイクリングツアーを実施 （開催日：令和 6 年 3 月 24 日、参加者数：36 人）					
2 物産観光協会組織の見直しを図るため、支部長会議における協議を踏まえ、協会内に法人化準備委員会を設置し、法人化に向けた検討を行った。 ・支部長会議（令和 5 年 12 月 21 日開催）、法人化準備委員会会議（令和 6 年 3 月 8 日開催）					

事業名		建築物耐震改修促進事業		1221-01	
担当課		建築開発課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	1,275,000 円	—
項	01	土木管理費	最終予算額	1,275,000 円	—
目	01	土木総務費	決 算 額	7,500 円	—
事業の目的		地震による建築物の倒壊等の被害から、市民の生命、身体、財産等を保護する。			
事業の概要		・ 加須市建築物耐震化計画に基づき、耐震化を促進する。 ・ 建築物の耐震化の促進のため広報紙やホームページ等により情報発信をする。 ・ 被災建築物応急危険度判定の体制を整備する。 ・ 旧耐震基準の木造住宅の耐震診断及び耐震改修の費用の一部を補助する。			
事業の実績・成果					
地震による被害から市民の生命、身体、財産等を保護するため、「加須市建築物耐震改修促進計画」に基づく広報、耐震相談会、無料簡易耐震診断などを行い、耐震化を促進した。 また、発災時の余震等による二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定の体制整備を行った。					
1 耐震化の促進					
猛暑及び天候不良によるイベント中止のため、相談会の開催は限定的であったが、紙面によるPR等を中心に促進を図った。					
(1) 紙面によるPR等 ：3回					
・ 無料簡易耐震診断兼耐震化補助チラシ及びポスターを公共施設 45 施設に設置 ・ 無料簡易耐震診断及び耐震相談会を広報紙に掲載 ・ 市内建築等関連業者 302 社に無料簡易耐震診断兼耐震化補助チラシを配布					
(2) 耐震相談会 ：1回					
・ 令和5年11月26日（日）午前中 加須市役所1階エントランスホール					
(3) 市職員による木造住宅の無料簡易耐震診断 ：9件					
判定結果別件数 (単位：件)					
区 分		A（安全）	B（概ね安全）	C（やや危険）	D（危険）
件 数		7	2	0	0
(4) 木造住宅への耐震化補助（耐震診断 25,000 円/件 耐震改修 100,000 円/件）					
耐震診断（0 件）		0 円	耐震改修（0 件）	0 円	
2 被災建築物応急危険度判定の体制整備					
(1) 加須市応急危険度判定士ネットワーク参集連絡訓練（登録人数：49人） ：1回					
(2) 備蓄資機材の状況（令和6年3月31日現在）					
・ 彩の国既存建築物地震対策協議会から分散配置資機材の引継ぎを受けた。					
区 分		加須市保管分	協議会分散配置分	合計備蓄数	
登録証ケース（個）		100	20	120	
腕章（個）		110	10	120	
判定調査票（枚）		900	1400	2300	
判定ステッカー（枚）		1500	1800	3300	
下げ振り（個）		35	10	45	
クラックスケール（個）		35	10	45	
コンベックス（個）		15	10	25	
軍手（組）		72	—	72	
バインダー（個）		92	10	102	
ガムテープ（個）		35	—	35	
マジック（本）		35	—	35	
応急危険度判定パンフレット（冊）		300	—	300	

事業名		特定行政庁等建築行政事業				5212-02	
担当課		建築開発課			現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費		当初予算額	1,377,000 円	—	
項	01	土木管理費		最終予算額	1,377,000 円	—	
目	01	土木総務費		決 算 額	1,132,740 円	—	
事業の目的		建築基準法等の審査を通じて、市民の生命、健康及び財産の保護等を図り、もって公共の福祉の増進に資する。					
事業の概要		・ 建築確認申請の適正な審査と建築パトロールを実施する。 ・ 長期優良住宅の認定やその他の法令に基づく審査等を実施する。					
事業の実績・成果							
限定特定行政庁として、建築基準法及びその他の法令に基づく審査等を行い、安全で快適な都市環境の形成を図った。							
1 建築確認申請等の状況				(単位：件)			
区 分			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
確 認 申 請	市 審 査	建 築 物	11	12	7	6	11
		工 作 物	4	3	1	0	0
		変更建築物	1	1	1	1	3
		変更工作物	0	0	0	0	0
		小 計	16	16	9	7	14
	民 間 審 査	建 築 物	643	503	635	632	571
		工 作 物	1	0	9	5	11
		変更建築物	16	26	28	34	24
		変更工作物	0	0	0	0	0
		小 計	660	529	672	671	606
合 計		676	545	681	678	620	
完 了 検 査	市 検 査	建 築 物	7	10	5	6	5
		工 作 物	0	0	0	8	0
		小 計	7	10	5	14	5
	民 間 検 査	建 築 物	629	496	567	653	590
		工 作 物	1	0	7	5	11
		小 計	630	496	574	658	601
	合 計		637	506	579	672	606
長 期 優 良	認 定	64	60	69	77	106	
	変 更	3	2	8	6	23	
	合 計	67	62	77	83	129	
低 炭 素	認 定	1	2	13	7	4	
	変 更	0	0	0	0	0	
	合 計	1	2	13	7	4	

(前ページの続き)

道路位置	指 定	1	1	0	0	1
	変更・廃止	3	1	1	0	3
	合 計	4	2	1	0	4
図書等写し	台帳記載証明書	140	156	209	250	234
	道路位置指定図	72	73	81	97	81
	建築計画概要書	156	149	184	198	203
	合 計	368	378	474	545	518

※確認申請及び完了検査の件数は、計画及び完了の通知件数を含む。

2 完了検査率の状況(民間確認検査機関を含む) (単位：%)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
完了検査率	98.79	99.17	99.04	94.69	97.35

※確認申請物件を対象に建築パトロールを原則、週1回実施し完了検査率の向上に努めた。

3 埼玉県屋外広告物条例に基づく許可の状況 (単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新 規	22	26	19	22	39
期 間 更 新	17	37	74	37	39
変 更 改 造	5	2	10	9	5
合 計	44	65	103	68	83

4 加須市道路後退用地整備要綱に基づく分筆測量登記の状況

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件 数 (件)	1	1	1	2	2
面 積 (㎡)	31.07	28.00	16.98	26.16	36.81
委託料 (円)	0	347,600	0	377,300	557,700

5 その他届出書の状況 (単位：件)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
埼玉県景観条例	27	50	25	29	22
建設リサイクル法	152	160	158	126	135
建築物省エネ法	14	19	18	15	9

事業名		建築営繕事業			5314-04
担当課		建築開発課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	867,000 円	—
項	01	土木管理費	最終予算額	867,000 円	—
目	01	土木総務費	決 算 額	796,758 円	—
事業の目的		市有施設について、施設の目的を反映した、利用しやすく、安全、快適で、高品質な建築物を整備する。			
事業の概要		・加須市市有施設設計方針に基づき施設整備を行っている。 ・施設所管課への技術支援を行っている。			
事業の実績・成果					
公共施設の目的を反映し、利用しやすく、安全、快適で高品質な建築物を整備するため、他課からの依頼を受けて、「加須市市有施設設計方針」に基づいた、設計・工事を実施した。					
1 建築物の設計、工事の状況					
(1) 加須市立元和小学校校舎増築工事（国補）（県補）〔継続事業 令和6年度完成予定〕					
(2) 加須市立元和小学校校舎増築電気設備工事（国補）（県補）〔継続事業 令和6年度完成予定〕					
(3) 加須市立元和小学校校舎増築機械設備工事（国補）（県補）〔継続事業 令和6年度完成予定〕					
(4) 加須市立元和小学校校舎増築工事監理等業務委託〔継続事業 令和6年度完了予定〕					
(5) 加須市立騎西学校給食センター空調設備他改修工事設計業務委託					
(6) 加須市立騎西学校給食センター空調設備他改修工事【R5.12 補】（国補）〔繰越明許 令和6年度完成予定〕					
(7) 久下浄水場場内整備ほか実施設計業務委託〔技術支援〕					
(8) 田ヶ谷サン・スポーツランドトイレ改修工事【6 補】〔技術支援〕					
2 設計資料等整備の状況					
(1) 設計・積算関係資料					
・月刊積算資料、季刊建築施工単価、季刊建築コスト情報等の購入					
・機械設備工事の施工管理（施工計画書作成要領）、埼玉県建築工事实務要覧の購入					

事業名		地籍調査事業			5211-05
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	50,253,000 円	—
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	50,253,000 円	—
目	01	道路橋りょう総務費	決 算 額	46,992,989 円	—
事業の目的		国土調査法に基づく地籍調査を実施することで、国土の開発及び保全並びにその利用の高度化に資するとともに、地籍の明確化を図る。			
事業の概要		国有林及び公有水面を除く一筆ごとの土地について、所有者・地番・地目・境界の確認と調査を行い、併せて境界の測量及び面積の測定を行うことにより、その成果である地籍図及び地籍簿を作成する。			
事業の実績・成果					
・地籍の明確化とその利用の高度化を図るため、地域住民の協力のもと平成 12 年度から年次計画に基づいて調査を実施している。					
○令和 5 年度の実績					
・柳生 1 地区（後半工程：地籍図原図の作成、地籍測定、地籍図及び地籍簿の作成）					
・柳生 2 地区（前半工程：地籍図根三角測量、地籍図根多角測量、一筆地調査、一筆地測量）					
○調査地区の概要及び実績					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
地 区	飯積 3(後半) 飯積 4(前半)	飯積 4(後半)	麦倉 5(前半)	麦倉 5(後半) 柳生 1(前半)	柳生 1(後半) 柳生 2(前半)
面 積	0.35 km ² 0.41 km ²	0.41 km ²	0.27 km ²	0.27 km ² 0.35 km ²	0.35 km ² 0.39 km ²
○調査費（委託料）の推移					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
委託料	24,145,000 円	12,265,000 円	19,657,000 円	36,385,800 円	45,356,960 円
地籍調査 費補助金	—	—	12,376,500 円	23,925,000 円	22,678,500 円
※令和元年度・令和 2 年度については、賠償金で調査を実施したため補助の申請はなし。					

事業名		道路管理事務事業			5226-04
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	56,393,000 円	—
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	56,393,000 円	—
目	01	道路橋りょう総務費	決 算 額	40,482,397 円	—
事業の目的		・ 加須市道及び法定外公共物に係る行政手続きを適正に処理することにより、道路利用者の通行の安全と適切な道路利用を推進する。			
事業の概要		・ 道路法で定める市で管理する道路の台帳を調整・保管し、閲覧に供する。 ・ 道路、水路の境界確定、復元及び証明書の発行。 ・ 市道への占用行為及び工事施工等の許可、承認。 ・ 法定外公共物の払い下げ等に関する事務。 ・ 市道内に残る未登記の調査及び所有権移転登記。			
事業の実績・成果					
1 道路法に基づく許可事務 道路法に基づき道路工事施行承認及び道路占用許可に係る事務（申請受付から承認、許可）を停滞なく処理した。					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
道路工事施行承認（件）		122	102	132	151
道路占用許可（件）		721	635	797	797
道路占用料（円）		38,577,327	39,842,294	40,247,938	41,186,043
					41,859,583
2 加須市道及び法定外公共物の管理事務 道路台帳補正及び境界査定委託を実施し、道路の台帳及び境界を適正に管理した。 (単位：円)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
委託金額		40,340,760	33,489,793	37,851,000	30,672,400
					26,165,700
3 道路・水路境界の確認及び確定事務（申請受付、現場立会い、境界確認証明書の交付） 境界確認申請に基づき、査定事務を停滞なく処理した。 (単位：件)					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
申請件数		402	382	488	427
					488
4 法定外公共物等の用途廃止に関する事務 法定外公共物等用途廃止に係る申請について書類を迅速に審査するとともに、法定外公共物等用途廃止検討委員会を開催し、法定外公共物等の用途廃止について適正に処理を行った。					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催回数（回）		1	6	3	3
処理件数 （件）	道 路	3	21	11	7
	水 路	0	5	4	2
					12
					5

5 屋外広告物の簡易除却

違法な屋外広告物の除却を定期的実施し道路景観が改善された。

除去回数 及び件数		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	回数 (回)	1	1	1	1	1
	件数 (件)	78	20	17	35	21

6 道路賠償責任保険料

道路管理瑕疵による交通事故等について、速やかに現場を確認し保険会社へ事務手続きを開始することにより、適正に事務処理を行うとともに、道路交通に支障を来さないよう安全対策を実施した。

事故発生件数 及び保険金支 払額		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	件数 (件)	2	7	6	4	3
	金額 (円)	106,560	847,170	1,230,049	552,524	83,830

7 道路敷借上料

市道を適正に管理するため、市道敷地として使用している私有地に係る契約に基づき、土地賃借料を支払った。

件数及び 借上料		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	件数 (件)	19	19	19	18	18
	借上料 (円)	339,766	339,766	339,766	332,323	332,323

事業名		自転車歩行者道整備事業			5224-08	
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	0 円	11,000,000 円	
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	7,500,000 円	11,000,000 円	
目	02	道路維持費	決 算 額	462,000 円	9,839,500 円	
事業の目的		自転車の利用促進を図るため、既存道路の維持・改修を進めるとともに、自転車通行帯を設置するなど、自転車、歩行者、自動車が安全に通行するための環境整備を推進する。				
事業の概要		道路パトロール等により段差や損傷箇所を発見した際は、速やかに修繕を実施するとともに、通行の支障となっている街路樹や植栽の舗装転換を図り、良好な自転車環境を確保する。				
事業の実績・成果						
通行の支障となっている街路樹や植栽の伐採及び舗装転換を実施し、自転車環境の安全性と利便性の向上を図った。						
事業費等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	箇所数 (件)	—	—	—	2	1
	事業費 (円)	—	—	—	946,000	462,000
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 9,839,500 円						
○令和4年度から令和5年度へ繰越しを行った理由						
・加須地域（事業費 9,839,500 円） 市道 141 号は、3 月議会において補正予算を計上したが、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。						
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 7,000,000 円						
○令和5年度から令和6年度へ繰越す理由						
・騎西地域（繰越明許費 7,000,000 円） 市道 262 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。						

事業名		道路維持管理事業			5226-02	
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	155,169,000 円	277,058,000 円	
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	465,793,000 円	277,058,000 円	
目	02	道路維持費	決 算 額	217,565,270 円	238,440,700 円	
事業の目的		安全で快適な道路環境を作るため、加須市管理道路の維持を行う。				
事業の概要		道路パトロール、自治会や市民からの通報に基づき、直ちに修繕を行う。 幹線道路は、損傷度等から優先順位を付け計画的に修繕を行い、生活道路は、自治会等から要望が出された路線を「生活道路整備事業評価システム」により事業化する。				
事業の実績・成果						
道路の維持補修の実施により、市民の日常生活や交通などの安全を確保し、生活環境の改善を図った。						
○単価契約工事						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件 数 (件)		74	74	85	88	92
事業量 (㎡)		5,102	4,054	3,282	2,831	2,343
事業費 (円)		45,542,941	43,076,252	44,163,725	42,140,940	44,593,870
○舗装新設工事						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件 数 (件)		18	16	22	19	11
事業量 (㎡)		21,080	14,686	17,826	19,030	7,240
事業費 (円)		149,723,400	128,050,000	202,826,800	173,117,700	73,788,900
○業務委託						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件 数 (件)		45	39	40	47	44
事業費 (円)		37,947,805	38,595,806	44,540,121	45,580,359	47,924,537
○維持管理工事						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件 数 (件)		21	21	43	52	51
事業費 (円)		7,908,020	6,302,780	7,568,550	8,327,660	8,857,970
○道路照明灯 LED 更新工事						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
件 数 (基)		-	3	2	19	21
事業費 (円)		-	2,029,500	407,000	5,313,000	9,191,050
※水銀ランプからＬＥＤ灯具へ更新したもの						
○原材料費						
事業費 (円)		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
		10,242,380	9,765,730	10,059,650	9,301,710	11,448,363
○舗装率						
実績値 (%)		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
		69.9	69.9	70.0	70.1	70.3

【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 238,440,700 円

○令和4年度から令和5年度へ繰越しを行った理由

・加須地域（事業費 131,419,200 円）

市道 134 号線及び市道 138 号線は 12 月議会において補正予算を計上したが、工法の検討に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

市道 148 号線、市道 5382 号線及び市道 6264 号線は 3 月議会において補正予算を計上し、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

・騎西地域（事業費 40,663,000 円）

市道 301 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

市道 152 号線、市道 156 号線及び市道 260 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

・北川辺地域（事業費 21,715,000 円）

市道北 2357 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

市道 110 号線、市道北 1096 号線及び市道北 2070 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが、年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

・大利根地域（事業費 44,643,500 円）

市道 241 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、年度を跨いで早期完成を目指すため委託費、工事費の繰越しを行った。

市道大 1033 号線・1040 号線及び市道大 2096 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが年度を跨いで早期完成を目指すため、委託費、工事費の繰越しを行った。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 184,754,000 円

○令和5年度から令和6年度へ繰越す理由

・加須地域（繰越明許費 103,054,000 円）

市道 141 号線、市道 143 号線及び市道 232 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

市道 117 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、工法の検討に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費、工事費の繰越しを行った。

・北川辺地域（繰越明許費 30,200,000 円）

市道北 1192 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、工事完成までに期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。

市道北 106 号線、市道 206 号線及び市道北 2071 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度内の事業完了が困難となり工事費の繰越しを行った。

・大利根地域（繰越明許費 51,500,000 円）

市道 241 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、工法の検討に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費、工事費の繰越しを行った。

事業名		街路樹維持管理事業			5226-03	
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	62,736,000 円	—	
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	72,391,000 円	—	
目	02	道路維持費	決 算 額	71,214,035 円	—	
事業の目的		街路樹を適切に管理し、「安心・安全」および「良好な沿道環境」の確保を図る。				
事業の概要		街路樹の樹形調整及び樹勢維持のために適切な管理を行いながら、維持管理の方針に基づき問題の解決を図る。 ・高木基本剪定：2～3 年に 1 回実施 ・低木選定：毎年度実施（樹高 50～70 cm以下に剪定） ・薬剤散布：害虫の発生時に適宜実施 ・除草：年 2 回実施 ・支障街路樹の伐採、植樹帯の撤去 ・補植工事（枯死樹木の撤去箇所）				
事業の実績・成果						
市内幹線道路植樹帯の適正な維持管理を行い、快適な道路環境の整備を実施した。 安全な通行のため、街路樹の低木の高さを可能な限り高さを抑える剪定を行った。特に交差点付近では、乗用自動車の運転者の目線の高さに配慮した剪定を行い安全を確保した。 また、令和 5 年 7 月 11 日に発生した突風等による倒木被害を踏まえ、今後、同様の被害を未然に防止するため、倒木等の危険性のある樹木について緊急伐採を行った。						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
委託料（円）		41,665,115	42,317,745	45,930,144	46,976,017	70,618,935
工事費（円）		0	0	0	396,000	595,100
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
箇所数 （路線）	高木剪定	44	40	25	25	28
	低木剪定 及び除草	40	40	53	53	53
	薬剤散布	1	2	3	4	15
	補植工事	0	0	0	1	1

事業名		野中まちづくりプラン整備推進事業			5212-05
担当課		農政建設課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	11,350,000 円	4,402,800 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	10,425,000 円	4,402,800 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	8,112,798 円	3,263,305 円
事業の目的		野中土地区画整理事業から除外する区域約 22.8ha について、道路及び公園等の基盤施設の整備を推進し、安心・安全で良好な居住環境の形成を図る。			
事業の概要		「野中地区まちづくりプラン」に基づく 44 路線(延長約 5.0km)について、用地買収方式により道路整備(現道拡幅及び新設)を進める。			
事業の実績・成果					
安心・安全を基本に生活を支える道路等の基盤施設を充実し、良好な居住環境の形成を図った。 ・市道大 4231 号線外 2 路線道路詳細設計業務委託 1,375,000 円 ・市道大 4231 号線道路改良工事 6,710,000 円					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 3,263,305 円					
善定寺南側の宅地開発で部分的に整備された市道大 4231 号線外 2 路線の用地取得及び支障物件補償について、令和 4 年度から交渉を行い、令和 5 年度にすべての用地取得及び補償が完了した。					

事業名		国・県道整備促進事業		5221-01		
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	25,000 円	—	
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	25,000 円	—	
目	03	道路新設改良費	決 算 額	25,000 円	—	
事業の目的		加須市と他地域を結ぶ広域幹線道路である国県道の整備促進を図る。				
事業の概要		・ 国道 125 号バイパス建設促進期成同盟会で埼玉県に要望活動を行う。 ・ 県道久喜騎西線バイパス建設促進期成同盟会で埼玉県に要望活動を行う。 ・ 市内の国道、県道の整備促進を図るため、県との調整を図り、地元関係者との調整を行う。 ・ 国道 3 路線（バイパス整備 1 路線） ・ 県道 22 路線（バイパス整備 5 路線）				
事業の実績・成果						
・ 埼玉県と共に事業を推進している路線 一般国道 125 号加須羽生バイパス/都市計画道路国道 125 号加須バイパス 一般県道久喜騎西線バイパス/都市計画道路幸手久喜加須線、下高柳道地線 主要地方道羽生栗橋線バイパス/都市計画道路栗橋大利根加須線 一般県道加須幸手線バイパス/都市計画道路幸手鷲宮加須線 一般県道北中曽根北大桑線バイパス 主要地方道羽生外野栗橋線バイパス ・ 国道 125 号バイパス建設促進期成同盟会等負担金 国道 125 号バイパス、及び県道久喜騎西線バイパスの整備促進を図るため、埼玉県知事、道路県土整備部長及び地元選出県議会議員に対し、要望活動を行った。						
(単位：円)						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
負担金		10,000	10,000	10,000	29,000	25,000

事業名		利根川新橋建設促進事業			5222-01
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	20,000 円	—
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	20,000 円	—
目	03	道路新設改良費	決 算 額	20,000 円	—
事業の目的		加須市と板倉町を結ぶ利根川新橋の早期建設及び架橋に係る幹線道路の整備、並びに渡良瀬川新橋の建設を見据えた幹線道路の整備の実現。			
事業の概要		利根川新橋の建設に向け、関係自治体間の連携により関係機関への要望活動を行う			
事業の実績・成果					
加須・板倉利根川新橋建設促進協議会負担金 利根川新橋の建設促進を図るため、埼玉県及び群馬県に対し、要望活動を行った。 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
負担金	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000

事業名		幹線道路新設改良事業			5224-03	
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	197,000,000 円	10,887,000 円	
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	276,000,000 円	10,887,000 円	
目	03	道路新設改良費	決 算 額	14,050,600 円	7,665,330 円	
事業の目的		国県道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。また、渋滞緩和により環境への負荷を軽減させる。				
事業の概要		「加須市道路網整備計画」において整備計画路線として位置付けた幹線 1・2 級市道の整備を行う。				
事業の実績・成果						
道路の拡幅整備や構造改良等の実施により、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。						
○事業費等						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
箇所数（件）		27	21	9	3	8
事業費（円）		64,973,073	37,239,184	3,037,743	9,592,000	14,050,600
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 7,665,330 円						
○令和 4 年度から令和 5 年度へ繰越しを行った理由						
・加須地域（事業費 625,330 円） 市道 249 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、支障物件の移転に期間を要し、年度内の完了が困難になり土地購入費及び物件補償費の繰越しを行った。						
・騎西地域（事業費 7,040,000 円） 市道 145 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが、工期が確保できず、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。						
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 257,084,000 円						
○令和 5 年度から令和 6 年度へ繰越す理由						
・加須地域（繰越明許費 236,700,000 円） 東武日光線第 148 号踏切拡幅（市道 101 号線）は、当初予算において予算を計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり負担金の繰越しを行った。 市道 144 号線は、6 月議会において補正予算を計上したが、土地所有者との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費の繰越しを行った。 市道 249 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、支障物件の移転に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。 市道 138 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費、工事費の繰越しを行った。 市道 101 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。						
・騎西地域（繰越明許費 18,800,000 円） 市道 145 号線は、国の補正予算により新たに予算措置されたが、履行期間が短く、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。						
・大利根地域（繰越明許費 1,584,000 円） 市道 123 号線は、6 月議会において補正予算を計上したが、測量設計において地元調整に期間を要したため工事発注が遅くなり、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。						

事業名		幹線道路側溝事業		5224-04	
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	0 円	43,600,000 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	24,000,000 円	43,600,000 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	7,979,900 円	36,885,200 円
事業の目的		側溝整備により、道路溢水対策を図るとともに、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。			
事業の概要		幹線1・2級市道のうち、交通安全上危険な箇所、溢水箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、検証し事業化する。			
事業の実績・成果					
道路に側溝等を設置することにより、道路の溢水対策を図るとともに、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。					
○事業費等					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
箇所数(件)	3	10	9	1	4
事業費(円)	11,530,200	49,950,000	47,130,600	15,653,000	7,979,900
【前年度からの繰越事業(繰越明許)】 事業費計 36,885,200 円					
○令和4年度から令和5年度へ繰越しを行った理由					
・加須地域 (事業費 28,195,200 円) 市道 137 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に要する期間が確保できず年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。 市道 126 号線は、6 月議会において補正予算を計上したが、電柱移転及び地元調整に期間を要し年度内の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。 市道 228 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度内の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。					
・大利根地域 (事業費 8,690,000 円) 市道 217 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に要する期間が確保できず年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。					
【翌年度への繰越事業(繰越明許)】 繰越明許費計 15,800,000 円					
○令和5年度から令和6年度へ繰越す理由					
・加須地域 (事業費 9,300,000 円) 市道 126 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。 市道 228 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に要する期間が確保できず年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。					
・騎西地域 (繰越明許費 6,500,000 円) 市道 284 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に期間を要し、年度内の完了が困難になり工事費の繰越しを行った。					

事業名		生活道路新設改良事業		5224-05		
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	5,300,000 円	24,000,000 円	
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	46,545,000 円	24,000,000 円	
目	03	道路新設改良費	決 算 額	34,931,478 円	20,237,800 円	
事業の目的		幹線道路等への円滑な交通アクセスの確保、日常生活における生活道路の安全性及び交通の利便性の向上を図る。				
事業の概要		生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治協力団体等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。				
事業の実績・成果						
道路の拡幅整備や構造改良等の実施により、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。						
○事業費等						
		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
箇所数（件）		31	31	37	5	13
事業費（円）		74,599,253	48,138,308	51,661,763	25,938,000	34,931,478
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 20,237,800 円						
○令和４年度から令和５年度へ繰越しを行った理由						
・ 騎西地域（事業費 2,585,000 円） 市道騎 3399 号線は、３月議会において補正予算を計上したが、測量にかかる期間が確保できず、年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。						
・ 大利根地域（事業費 17,652,800 円） 市道大 1050 号線は、９月議会において補正予算を計上したが、地元調整に不測の時間を要し、年度内の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。						
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 5,000,000 円						
○令和５年度から令和６年度へ繰越す理由						
・ 加須地域（繰越明許費 5,000,000 円） 市道 5490 号線は、２月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。						

事業名		生活道路側溝事業			5224-06
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	0 円	29,200,000 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	31,000,000 円	29,200,000 円
目	03	道路新設改良費	決 算 額	5,443,000 円	24,948,000 円
事業の目的		側溝整備により、道路洪水対策を図るとともに、道路幅員を有効活用し、歩行者の安全確保及び通行の利便性を図り、市内の道路交通網の充実を図る。			
事業の概要		生活道路のうち、交通安全上危険な箇所及び自治協力団体等からの要望が出された路線について、「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。			
事業の実績・成果					
道路に側溝等を設置することにより、道路の洪水対策を図るとともに、市民の通行の安全性と利便性の向上を図った。					
○事業費等					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
箇所数（件）	15	21	6	7	3
事業費（円）	28,118,686	46,193,160	23,956,900	21,488,500	5,443,000
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 24,948,000 円					
○令和4年度から令和5年度へ繰越しを行った理由					
・加須地域（事業費 22,154,000 円） 市道 3391 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度内の完了が困難となり工事費の繰越しを行った。 市道 6028・6030 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが、測量に要する期間が確保できず、年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。 市道 7078 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に要する期間が確保できず年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。 市道 8034 号線は、3 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に要する期間が確保できず年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。					
・北川辺地域（事業費 2,794,000 円） 市道北 2013 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、測量設計に要する期間が確保できず、年度内の完了が困難となり委託費の繰越しを行った。					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 繰越明許費計 25,400,000 円					
○令和5年度から令和6年度へ繰越す理由					
・加須地域（繰越明許費 4,900,000 円） 市道 7078 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、工事に要する期間が確保できず、年度内の事業完了が困難となり工事費の繰越しを行った。					
・騎西地域（繰越明許費 3,500,000 円） 市道騎 3754 号線は、12 月議会において補正予算を計上したが、調査測量に要する期間が確保できず 年度内の事業完了が困難となり委託費の繰越しを行った。					

・北川辺地域（繰越明許費 11,500,000 円）

市道北 2013 号線は、9 月議会において補正予算を計上したが、地元調整や電柱移転に期間を要し年度内の事業完了が困難となり工事費、補償費の繰越しを行った。

・大利根地域（繰越明許費 5,500,000 円）

市道大 2257 号線は、6 月議会において補正予算を計上したが、地元調整に期間を要し、年度内の完成が困難となり工事費の繰越しを行った。

事業名		橋りょう維持改良事業			5225-03
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	107,500,000 円	39,159,162 円
項	02	道路橋りょう費	最終予算額	104,737,000 円	39,159,162 円
目	04	橋りょう新設改良費	決 算 額	98,502,475 円	39,158,900 円
事業の目的		市民が安全で安心して通行できる道路橋を確保するため、橋りょうの長寿命化及び耐震化という目的の違う 2 つの事業を実施することにより「防災のまちづくり」の実現を図る。			
事業の概要		平成 30 年度に改訂した「橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられた橋りょう（Ⅲ判定 47 橋、Ⅳ判定 6 橋）の長寿命化を行う。また、平成 24 年度に策定した「橋りょう整備計画」に位置付けられた耐震化 15 橋の進捗を図る。			
事業の実績・成果					
橋りょうの長寿命化を図るため橋りょう点検を行い健全度の評価を実施した。 また、長寿命化修繕設計及び工事を行い通行の安全性の向上を図った。					
○事業費等					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
箇所数（件）	77	196	214	204	274
・修繕設計（橋）	2	2	2	2	2
・修繕工事（橋）	2	2	2	2	2
・点検総数（橋）	73	192	208	200	268
うち職員点検数（橋）	0	0	111	200	138
事業費等（円）	54,733,800	80,458,400	65,853,146	31,695,740	98,502,475
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 39,158,900 円					
○令和 4 年度から令和 5 年度へ繰越しを行った理由					
・加須地域（事業費 39,158,900 円） 橋りょう点検は、当初予算において予算を計上したが、関係機関との調整に期間を要し、年度内の完了が困難になり委託費の繰越しを行った。[点検数：154 橋]					

事業名		県管理河川等整備支援事業			1216-01
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	245,000 円	—
項	03	河川費	最終予算額	245,000 円	—
目	01	河川総務費	決 算 額	227,060 円	—
事業の目的		市民を洪水から守るため、国、県及び土地改良区が管理する河川・水路の整備を促進する。			
事業の概要		各協会、同盟会等を通じて国、県へ河川・水路の整備促進の要望活動を実施。			
事業の実績・成果					
事業を推進するために必要な経費の一部を、埼玉県河川協会、五県連合利根川上流改修促進期成同盟会、利根川治水同盟、中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会、埼玉県治水協会、一級河川中川（上流域）改修事業整備促進期成同盟会及び青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会へ負担し、国等に要望活動を実施した。 ・埼玉県河川協会 治水及び利水に関する方策を研究し、河川事業の促進等を図るため、埼玉県県土整備部河川砂防課に事務局を置き、各県土整備事務所に支局を置き円滑な河川事務に当たる。 ・五県連合利根川上流改修促進期成同盟会 河川改修工事を促進し、治水利水事業の完璧を期するため、治水事業に伴う利根川上流河川事務所管内関係各市町及び関係団体で同盟会を組織する。 Web 会議にて、国土交通省、関東地方整備局に対し、令和 5 年 10 月 24 日に要望活動を行った。 ・利根川治水同盟 利根川の治水及び利水に関する方策を研究するとともに天災を防止するため、事業に関係を有する公共団体及び公営企業団体で同盟会を組織する。 令和 5 年 8 月 4 日、第 73 回利根川治水同盟治水大会（栃木県宇都宮市）に参加した。 ・中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会 中川・綾瀬川流域の国直轄工事及び中川・綾瀬川流域の各河川の改修工事の促進を図るため、県及び関係市町で同盟会を組織する。 令和 5 年 5 月 29 日、令和 5 年度総会を「パストラルかぞ」において、国会議員及び県議会議員、国土交通省、埼玉県、市町長、市町議長等の来賓が臨席し開催した。 国会議員や関係省庁に対し、令和 5 年 8 月 24 日に要望活動を行った。 ・青毛堀川改修事業整備促進期成同盟会 青毛堀川改修事業の促進を図るため、加須市、久喜市の首長、議会議長及び関係部長で同盟会を組織する。 埼玉県知事や関係当局に対し、要望活動を令和 5 年 11 月 16 日に行った。 ・一級河川中川（上流域）改修事業整備促進期成同盟会 中川改修事業の促進を図るため、羽生市、加須市、久喜市並びに幸手市の首長、議会議長で同盟会を令和 2 年 8 月に設立した。 埼玉県知事や関係当局に対し、要望活動を令和 5 年 11 月 16 日に行った。 ・利根川上流河川利用者協議会 利根川上流河川事務所管内の河川美化の推進、計画的高度利用、改修事業の促進を図るため、利用者相互の連絡調整を行い、河川の適正な利用を図ることを目的として、管内市区町村、各種利用団体で協議会を組織する。（会長：加須市長） 令和 5 年度の渡良瀬遊水地クリーン作戦は雨天のため中止となった。					

事業名		旧川浚渫推進事業			1217-04
担当課		農政建設課（北川辺）		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	100,500,000 円	—
項	03	河川費	最終予算額	100,500,000 円	—
目	02	河川改良費	決 算 額	52,932,000 円	—
事業の目的		国の新設した緊急浚渫推進事業債（令和 2 年度～令和 6 年度）を活用し、旧川に堆積している土砂を撤去（浚渫）する。			
事業の概要		緊急浚渫推進事業債を活用し、旧川に堆積した土砂の浚渫工事を実施する。現状の土砂堆積量等を調査測量し、浚渫土量及び浚渫工法の検討をし、土砂撤去工事を実施する。			
事業の実績・成果					
・ 令和 2 年度から国の緊急浚渫推進事業債を活用して、浚渫工事及び調査・設計等を実施した。					
○業務委託					
		旧川浚渫事業に伴う修正設計委託	495,000 円		
		旧川浚渫土砂土壌分析業務委託	484,000 円		
○浚渫工事					
		旧川浚渫工事（3 工区）	51,458,000 円		
		旧川浚渫工事（3 工区）に伴う付帯工事	495,000 円		
○事業費の推移					
		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
委 託 料（円）		14,980,000	2,145,000	495,000	979,000
工 事 費（円）		—	18,194,000	84,480,000	51,953,000
計（円）		14,980,000	20,339,000	84,975,000	52,932,000
浚渫土量		—	約 200 m³	約 8,800 m³	約 5,100 m³

事業名		雨水流出抑制対策事業（公共施設）			1217-11
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	20,000 円	—
項	03	河川費	最終予算額	20,000 円	—
目	02	河川改良費	決 算 額	3,000 円	—
事業の目的		雨水を一時貯留させ、河川や水路への流出を抑制し、洪水を防止することにより市民生活の安全を確保する。			
事業の概要		加須市洪水対策計画に基づき、公共施設（学校や公園など）の改修等に併せた雨水貯留施設設置を推進する。			
事業の実績・成果					
小学校、中学校、高校及び公園などにおいて、9,474 立方メートルが対策済みであり、引き続き公共施設での対策量の確保に向け、公共施設の改修時期に併せ、施設の機能を損なわない範囲での関係各課との協議を進め、設置を促進する。					
○令和6年3月31日時点における対策済施設及び対策量(m³)					
① 香林寺池風の子公園 : 1,209					
② 大利根中学校 : 1,677					
③ 県立不動岡高校 : 2,576					
④ 加須小学校 : 1,450					
⑤ 久下公園 : 546					
⑥ 騎西小学校 : 820					
⑦ こすもす保育園 : 810					
⑧ 水深小学校 : 39					
⑨ くさぶえ公園 : 347					
計 : 9,474					

事業名		利根川未来パーク推進事業		4212-07	
担当課		スーパーシティ推進課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	15,000 円	—
目	01	都市計画総務費	決 算 額	6,240 円	—
事業の目的		利根川周辺の多様な自然資源や機能を保全・活用して魅力的なまちづくりを推進する。			
事業の概要		未来館周辺の新たな拠点と既存の施設や資源のネットワーク化を図り、利根川流域で行われているまちづくりの取組を一体化することによって、地域の魅力と活力の向上を図る。			
事業の実績・成果					
○利根川周辺地域の魅力発信 「利根川かわら版」新春号を発行し、ホームページへの掲載、利根川周辺の公共施設に配架するなど利根川周辺地域の魅力発信に努めた。					
○野なか公園付近の道路植栽帯における植栽活動（おおごえ薔の会との協働活動）					
実 施 日		内 容			参加人数
令和5年 6月4日		マリーゴールド植栽			10 名
令和5年 11月5日		パンジー植栽			7 名

事業名		景観形成推進事業		4222-02	
担当課		スーパーシティ推進課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	26,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	26,000 円	—
目	01	都市計画総務費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		やすらぎとうるおいのある景観形成の推進を図る。			
事業の概要		・ 景観モデル地区において地域の特性にあった景観指針を策定する。 ・ 市民との協働による景観まちづくり事業を推進する。			
事業の実績・成果					
・ 景観モデル地区である水深地区の豊かな自然等の景観資源を保全、継承するため、「水深地区景観指針」に基づき、景観を活かしたまちづくりの一環として「下高柳憩いの場」の維持管理に努めた。 ・ 余剰品を活用し、新たに消耗品等（作業用品等）の支出を要しなかったため予算執行なし。					
○水深地区景観まちづくりの活動状況					
実 施 日		内 容			参加人数
令和5年 8月 2日		下高柳憩いの場の除草			4 名
令和5年 10月 18日		下高柳憩いの場の除草			4 名

事業名		都市計画事務事業			5211-01
担当課		スーパーシティ推進課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	2,815,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	2,777,000 円	—
目	01	都市計画総務費	決 算 額	1,823,917 円	—
事業の目的		地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、計画的な土地利用と市街地の整備を推進する。			
事業の概要		・都市計画法に基づく各種都市計画制度（開発許可事務を除く。）を運用する。 ・基礎的な地図資料となる都市計画基本図を作成し、都市計画情報を併せた行政資料を提供する。 ・政策的な課題について都市計画の観点から検討、解決する。			
事業の実績・成果					
○まちづくりの基礎となる各種都市計画の推進					
都市計画関係法令や市条例等に基づく、土地利用規制等の運用について、庁内関係課及び総合支所関係課と協議・調整を図り、必要に応じて都市計画審議会を開催するなど、都市計画決定手続等が円滑に進められた。					
○都市計画図及び全図等の提供					
・都市計画図、全図、都市計画基本図を販売した。					
都市計画図等の売払枚数（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）（単位：枚）					
本 庁		総合支所			合 計
		騎 西	北川辺	大利根	
86		0	5	0	91
・庁内各課の公共施設の計画・設計等で使用する基盤地図として、都市計画基本図の電子データを提供し、業務の効率化を推進した。					
○都市計画審議会の開催					
		開催日	内 容		
第 23 回		令和5年10月24日	・加須都市計画生産緑地地区の変更について ・「加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」第5条第1項第1号区域で指定する「予定建築物の用途」の追加について		
第 24 回		令和6年3月21日	・「加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」第5条第1項第1号の規定に基づく区域の指定等について ・「加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例」第3条第1項の規定に基づく区域の変更について		

事業名		土地利用推進事業			5211-03
担当課		スーパーシティ推進課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	7,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	7,000 円	—
目	01	都市計画総務費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、土地利用の方針に基づき、計画的な土地利用を推進する。			
事業の概要		「土地利用に係る市内連絡会議」を開催し、関係課と情報や課題を共有し、土地利用の計画的な推進に向けて調整・連携を図るとともに、県をはじめとする関係機関との協議を行う。			
事業の実績・成果					
・次の産業団地の整備に係る候補地区の公表や、加須市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例第5条第1項第1号区域（産業系12号区域）の指定等を行うため、土地利用に係る市内連絡会議を開催し、産業系ゾーンにおける土地利用推進を協議した。 ・図書等の購入を要しなかったため予算執行なし。 ○土地利用に係る市内連絡会議の開催回数 6回					

事業名		加須駅周辺まちづくり推進事業			5211-04
担当課		スーパーシティ推進課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	18,595,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	18,595,000 円	—
目	01	都市計画総務費	決 算 額	99,437 円	—
事業の目的		令和5年2月に策定した「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」に基づき、埼玉県済生会加須病院の立地を起爆剤とした加須駅周辺の新たなまちづくりを推進する。			
事業の概要		構想に掲げるまちづくりのコンセプトの実現に向けて、民間のノウハウを活用しながら実現性の高い事業展開を見据え、拠点施設の整備や新しい都市機能を具現化する基本計画を策定し、これを基に民間活力の活用による様々な都市機能の集積を図る事業化の取組を行政と民間との適切な役割分担のもと進める。			
事業の実績・成果					
第2次加須市総合振興計画のもと、「病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想」に掲げるコンセプトの実現に向けて、民間活力の導入を見据え基本計画を策定するなど、民間のノウハウを活用し以下の取組を行った。					
1 加須駅周辺の新たなまちづくり民間活力導入支援業務に係る委託契約の締結					
○履行期間 令和5年4月4日から令和6年3月29日まで					
○委託料 18,282,000 円					
○業務内容 優先的まちづくりゾーン基本計画の作成 一体的まちづくりゾーン基本計画の作成 簡易な事業提案や追加のサウンディング調査による民間事業者の意向等の把握 優先的まちづくりゾーンにおける事業予定者の公募に係る支援					
2 民間事業者からの簡易な事業提案					
○実施方法 事前提出の提案書について、意見や考え方などを対話形式で確認					
○実施日 令和5年4月13日、4月14日、4月20日の3日間					
○参加状況 9事業者（建設業2社、商工業3社、農業1社、医療・保健・福祉2社、その他1社）					
○確認項目 事業内容、事業方式、事業連携、事業展望、その他					
3 追加のサウンディング調査					
○実施方法 民間事業者の提案内容等の深掘りを目的に対話形式により適宜実施					
4 関係権利者説明会					
○実施日 令和5年5月31日、6月2日、6月4日の3日間で全4回					
○対象 優先的まちづくりゾーン及び一体的まちづくりゾーンにおける土地・建物の所有者					
○内容 構想の説明、土地活用の意向確認への協力をお願い					
5 土地活用の意向確認					
○実施日 令和5年7月10日から7月24日					
○対象者 優先的まちづくりゾーン及び一体的まちづくりゾーンにおける土地の所有者					
○内容 土地活用についての協力に関する意向確認					
○方法 郵送で意向確認書を配布し、返信用封筒で回収					
6 優先的及び一体的まちづくりゾーンの基本計画策定に係る検討組織である推進本部（内部）及び推進懇話会（外部）での協議					
○実施日 推進本部（内部） 令和5年6月8日、8月17日、8月23日、10月19日、12月21日の計5回 推進懇話会（外部） 令和5年8月29日、10月31日の計2回					
7 優先的まちづくりゾーン基本計画（案）に対するパブリックコメント					
○募集期間 令和5年9月13日から10月4日まで					
○意見数 12件（7人）					

8 一体的まちづくりゾーン基本計画（案）に対するパブリックコメント

○募集期間 令和5年11月15日から12月6日まで

○意見数 15件（8人）

9 優先的まちづくりゾーン基本計画の策定

○策定日 令和5年11月15日

10 関係権利者説明会

○実施日 令和5年11月22日、11月24日、11月26日の3日間で全3回

○対象 優先的まちづくりゾーンにおける土地・建物の所有者

○内容 優先的まちづくりゾーン基本計画の説明、基本計画に基づくまちづくりの推進に係る同意取得への協力をお願い

11 埼玉版スーパー・シティプロジェクトにエントリー

○実施日 令和6年1月30日 ※埼玉県知事記者会見により発表

○対象 病院を核とした加須駅周辺の新たなまちづくり構想におけるまちなかにぎわい創出ゾーン

○内容 対象エリア内において市が検討したい取組について、事業化に向け県と連携して推進を図るため、県のプロジェクトにエントリーした（エントリーシートを提出）

12 スケジュールの見直し

①優先的まちづくりゾーン

事業予定者の公募に向けて具体的な検討を進めるにつれて見えてきた様々な課題は、事業予定者の公募に大きく影響することから、市議会からの要望への対応も含め、慎重に検討するため、スケジュールを見直すこととし、課題を一つ一つ精査

②一体的まちづくりゾーン

基本計画の策定に当たり、市議会からの要望への対応も含めスケジュールの見直しを検討

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 18,282,000円

・ 翌年度への繰越事業の内容

加須駅周辺の新たなまちづくり民間活力導入支援業務（18,282,000円）

・ 令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由

事業予定者の公募に係るスケジュールの見直しに伴い、年度内での委託業務の完了が困難となったため。

事業名		土地開発基金事業			5211-06
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	61,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	12,000 円	—
目	01	都市計画総務費	決 算 額	11,122 円	—
事業の目的		公用若しくは公共用に供する土地又は公共の利益のため、あらかじめ土地を取得することにより、事業の円滑な執行を図る。			
事業の概要		・必要に応じ土地取得の財源とする。 ・基金の運用収益から生じる歳入歳出を管理する。			
事業の実績・成果					
・ 土地開発基金の運用から生じた収益（利子）について、同基金へ積み立てた。 また、同基金の周知を図り、各事業が円滑に遂行されるよう事業用地の取得に活用する。					
【年度末基金残高の推移】			(単位：円)		
	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
取り崩し額	0	0	0	0	0
積み立て額	0	0	0	0	0
利 子	21,153	4,492	4,500	8,729	11,122
年度末残高	485,693,530	485,698,022	485,702,522	485,711,251	485,722,373
うち現金	451,361,653	451,366,145	438,670,645	438,679,374	422,677,084
うち債権	0	0	12,700,000	12,700,000	28,439,402
うち土地	34,331,877	34,331,877	34,331,877	34,331,877	35,127,191
※ 市道 123 号線用地の取得に向けて、地権者に対し、令和３年度に前払金 12,700,000 円及び令和５年度に移転補償金 15,739,402 円を支払い済み。					
※ 市道 249 号線用地について、令和５年度末に所有権移転等の登記が完了しているが、未払である。 令和６年度に移転補償金と併せて、用地代 521,304 円支払予定。					

事業名		開発許可等事務事業			5212-01	
担当課		建築開発課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	720,000 円	—	
項	04	都市計画費	最終予算額	720,000 円	—	
目	01	都市計画総務費	決 算 額	519,901 円	—	
事業の目的		地域住民や開発事業者等の理解や協力の下、計画的で良好な住環境の形成を推進する。				
事業の概要		・都市計画法に基づく開発許可申請等について、適正な審査を行う。 ・加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づく事前協議について、適正な指導を行う。				
事業の実績・成果						
1 都市計画法及び加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づき、適正な指導及び審査を行ったため、住みよいまちづくりを推進できた。						
(1) 開発許可等申請件数の推移			(単位：件)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開発行為許可		136	108	167	165	153
開発行為変更許可		72	66	70	94	79
予定建築物等以外の建築等許可		10	8	7	9	9
建築行為許可		13	20	12	15	10
地位承継		0	1	5	3	2
適合証明		374	360	443	418	434
開発登録簿写し		180	230	265	246	272
合 計		785	793	969	950	959
(2) 開発許可件数の推移			(単位：件)			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
専用住宅		107	77	121	132	133
共同住宅等		8	17	17	16	11
併用住宅		1	0	1	1	0
店 舗		2	3	5	4	3
その他の建築物		16	11	15	11	8
合 計		134	108	159	164	155
(3) 市街化調整区域の開発許可件数の推移			(単位：件)			
許可件数のうち法第34条該当号別		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
第 1号【日常生活に必要な店舗等】		2	1	1	1	2
第 4号【農林漁業用施設】		0	0	0	0	0
第 7号【既存工場の関連施設】		1	0	0	0	0
第 9号【沿道サービス】		1	0	2	2	0
第10号【地区計画の区域】		0	0	0	0	0
第11号【集落区域の指定】		78	75	110	126	120
第12号【既存集落区域の指定等】		31	17	30	18	20
第14号【開発審査会】		0	1	0	0	0
合 計		113	94	143	147	142
令和5年度許可 市街化区域内：12件 市街化調整区域内：142件 非線引区域：1件						
住宅戸数 市街化区域：29戸（内、分譲29戸）						
市街化調整区域：406戸〔第11号：389戸、第12号：17戸〕（内、分譲329戸）						
2 小規模な開発公園の設置を抑制するため、都市計画法令に基づき、開発行為に係る公園等の設置基準を緩和する条例改正を行った。（公布日 令和5年12月13日、施行日 令和6年4月1日）						
【公園等の設置が必要となる開発区域面積 改正前 0.3ha→改正後 1.0ha】						

事業名		駅前広場維持管理事業			5226-05
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	14,000,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	14,234,000 円	—
目	02	街路事業費	決 算 額	13,492,746 円	—
事業の目的		駅前広場を安全かつ快適に利用できるように管理し、環境の維持、向上を図る。			
事業の概要		駅前広場内にある各施設（歩車道、植栽、公衆トイレ、照明灯等）を適正に管理する。 ・対象となる駅前広場 5 箇所（加須駅北口、加須駅南口、花崎駅北口、花崎駅南口、新古河駅西口） ・水銀ランプ照明灯を計画的（計画期間 5 か年：令和 4 年度から令和 8 年度）に L E D 照明灯に交換する。対象の駅前広場：加須駅北口、花崎駅北口、南口			
事業の実績・成果					
加須駅、花崎駅及び新古河駅（西口）駅前広場利用者の安全性及び快適性を確保するため、駅前広場施設の修繕や駅前公衆トイレの清掃等の維持管理を行った。 施設に起因する事故はゼロで清潔な環境を維持できた。					
1 駅前広場の概要					
・加須駅北口駅前広場 4,217 m ²					

事業名		市の木サクラ普及事業			5133-11
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	21,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	21,000 円	—
目	03	公園費	決 算 額	20,999 円	—
事業の目的		市の木「サクラ」が市民生活と結びつき、加須市の象徴として市民に末永く愛され、親しまれる木として市内全域の普及に努め、併せて市民と行政との協働によるまちづくりの推進を図る。			
事業の概要		・市の木の市内における見どころを関係課等と連携して整備、紹介する。 ・関係課等と連携して、公共施設へ市民との協働により市の木の植樹を推進する。			
事業の実績・成果					
市内各所の開花状況を市のホームページに掲載する「桜」見所マップで周知を図るとともに、植樹の要望があった団体（南町四区町内会）に苗木を配布し、市民と行政の協働により事業の普及、推進を図った。					
1 植樹の概況					
植樹を実施した場所		松ぼっくり遊園地			
苗植樹を実施した団体		南町四区町内会			
消耗品					
・サクラ苗木		17,699 円			
・植樹杭		3,300 円			
2 市のホームページ（開花状況など）を更新した回数				1 回	
3 市公共施設に植樹された桜の本数		4,862 本（令和6年3月31日現在）			

事業名		公園整備事業		5231-01	
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	12,978,000 円	5,463,000 円
項	04	都市計画費	最終予算額	36,210,000 円	5,463,000 円
目	03	公園費	決 算 額	25,963,944 円	5,203,000 円
事業の目的		公園ごとの魅力や特色を活かした公園を整備し、利用の促進を図る。			
事業の概要		・ 市民と協働により、利用者のニーズに即した4つの公園形態（①スポーツ・健康づくり型、②遊び型、③自然・文化・歴史型、④コミュニティ・広場型）に分類した公園を、それぞれの機能に応じた整備を実施する。 ・ 老朽化している遊具等、公園施設の点検結果などを踏まえ撤去・設置・修繕等を行う。			
事業の実績・成果					
市民の憩いの場、レクリエーションの場として、市民が快適に利用できるよう公園内の老朽化した遊具の撤去・設置工事を行った。公園内の安全を維持した結果、施設に起因する事故はゼロであった。					
1 土地借上（1 件） 143,644 円 ・ 市民運動公園用地借上面積 1,015 m ²					
2 委託(1 件) 473,000 円 ・ 豊野台緑地4改修工事設計業務委託					
3 工事(3 件) 25,347,300 円 ・ いちょう公園遊具設置工事 ・ 田ヶ谷サン・スポーツランドトイレ改修工事 ・ 豊野台緑地4改修工事及び付帯工事					
4 都市公園の現況調査					
		都市公園数	公園面積（ha）	増加の理由	
令和元年度		133	138.6		
令和2年度		134	139.4	スケートパークの追加	
令和3年度		374	167.1	公園の再編	
令和4年度		346	169.8	公園の新設・統合・廃止	
令和5年度		350	170.0	公園の新設・統合・廃止	
※ 都市公園数および面積は、各年度4月1日に告示した数値を記載。					
※ 県営加須はなさき公園を含む					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 事業費計 5,203,000 円					
○令和4年度から令和5年度へ繰越しを行った理由					
騎西地域（事業費 5,203,000 円） 令和4年度 田ヶ谷サン・スポーツランドトイレ改修工事設計業務委託【3 補】（1,463,000 円） 設計図書完成に期間を要したため。 令和4年度 騎西総合公園外木製ロープ柵改修工事【9 補】（3,740,000 円） 測量設計に期間を要し、年度内の工事完成が困難であったため。					

事業名		公園維持管理事業			5232-01
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	206,723,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	210,955,000 円	—
目	03	公園費	決 算 額	202,878,532 円	—
事業の目的		地域のニーズに即して再編した公園の適切な維持管理を図る。			
事業の概要		・公園内やトイレの清掃、樹木剪定、除草等を実施する。 ・職員や専門業者による遊具点検を実施する。 ・公園内の危険箇所や不良箇所を修繕する。 ・水銀ランプ照明灯を計画的（計画期間 5 か年：令和 4 年度から令和 8 年度）に L E D 照明灯に交換する。			
事業の実績・成果					
都市公園やその他公園内の安全性及び快適性を確保するため、遊具施設等の修繕、樹木の剪定・薬剤散布、トイレ施設の清掃等の維持管理を行った。事故はゼロで安全・清潔な環境を維持できた。					
1 光熱水費等					11,532,238 円
・電気料		7,860,877 円			
・水道料		2,979,145 円			
・下水道使用料		556,572 円			
・農業集落排水施設使用料		135,644 円			
2 修繕料（遊具・トイレ・水飲み場・ベンチ等の修繕、照明灯ランプの交換等）					19,346,578 円
3 都市公園緑地等公共施設の維持管理業務委託					156,129,312 円
・清掃、除草、薬剤散布等業務委託					
・樹木剪定等業務委託					
・スズメバチ駆除業務委託					
・遊具点検業務委託					
・公園等維持管理委託					
・施設等維持管理業務委託					
4 その他の維持管理費（消耗品、燃料、火災保険、浄化槽汲取り等）					12,151,409 円
○管理施設（公園、その他公園）の内訳					（単位：施設）
	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合 計
都市公園	212	42	50	45	349
県立公園	1	0	0	0	1
合 計	213	42	50	45	350
※ 都市公園数および面積は、各年度 4 月 1 日に告示した数値を記載。					
※ 県立公園については、加須はなさき公園多目的グラウンド内の簡易トイレを管理。					
○委託料の推移（令和 6 年 3 月 31 日現在）					（単位：円）
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
委託料	150,696,440	149,782,340	142,793,483	141,722,833	156,129,312

事業名		憩いの場整備事業			5231-03
担当課		スーパーシティ推進課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	15,000 円	—
目	04	緑化対策費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		こどもからお年寄りまで誰もが憩える場を提供することにより、市民間の交流を深めるとともに、環境保全意識の向上を図る。			
事業の概要		空地や公共スペースの一部などを有効活用し、地元住民と協働により身近な憩いの場として整備を行う。また、整備後の維持管理についても協働で行えるよう誘導する。			
事業の実績・成果					
・地元住民との協働で整備した「憩いの場」の維持管理を行うため、清掃や除草、草花等の植栽活動を実施した。 ・余剰品を活用し、新たに消耗品等（作業用品等）の支出を要しなかったため予算執行なし。 ○下高柳憩いの場（水深地区環境美化推進クラブ） ・除草作業等の維持管理活動（令和5年8月2日、10月18日） ○川口憩いの場（川口環境保全協力会） ・葛西用水路土地改良区の管理用地の一部をあじさい等の植栽により「憩いの場」として使用するための協定書を締結（毎年度実施）。 ・除草作業等の維持管理活動（通年）					

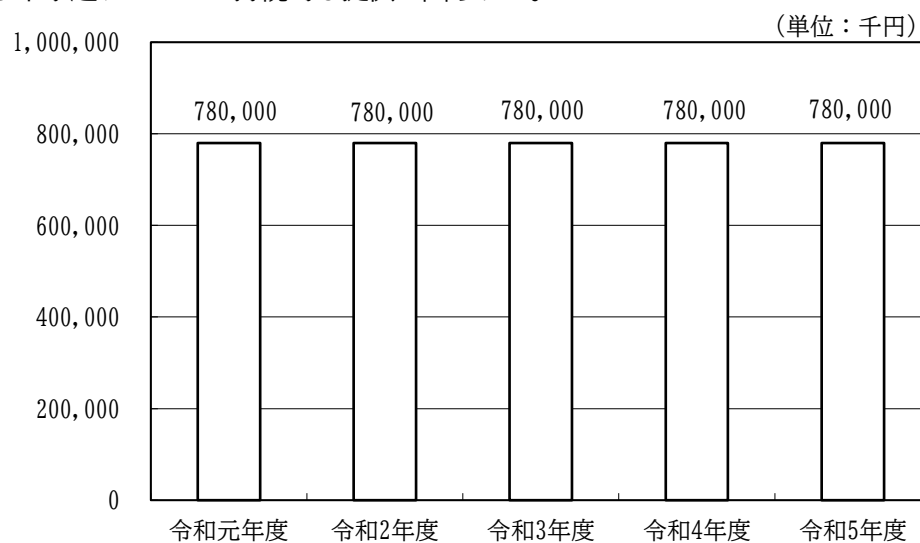
事業名		公園等サポーター推進事業			5233-01
担当課		道路公園課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	60,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	60,000 円	—
目	04	緑化対策費	決 算 額	59,932 円	—
事業の目的		市民の身近な緑の保全・創出・活用を図る。			
事業の概要		自治協力団体など、様々な担い手で構成する花植えや除草など公園管理をボランティア活動で行っていただく「公園サポーター」の維持管理を促進し、また小規模公園等の利用の活性化を図り、協働による維持管理を推進する。			
事業の実績・成果					
ポケットパーク、野なか公園等の花壇に草花の植栽を行い、訪れる市民の皆様に潤いや安らぎを提供した。					
○草花の植栽実績					
種 類		マリーゴールド (株)	パンジー (株)	葉ボタン (株)	
数 量		240	221	20	

事業名		野中土地区画整理事業特別会計繰出事業			5212-04
担当課		農政建設課（大利根）		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	106,200,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	103,000,000 円	—
目	05	土地区画整理費	決 算 額	103,000,000 円	—
事業の目的		住み良い快適な居住環境の創造と、宅地の利用増進を図る。			
事業の概要		国庫支出金や保留地処分金等による区画整理事業の事業費の不足分を補うため、特別会計に資金を繰り出す。 また、水道管布設工事の一部を一般会計で負担するとともに、県用地（島中幹線用水路）の一部を取得する。			
事業の実績・成果					
・野中土地区画整理事業の推進を図るため、道路等の整備、公債費（土木費）の償還、除草業務に係る経費等について、一般会計から野中土地区画整理事業特別会計へ繰り出した。 また、令和 5 年度の水道管布設工事の負担金については、区画整理事業の工事施工範囲において、水道工事を実施しなかったため工事負担金はなかった。					

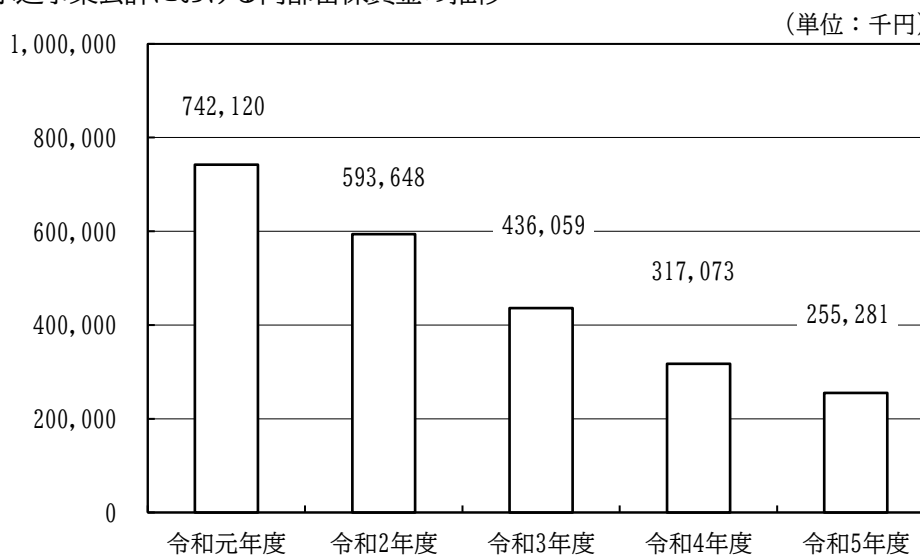
事業名		公共下水道事業会計繰出事業			4421-12
担当課		下水道課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	780,000,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	780,000,000 円	—
目	06	公共下水道費	決 算 額	780,000,000 円	—
事業の目的		公共下水道事業経営に必要な資金を措置し、事業運営の安定化を図ることにより、下水道サービスを持続的に提供する。			
事業の概要		第3次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）により試算した収支計画に基づき、適正な繰出金を措置する。			
事業の実績・成果					

1 下水道事業会計繰出金の推移

第3次加須市公共下水道事業中期経営計画（経営戦略）に基づいた繰出金により、事業経営の健全化及び下水道サービスの持続的な提供が図られた。



2 下水道事業会計における内部留保資金の推移



※内部留保資金：減価償却費など現金の支出が伴わない経費により蓄積された資金や積立金などの利益剰余金であり、企業内部に留保されている資金のこと。

事業名		雨水排水対策事業		1217-01	
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	15,000,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	15,000,000 円	—
目	07	都市下水路費	決 算 額	11,935,000 円	—
事業の目的		溢水や浸水被害を防止するため、溢水箇所などの流域を含めた広域的な視点による整備に努める。			
事業の概要		溢水対策計画に基づき、溢水被害箇所の水系ごとに、排水路の改修や道路冠水箇所の道路嵩上げ、排水ポンプ等の設置を行う。			
事業の実績・成果					
溢水対策計画に基づく水路改修や道路嵩上げなどの対策工事を実施するための進捗が図られた。					
委託実施場所					
加須地域 礼羽地内において、1号水路堰の改修工事を実施した。					
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	0	1,133,000	0	489,500	0
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
工事費	5,500,000	4,800,000	7,029,000	0	11,935,000

事業名		市街地排水路維持管理事業			1217-07
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	27,781,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	27,778,000 円	—
目	07	都市下水路費	決 算 額	25,002,415 円	—
事業の目的		市街地における集中豪雨等による浸水被害の解消を図る。			
事業の概要		排水機場の計画的なポンプ設備の修繕や保守点検。 市街化区域内を流れる市管理水路の維持管理（雑草刈払、浚渫、転落防止柵）			
事業の実績・成果					
排水路の維持管理（雑草刈払、浚渫、転落防止柵改修）により、雨水の水路機能が向上し、溢水被害の改善が図られた。					
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料	16,472,976	17,118,920	14,715,076	16,863,275	18,954,492
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
工事費	0	4,400,000	0	495,000	495,000

事業名		洪水時緊急対策事業			1217-13
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	1,284,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	1,284,000 円	—
目	07	都市下水路費	決 算 額	1,101,845 円	—
事業の目的		市民との協働により洪水に伴う被害の軽減を図る。			
事業の概要		加須市洪水対策計画に基づき、集中豪雨や台風等において、洪水被害を最小限にとどめるため、水防用土のうの作成、運搬をおこなう。また、水防情報システム（水防協力員）によりバリケード等を設置するため地元の協力者へ依頼している。			
事業の実績・成果					
・集中豪雨や台風による洪水が発生した場合に、正確な情報を早期に把握することが大切という観点から、道路冠水や家屋の浸水被害が多発している 14 地区について、35 名の周辺住民の協働の連絡体制（平成 21 年度から継続）を構築し、洪水被害の軽減を図った。					
水防協力員配置地区（自治協力団体）： 大桑第 1 区、久下 1 丁目、礼羽第 1 区、大桑第 3 区、土手町内会、花崎 1 丁目、下高柳地区、三俣第 3 区、三俣第 4 区、中央 1 丁目、正能 2 区、小野袋地区、北下新井上地区、新川通下地区					

事業名		調整池維持管理事業（市街化区域）			1217-05
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	27,513,000 円	11,220,000 円
項	04	都市計画費	最終予算額	60,073,000 円	11,220,000 円
目	08	環境整備費	決 算 額	23,956,571 円	11,176,000 円
事業の目的		市街化区域にある調整池の維持管理を適正に行い、排水区域の水害を防止する。			
事業の概要		洪水被害の発生を抑えるため施設の保守点検・計画的な機器修繕及び調整池内の雑草刈払を実施する。			
事業の実績・成果					
市街化区域内にある調整池の排水機場保守、雑草刈払い、修繕等を実施し、調整池の貯留、排水機能を保持した。					
・維持管理費の内訳					
加須地域					
		加須流通業務団地調整池	4,065,338 円		
		下高柳工業団地調整池（北・南側）	3,346,320 円		
		川口調整池	4,012,003 円		
		花崎北調整池	4,070,000 円		
		三俣調整池	1,375,991 円		
		加須大利根工業団地調整池	990,000 円		
騎西地域					
		藤の台工業団地調整池	3,610,282 円		
		新道上調整池	224,663 円		
		騎西調整池	19,241 円		
		あじさい調整池	133,378 円		
大利根地域					
		大利根ハイツ調整池	63,355 円		
		星子沼調整池	484,000 円		
		新利根調整池	1,562,000 円		
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】			11,176,000 円		
・ 前年度からの繰越事業の内容、及び令和4年度から令和5年度へ繰り越した理由					
加須地域					
		令和4年度 三俣調整池制御盤等更新工事【9補】	(11,176,000 円)		
資材の搬入に期間を要したため。					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】			32,560,000 円		
・ 翌年度への繰越事業の内容、及び令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由					
加須地域					
		令和5年度 下高柳工業団地調整池（南側）ポンプ設備更新工事【R5.9補】	(32,560,000 円)		
資材の搬入に期間を要したため、令和6年度へ繰越した。					

事業名		調整池維持管理事業（市街化調整区域）			1217-06
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	8,278,000 円	—
項	04	都市計画費	最終予算額	8,278,000 円	—
目	08	環境整備費	決 算 額	7,348,922 円	—
事業の目的		市街化調整区域にある調整池の維持管理を適正に行い、排水区域の水害を防止する。			
事業の概要		溢水被害の発生を抑えるため施設の保守点検・計画的な機器修繕及び調整池内の雑草刈払を実施する。			
事業の実績・成果					
市街化調整区域内にある調整池の排水機場保守、雑草刈払い、修繕等を実施し、調整池の貯留、排水機能を保持した。					
維持管理費の内訳					
加須地域					
開発行為調整池					
（不動岡、北小浜、水深、下高柳 1、下高柳 2）				2,390,571 円	
志多見ミニ工業団地調整池				495,000 円	
騎西地域					
騎西城南産業団地調整池				2,481,032 円	
騎西総合公園多目的広場調整池				152,170 円	
上崎調整池				16,812 円	
種足野通川調整池				458,582 円	
大利根地域					
加須 I C 東地区産業団地調整池				1,354,755 円	

事業名		市営住宅管理運営事業			5212-06
担当課		建築開発課		現 年	前年度からの繰越
款	08	土木費	当初予算額	25,085,000 円	—
項	05	住宅費	最終予算額	25,085,000 円	—
目	01	住宅管理費	決 算 額	25,051,140 円	—
事業の目的		低額所得者に低廉な家賃で住宅を供給する。 市営住宅（161 戸）の適切な維持管理を行う。			
事業の概要		・市営住宅 161 戸(秋葉団地:58 戸、三俣団地:28 戸、天沼団地:57 戸、下崎住宅:8 戸、北川辺住宅 10 戸)の入居管理、施設維持管理を埼玉県住宅供給公社への管理代行委託により行う。 ・北川辺住宅、下崎住宅については、耐用年数を経過し老朽化していることから全戸退居後、解体を予定している。			
事業の実績・成果					
低額所得者にセーフティーネットとして住宅を供給するとともに、市営住宅の良好な居住環境を維持し、低額所得者の住生活の安定を図った。					
1 管理戸数：161 戸（秋葉団地：58 戸、三俣団地：28 戸、天沼団地：57 戸、下崎住宅：8 戸、北川辺住宅：10 戸）					
2 定期公募：2 回（6 月募集：4 戸募集 3 戸入居、12 月募集：3 戸募集 1 戸入居）					
3 随時募集：定期公募で入居がなかった住戸を対象に随時募集（延べ 15 戸の内 6 戸入居）					
4 入居状況（令和 5 年度末現在） （単位：戸）					
区 分		入居戸数	令和 5 年度中入居	令和 5 年度中退去	備 考
秋 葉 団 地		43	6	3	空き 15 戸
三 俣 団 地		26	1	2	空き 2 戸
天 沼 団 地		53	3	5	空き 4 戸
下 崎 住 宅		6	－	0	政策空家 2 戸
北川辺住宅		3	－	1	政策空家 7 戸
合 計		131	10	11	空き 21 戸 政策空家 9 戸
（下崎住宅と北川辺住宅は耐用年数を経過して老朽化しているため、新規募集を行っていない。）					
※市営住宅の家賃、駐車場使用料は、市営住宅使用料収納対策事業（ゼロ予算事業）に掲載。					

事業名		小集落改良住宅管理運営事業			5212-08	
担当課		建築開発課		現 年	前年度からの繰越	
款	08	土木費	当初予算額	1,505,000 円	—	
項	05	住宅費	最終予算額	1,505,000 円	—	
目	02	小集落改良住宅管理費	決 算 額	849,662 円	—	
事業の目的		歴史的、社会的理由から整備が遅れた地域の住環境を整備する。				
事業の概要		小集落改良住宅 28 戸の入居管理、施設維持管理を行う。また、家賃収納業務を行う。				
事業の実績・成果						
歴史的、社会的理由から整備が遅れた地域の小集落改良住宅の入退居管理・施設維持管理を行い、当該地域の住生活の安定を図った。						
1 管理戸数：28 戸（加須市志多見地内）						
2 入居状況（令和 5 年度末現在） （単位：戸）						
区 分		入居戸数	令和 5 年度中入居	令和 5 年度中退去	備 考	
小集落改良住宅		19	0	0	政策空家 9 戸	
（耐用年数を経過して老朽化しているため、新規募集を行っていない。）						
3 家賃収納状況 （単位：円）						
区 分		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
調定額	現年度	663,400	684,000	684,000	684,000	684,000
	過年度	1,596,000	1,485,000	1,407,000	613,000	519,000
	計	2,259,400	2,169,000	2,091,000	1,297,000	1,203,000
収納額	現年度	564,400	654,000	657,000	684,000	684,000
	過年度	210,000	108,000	821,000	94,000	93,000
	計	774,400	762,000	1,478,000	778,000	777,000
収納率 （％）	現年度	85.08	95.61	96.05	100.00	100.00
	過年度	13.16	7.27	58.35	15.33	17.91
	計	34.27	35.13	70.68	59.98	64.58

事業名		埼玉東部消防組合運営事業			1331-01
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	1,470,297,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	1,470,297,000 円	—
目	01	常備消防費	決 算 額	1,470,297,000 円	—
事業の目的		埼玉東部消防組合の消防・救急活動により、災害や事故から住民の生命、身体及び財産を守る。			
事業の概要		加須市、久喜市、幸手市、白岡市、宮代町及び杉戸町の消防に関する事務を共同処理するため、埼玉東部消防組合を運営する。【埼玉東部消防組合実施】			
事業の実績・成果					
埼玉東部消防組合運営等に係る加須市分の負担金を支出した。					
○埼玉東部消防組合運営負担金（常備分）：1,469,517,000 円 埼玉東部消防組合運営費（共通経費分）に係る負担金					
○埼玉東部消防組合負担金（非常備分）：780,000 円 加須市女性防火クラブ負担金、加須市危険物防火安全協会負担金					
【火災・救急】埼玉東部消防組合加須市内出動件数（1 月 1 日～12 月 31 日）（単位：件）					
	令和元年中	令和 2 年中	令和 3 年中	令和 4 年中	令和 5 年中
火災件数	49	43	40	47	77
救急件数	5,115	4,502	4,737	5,911	6,230
資料提供：埼玉東部消防組合					
【火災件数の内訳】（1 月 1 日～12 月 31 日）（単位：件）					
	令和元年中	令和 2 年中	令和 3 年中	令和 4 年中	令和 5 年中
建 物	25	16	13	19	32
車 両	5	4	4	4	7
その他	19	23	23	24	38
合 計	49	43	40	47	77
資料提供：埼玉東部消防組合					

事業名		消防団活動事業			1333-01	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	87,458,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	84,676,000 円	—	
目	02	非常備消防費	決 算 額	78,211,225 円	—	
事業の目的		地域における消防防災のリーダーとして地域に密着し、市民の生命財産の保護及び安全安心なまちづくりを推進する。				
事業の概要		消防・自主防災訓練や警戒等による消防防災活動に対する支援、機材・器具等の保守及び更新を行う。 消防団活動のPRを行う。 円滑な消防団活動が行えるよう消防署との連携を図る。 総務省消防庁から配置された救助資機材搭載車両の活用を図る。				
事業の実績・成果						
加須市消防団員の資質向上に努め、火災防ぎょ・防火啓発活動、警戒活動など市民の安全安心の確保のために活動した。						
1 消防団員数の推移（3月31日時点）（単位：人）						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	消防団員数	430	422	420	416	400
	（女性消防団員数）	（11）	（11）	（11）	（11）	（9）
	（機能別団員数）	（20）	（20）	（19）	（18）	（19）
2 消防団活動状況						
(1)火災訓練等出動人員の状況（単位：人）						
		令和元年中	令和2年中	令和3年中	令和4年中	令和5年中
	火災・風水害	1,523	1,278	970	902	1,584
	演習・訓練等	7,562	5,434	5,745	6,551	6,308
	広報・指導	1,382	1,121	1,246	1,227	1,190
	特 別 警 戒	358	332	368	457	516
	そ の 他	355	347	331	357	378
	合 計	11,180	8,512	8,660	9,494	9,976
(2)機能別団員活動状況						
	日 程	事 業 名			参加者	
	令和5年5月3日	市民平和祭警戒			2名	
	令和5年10月18日	機能別団員辞令交付式			5名	
	令和5年11月19日	消防特別点検			4名	
	令和6年1月5日	消防出初式			2名	
	令和6年3月1日	春の火災予防運動啓発活動			2名	
	計				15名	
3 消防団第5分団詰所外部塗装修繕 980,320 円						
第5分団（志多見地区）詰所の外部塗装修繕を行った。						
4 消防団員の処遇改善						
令和6年4月1日から火災等で出動した消防団員に対して、新たに出動時間に応じて出動報酬を支給するため、3月議会において条例改正を行った。						

事業名		消防団特別活動事業			1333-02
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	2,020,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	1,956,000 円	—
目	02	非常備消防費	決 算 額	1,417,424 円	—
事業の目的		市民の生命、身体及び財産を災害から守るため。旺盛なる消防精神と厳粛なる規律を図り、消防団員の技能の熟達と士気を高める。			
事業の概要		消防特別点検や消防出初式において、消防団員の礼式や、ポンプ操法等を実施し、日ごろの成果を市長が点検し、有事に対し万全な体制を整える。 また、加須市民平和祭の雑踏警戒などに参加し啓発を図る。			
事業の実績・成果					
火災期を迎え団員の技能の熟達と士気を高めるため、加須市消防特別点検を加須市民運動公園において実施した。 また、新春初頭の恒例行事として消防出初式を実施し、全地域の自治協力団体代表、市議会議員、県議会議員、各団体の代表等を招待し、加須市全体としての防災意識の高揚を図った。					
1 消防特別点検					
(1) 実施日		令和5年11月19日（日）			
(2) 実施場所		加須市民運動公園			
(3) 参加機関		消防団・機能別団員・女性防火クラブ・埼玉東部消防組合消防音楽隊			
(4) 点検事項		服装規律の点検及び部隊訓練 分列行進（徒歩・車両） 機械器具の点検 ポンプ車操法			
2 消防出初式					
(1) 実施日		令和6年1月5日（金）			
(2) 実施場所		加須文化・学習センター「パストラルかぞ」駐車場			
(3) 参加機関		埼玉東部消防組合加須消防署・埼玉東部消防組合消防音楽隊・ 消防団・機能別団員・女性防火クラブ・加須鳶組合・埼玉県防災航空隊			
(4) 参加車両		消防署車両 8 台 消防団車両 22 台【救助資機材搭載型車両含む】			
(5) 実施内容		消防署による放水訓練 鳶組合による纏振り 市長巡閲 車両の観閲			

事業名		消防水利事業			1332-01	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	39,864,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	39,864,000 円	—	
目	03	消防施設費	決 算 額	39,847,000 円	—	
事業の目的		火災による被害の軽減を図るため、消防活動に有効な場所に消防水利を整備する。				
事業の概要		【消火栓】 ・ 埼玉東部消防組合で設置箇所を検討、水道課で事業執行。消火栓（開発等により民間から移譲された物も含む）の保守管理も水道課が実施。 【防火水槽】 ・ 埼玉東部消防組合により有蓋化箇所を市関係課と調整・検討し、有蓋化工事を実施。 ・ 防火水槽の維持管理も組合が実施。				
事業の実績・成果						
1 市内の防火水槽の維持管理、修繕等に関する埼玉東部消防組合への負担金を支出した。 ○埼玉東部消防組合負担金（非常備分）：14,415,000 円 防火水槽有蓋化：5 基						
2 市内の公設消火栓等水利施設の維持管理、修繕、新設工事に関する加須市水道事業への負担金を支出した。 ○消火栓維持管理負担金：6,849,000 円 ○消火栓新設工事負担金：6,150,000 円 ○消火栓修繕負担金： 12,433,000 円						
【年度別整備状況（公設・私設水利）】 埼玉東部消防組合加須消防署管内 （単位：箇所）						
種別 年度	消火栓	防火水槽	プール	池水	河川	計
令和元年度	2,253	1,063	36	16	89	3,457
令和2年度	2,265	1,075	36	16	89	3,481
令和3年度	2,283	1,072	36	16	89	3,496
令和4年度	2,294	1,101	36	18	89	3,538
令和5年度	2,306	1,104	36	18	89	3,553
資料提供：埼玉東部消防組合						

事業名		消防施設管理事業		1332-02	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	14,559,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	14,559,000 円	—
目	03	消防施設費	決 算 額	14,431,000 円	—
事業の目的		消防施設の適正な管理及び改善への調査や審議を行い、消防・防災体制を整える。			
事業の概要		北川辺・大利根分署耐震補強を目的とした大規模改修工事実施（平成 28 年度）に係る事業債元利償還金を支出する。			
事業の実績・成果					
北川辺・大利根分署耐震補強を目的とした大規模改修工事実施に係る事業債元利償還金を支出した。					
○埼玉東部消防組合特別負担金					
・大規模改修工事実施に係る事業債元利償還金：14,431,000 円					

事業名		消防施設整備基金事業			1332-05	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	1,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	1,000 円	—	
目	03	消防施設費	決 算 額	14 円	—	
事業の目的		消防・救急力の強化を図るため、消防施設・車両の整備を目的とした基金の管理・運用を行う。				
事業の概要		消防施設の整備等を目的とした経費に充てる財源のための基金へ積み立てる。 加須市消防車両整備費等の協力寄附金取扱要綱に基づく寄附金を受け入れる。 (中高層建築物の地上 5 階以上又は高さ 15m 以上の階の床面積の合計に 1 m ² 当たり 1,000 円を乗じて得た額を基準)				
事業の実績・成果						
消防施設整備等を目的とした経費に充てる財源のための利子を積み立てた。						
(単位：円)						
		令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
前年度末残高		915,152	1,015,100	1,515,109	1,515,122	1,515,136
決算年度中増減高		99,948	500,009	13	14	14
内 訳	寄附金	99,940	500,000	0	0	0
	利子	8	9	13	14	14
	繰入金	0	0	0	0	0
決算年度末現在高		1,015,100	1,515,109	1,515,122	1,515,136	1,515,150

事業名		利根川（右岸・左岸）及び渡良瀬川右岸の堤防強化対策事業			1211-01
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	11,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	11,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	6,600 円	—
事業の目的		利根川及び渡良瀬川の堤防の決壊による洪水被害を防ぎ、市民の安全・安心を確保する。			
事業の概要		国交省が実施している首都圏氾濫区域堤防強化対策、利根川左岸や渡良瀬川右岸の整備を促進するために、地域との連絡調整や進捗説明など、国と連携して実施する。			
事業の実績・成果					
○首都圏氾濫区域堤防強化対策の推進					
・関係機関との事業に係る各種協議・調整を実施					
・加須市区間進捗率 用地取得進捗率 約 98%、堤防強化延長進捗率 約 99%					
○利根川左岸並びに渡良瀬川右岸の堤防強化対策の推進					
・地域協議会の開催（令和 5 年 11 月 17 日）					
・利根川左岸堤防整備（嵩上げ）整備延長 約 5,680m、渡良瀬川右岸堤防整備延長 約 990m					
○渡良瀬遊水地の治水事業促進に関する要望活動					
・栃木市の主催により、渡良瀬遊水地に面する 4 市 2 町の首長が連名で、令和 5 年 10 月 4 日に利根川上流河川事務所（関東地方整備局）、国土交通省並びに治水議員連盟議員に要望した。					

事業名		災害対策情報収集室運営事業		1212-01	
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	25,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	25,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	8,210 円	—
事業の目的		利根川・渡良瀬川・荒川の洪水の危険性が高まった場合、災害対策情報収集室で適時・的確に情報を収集し、防災ラジオなどにより市民に正確な情報提供を行い、逃げ遅れゼロを目指す。			
事業の概要		広域避難に重点を置いた、避難情報の発令のための気象、河川水位等情報収集を行う施設の設置、運営			
事業の実績・成果					
【災害対策情報収集室運営実績】 ・令和5年5月12日、令和5年7月2日に総合水害広域避難訓練を実施。 ・台風が関東地方へ接近する5日前より災害対策情報収集室の運営を開始し、台風に関する情報を収集した。 ・避難情報発令の円滑化を図るため、令和5年4月28日に熊谷地方気象台を訪問し、情報共有の依頼と意見交換を行った。 ・熊谷地方気象台の「気象台オンライン解説」にWeb会議にて出席した。 ・熊谷地方気象台が開催した気象防災ワークショップ（風水害編）に参加した。					
【消耗品費】災害対策情報収集室で使用する文房具を購入した。8,210 円					

事業名		加須市・羽生市水防事務組合運営事業			1213-01
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	1,888,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	1,888,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	1,815,200 円	—
事業の目的		利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図る。			
事業の概要		加須市・羽生市水防事務組合の運営。 利根川・渡良瀬川の非常時を想定した水防計画の策定、水防工法訓練の実施、重要水防箇所の堤防巡視を実施。 ※加須市・羽生市水防事務組合議員数：17 名			
事業の実績・成果					
加須市・羽生市水防事務組合が計画する水防計画の見直しや、水防団員による堤防警戒等の水防活動を行い、利根川及び渡良瀬川の水防に万全を期した。 また、水防工法訓練を予定でしたが、梅雨前線の停滞及び台風の接近に伴い利根川の水位上昇が予測されたため、国や関係機関と調整した結果、中止となった。					
・加須市・羽生市水防事務組合負担金 1,680,000 円 (事務局 加須市) ・専任水防団員報酬 135,200 円(年額 5,200 円／人 専任水防団員数 26 名)					
その他の事業					
令和5年6月14日 堤防巡視(川俣出張所管内)を実施					
令和5年6月30日 堤防巡視(大利根・渡良瀬遊水地出張所管内)を実施					
令和5年7月28日 加須市・羽生市水防協議会を開催					
令和5年7月28日 令和5年第2回加須市・羽生市水防事務組合議会を開催					
令和6年3月25日 令和6年第1回加須市・羽生市水防事務組合議会を開催					

事業名		水防センター等管理運営事業			1213-02
担当課		治水課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	3,153,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	3,153,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	2,046,868 円	—
事業の目的		利根川及び渡良瀬川の洪水等による被害の軽減を図るため、地域水防団等の待機場所、国や市の現地対策本部として、迅速な水防活動の拠点施設を担う水防センターの適切な維持管理を行う。			
事業の概要		大利根水防センター及び合の川水防センターの維持管理を実施し、有事の際に備える。大利根水防センターの管理は大利根総合支所地域振興課、合の川水防センター管理は北川辺総合支所地域振興課で行っている。			
事業の実績・成果					
【合の川水防センター】					
洪水時の水防活動拠点である「合の川水防センター」の適切な管理を行い、市民の安心、安全な生活の確保に努めた。					
・合の川水防センター負担金 280,766 円					
※国土交通省利根川上流河川事務所との細目協定書に基づき支出。					
【内訳】					
・電気料 226,944 円					
・水道料 14,611 円					
・消防設備等点検 20,855 円					
・浄化槽点検 18,356 円					
【大利根水防センター】					
国土交通省関東地方整備局との共有管理部分であるトイレ、廊下、風除室の清掃を、公益社団法人加須市シルバー人材センターに委託することで常に清潔な状態が保たれ、来訪者の利用に際し好感度の向上が図られた。また、トイレ付帯施設の浄化槽点検清掃を行い適切な管理が図られた。					
・大利根水防センター施設管理負担 211,317 円					
※国土交通省利根川上流河川事務所との細目協定書に基づき支出。					
【内訳】					
・電気料 203,899 円					
・水道料 6,992 円					
・目的外排水 426 円					
・大利根水防センター清掃業務委託 499,058 円					
・浄化槽検査・保守点検等に係る手数料 385,900 円					
【北川辺栄水防拠点外】					
・栄水防拠点管理用道路外除草業務委託 669,827 円					

事業名		大規模水害広域避難対策事業			1214-01
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	1,491,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	956,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	914,800 円	—
事業の目的		大規模水害に対応するために、広域避難や緊急避難対策も含めた総合的な避難体制を構築する。			
事業の概要		地域防災計画に基づき、早めの広域避難対策を実施し、水害に備える。 また、広域避難の実効性を高めるとともに、市民へ避難方法等の普及を図り、避難情報発令の際に、迅速に行動ができるように日頃から備える。			
事業の実績・成果					
1 総合水害広域避難訓練の実施					
近年、日本各地で台風や集中豪雨による被害が多発しており、令和元年東日本台風（台風第 19 号）においても、利根川の水位が氾濫危険水位を上回り、避難指示を発令する事態となったことを受け、大型台風の接近・上陸を想定し、避難情報の発令、広域避難対象地域・地区の住民の方の広域避難及び水害時避難場所の開設・運営等を総合的に訓練する「総合水害広域避難訓練」を実施し、市民の防災・減災への意識の高揚とともに防災力の向上を図る。					
(1)総合水害訓練（図上訓練）					
日程	時間	対象	訓練種目・内容		
5月12日(金)	13:00 ～ 15:00	災害対策本部員	加須市地域防災計画（風水害対策編）に基づく利根川・渡良瀬川・荒川タイムラインの対応事項において、進行役による質問と担当本部員からの回答を繰り返し、各担当部（局）の対応を確認する「学習型訓練方式」による図上訓練		
	15:30 ～ 16:30	災害対策本部員、熊谷地方気象台、利根川上流河川事務所、荒川上流河川事務所、渡良瀬川河川事務所、行田県土整備事務所	ホットライン関係団体との情報連携訓練（オンライン使用） ホットラインのタイミングの確認、及び関係団体からの情報共有を実施。		
(2)総合水害訓練（広域避難・避難場所開設等）					
日程	時間	対象	訓練種目・内容		
7月2日(日)	8:30 ～ 12:00	自治協力団体、民生委員・児童委員、加須警察署、久喜中央三菱自動車販売(株)ケアビレッジシャローム、水害時避難場所運営班、施設管理者	市民参加による広域避難訓練、水害時避難場所開設・運営訓練、交通誘導訓練 福祉避難所誘導受入訓練、災害時応援協定連携訓練		
対象：避難場所 35 箇所、バス発着所 10 箇所、福祉避難所 1 箇所 参加人数：1,080 人					
2 チラシの配布					
水害時避難行動等啓発チラシを 8 月に対象地域に配布した。 また、地区防災訓練、出前講座で配布した。					

事業名		浸水住宅改善資金貸付事業			1217-14
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	5,084,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	5,084,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		大雨等により床上床下浸水及び恐れのある住宅の改善を図るため住宅の改善資金の貸付及び利子補給の支援を行う。			
事業の概要		貸付条件等 ・ 貸付資金は、1,000 万円を限度として融資する。 ・ 貸付利率は、2.5%以内とする。 ・ 貸付期間は、15 年以内とし、また借受人が約定どおり償還している場合には前年度償還した資金に係る利子の全額を補助する。 ・ 貸付に係る利子を補給する。			
事業の実績・成果					
1 浸水住宅改善資金：指定金融機関（埼玉りそな銀行加須支店）と協議した。 貸付利率は年 2.5%以内					
2 令和5年度 申請なし。					

事業名		地域防災計画管理事業			1222-03
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	432,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	432,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	24,610 円	—
事業の目的		災害から市民の生命及び財産を守るために、加須市地域防災計画を適正に管理するとともに周知を図る。			
事業の概要		・ 地域防災計画見直しに係る庁内会議の開催 ・ 防災会議の開催 ・ 地域防災計画の周知			
事業の実績・成果					
令和 5 年度策定等なし。 令和 4 年度 12 月に改訂した加須市地域防災計画（総論・震災対策編）を埼玉県、関連団体、近隣市及び応援協定先等に配布、周知した。 地域防災計画に基づく職員の第 1 配備及び第 2 配備等、震災時及び風水害時の職員配備体制を整備した。					

事業名		国民保護計画管理事業		1222-04	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	70,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	2,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	1,680 円	—
事業の目的		我が国に対する武力攻撃事態等から、市民の生命、身体、財産を保護するために、加須市国民保護計画を適正管理するとともに周知を図る。			
事業の概要		・ 国民保護協議会及び庁内会議を開催する。 ・ 当該計画を周知する。 ・ 初動体制の確保を行う。			
事業の実績・成果					
1 令和5年度埼玉県・加須市国民保護実動訓練の実施 大規模テロ発生に備え、現場における初動対処能力の向上と関係機関相互の連携強化を図るため、埼玉県と共催により国民保護実動訓練を実施した。 日 時：令和5年11月17日（金）13時00分から15時00分まで 会 場：カインズ大利根店 参加機関：埼玉県警察（警察本部、機動隊、加須警察署）、埼玉東部消防組合消防局、陸上自衛隊第32普通科連隊、陸上自衛隊第1特殊武器防護隊、日本赤十字社埼玉県支部、小川赤十字病院、埼玉DMAT（埼玉県済生会加須病院・埼玉医科大学総合医療センター・独立行政法人国立病院機構埼玉病院）、株式会社カインズ、平成国際大学 想 定：商業施設において化学剤を用いたテロ事案が発生する。店舗駐車場を中心に被災者の救護活動が行われている中、救護所付近において不審人物が確認される。 参加人数：384人					
2 Jアラート及びEm-Net等を利用した情報伝達訓練 国や県と連携し、武力攻撃事態等に対処するにあたり、迅速・的確に市民に防災行政無線を用いて情報を伝達するためのJアラート（全国瞬時警報システム）や、国民保護事案及び自然災害・事故災害における安否情報の収集（安否情報システム）、職場に大量の情報を電子メールで送るEm-Net（緊急情報ネットワークシステム）等を用い、速やかに情報収集・伝達が行えるように備えるとともに、平時からシステムの点検や情報伝達訓練を実施している。 (1) Jアラートによる情報伝達訓練 気象情報（緊急地震速報）2回 国民保護情報（即時音声合成情報）4回 (2) 安否確認情報伝達訓練 2回 (3) Em-Netによる情報伝達訓練 12回（毎月）					

事業名		防災啓発事業			1222-05					
担当課		危機管理防災課			現 年	前年度からの繰越				
款	09	消防費		当初予算額	4,413,000 円	—				
項	01	消防費		最終予算額	4,153,000 円	—				
目	04	防災費		決 算 額	4,106,572 円	—				
事業の目的		市民の防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るために、防災に対する啓発活動を行う。								
事業の概要		・ 防災講演会を実施し、防災に関する啓発を行う。 ・ 防災出前講座等を行い防災に関する啓発を行う。 ・ 防災啓発物の作成・購入・配布を行う。								
事業の実績・成果										
1 防災出前講座等啓発活動の実施										
市民の防災意識の高揚と地域防災力向上のために、防災出前講座等の啓発活動を行った。 (単位：人)										
内 容	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
防災出前講座	42	1,207	16	345	14	299	23	750	23	539
避難行動説明会	—	—	—	—	20	800	5	569	19	831
合 計	42	1,207	16	345	34	1,099	28	1,319	42	1,370
2 防災講演会の実施										
地域防災力の向上を図るとともに、自助・共助・公助のもと迅速的確な災害対応がとれるようにするために、気象防災アドバイザーを講師とした防災講演会を開催した。										
(1) 日 時 令和5年6月4日(日) 午前10時										
(2) 場 所 加須文化・学習センター(パストラルかぞ) 大ホール										
(3) 内 容 テーマ 「近年の異常気象と地域防災力の強化」										
講師 気象予報士・防災士・気象防災アドバイザー 平井信行氏										
(4) 参加者 310 人										
3 地震ハザードマップ改訂										
地域防災計画(震災対策編)の改訂による、避難場所の修正や情報面の改訂をした。 令和5年11月1日に全戸配布し周知を図った。										
4 音声ハザードマップの作成										
誰もがハザードマップを理解し、避難に活用できるようにするための取組として、視覚障がい者の方等に聞いていただく「～耳で聴く～【音声版】加須市水害時の避難行動マップ(洪水ハザードマップ)」を作成した。										
5 外国人のための防災ミニ講座										
外国人を対象とした防災対策として、日本語教室等に参加している外国人を対象にハザードマップを活用し、避難場所や避難方法等の防災啓発を行った。 講座実施回数：4回 講座参加人数：34人										

事業名		震災対策訓練事業		1222-06																										
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越																									
款	09	消防費	当初予算額	1,438,000 円	—																									
項	01	消防費	最終予算額	833,000 円	—																									
目	04	防災費	決 算 額	480,482 円	—																									
事業の目的		震災を想定した防災訓練を実施することにより、市民の防災意識の高揚と、地域防災力の向上を図る。																												
事業の概要		【震災対策総合防災訓練】警察、消防、自衛隊等の関係機関相互の連携強化実動訓練 【地区防災訓練】地区住民参加による避難訓練、避難場所設営訓練等、実践的な市民参加型実動訓練																												
事業の実績・成果																														
警察、消防及び応援協定締結先等と連携を強化する震災対策総合防災訓練は熱中症対策のため中止となったが、地域ごとに実践的な訓練を行う地区防災訓練を荒天により中止となった騎西地域を除いた 4 地区で実施した。 また、Jアラートによる緊急地震速報に合わせたシェイクアウト行動の訓練を実施し、防災に関する知識と意識の向上を図ることができた。 1 地区防災訓練【地震想定】 各地域で避難誘導、避難場所開設、避難場所運営、初期消火、応急救護訓練等を行う地区防災訓練を実施した。 <table><tr><td>地 域</td><td>地 区</td><td>開催日</td><td>会場</td><td>参加人数</td></tr><tr><td>加須</td><td>大越</td><td>令和 5 年 5 月 21 日（日）</td><td>大越小学校</td><td>160 人</td></tr><tr><td>加須</td><td>大桑</td><td>令和 5 年 11 月 12 日（日）</td><td>花崎北小学校</td><td>240 人</td></tr><tr><td>北川辺</td><td>北川辺東</td><td>令和 5 年 11 月 26 日（日）</td><td>北川辺東小学校</td><td>174 人</td></tr><tr><td>大利根</td><td>大利根東</td><td>令和 5 年 12 月 10 日（日）</td><td>大利根東小学校</td><td>158 人</td></tr></table> 2 緊急地震速報に合わせたシェイクアウト行動の訓練 実 施 日 令和 5 年 6 月 15 日（木）10 時 実施場所 市内の各公共施設、市立の各小中学校等 参加実績 全 75 施設、8,574 人 3 シェイクアウト埼玉（県内一斉防災訓練）への参加 実 施 日 令和 5 年 9 月 1 日（金）11 時 58 分 実施場所 市内の各公共施設、市立の各小中学校等 参加実績 全 104 施設、10,931 人 4 震災対策総合防災訓練の中止 令和 5 年 8 月 26 日（土）に実施予定であったが、猛暑による熱中症対策により延期したが、訓練内容に見直しや年度内の日程や会場等の確保ができないことから中止とした。 5 防災訓練のあり方の見直し 令和 5 年 11 月 29 日（水）に関係団体と防災訓練のあり方についての検討会を開催し、各種訓練の開催方法等について協議した。						地 域	地 区	開催日	会場	参加人数	加須	大越	令和 5 年 5 月 21 日（日）	大越小学校	160 人	加須	大桑	令和 5 年 11 月 12 日（日）	花崎北小学校	240 人	北川辺	北川辺東	令和 5 年 11 月 26 日（日）	北川辺東小学校	174 人	大利根	大利根東	令和 5 年 12 月 10 日（日）	大利根東小学校	158 人
地 域	地 区	開催日	会場	参加人数																										
加須	大越	令和 5 年 5 月 21 日（日）	大越小学校	160 人																										
加須	大桑	令和 5 年 11 月 12 日（日）	花崎北小学校	240 人																										
北川辺	北川辺東	令和 5 年 11 月 26 日（日）	北川辺東小学校	174 人																										
大利根	大利根東	令和 5 年 12 月 10 日（日）	大利根東小学校	158 人																										

事業名		地域防災力充実・強化事業			1222-07
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	6,414,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	5,573,000 円	—
目	04	防災費	決 算 額	2,375,724 円	—
事業の目的		・ 自主防災組織の新規設立と既存組織の活動を促進し、自助・共助による地域に防災力の向上を図る。			
事業の概要		・ 防災士養成講座を開催し、防災士の資格取得を支援する。 ・ 自主防災組織における経費補助を行い、設立・活動の支援を図る。 ・ 出前講座や説明会等の実施により、自主防災組織の設立促進を図る。			
事業の実績・成果					
地域住民が連携して自分たちの地域の安全確保や被害を最小限にとどめるための活動を行う、自主防災組織の設立を促進した。 資機材購入や設立に要する経費等について補助金による支援により、自主防災組織の強化及び訓練実施促進が図られた。					
1 自主防災組織設立支援等に関する個別訪問 自主防災組織が未設立の自治協力団体【13 団体】代表者に対し、設立に必要な書式例を作成し、自主防災組織設立に関する依頼を行った。					
【自主防災組織数の推移】			(単位：団体)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
組織数	150	155	158	158	160
【自主防災組織の組織率】			(単位：％)		
自主防災組織を設立した自治協力団体数／自治協力団体数×100					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
組織率	88.3 (85.7)	91.1 (88.7)	92.7 (90.0)	92.7 (90.0)	93.9 (92.0)
※()内は、加入世帯数／全世帯数×100					
2 自主防災訓練実施状況					
(単位：上段 回 下段 団体)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
訓練回数	29	1	8	13	13
訓練組織	33	1	8	15	15
3 防災訓練及び防災思想の経費に要する経費補助 【11 団体】					
4 防災用資機材等の購入に要する経費補助 【11 団体】					
5 自主防災組織設立に要する経費補助 【2 団体】					

6 自主防災組織リーダー養成講座の実施

「共助」の要である自主防災組織等の中心となる人材を養成することにより、地域防災力の向上を図ることを目的とし、気象防災アドバイザーによる、地域特有の災害等を研修するとともに、自主防災活動の事例報告を行うことにより情報共有を図った。

(1) 日 程

令和6年1月26日(金) 午後1時30分

(2) 場 所

加須文化・学習センター(パストラルかぞ) 大ホール

(3) 内 容

第1部 自主防災組織(自治協力団体)と防災士の連携について

第2部 自主防災訓練活動事例報告について(4団体)

(4) 参加者

自主防災組織・自治協力団体 353人

7 加須市防災士養成講座の実施

地域防災力を充実・強化するため、自己負担なく市内会場で防災士の資格取得可能な「防災士養成講座」を開催し、地域防災活動を行う人の人材育成を行い、市内の自主防災組織・自治協力団体(179団体)と同数以上の防災士を配置することを目的とする。

(1) 日 程

令和5年10月14日(土)、10月21日(土)、10月28日(土) 午前9時00分～午後6時00分

(2) 場 所

加須市市民総合会館(市民プラザかぞ) 多目的ホール

(3) 受講者

61人

(4) 防災士名簿登録者

74人(防災士養成講座受講者61人含む)

事業名		防災情報機器管理運営事業			1222-08	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	57,846,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	57,072,000 円	—	
目	04	防災費	決 算 額	56,298,106 円	—	
事業の目的		迅速かつ正確な防災情報を入手するとともに、市民に適時的確に伝達する。				
事業の概要		以下の防災情報機器の管理を行うとともに、機器を活用し、防災情報の入手・伝達を行う。 ・防災行政無線、防災ラジオ、防災アプリ、Jアラート、埼玉県防災行政無線、雨量計システム、災害時優先電話（携帯電話）等 被災者支援システムを導入し避難場所運営を円滑にできるよう管理する。				
事業の実績・成果						
1 防災行政無線通信設備保守管理業務 災害時に円滑に放送するため、防災行政無線設備の機能維持に必要な保守点検等を行った。						
2 放送内容・回数						
(1) 定時放送（機器の点検を目的とした試験放送） 平和の鐘、児童の声による見守り放送、メロディーを定時に放送している。						
(2) 行政放送 (単位：回)						
放送内容		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
交通安全啓発		11	12	34	29	15
防犯啓発		51	32	50	78	143
危機管理・防災		30	5	33	33	46
火災発生		20	12	6	5	14
光化学スモッグ		7	2	0	0	1
熱中症予防		39	34	33	23	57
イベント広報		5	2	8	24	21
未帰宅者発見依頼		50	32	35	37	25
選挙啓発		44	0	11	35	12
動物		4	12	5	2	23
新型コロナウイルス感染症予防			158	44	10	
その他		48	51	21	15	2
合計		309	352	280	291	359
3 MCA同報無線システム電話応答装置更新 加須市役所本庁舎及び北川辺総合支所に設置している防災行政無線MCA同報無線システム電話応答装置が更新時期を迎えるため、新たに本庁舎に集約して更新した。						
4 屋外拡声子局設備移設工事 道路拡幅により水道課敷地内に設置している防災行政無線屋外拡声子局を同敷地内北側へ10m移設した。						
5 クラウド型被災者支援システム 令和6年3月1日から利用開始 【機能】避難行動要支援者関連機能 被災者台帳機能 避難所関連機能 オンライン申請・コンビニ交付等機能						

事業名		避難場所整備事業		1222-09		
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	2,712,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	2,447,000 円	—	
目	04	防災費	決 算 額	2,001,780 円	—	
事業の目的		災害時に備え、市内の避難場所において適切な避難場所運営ができるよう、避難場所環境の整備・充実を図る。				
事業の概要		・避難場所の環境整備や維持管理等を行う。 ・非常災害用井戸（加須地域小学校のみ）等の維持管理を行う。 ・避難場所の看板整備を行う。				
事業の実績・成果						
避難場所で基本的な生活を確保するための環境整備・維持管理を行った。						
1 保守・管理						
		○市内小学校非常災害用井戸 発電機装置保安管理業務	11 箇所			
		○市内小学校非常災害用井戸 水質検査	11 箇所			
2 避難場所看板整備						
		○看板新設：1 箇所				
		○看板撤去：6 箇所				
3 震災・水害時別避難場所数						
(単位：箇所)						
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
震災時避難場所			90	89	96	85
水害時避難場所	水害時避難場所		42	43	44	42
	水害時【緊急】避難場所		7	7	7	7
	市外広域避難場所		4	4	4	4
	合 計		53	54	55	53

事業名		災害用物資確保事業			1222-10	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	8,567,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	8,567,000 円	—	
目	04	防災費	決 算 額	8,453,235 円	—	
事業の目的		災害時において避難場所等で必要となる飲料水や非常用食糧、生活必需品などの災害用備蓄品の備蓄・整備を計画的に図る。				
事業の概要		・災害時に応じた食糧、生活必需品等の備蓄及び民間機関等との協定により総合的な備蓄体制を確立し、災害用物資を確保する。 ・備蓄食糧の更新などの適正管理と主たる避難場所への分散配置を図る。 ・生活必需品等(食糧、生活用品、衛生用品、毛布、消耗品)の備蓄 ・避難場所運営に伴う資機(器)材等の整備				
事業の実績・成果						
災害発生時に備え非常用食料等を迅速かつ的確に配給するため、防災倉庫等に食料品及び生活用品の分散配置を行った。						
【備蓄品の購入数状況】						
備蓄品		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
非常用備蓄食料品(食)		7,050 (1,870)	11,440	11,740	14,340	9,170
飲料水(本)		4,512 (1,104)	7,080	960	936	2,016
災害用備蓄毛布(枚)		400	400	500	500	500
避難所用マット(枚)		1,020 (210)	1,020	1,020	1,020	1,020
避難所用間仕切り(張)		30	30	20	30	30
電気式簡易トイレ(基)			8	7		
※ その他、粉ミルク・使い捨て哺乳瓶・弾性ストッキング・オムツ等も備えた。 ※ ()は令和元年東日本台風(台風第19号)で使用した物資の補充分(外数)。						
【備蓄食料・飲料数(年度末現在)】 (単位:食)						
備蓄食料品		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ビスケット		12,900	12,900	15,480	15,480	15,480
ビスケット(アレルギー対応用)			240	240	240	240
クラッカー		15,890	19,530	15,750	15,890	15,890
アルファ米田舎ごはん		20,650	25,450	20,100	20,700	20,700
おかゆ		850	850	1,100	1,100	1,100
パン		1,100	1,100	2,200	2,200	2,200
合計		51,390	60,070	54,870	55,610	55,610
※ 保存期間5年						
(単位:本)						
保存水(500ml)		16,536	16,512	16,608	16,608	16,608
※ 保存期間5年						

事業名		防災管理事業		1222-11	
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	3,827,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	3,911,041 円	—
目	04	防災費	決 算 額	3,274,120 円	—
事業の目的		災害発生時に被害を最小限に抑えるため、防災管理体制の整備を図る。			
事業の概要		災害の発生に備え、市の初動体制等の組織整備を行う。 また、災害時応援協定締結を推進するとともに、協定先との連携強化を図る。			
事業の実績・成果					
1 災害に備える協定の締結 災害に備え、各種協定を締結した。 (単位：件)					
区分		締結数		新規締結先	
		うち新規			
自治体間の相互応援協定		10	1	静岡県焼津市	
物資の供給に関する協定		26	4	東邦薬品（株）熊谷営業所、（株）メディセオ、アルフレッサ（株）、（株）スズケン	
輸送に関する協定		5	0		
災害復旧に関する協定		11	0		
救急救護に関する協定		4	0		
放送に関する協定		4	0		
報道に関する協定		2	0		
郵便局との協定		1	0		
避難場所として使用する協定		39	0		
復旧その他に関する協定		16	1	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	
計		118	6		
2 雨量計システムの整備管理 (1) 設置箇所：本庁舎、騎西総合支所、北川辺総合支所、大利根総合支所 (2) 警報メール：加須市地域防災計画上の参集基準である 1 時間 20mm 以上又は 3 時間 40mm 以上の降雨量を測定した場合、迅速に参集できるように担当職員に警報メールが送信される。 (単位：回)					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
警報メール回数	14	6	3	11	18
3 防災職員全体研修会要領 災害対応についての職員の役割の確認、併せて、防災気象情報等について、理解を深めるため職員研修会を開催した。 (1) 日 程 令和 5 年 4 月 26 日（水） 第 1 部 午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分 第 2 部 午後 1 時 15 分から午後 2 時 45 分 第 3 部 午後 3 時 00 分から午後 4 時 30 分 (2) 場 所 加須文化・学習センター（パストラルかぞ）大ホール (3) 内 容 ①職員が知るべき気象情報 講師 気象予報士・気象防災アドバイザー 飯沼 孝 氏 ②職員の役割（地震・水害）についてほか					

- 4 令和6年能登半島地震支援に係る職員派遣
 総務省から埼玉県を通じて、避難所運営や罹災証明等を支援するため、職員の派遣を行った。
 派遣期間：①令和6年1月22日（月）から令和6年1月29日（月）まで
 ②令和6年3月4日（月）から令和6年3月11日（月）まで
 人 員：①1人
 ②1人
 派遣先：石川県七尾市
 業務内容：避難所運営業務、罹災証明書発行支援業務

事業名		防災倉庫管理事業			1222-12
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越
款	09	消防費	当初予算額	529,000 円	—
項	01	消防費	最終予算額	91,723 円	—
目	04	防災費	決 算 額	91,123 円	—
事業の目的		災害時に必要な備蓄品や資機材等を保管・分配するために、防災倉庫を確保し、迅速・的確な災害対策に資する。			
事業の概要		・ 防災倉庫の施設管理 ・ 備蓄物資・資機材等保管			
事業の実績・成果					
災害時に必要な備蓄品や資機材等を保管するために、倉庫管理を行った。					
1 維持管理 ○下高柳防災倉庫 シャッター保守点検					

事業名		救命機器管理事業		1332-03		
担当課		危機管理防災課		現 年	前年度からの繰越	
款	09	消防費	当初予算額	2,433,000 円	—	
項	01	消防費	最終予算額	2,393,000 円	—	
目	04	防災費	決 算 額	1,472,290 円	—	
事業の目的		市内の公共施設等にAEDを効果的に設置し、多くの市民の大切な命を救える体制を整備する。				
事業の概要		・ AEDの適切な維持管理 ・ 貸出し用AEDの利用を促進する。 【貸出し対象・条件】 ①市が後援する行事等, ②市民が 10 名以上集まる行事等, ③医療従事者、救急救命士、または救命講習修了者を配置する。				
事業の実績・成果						
市民への人命救助の思想を普及するとともに、心肺停止者の救命率の向上を図った。 また、使用期限をむかえる本体及び消耗品（パッド、バッテリー）の交換を行った。						
1 機器等更新実績 AED設置台数：85 台						
区 分		使用期限	更新・交換数量			
成人用パッド交換		2 年	41 個			
バッテリー交換		4 年	20 個			
※令和元年度から本体使用期限が8年のAED(日本光電)を購入						
2 リース AED設置台数：15 台 リース期間：令和5年12月1日～令和10年11月30日（5年間） メーカー：旭化成ゾール						
3 貸出実績 貸出用：7 台 加須市民体育館（2 台）、危機管理防災課(2 台)、騎西総合支所地域振興課、北川辺総合支所地域振興課、大利根総合支所地域振興課（各1台）						
《実績》						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備 考
貸出	82 回	49 回	40 回	61 回	61 回	スポーツ大会、市民まつり、小学校持久走大会等
4 救命講習会 心肺蘇生やAEDの使い方、けがの手当など、応急手当を習得することを目的として、AED設置施設を対象に、職員を対象とした救命講習を実施した。						
《実績》						
日 付	7月24日	7月25日	7月26日	7月27日	1月19日	1月26日
参加人数	13 人	14 人	17 人	25 人	5 人	14 人

事業名		教育委員会運営事業			2211-28
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,032,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	4,032,000 円	—
目	01	教育委員会費	決 算 額	3,168,900 円	—
事業の目的		・社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会の充実を図る。			
事業の概要		・教育委員会の会議を開催する。 ・総合教育会議へ参加する。 ・教育委員の施設等訪問を実施する。 ・各種総会、研修会へ参加し、教育の諸問題に関する知識を深める。			
事業の実績・成果					
委員報酬 2,823,150 円 費用弁償 190,840 円 ・教育委員会定例会開催回数 12 回、臨時会開催回数 3 回 ・議案の議決 52 件 ・規則の公布 4 件 ・報告事項 199 件 ・教育長訪問 小学校 22 校、中学校 8 校、幼稚園 11 園（6 日間） ・教育委員教育関連施設訪問 小学校 4 校、中学校 1 校、幼稚園 3 園、図書館 2 館、 保育所 1 園、県立特別支援学校 1 校、スイミングスクール 1 箇所 （6 日間） ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会（開催月 5 月） ・埼玉県市町村教育委員会連合会総会（開催月 5 月） ・北埼玉地区教育委員会連合会総会（開催月 4 月） ・埼玉県市町村教育委員会教育委員研究協議会（開催月 7 月） ・市町村教育委員研究協議会（開催月 6, 12, 2 月）					
教育委員会交際費 教育委員会交際費について、「加須市教育委員会交際費の支出及び公開に関する基準」に基づいた交際費の支出及びホームページでの公開により、適正な支出と透明性の確保に努めた。					
教育委員会交際費の推移					(単位:円)
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
予算額	500,000	500,000	450,000	450,000	420,000
決算額	291,500	36,300	60,450	106,750	68,650

事業名		教育委員会事務局管理事業			2211-29
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,352,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	1,352,000 円	—
目	02	事務局費	決 算 額	932,317 円	—
事業の目的		・ 社会や地域の教育課題に柔軟かつ的確に対応し、かつ市民に開かれた教育委員会を運営するため、教育委員会事務局の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・ 教育委員会事務局の管理運営を行う。 ・ 加須市の教育を広く周知するため、「加須市の教育」を刊行する。 ・ 加須市の教育、学術及び文化の振興に寄与し、功績が顕著である個人や団体に対し、教育功労者表彰を行う。			
事業の実績・成果					
・ 刊行物「加須市の教育」160 部発行 158,400 円 ・ 教育功労者表彰 表彰者 8 名 ・ 全国都市教育長協議会定期総会（開催月 5 月） ・ 関東地区都市教育長協議会総会（開催月 5 月） ・ 埼玉県都市教育長協議会総会（開催月 4 月） ・ 埼玉県都市教育長協議会定例協議会（開催月 7, 10, 11, 1 月） ・ 東部地区教育長協議会総会（開催月 4 月） ・ 東部地区教育長会議（開催月 4, 5, 7, 9, 11, 1, 2, 3 月） ・ 埼玉都市町村教育委員会教育長研究協議会（開催月 4, 11 月） ・ 小中学校のあり方意見交換会（幼稚園・小中学校評議員）の開催 12 月 13 日 加須北中学校区 19 日 北川辺中学校区 25 日 騎西中学校区 1 月 10 日 昭和中学校区 15 日 加須東・加須平成中学校区 22 日 大利根中学校区 2 月 7 日 加須西中学校区					

事業名		学校教育管理事業			2214-03
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	16,024,000 円	32,850,000 円
項	01	教育総務費	最終予算額	19,396,090 円	32,850,000 円
目	02	事務局費	決 算 額	11,761,344 円	16,363,461 円
事業の目的		学校教育課の事業を円滑に進めるために必要な経費を措置する。			
事業の概要		課の運営に係る諸経費（主に人権関係予算と負担金等）の適正な管理執行に努める。 県費の教職員を補う会計年度任用職員を配置する。			
事業の実績・成果					
事業を円滑に進めるにあたり、必要経費を適切に支出することができた。					
・ 欠員対応非常勤講師					
県費の臨時的任用教員が配置されるまでの間、市費による非常勤講師の配置を行い、学校における教職員の欠員状態がなくなり、指導の連続性を確保することができた。					
〈配置校〉					
加須小 1 人 三俣小 1 人 大桑小 1 人 水深小 2 人					
騎西小 1 人 田ヶ谷小 1 人 種足小 1 人 高柳小 2 人					
豊野小 2 人 元和小 1 人 昭和中 2 人 加須北中 1 人					
加須平成中 1 人 騎西中 1 人 北川辺中 2 人					
15 校 20 人 2,004,294 円					
・ 特定教科専門指導非常勤講師					
小規模の中学校であるため、教職員配当基準等により、免許状を有する教員が配置されない教科のある中学校に配置した。非常勤講師を配置することができたため、免許をもたない教員に免許外の教科担当をさせることを回避できた。また、専門性を有する講師を配置したため、充実した教科指導を実施することができた。					
〈配置校〉					
加須北中：美術科・技術科・家庭科 各 1 人					
北川辺中：美術科・技術科・家庭科 各 1 人					
2 校 4 人 3,534,128 円					
・ 複式学級対応非常勤講師					
複式学級の教科指導において、異教科指導や同教科異単元の指導を回避し、学年別に指導を図ることができた。					
〈配置校〉					
大越小 1 人 2,812,548 円					
・ スクール・サポート・スタッフ					
職員数が少なく、時間外在校等時間が長時間の傾向にある小学校に、スクール・サポート・スタッフを配置し、教職員の業務負担の軽減を図るとともに教職員が児童生徒へよりよい教育の提供に注力できるよう努めた。					
〈配置校〉					
樋遣川小 1 人 志多見小 1 人 花崎北小 1 人 加須南小 1 人					
豊野小 1 人					
5 校 5 人 2,879,814 円					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 16,363,461 円					
新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した（巻末参照）。					
・ 令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由					
令和 5 年 3 月補正において補正予算を計上したが、期間が短く年度内の購入及び納品が困難であったため。					

事業名		少人数学級推進事業			2211-05
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	16,406,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	16,406,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	12,801,898 円	—
事業の目的		児童生徒の学力を向上させるために、非常勤講師の配置による学習形態の工夫を図り、児童生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな学習指導の実現を目指す。			
事業の概要		一学級の人数が多くなる学年に非常勤講師を配置し、チームティーチングや少人数指導による授業を展開することで、個に応じたきめ細かな学習指導、生活指導を行い、学力向上や心の教育の充実を図る。			
事業の実績・成果					
・教育活動補助員					
小学校第 5 学年から第 6 学年、中学校第 2 学年及び第 3 学年で 1 学級あたりの児童生徒数が多い学校に配置した。					
各学級において、チームティーチング（担任と教育活動補助員の 2 人で 1 学級の授業を担当する）による学習指導を行い、児童生徒へのきめ細やかな授業を展開することにより、学力の向上、生活指導の充実に大きな成果を上げた。また、学校教育課の指導主事が配置校を訪問し、教育活動補助員の授業及び学習支援についての指導を行うことにより指導力の向上を図った。					
〈配置校〉					
不動岡小 1 人 礼羽小 1 人 大桑小 1 人 樋遣川小 1 人 志多見小 1 人					
大越小 1 人 騎西小 1 人 鴻荃小 1 人 豊野小 1 人 加須西中 1 人					
騎西中 1 人 北川辺中 1 人					
12 校 12 人 12,801,898 円					

事業名		学習指導改善研究事業		2211-07	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,355,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	5,208,720 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	4,536,999 円	—
事業の目的		こどもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成するために、市立幼稚園及び小・中学校の充実した教育活動の実践を目指す。			
事業の概要		充実した教育活動の実践を図るために市立幼稚園及び小・中学校に公開保育の指定や研究委嘱を行う。また、各教科等の充実を図るための支援を行うとともに、教育課程検討委員会を設置し、教育活動全体の改善を図る。			
事業の実績・成果					
1 事業の成果					
幼児、児童生徒の「生きる力」の育成を図るため、基礎的・基本的な内容や技能を確実に定着させる指導方法の工夫改善を推進した。					
(1) 授業での取組（授業研究会、学校訪問等）					
(2) 授業外での取組（加須市チャレンジシートの活用、加須市チャレンジテスト（CBT）の実施）					
(3) 学習指導の充実に向けた取組（各小・中学校における学力調査分析シートの作成等）					
2 研究委嘱発表校（加須市教育委員会・加須市教育研究会委嘱）					
○ 令和2・3年度					
小学校	水深小、高柳小（前年度に発表済） 不動岡小（前年度に発表済）、北川辺西小				
中学校	加須西中（前年度に発表済）				
○ 令和3・4年度					
小学校	礼羽小、加須南小、鴻荃小、豊野小				
中学校	加須東中				
○ 令和4・5年度					
小学校	加須小、田ヶ谷小、北川辺東小				
中学校	北川辺中、大利根中				
○ 令和5・6年度					
小学校	大桑小、大越小、騎西小、元和小				
中学校	加須北中				
研究授業や研究紀要の作成を行い、学習指導の改善を図った。					
3 公開保育指定園（加須市教育委員会・加須市教育研究会指定）					
○ 令和2年度					
コロナウイルス感染症拡大防止のため、次年度に移行					
○ 令和3年度			○ 令和4年度		
礼羽幼稚園、騎西南幼稚園			加須幼稚園、大越幼稚園		
○ 令和5年度			○ 令和6年度		
大桑幼稚園、北川辺幼稚園			水深幼稚園		
4 補助金					
(1) 加須市教育研究会					
<目的>市立幼稚園及び小・中学校の教育活動の促進と相互の連携を密にし、学校教育の振興を図る。					
<成果>参集型の研修会を中心としながら、オンラインによる研修会の充実を図った。					
(2) 加須市小・中学校児童生徒体力向上推進委員会					
<目的>児童生徒の体力向上を図るための事業の実施や研究を進める。					
<成果>加須市なわとび月間を設定し、各校の創意工夫のめとなわとびをとおして体力向上を図った。					

事業名		学校訪問指導事業			2211-08
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	51,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	51,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	24,956 円	—
事業の目的		幼児、児童生徒に生きる力を育むために、市立幼稚園及び小・中学校への訪問指導を行い、教職員の指導力の向上、学校の教育力の向上を目指す。			
事業の概要		市立幼稚園及び小・中学校への計画訪問及び要請訪問を行い、教員の指導力向上を図るために指導助言や示範授業を行う。			
事業の実績・成果					
1 加須市教育委員会・加須市教育研究会研究委嘱 令和4・5年度委嘱の小・中学校は、令和5年度に5校が研究発表した。また、幼稚園は2園が公開保育を行った。研究発表を通して、研究内容を教職員に広げることができた。					
	令和元年度 研究本発表	令和2年度 紙上発表	令和3年度 研究本発表	令和4年度 研究本発表	令和5年度 研究本発表
幼稚園	不動岡幼稚園 花崎北幼稚園		礼羽幼稚園 騎西南幼稚園	加須幼稚園 大越幼稚園	大桑幼稚園 北川辺幼稚園
小学校	三俣小学校 樋遣川小学校 種足小学校 原道小学校	高柳小学校 不動岡小学校	水深小学校 北川辺西小学校	礼羽小学校 加須南小学校 鴻荃小学校 豊野小学校	加須小学校 田ヶ谷小学校 北川辺東小学校
中学校	加須平成中学校	加須西中学校		加須東中学校	北川辺中学校 大利根中学校
2 加須市教育委員会、東部教育事務所教育支援担当・学力向上推進担当学校訪問（計画訪問） 公開授業（保育）、研究授業・協議等を通して、指導の改善及び指導力の向上を図ることができた。 幼稚園3園 小学校22校 中学校8校 各1回の訪問 合計33回					
3 加須市教育委員会要請訪問 学校（園）の目的に応じた訪問指導により、研究授業・校内研究等の具体的な指導を直接行うことができた。 訪問33回					
4 加須市教育委員会学校人権教育計画訪問 計画的な学校人権教育の訪問指導の実施により、実施した幼稚園及び小・中学校における学校人権教育の推進を図ることができた。 訪問11回					
5 初任者に係る指導主事の計画訪問 新規採用教員への計画的な訪問により、授業改善や教員の資質向上を図ることができた。 訪問80回					

事業名		学校ICT教育活用事業			2211-09
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	98,385,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	80,124,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	79,733,260 円	—
事業の目的		児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、情報教育環境を活用し、わかる・楽しい授業の実現を目指す。			
事業の概要		児童生徒の確かな学力の向上と情報活用能力の育成のために、教育ソフトの活用に関する研究や情報教育環境活用のための教員研修を行う。 校務系コンピュータの配備により、教員の校務支援を行う。 教育系コンピュータをセンターサーバに接続し、一括管理する。 校務系コンピュータによる情報の一括管理を行う。			
事業の実績・成果					
・ICT推進校の指定 昨年度のICT活用推進校（三俣小、元和小、騎西中、北川辺中）に加え、新たに4校（騎西小、北川辺東小、加須西中、大利根中）授業での効果的な活用はもちろん、学校の教育活動の中でのより効果的な活用方法について学校へ発信した。					
・オンライン研修会の実施 オンライン研修会（かぞ学びDX）を実施した。誰でも気軽に参加でき、簡単に教育活動に活用できるものや、効果的な取組を紹介した。					
・学力調査をCBTで実施するための環境整備 全国学力学習状況調査・埼玉県学力学習状況調査のCBT化に向けた環境を整備した。タブレット端末による調査実施の準備として、「加須市チャレンジテスト」をCBTで行った。					
・事業決算額の推移					
(単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業決算額	147,730,398	968,392,835	133,515,790	151,518,410	79,733,260

事業名		学力アップ事業			2211-11
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,976,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	3,860,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	2,600,392 円	—
事業の目的		児童生徒の学力向上を図るため、児童生徒の実態に応じたきめ細かな学習指導の展開を目指す。			
事業の概要		中学生を対象に、土日を活用した中学生学力アップ教室「加須まなびTime」を実施し、学力の向上を図る。			
事業の実績・成果					
・中学生学力アップ教室「加須まなびTime」 土曜日、日曜日にコミュニティセンター等を活用して、週1回2時間の学習機会を提供した（6～3月に実施）。 会場の責任者として学習コーディネーターを、自主学習の補助を行う学習サポーターをそれぞれ配置し、生徒の学力向上だけでなく、土曜日、日曜日を有効に活用したことにより、学習習慣も身に付けさせることができた。					
(1)【学習コーディネーター賃金】 5会場 5人 821,152 円					
(2)【学習サポーター賃金】 5会場 13人 1,136,067 円					
(3)教材費等 643,173 円					

事業名		小学校英語教育推進事業			2211-12				
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越				
款	10	教育費	当初予算額	18,192,000 円	—				
項	01	教育総務費	最終予算額	18,324,970 円	—				
目	03	教育振興費	決 算 額	17,765,315 円	—				
事業の目的		外国語による見方・考え方を働かせ、外国語による言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を育成する。							
事業の概要		全ての市立小学校に外国語活動指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立小学校を計画的に訪問し、担任や外国語活動指導助手の授業支援や指導を行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。							
事業の実績・成果									
担任と外国語活動指導助手とのチームティーチングの充実により、児童が楽しんで授業に参加することができ、児童の外国語によるコミュニケーション能力の向上を図った。									
1 外国語活動指導助手の主な活動内容									
・小学校における「外国語科」や「外国語活動」をはじめとする国際理解教育に係る授業の補助									
・小学校における国際理解教育に係る教材開発の補助									
・外国の文化や言語等の紹介									
2 外国語活動指導助手の配置状況（加須市立全小学校に配置）									
(単位：人)									
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度				
配置人数	直接雇用・14 [臨時職員]	直接雇用・20 [臨時職員]	直接雇用・20 [会計年度任用職員]	直接雇用・18 [会計年度任用職員]	直接雇用・15 [会計年度任用職員]				
	学校教育課職員・ 1	学校教育課職員・ 1	学校教育課職員・ 1	学校教育課職員・ 1	学校教育課職員・ 1				
〈配置校〉									
加須小	1人	不動岡小	1人	三俣小	2人	礼羽小	1人	大桑小	1人
水深小	2人	樋遣川小	1人	志多見小	1人	大越小	1人	花崎北小	1人
加須南小	1人	騎西小	1人	田ヶ谷小	1人	種足小	1人	鴻荳小	1人
高柳小	1人	北川辺西小	1人	北川辺東小	1人	大利根東小	1人	原道小	1人
豊野小	1人	元和小	1人						
22校 15人(2校兼務 7名 3校兼務 1名)									

事業名		中学校英語教育推進事業			2211-13
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	28,594,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	28,135,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	28,131,067 円	—
事業の目的		外国語について、言語や文化に対する理解を深め、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。			
事業の概要		生徒の英語能力の基礎を養うため、全ての市立中学校に、外国語指導助手を配置する。 英語教育研究員が、全ての市立中学校を計画的に訪問し、英語教員や外国語指導助手の授業支援や指導を行う。 外国語指導助手の授業力向上のための研修会を定期的に行う。 小学校と中学校の連携のための研修会や授業力向上のための研修会を行う。			
事業の実績・成果					
英語教育研究員の計画的な訪問と授業支援により、英語教員と外国語指導助手の授業の改善が図られ、英語能力の基礎を養うことで、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなど、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。					
1 外国語指導助手（ALT）の主な活動					
・ 中学校外国語科における英語教員とのチームティーチングの実施					
・ 外国の生活や文化等の紹介					
・ 教材や指導計画作成への協力及びスピーチコンテスト等への協力					
2 外国語指導助手（ALT）配置状況 (単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ALT 配置人数	労働者派遣契約 6	労働者派遣契約 6	労働者派遣契約 6	労働者派遣契約 6	労働者派遣契約 6
〈配置校〉					
昭和中	1人	加須西中	1人	加須東中	1人
加須平成中	1人	加須北中	1人	騎西中	1人
北川辺中	1人	大利根中	1人		
8校 6人（2校兼務 2名）					

事業名		特別支援教育推進事業			2211-14	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	81,449,000 円	—	
項	01	教育総務費	最終予算額	81,449,000 円	—	
目	03	教育振興費	決 算 額	75,056,766 円	—	
事業の目的		児童生徒の教育的ニーズに対応するため、介助を必要とする児童生徒の就学支援体制の充実を図る。				
事業の概要		特別支援学級や通常学級で学ぶ児童生徒の教育活動を支援する障がい児介助員を配置する。難聴・言語障害通級指導教室（ことばの教室）を運営する。発達障害・情緒障害通級指導教室を運営する。				
事業の実績・成果						
・障がい児介助員の配置 学校生活において個別の支援の必要な児童・生徒が在籍する学校に、障がい児介助員を配置し、教育環境の充実を図った。その結果、障がいのある児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに対応した指導・支援を行うことができた。また、関係学校のみならず、関係諸機関との連携に意を用いた。						
○ 障がい児介助員数の推移 （単位：人）						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	配置人数	小学校 53 中学校 7	小学校 53 中学校 7	小学校 53 中学校 8	小学校 53 中学校 10	小学校 50 中学校 13
	合 計	60	60	61	63	63
・特別支援学級等の開設、運営 特別な支援を必要とする児童生徒の指導・支援のため、計画的に特別支援学級や通級指導教室を開設するとともに、その適切な運営に努めた。						
○ 令和5年度に特別支援学級を開設した学校 30 校						
既設		30 校				
新設※		2 校（志多見小、元和小）				
増設※		4 校（加須西中、加須東中、騎西中、大利根中）				
※ 新設：今まであった障害種の他に、新たな障害種の学級を設置したもの。 ※ 増設：特別支援学級に在籍する人数が増え、クラス数が増えたもの。						
○ 令和5年度に通級指導教室を開設した学校 6 校						
既設		6 校				

事業名		教師用教科書・指導書措置事業			2211-15
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,170,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	2,286,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	2,284,970 円	—
事業の目的		小・中学校の公教育としての水準の維持を図るために、教科書、指導書を措置し、児童生徒の基礎学力の確実な定着を目指す。			
事業の概要		小学校に全教科の教師用指導書セットを各学年に1セットを措置するとともに、小学校の全学級に、教師用教科書及び朱書指導書を措置し教員の指導力向上を図る。			
事業の実績・成果					
令和6年度使用の小学校教科書の採択を行った。 学級増分の教師用指導書を措置するとともに、英語のデジタル教材を各小・中学校に措置した。 学習指導要領に沿った授業展開が図られ、教育の水準維持とともに児童生徒の基礎学力の定着につながった。					
負担行為額の推移				(単位：円)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
金 額	1,269,743	40,482,464	20,214,118	287,870	2,284,970
備 考	小学校使用教科書採択年度	小学校教科書使用開始 中学校使用教科書採択年度	中学校教科書使用開始		小学校使用教科書採択年度

事業名		社会科副読本資料作成事業		2211-16	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	24,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	24,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		郷土「加須市」を理解し、地域社会の一員としての自覚をもつとともに、郷土「加須市」を愛する児童の育成を目指す。			
事業の概要		3年に一度の周期で小学校第3・4学年用社会科副読本の改訂を行う。また、改訂後は、指導の手引き、評価テスト、ワークプリントを作成し、市立各小学校へ配布して、その活用を図る。			
事業の実績・成果					
令和4年度改訂版の社会科副読本の各校の活用状況を調査した。また、各校において、指導の手引き及び評価テストを作成するための研究を行った。令和5年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が68.5%であった。					
【過去の経過】					
・平成29年度は、平成29年度から市立小学校で使用している社会科副読本の指導の手引きの作成を行った。					
・平成30年度は、令和2年度から使用する新しい社会科副読本作成のための情報収集を行った。平成30年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が64.9%であった。					
・令和元年度は、社会科副読本編集委員会を組織し、新学習指導要領に準拠した内容の社会科副読本を3,100部（令和2年度の小学3年生・4年生と令和3年度の小学3年生全員分）作成し、市立全小学校に配布した。令和元年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が68.0%であった。					
・令和2年度は、社会科副読本に準拠した指導の手引き及び評価テスト、ワークシートを作成し、市立全小学校に配布した。令和2年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が72.5%であった。					
・令和3年度は、令和5年度から使用する新しい社会科副読本のための情報収集を行った。令和3年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が68.5%であった。					
・令和4年度は社会科副読本編集委員会を組織し、学習指導要領に準拠した内容の社会科副読本を3,000部（令和5年度、令和6年度及び令和7年度の小学3年生全員分）作成し、全市立小学校に配布した。令和4年度に実施した評価テストの結果は、「加須市の理解が深まった児童の割合」が68.6%であった。					

事業名		防災教育推進事業			2211-17
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,649,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	1,500,500 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	1,083,684 円	—
事業の目的		東日本大震災を受け、本市独自の防災教育を推進し、災害発生時に的確な判断の下に、安全な行動によって生命の確保ができるこどもたちの育成を目指す。			
事業の概要		拠点避難場所や地域で活躍できる中学生ボランティアリーダーを育成するための研修会を実施する。また、防災教育研修の開催や従来の訓練の方法を見直した引き渡し訓練及び避難訓練などの実施、加須市防災ノート、防災教育指導資料の活用を図る。			
事業の実績・成果					
・加須市防災ノートの活用					
(1) 実績					
「加須市防災ノート」を、小学校1年生分920冊、小学校4年生分980冊、中学校1年生分1,000冊を印刷し、全市立小・中学校に配布した。					
各学校で活用し、「自分の命は自分で守る」ことができる子供たちの育成を図った。子供たちにとって「わかりやすく」、先生方にとって「使いやすい」、実際に不測の事態の際に使える教材として活用した。					
(2) 成果					
学校の教育活動で活用し、「自分の命は自分で守る」ことができる子供たちの育成に向けた取組の充実に資することができた。避難訓練時の事前学習や事後学習の際に防災ノートを活用することで、防災意識を高めることにつながった。					
また、防災ノートを家庭に持ち帰り、災害発生時の避難行動について家族で話し合うなど、児童生徒ばかりでなく、大人の防災意識の向上を図ることができた。					
・中学生ボランティアリーダー育成研修会					
令和5年7月28日（金）に実施した。各中学校から、合計34名の生徒が参加した。拠点避難所でのボランティア活動体験や、炊き出し訓練、負傷者の応急処置、心肺蘇生法の習得などを経験した。災害時の行動についての実践的な研修を実施し、主体的に避難したり、積極的にボランティア活動をしたりすることのできる「中学生ボランティアリーダー」を育成した。参加者の中から、後に防災士の資格をとるようになる者も3名生まれた。					

事業名		サイエンススクール事業			2211-20	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	1,210,000 円	—	
項	01	教育総務費	最終予算額	1,065,000 円	—	
目	03	教育振興費	決 算 額	1,064,800 円	—	
事業の目的		児童の科学や理科への興味・関心を高めるため、加須未来館を活用した理科学習の充実を目指す。				
事業の概要		小学校第4学年の全児童を対象に、加須未来館においてプラネタリウムや望遠鏡等を活用した理科学習を実施する。 加須未来館での学習を実施するために、児童が移動するためのバスを措置する。				
事業の実績・成果						
小学校4年生児童を対象に、加須未来館においてプラネタリウムや望遠鏡等を活用した理科学習を実施した。						
事業委託内容						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
対象	(学級)	33	32	30	32	32
	(人)	924	919	894	848	803
バス借上料(円)		1,760,000	0	0	1,060,400	1,064,800
バス台数(台)		17	0	0	11	11
※令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から事業中止。						

事業名		避難者支援就学援助事業			2211-24					
担当課		学校教育課			現 年	前年度からの繰越				
款	10	教育費		当初予算額	811,000 円	—				
項	01	教育総務費		最終予算額	811,000 円	—				
目	03	教育振興費		決 算 額	95,230 円	—				
事業の目的		東日本大震災により被災した児童生徒の保護者のために、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。								
事業の概要		被災により援助が必要な児童生徒に対し、学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、児童生徒会費等の就学援助費を支給する。								
事業の実績・成果										
東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律第2条第2項及び第3項の市町村を定める政令（平成23年政令第127号）第2条第1項（別表2）及び第2項（別表3）に含まれる市町村における、東日本大震災で被災し経済的に就学困難な児童生徒に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の援助を行った。										
被災児童生徒の転入に留意し、必要に応じて就学援助の案内を行い、制度の周知に努めた。										
1 被災地別就学援助者数				(単位：人)						
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
合計	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生	小学生	中学生
	2	3	2	2	2	2	2	1	2	
南相馬市		2		1		1				
双葉郡大熊町					1		2		2	
双葉郡浪江町	1	1	1	1	1	1		1		
双葉郡富岡町	1		1							
2 事業費				(単位：円)						
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
支給金額	386,869		241,750		359,891		147,802		95,230	

事業名		いじめ・不登校対策事業			2212-01
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	21,098,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	24,575,720 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	20,362,985 円	—
事業の目的		すべての児童生徒が楽しく、安心して学校に通えるよう、市立小・中学校におけるいじめの問題を根絶し、併せて不登校問題の解消を目指す。			
事業の概要		各学校において、いじめ・不登校の未然防止のための校内指導体制を充実させる。また、家庭や地域と連携し、いじめ・不登校の問題の克服を図る。 不登校問題対策委員会を定期的に開催し情報交換及び具体的な対応策を検討する。 学校や教育センターにさわやか相談員やスクールカウンセラー等を配置し、教育相談体制を充実させる。			
事業の実績・成果					
1 不登校の未然防止と不登校の改善を図る取組 市内 8 公立中学校にさわやか相談員 8 人を配置し、スクールカウンセラーとともに個別教育相談や家庭訪問を行うなど、教育支援を行った。 また、教育センターにスクールカウンセラー2 人、スクールソーシャルワーカー2 人を配置し、教育相談を実施するとともに、学びサポート「ピア」を設置し、運営の充実を図り、不登校の解消に取り組んだ。教育相談体制の充実や家庭訪問等による児童生徒、保護者一人一人への支援により、児童生徒個々の状況に改善が見られた。					
2 不登校問題対策委員会の開催 8 月に不登校問題に関する講演会を開催した。不登校問題対策委員会の開催は、3 回実施した。					
3 不登校児童生徒数の推移					
(1) 小学校 (単位：人)					
	令和元年度	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度
不登校児童数	22	23	28	40	54
(2) 中学校 (単位：人)					
	令和元年度	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度
不登校生徒数	74	101	111	165	209
4 いじめ防止等のための取組					
(1) 全ての市立小・中学校において「学校いじめ防止基本方針」を作成し、計画的、組織的な対応をすることにより、いじめの未然防止、早期発見、早期解消を図った。また、各学校において、小さなトラブルも、いじめの可能性を考えて適切に対応しているため、重大な事態に陥ることはなかった。3 学期に起きたいじめについては、解消としていない。(解消とは、いじめの行為が止んで3 ヶ月経過した状態である。)					
(2) 年間3 回の「いじめ撲滅期間」を設定して集中的にいじめの防止等のための取組を実施することにより、児童生徒、保護者、地域住民への啓発を図った。全市的ないじめ防止への意識の高揚につながった。					
5 令和5 年度の小・中学校におけるいじめの認知件数及び解消件数 (単位：件)					
	認知件数	解消件数		認知件数	解消件数
小学校	79	55	中学校	44	31
※ いじめの解消には、3 ヶ月以上見守る必要がある。2 月以降に認知したいじめについて現在見守りをしている。					
6 いじめ防止等のための組織					
7 月 19 日に加須市いじめ問題対策連絡協議会を実施した。					

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 3,286,000 円

- ・ 翌年度への繰越事業の内容

備品購入費：スペシャルサポートルーム設置に必要な個別空間を作るためのパーティションや学習のための教材等（3,286,000 円）

- ・ 令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由

令和6年3月補正において補正予算を計上したが、期間が短く年度内の購入及び納品が困難であったため。

事業名		教育センター運営事業			2212-02	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	17,498,000 円	—	
項	01	教育総務費	最終予算額	17,643,000 円	—	
目	03	教育振興費	決 算 額	16,913,126 円	—	
事業の目的		不登校児童生徒の学校復帰による不登校の解消を図るため、教育相談を充実させるとともに、児童生徒の生きる力を育成するため、教職員の資質向上に向けた研修の充実を図る。				
事業の概要		不登校児童生徒の生活改善を図り、学校復帰を目指すため、加須学びサポート『ピア』、加須学びリンク『ピア』を運営し、対象児童生徒を指導する。 教育相談室の運営や教育相談活動の充実を図る。 教育センターの企画立案のもとに、各種研修会を実施する。				
事業の実績・成果						
・教職員の資質・能力の向上のため、加須市教育センター主催の教職員研修を実施した。 【講座数・参加人数の推移】 (単位：上段 講座数 下段 人)						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教職員研修会		16	0	4	15	15
延べ人数		1,015	0	107	394	353
・適応指導教室「学習室ピア」を運営し、引きこもりの解消とともに不登校児童生徒の学校復帰を図った。 (単位：人)						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
通級児童生徒数		19	18	21	22	23
学校復帰数		16	16	15	9	15
・教育相談を実施し、健やかな児童生徒の育成及び保護者の不安の解消を図った。 【相談件数の推移】 (単位：件)						
相談内容（一部）		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
不登校		289	305	642	316	126
障害等		45	26	16	19	5
友人・いじめ		59	13	8	6	3
進路		14	3	2	4	0
学級経営等		38	12	4	4	3
就学相談		13	5	3	1	0
態様別		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電話相談		297	364	682	498	179
来所相談		365	272	222	215	181
自宅訪問		5	1	0	0	0
学校訪問		136	120	109	109	116
関係機関		1	1	0	0	0
合 計		804	758	1,013	822	476
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 155,000 円						
・ 翌年度への繰越事業の内容 備品購入費：教育センターにおけるオンライン授業やタブレットでの学習を行うための拡大モニター等 (155,000 円)						
・ 令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由 令和6年3月補正において補正予算を計上したが、期間が短く年度内の購入及び納品が困難であったため。						

事業名		学校いきいきステーション事業			2215-01
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,172,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	4,172,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	4,110,300 円	—
事業の目的		公立学校（園）の一層の活性化と家庭や地域の教育力の向上のため、学校及び公立幼稚園・家庭・地域が一体となってこどもの健全育成を目指す。			
事業の概要		すべての公立学校（園）に、学校（園）と家庭・地域社会の橋渡しとなる「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、ボランティアからなる「学校（幼稚園）応援団」を組織する。「学校（幼稚園）応援団」を活用しながら学校（園）・家庭・地域が一体となって様々な活動を展開することで、こどもの健全育成に取り組む。			
事業の実績・成果					
全ての市立幼稚園及び小・中学校で「学校（幼稚園）応援団」を組織し、学校と地域とが協働しながら諸活動を進めることができた。具体的には、学習支援、学校の環境整備、登下校における安全の確保、学校・家庭・地域の交流活動等を、各学校の実態に応じて実施した。 登下校時における変質者や痴漢等による被害から、児童生徒の安全を確保するため、地域社会や警察署との連携を図り、児童生徒が一時的に避難できる場所としての「子ども 110 番の家」を各小学校から委託した。児童生徒の安全を地域で一丸となって守る取組として継続的に行っている。					
【学校応援団の登録者数の推移】			（単位：人）		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
合 計	4,254	4,167	3,888	3,410	2,917
（「子ども 110 番の家」を含む）					
※ 合併前の旧加須市では、平成 17 年度から県のモデル事業として取組を開始した。また、旧騎西町、北川辺町、大利根町では、県の事業化を受けて平成 20 年度から取組を開始した。合併後の平成 22 年度から「学校いきいきステーション事業」として、全市的に学校応援団の活動を展開している。 以降、全ての市立小学校（22 校）に、学校と地域の橋渡し役を果たす「ふれあい推進長（学校応援コーディネーター）」を委嘱し、教育活動を支援する「学校応援団」を組織して、活動を推進してきた。平成 23 年度からは、市立中学校（8 校）全てにおいても学校応援団活動がスタートし、これにより市立全小・中学校（30 校）で学校応援団の活動が展開されるようになった。					

事業名		保・幼・小中一貫教育事業			2215-03
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,250,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	1,250,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	788,427 円	—
事業の目的		学校不適応児童生徒の解消のために、保育所(園)、幼稚園、小・中学校相互の滑らかな接続をめざし、教育指導・内容の充実を図る。			
事業の概要		幼児、児童生徒間の異年齢集団による交流活動を通して、豊かな人間性や社会性をはぐくむ。 また、教職員が校（園等）種を越えて交流し、互いの指導内容や指導方法等を理解し合うことで、教員としての指導力や人間性を高める。			
事業の実績・成果					
1 保育所（園）・幼稚園・小学校・中学校等の交流実績と主な事例					
交流園・校		主な交流内容			回数
小学校→幼稚園		幼稚園行事への参加、児童による読み聞かせの実施、体験活動への参加			130
小学校→保育所（園）		保育行事への参加、体験活動への参加			14
小学校→中学校		児童の中学校見学、生徒指導での情報提供等			35
中学校→幼稚園		手作りおもちゃを使った活動、生徒の保育実習実施			42
中学校→保育所（園）		生徒の保育実習実施			23
中学校→小学校		中学校教員による授業の実施、学校紹介			119
幼稚園→保育所（園）		5 歳児同士の交流、行事を通じた交流			4
幼稚園→小学校		学校行事への参加、合同の体験活動、授業の参観、研究会への参加			119
幼稚園→中学校		手作りおもちゃを教員が搬入			1
幼稚園→幼稚園		なかよし交流会、3 歳児保育交流			5
その他		保育所と 1 年生の交流、特別支援学校等の交流等			29
リンクミーティング		各園校の実態及び課題把握、教科学習の交流（外国語活動、英語）			143
2 事業の成果					
・異年齢の幼児、児童生徒の縦の交流により、相手を敬ったり思いやったりする等の豊かな心をはぐくむことができた。					
・教職員が異校種の保育や授業を参観したり、実際に保育や授業を行ったりすることで、発達段階に応じた指導方法を理解し、幼児、児童生徒の校種間の接続を意識するようになった。					
・市内全中学校区でのリンクミーティングが実施され、校種間の連携が深くなった。市立小・中学校においては、学力向上や生徒指導での連携を目指す取組もあった。					
・保育園から中学校まで、地域で目指す子供像を共有し、発達段階に応じた指導を行うことができた。					

事業名		あいさつふれあい推進事業			2215-06	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	282,000 円	—	
項	01	教育総務費	最終予算額	282,000 円	—	
目	03	教育振興費	決 算 額	119,843 円	—	
事業の目的		心のふれあうまちづくりのために、あいさつを通して、児童生徒の心の教育の推進や地域の防犯意識の高揚を目指す。				
事業の概要		教育機関、地域、行政機関等が一体となった市を挙げた「加須市あいさつ運動～あいさつ さわやか かぞのまち～」を推進する。 年間を通した継続的な取組及び5月と10月に強化期間を設定しての取組を実施する。				
事業の実績・成果						
1 地域と連携したあいさつ運動（加須市あいさつ運動）の主な活動						
(1) 通年を通した取組						
市立幼稚園、小・中学校が学校や地域の実態に応じて、効果的なあいさつ運動を展開した。						
(2) あいさつ強化期間の取組						
①市民平和祭及び市民まつりにおいて、青少年育成加須市民会議の方々と協力し、あいさつ運動を実施した。						
②加須駅、花崎駅、柳生駅、栗橋駅において、青少年育成加須市民会議の方々と協力し、「駅キャンペーン」を実施した。						
③市役所・各総合支所においては、あいさつ啓発ポスターを掲示し、来庁者に啓発のためのポケットティッシュの配布を行った。						
④各学校及び幼稚園に依頼し、期間中のあいさつ運動を実施した。						
2 緑の少年団活動						
不動岡小学校の児童が草花の種まき・苗植えを実施した。						
【参考】						
令和5年度埼玉県学力・学習状況調査				(単位：％)		
		自分から進んであいさつができている児童生徒の割合				
選択肢		よくできる	だいたいできる	あまりできない	できない	その他
小学校6年生		41.0	41.3	13.5	2.3	1.9
中学校3年生		39.9	42.0	13.3	2.8	1.9

事業名		通学路安全対策事業			2215-08
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	20,500,000 円	—
項	01	教育総務費	最終予算額	20,386,000 円	—
目	03	教育振興費	決 算 額	19,832,835 円	—
事業の目的		市内のこどもたちの安心・安全の確保のため、登下校において、事故やけがなどによる負傷を避け、安全に登下校できるよう、速やかな対応による通学路環境の改善を目指す。			
事業の概要		各学校による通学路の安全点検の結果報告をもとに現地調査を行い、関係課や関係機関と協議の上、対策案を立案し、安全対策を講じる。			
事業の実績・成果					
・ 令和 5 年度は、通学路安全対策事業費で 11 箇所の改善を行った。					
(単位：上段 箇所 下段 円)					
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
工事箇所数	28	7	20	12	11
事業費	14,287,720	3,454,000	7,482,200 円	3,847,594 円	19,832,835 円
・ 令和 5 年度に改善を行った 11 箇所の内容					
No.	学校名	報告箇所	工事内容		
1	不動岡小学校	下谷区民会館付近の交差点	路面標示の新設		
2	不動岡小学校	下谷 47 付近	外側線の塗り直し、延長		
3	騎西小学校	外川 644-17 番地付近	フェンス設置		
4	田ヶ谷小学校	内田ヶ谷 396-2	路面標示の新設		
5	元和小学校	北下新井野中 95	路面標示の新設		
6	加須東中学校	花崎 2-2-1	路面標示の新設		
7	加須東中学校	花崎 1-22-1	路面標示の新設		
8	騎西中学校	騎西 1156 付近	路面標示の新設		
9	大利根中学校	旗井 3-10 付近	路面標示の塗り直し		
10	大利根中学校	北下新井 684-1 付近	道路の舗装		
令和 4 年度から令和 7 年度にかけて行う工事					
11	大利根東小学校	市道 116 号線	歩道整備		
【対応課】					
・ 交通防犯課 4 箇所		・ 騎西総合支所地域振興課 2 箇所			
・ 騎西総合支所農政建設課 1 箇所		・ 大利根総合支所地域振興課 2 箇所			
・ 大利根総合支所農政建設課 2 箇所					
【成果】					
通学路安全点検の結果をもとに改善が必要と判断した箇所に優先順位をつけ、関係課や関係機関と協議して対応することにより、通学路における児童生徒の安全な環境が維持できた。					

事業名		小学校健康推進事業			2213-02			
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越			
款	10	教育費	当初予算額	30,901,000 円	—			
項	02	小学校費	最終予算額	30,901,000 円	—			
目	01	学校管理費	決 算 額	28,964,902 円	—			
事業の目的		学校保健安全法に基づき小学校児童及び教職員の健康管理をすることで、教育環境の充実を図る。						
事業の概要		学校保健安全法に基づく児童の健康診断（内科・歯科健診、尿検査、心電図検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 フッ素塗布、歯磨き指導を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。						
事業の実績・成果								
1 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務内容 学校医 ：内科検診、就学時健診、学校保健委員会講師、研修等 学校歯科医 ：歯科健診、就学時歯科健診、臨時歯科健診、学校保健委員会講師等 学校薬剤師 ：飲料水水質検査及び結果指導、学校環境検査、研修等								
2 学校歯科保健事業における歯科衛生士の派遣 フッ素塗布 ：延べ41回派遣 歯みがき指導 ：延べ23回派遣								
3 児童及び教職員健康診断の受診の推移 （単位：人）								
年度 合計	児童健康診断					教職員健康診断		
	尿検査 一次	尿検査 二次	心臓検診	脊柱側彎 検査	結核	健康診断	胃	大腸
令和元年度 7,796	5,504	273	811	948	12	200	15	33
令和2年度 7,554	5,356	209	787	933	6	209	16	38
令和3年度 7,524	5,239	216	828	971	7	200	16	47
令和4年度 7,342	5,121	273	815	880	15	193	10	35
令和5年度 7,224	4,999	329	828	813	11	198	12	34
4 教職員ストレスチェック 該当教職員 402 人 受検者数 394 人 受検率 98% 高ストレス者数 34 人								
5 養護教諭B型肝炎予防接種（接種規定回数1人3回） 接種者 1 人 延べ接種回数1回								

事業名		小学校管理運営事業			2214-01
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	330,590,000 円	—
項	02	小学校費	最終予算額	330,848,000 円	—
目	01	学校管理費	決 算 額	294,009,010 円	—
事業の目的		・ 明るく豊かで活力に満ちた児童の健全な育成を目指し、小学校における教育環境の整備を図る。			
事業の概要		・ 小学校22校について、必要な予算を配分し、管理運営を行う。 ・ 学校プール共同利用のため民間バス借上げを行う。 ・ 水泳授業支援民間委託を行う。 ・ 施設の緊急修繕や危険樹木の剪定、伐採を行う。			
事業の実績・成果					
1. 小学校の管理運営を行うに当たり、必要諸経費を適切に支出することができた。					
・【諸経費過去5年間の推移と対前年比】					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電気料（円）	41,566,963	42,234,646	45,975,451	69,778,619	93,023,808
対前年比（％）	107.80	101.61	108.88	151.77	133.31
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
水道料（円）	16,404,948	12,854,707	13,057,260	14,644,637	12,636,267
対前年比（％）	91.03	78.36	101.58	112.16	86.29
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
修繕料（円）	26,544,667	24,738,563	27,452,347	30,243,113	32,500,829
対前年比（％）	100.47	93.20	110.97	110.17	107.47
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
電話料（円）	5,483,225	6,056,507	5,899,505	5,774,964	5,925,712
対前年比（％）	99.81	110.46	97.41	97.89	102.61
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
委託料（円）	14,619,668	15,203,957	17,167,599	18,533,910	21,680,176
対前年比（％）	98.08	104.00	112.92	107.96	116.98
機械警備の委託、消防設備、給食用エレベーターの点検及び修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに汚水処理施設及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。					
なお、委託料のうち民間スイミングスクールプール利用のため委託料は次のとおりである。					
・ 民間スイミングスクールプール利用のため委託料 2,128,720 円					
実施校		実施日数			
樋遣川小学校		8日間（5～7月） ※4回/学年			
豊野小学校		8日間（5～7月） ※4回/学年			

・プール共同利用のためのバス借上料 4,730,000 円

利用校	拠点校	バス台数	バス運行日数
大越小学校	原道小学校	中型 1 台	6 日間 (6～7 月)
志多見小学校	田ヶ谷小学校	大型 1 台	6 日間 (6～7 月)
高柳小学校	騎西小学校	中型 3 台	5 日間 (6～7 月)
鴻荳小学校	種足小学校	大型 1 台	6 日間 (6～7 月)
北川辺西小学校	北川辺東小学校	大型 1 台、中型 1 台	7 日間 (6～7 月)
礼羽小学校	加須南小学校	大型 2 台	4 日間 (6 月)

・音楽会に係る会場借上料 145,000 円

・各種大会に参加するためのバス借上料 2,948,140 円

大会名	会 場	バス利用参加人数	バス台数
市内陸上競技会 (開催日) 10/17	加須市民運動公園	21 校、807 人	大型 13 台
市内音楽会 (開催日) 10/30 11/13	パストラルかぞ	21 校、502 人	大型 16 台 マイクロ 4 台
東部・北地区音楽会 (開催日) 11/22	パストラルかぞ	6 校、144 人	大型 4 台 ※中学校と 1 台併用

事業名		小学校施設整備事業		2214-04	
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	643,041,000 円	25,620,230 円
項	02	小学校費	最終予算額	694,838,000 円	25,620,230 円
目	01	学校管理費	決 算 額	327,403,988 円	24,570,420 円
事業の目的		・ 学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。			
事業の概要		・ 小学校 22 校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。			
事業の実績・成果					
1. 老朽化した建築物及び給排水・電気設備等の改修、調査を行い適正な学校運営を確保した。 29,948,600 円 高柳小学校救助袋交換工事 高柳小学校昇降機改修工事 元和小学校通用門設置工事 元和小学校校庭東側防球ネット設置工事 礼羽小学校校舎構造躯体劣化状況等調査業務委託					
2. 公共施設の緊急安全点検（令和 5 年 8 月）の結果を踏まえ、安全対策の工事を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。1,848,000 円 北川辺西小学校渡り廊下屋根裏打材撤去工事 花崎北小学校バックネット張替工事 花崎北小学校昇降口外部床改修工事					
3. 学級数増加に伴う整備を実施し、適正な学校運営を確保した。747,593 円 加須南小学校特別支援教室カーテン購入 特別支援教室カーテン購入（三俣小学校、高柳小学校） 特別支援教室備品購入（加須南小学校、大越小学校、鴻荃小学校）					
4. 元和小学校校舎増築工事として 2 カ年に渡る工事に着手した。294,859,795 円（前払金及び出来高） 元和小学校校舎増築工事 元和小学校校舎増築電気設備工事 元和小学校校舎増築機械設備工事 元和小学校校舎増築工事監理等業務委託					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 24,570,420 円 ・ 前年度からの繰越事業の内容					
1. 老朽化した建築物及び給排水・電気設備等の改修 2,569,100 円 加須市立小学校プール循環ポンプ交換工事（加須南小学校、大桑小学校、種足小学校）					
2. 学級数増加に伴う整備 21,501,920 円 水深小学校学級数の増加に伴う生活教室改修工事 水深小学校学級数の増加に伴う情報通信ネットワーク環境施設整備工事 水深小学校学級数の増加に伴う電気設備整備工事 志多見小学校特別支援教室の増加に伴う情報通信ネットワーク環境施設整備工事 志多見小学校特別支援教室の増加に伴う電気設備整備工事 志多見小学校特別支援教室備品購入 志多見小学校特別支援教室カーテン購入 特別支援教室等備品購入（大桑小学校、水深小学校、高柳小学校、元和小学校）					
3. 元和小学校校舎増築に伴う整備 499,400 円 元和小学校校舎増築に伴う仮設物置場囲い工事					

・令和４年度から令和５年度へ繰り越した理由

令和４年１２月議会及び令和５年３月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成及び備品の納入に期間を要するため。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 89,701,150 円

・翌年度への繰越事業の内容

１．公共施設の緊急安全点検（令和５年８月）の結果を踏まえた安全対策 59,744,850 円

原道小学校体育館屋根改修工事

原道小学校敷地南・西側フェンス設置工事

小学校非常階段塗装改修工事（加須小学校、三俣小学校、樋遣川小学校、騎西小学校）

礼羽小学校プール小屋解体工事

２．学級数増加に伴う整備 29,956,300 円

三俣小学校外２校特別支援教室等の増加に伴う情報通信ネットワーク環境整備工事（三俣小学校、田ヶ谷小学校、高柳小学校）

加須南小学校特別支援教室の増加に伴う情報通信ネットワーク環境整備工事

騎西小学校通級指導教室整備工事

騎西小学校通級指導教室の増加に伴う電気設備整備工事

高柳小学校学級数の増加に伴う電気設備整備工事

特別支援教室等備品購入（礼羽小学校、高柳小学校、元和小学校、三俣小学校、田ヶ谷小学校、騎西小学校、大利根東小学校）

・令和５年度から令和６年度へ繰り越す理由

令和５年１２月議会及び令和６年３月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成及び備品の納入に期間を要するため。

【翌年度への繰越事業（継続費通次繰越）】 265,177,205 円

・翌年度への繰越事業の内容

元和小学校校舎増築工事及び監理委託（小学校分）

・令和５年度から令和６年度へ繰り越す理由

令和５年度から令和６年度までの継続費（総額 1,059,220,000 円）であり、令和５年度予算額（継続費 560,037,000 円）のうち決算額（294,859,795 円）を除く 265,177,205 円を通次繰越するため。

事業名		小学校就学援助事業			2211-21
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	45,491,000 円	—
項	02	小学校費	最終予算額	34,408,000 円	—
目	02	教育振興費	決 算 額	30,368,646 円	—
事業の目的		小学校6年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる児童の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		要保護児童の保護者に対して、修学旅行費及び医療費の就学援助費を支給する。 準要保護児童の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、児童会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。			
事業の実績・成果					
経済的な理由によって、就学が困難と認められる児童の保護者に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の必要な援助を行った。また、保護者に対し、就学援助制度の案内を行い制度の周知に努めた。 さらに、援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を行った。					
1 就学援助者数の推移			(単位：人)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就学援助者数	593	568	545	554	533
2 援助費額の推移			(単位：円)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給額	35,561,267	30,048,851	34,510,809	26,306,236	30,244,711
3 児童数に対する就学援助者の割合			(単位：％)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
割合	10.7	10.6	10.4	10.7	10.5

事業名		小学校特別支援教育就学奨励事業			2211-25
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,162,000 円	—
項	02	小学校費	最終予算額	5,162,000 円	—
目	02	教育振興費	決 算 額	3,878,649 円	—
事業の目的		特別支援学級に在籍する児童及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		特別支援学級へ在籍する児童及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する児童の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。			
事業の実績・成果					
教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級に就学する児童の保護者に対して、学用品費等を支給し、経済的な負担の軽減を図る。					
保護者に対し、制度の案内及び周知に努め、利用可能な世帯に対して補助額の多い就学援助制度の案内を図った。					
1 特別支援教育就学奨励費支給者数の推移			(単位：人)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給者数	152	157	163	183	188
2 支給額の推移			(単位：円)		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給額	3,716,993	2,963,956	4,157,631	3,137,421	3,864,649

事業名		小学校教材用備品整備事業			2211-30
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,802,000 円	—
項	02	小学校費	最終予算額	2,802,000 円	—
目	02	教育振興費	決 算 額	2,745,930 円	—
事業の目的		・理科教育に必要な備品を整備し、理科教育の充実を図る。			
事業の概要		・各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。			
事業の実績・成果					
国庫補助（補助率：事業計画額の 1/2）を活用し、整備率の低い騎西・北川辺地域に重点を置きながら、各校の理科設備備品を購入し、理科教育の振興を図った。					
● 理科設備備品購入 （20 校） 決算額 2,745,930 円					
● 理科教育設備整備率					
各学校の理科教育設備の整備率					
＝ 各学校総計の年度末現有額 ÷ 理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額					
(単位：％)					
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
理科教育設備整備率	76.8	76.9	76.6	75.8	74.6

事業名		中学生夢創造チャレンジ事業		2211-18	
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	419,000 円	—
項	03	中学校費	最終予算額	419,000 円	—
目	01	学校管理費	決 算 額	347,496 円	—
事業の目的		生徒の将来の夢や希望を育むため、進路意識の啓発、高揚を図り、中学生が望ましい職業観や働くことの意義、生き方等を学ぶ機会の充実を目指す。			
事業の概要		中学生が人とのふれあいを通して「働くことの意義」や「生き方」について学ぶ、市立各中学校が企画する職場体験学習に必要な消耗品費や保菌検査、損害保険加入等を支援する。 地域の方等から生き方や職業についての話を聞く「ふれあい講演会」の支援を行う。			
事業の実績・成果					
・ふれあい講演会 市内 6 つの中学校において、ふれあい講演会を実施することができた。講師には、銀行員やプロボクサー、ピアニスト、YouTuber などを招き、多彩な講演が展開された。この学びの機会を通して、生徒一人一人が、進路決定における視野を広げることができた。					
・職場体験学習 延べ 235 の事業所に協力をいただき、832 名の生徒が 2 日または 3 日間の職場体験学習に参加した。飲食業で体験する生徒については、全員の保菌検査を実施し、安全の確保を図った。活動を通し、望ましい職業観や勤労観の形成を図ることができ、多くの人々とのふれあいは、社会性等を養うことにつながった。					
※ 職場体験学習事業所					
職業分類	事業所（順不同）				
農業	宮内バラ園、(株) サンリツファーム、田島農園 など				
製造業	(株)大川緑地開発、平井板金、湖池屋関東工場、(株)アプロンアパレル、デンソーワイパシステムズ、野中自動車整備工場、三ツ矢産業(株)、根岸研磨、中央化学、グローリー(株)、(株)ラスコ など				
販売	(株)カサモ関口商店、(株)東武ストア、(株)とりせん、ウエルシア薬局、スーパービバホーム加須店、洋服の青山、シャトレーゼ、セキ薬品加須店、道の駅おとおね、ベルク加須久下店、竹内写真館、わたや食品、(株)カインドウェア、ナフコ、道の駅かぞわたらせ、カインズホーム大利根店、ベイシア大利根店 など				
飲食業	てるこう、とんでん加須店、すき家加須諏訪店、久下屋脩兵衛、デニーズ加須店、ロツテリア、パプリカ、うなぎの荒川、おおぎやフーズ、北海道ラーメン、割烹かたやま など				
電気・建設業	輝夢、大利根造園、小林土建工業(株)、大塚工務店 など				
学校・幼稚園	市内幼稚園、小学校				
公共施設	市役所、図書館、加須消防署、いなほの湯、加須げんきプラザ、埼玉県環境科学国際センター など				
社会福祉施設	市内保育所、あけぼの園、ケア・ビレッジ シャローム、みずほの里、利根いこいの里、愛泉苑 など				
その他	中田病院、埼玉県信用金庫加須支店、埼玉自動車学校、中村動物病院、玉敷神社、(株)むさしの村、大利根造園 など				

事業名		生徒派遣援助事業				2211-32			
担当課		教育総務課			現 年	前年度からの繰越			
款	10	教育費		当初予算額	800,000 円	—			
項	03	中学校費		最終予算額	800,000 円	—			
目	01	学校管理費		決 算 額	711,567 円	—			
事業の目的		・ 明るく豊かで活力に満ちた生徒の健全な育成を目指すために、中学校における各種スポーツ及び文化活動の振興を図る。							
事業の概要		・ 全国大会等に出場する選手の派遣を支援する。							
事業の実績・成果									
・ 令和5年度全国及び関東中学校体育連盟主催の競技大会等への生徒派遣費補助金 711,567 円									
令和5年度実績 8件（15人）				（単位：円）					
	学校名	学年	競技種目	出場種目	大会期日	大会会場	市補助金	県中体連補助金	補助合計
関東大会	昭和中学校	3	水泳	800m自由形 400m自由形	8月8日～8月10日	東京アクアティクスセンター （東京都江東区）	40,310	2,230	42,540
	加須西中学校	3	陸上	棒高跳	8月7日～8月8日	水戸信用金庫スタジアム （茨城県水戸市）	30,026	3,100	33,126
	騎西中学校	1	陸上	100mハードル	8月7日～8月8日	水戸信用金庫スタジアム （茨城県水戸市）	29,738	3,100	32,838
	騎西中学校	3	水泳	200m背泳ぎ	8月8日～8月10日	東京アクアティクスセンター （東京都江東区）	37,340	2,230	39,570
	騎西中学校	2,3	卓球	女子団体（8名）	8月8日～8月10日	小瀬スポーツ公園体育館 （山梨県甲府市）	271,536	24,800	296,336
全国	加須西中学校	3	陸上	棒高跳	8月22日～8月25日	ニンジニアスタジアム （愛媛県松山市）	96,246	3,100	99,346
	加須北中	2	水泳	100m水泳 200m水泳	8月17日～8月19日	香川県立総合水泳プール （香川県高松市）	119,545	10,850	130,395
	騎西中学校	1	陸上	110mハードル	8月22日～8月25日	ニンジニアスタジアム （愛媛県松山市）	86,826	3,100	89,926

事業名		中学校健康推進事業			2213-03				
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越				
款	10	教育費	当初予算額	15,118,000 円	—				
項	03	中学校費	最終予算額	15,118,000 円	—				
目	01	学校管理費	決 算 額	14,547,694 円	—				
事業の目的		学校保健安全法に基づき中学校生徒及び教職員の健康を管理することで、教育環境の充実を図る。							
事業の概要		学校保健安全法に基づく生徒の健康診断等（内科検診、歯科健診、尿検査、心電図検査、貧血検査、脊柱側彎症検査、結核検診精密検査）を実施する。 教職員の健康診断、胃がん、大腸がん検診及びストレスチェックを実施する。 生徒に歯科指導を実施する。 学校環境衛生検査を実施する。 食物アレルギーに関する職員研修を充実する。							
事業の実績・成果									
1 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の執務内容 学校医 内科検診等 学校歯科医 歯科健診、臨時歯科健診等 学校薬剤師 飲料水水質検査及び結果指導、学校環境検査、研修等									
2 学校歯科保健事業における歯科衛生士の派遣 歯科指導（歯周病予防を含む）延べ10回派遣									
3 生徒及び教職員の健康診断受診の推移 (単位：人)									
年度 合計	生徒健康診断						教職員健康診断		
	尿検査 一次	尿検査 二次	貧血 検査	心臓検診	脊柱側 彎検査	結核	健康 診断	胃	大腸
令和元年度 5,960	2,779	261	931	923	923	2	104	13	24
令和2年度 5,979	2,810	226	902	952	935	4	111	7	32
令和3年度 5,900	2,801	208	928	922	919	0	90	7	25
令和4年度 5,764	2,759	239	888	891	876	2	83	8	18
令和5年度 5,905	2,767	282	848	944	925	3	103	11	22
4 教職員ストレスチェック 該当教職員 209人 受検者数 205人 受検率98.1% 高ストレス者数 24人									
5 養護教諭B型肝炎予防接種（接種規定回数1人3回） 接種者 1人 延べ接種回数 2回									

事業名		中学校管理運営事業			2214-02
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	182,669,000 円	—
項	03	中学校費	最終予算額	188,441,800 円	—
目	01	学校管理費	決 算 額	161,371,153 円	—
事業の目的		・ 明るく豊かで活力に満ちた生徒の健全な育成を目指し、中学校における教育環境の整備を図る。			
事業の概要		・ 中学校 8 校について、必要な予算を配分し、管理運営を行う。 ・ 施設の緊急修繕や危険樹木の剪定、伐採を行う。			
事業の実績・成果					
1. 中学校の管理運営を行うに当たり、必要諸経費を適切に支出することができた。					
・ 【諸経費過去 5 年間の推移と対前年比】					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
電気料 (円)	19,230,709	20,067,460	22,610,020	31,733,950	41,621,977
対前年比 (%)	94.97	104.35	112.67	140.35	131.16
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
水道料 (円)	8,293,021	6,582,339	7,122,003	6,609,167	5,681,374
対前年比 (%)	102.71	79.37	108.20	92.80	85.96
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
修繕料 (円)	15,168,758	12,073,281	15,676,571	17,409,643	21,311,625
対前年比 (%)	101.31	79.59	130.23	111.10	122.41
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
電話料 (円)	2,618,518	2,650,230	2,858,405	3,045,350	3,174,154
対前年比 (%)	105.77	101.21	107.85	106.54	104.23
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
委託料 (円)	10,420,968	9,232,200	9,459,860	10,749,540	11,842,329
対前年比 (%)	125.08	88.59	102.47	113.63	110.17
機械警備の委託、消防設備、給食用エレベーターの点検及び修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに汚水処理施設及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。					

・部活動の大会に参加するためのバス借上料 15,053,121 円

・音楽会に参加するためのバス借上料 733,760 円

大会名	会 場	バス利用参加人数	バス台数
市内音楽会 (開催日) 10/30 11/13	パストラルかぞ	8 校、310 人	大型 8 台
東部・北地区音楽会 (開催日) 11/22	パストラルかぞ	3 校、110 人	大型 2 台 ※小学校と 1 台併用

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 3,245,000 円

・翌年度への繰越事業の内容

公共施設の緊急安全点検（令和 5 年 8 月）の結果を踏まえた安全対策 3,245,000 円

加須北中学校危険樹木伐採業務委託

・令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由

令和 5 年 12 月議会において補正予算を計上したものであり、業務の完了に期間を要するため。

事業名		中学校施設整備事業		2214-05	
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	825,000 円	2,140,900 円
項	03	中学校費	最終予算額	22,554,000 円	2,140,900 円
目	01	学校管理費	決 算 額	3,263,980 円	1,767,810 円
事業の目的		・ 学校施設の整備・充実を図り、安全で快適な学習環境を確保する。			
事業の概要		・ 中学校 8 校について、環境改善を要する施設を常に把握し、優先度を判断して計画的に修繕、改修工事及び施設備品の購入を行う。			
事業の実績・成果					
1. 公共施設の緊急安全点検（令和 5 年 8 月）の結果を踏まえ、安全対策の工事を実施し、施設の適正な維持管理に努めた。 3,174,000 円 加須東中学校西校舎階段建具廻りシーリング工事 昭和中学校校庭北側生垣フェンス化工事（前払金） 昭和中学校体育館外壁補修工事（前払金）					
2. 学級数増加に伴う整備を実施し、適正な学校運営を確保した。 89,980 円 特別支援教室備品購入（騎西中学校）					
【前年度からの繰越事業（繰越明許）】 1,767,810 円 ・ 前年度からの繰越事業の内容 特別支援教室の増加に伴う備品購入（加須東中学校、加須西中学校） ・ 令和 4 年度から令和 5 年度へ繰り越した理由 令和 4 年 12 月議会及び令和 5 年 3 月議会において補正予算を計上したものであり、備品の納入に期間を要するため。					
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 8,150,280 円 ・ 翌年度への繰越事業の内容 1. 老朽化した建築物及び給排水・電気設備等の改修 3,025,000 円 加須平成中学校理科室エアコン設置工事 2. 公共施設の緊急安全点検（令和 5 年 8 月）の結果を踏まえた安全対策 4,402,800 円 昭和中学校校庭北側生垣フェンス化工事 昭和中学校体育館外壁補修工事 3. 学級数増加に伴う整備 722,480 円 特別支援教室備品購入（昭和中学校、加須北中学校） ・ 令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由 令和 5 年 12 月議会において補正予算を計上したものであり、工事の完成及び備品の納入に期間を要するため。					

事業名		中学校就学援助事業			2211-23
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	49,786,000 円	—
項	03	中学校費	最終予算額	40,761,000 円	—
目	02	教育振興費	決 算 額	35,086,156 円	—
事業の目的		中学校3年間の普通教育を保障し、義務教育の円滑な実施のため、経済的理由によって就学が困難と認められる生徒の保護者に、必要な援助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		要保護生徒の保護者に対して、修学旅行費、医療費の就学援助費を支給する。 準要保護生徒の保護者に学用品費、新入学学用品費、修学旅行費、校外活動費、給食費、医療費、PTA会費、生徒会費等の就学援助費を支給する。 認定基準は、生活保護最低生活費認定基準の見直しによる影響がないように基準を設定する。			
事業の実績・成果					
経済的な理由によって、就学が困難と認められる生徒の保護者に対して、給食費、学用品費、校外活動費等の必要な援助を行った。また、保護者に対し、就学援助制度の案内を行い制度の周知に努めた。 さらに、援助を必要とする時期に速やかな支給が行えるよう「新入学児童生徒学用品費」の入学前支給を行った。					
1 就学援助者数の推移				(単位：人)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
就学援助者数	388	361	376	356	345
2 援助費額の推移				(単位：円)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給額	39,915,707	29,737,282	33,142,199	31,901,194	35,086,156
3 生徒数に対する就学援助者の割合				(単位：％)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
割合	13.8	12.7	13.3	12.7	12.3

事業名		中学校特別支援教育就学奨励事業			2211-26
担当課		学校教育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,029,000 円	—
項	03	中学校費	最終予算額	5,029,000 円	—
目	02	教育振興費	決 算 額	2,746,648 円	—
事業の目的		特別支援学級に在籍する生徒及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者のために、通学に係る費用について必要な補助をし、経済的負担の軽減を目指す。			
事業の概要		特別支援学級へ在籍する生徒及び学校教育法施行令第22条の3に規定する障害の程度に該当する生徒の保護者に対し、所得に応じて、学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等を国の基準により支給する。			
事業の実績・成果					
教育の機会均等の趣旨にのっとり、特別支援学級に就学する生徒の保護者に対して、学用品費等を支給し、経済的な負担の軽減を図る。					
保護者に対し、制度の案内及び周知に努め、利用可能な世帯に対して補助額の多い就学援助制度の案内を図った。					
1 特別支援教育就学奨励費支給者数の推移				(単位：人)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給者数	54	68	56	64	88
2 支給額の推移				(単位：円)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
支給額	1,779,299	1,960,318	1,532,120	2,038,038	2,738,648

事業名		中学校教材用備品整備事業			2211-31
担当課		教育総務課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,609,000 円	—
項	03	中学校費	最終予算額	1,609,000 円	—
目	02	教育振興費	決 算 額	1,544,620 円	—
事業の目的		・理科教育に必要な備品を整備し、理科教育の充実を図る。			
事業の概要		・各校の理科備品の整備状況を踏まえ、理科教育設備の充実に必要な備品を整備する。			
事業の実績・成果					
国庫補助（補助率：事業計画額の 1/2）を活用し、整備率の低い 騎西・大利根地域に重点を置きながら、各校の理科設備備品を購入し、理科教育の振興を図った。					
● 理科設備備品購入（8 校）決算額 1,544,620 円					
● 理科教育設備整備率					
各学校の理科教育設備の整備率					
＝ 各学校総計の年度末現有額 ÷ 理科教育振興費国庫補助金交付要綱に定める基準額					
(単位：%)					
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
理科教育設備整備率	80.5	80.5	83.4	82.8	81.6

事業名		幼稚園預かり保育事業			2131-16
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	10,587,000 円	—
項	04	幼稚園費	最終予算額	8,787,000 円	—
目	01	幼稚園費	決 算 額	7,421,905 円	—
事業の目的		仕事など家庭の事情により、保育の延長が必要な幼児に対して、公立幼稚園で預かり保育を実施することにより、子育てを支援する。			
事業の概要		保護者の就労・入通院や家族の看護・介護等により、通常の保育終了の午後 3 時から 4 時 30 分までの 1.5 時間、定期的、または一時・緊急時に保育を必要とする幼児を対象に保育を行う。 定期利用 月額 2,200 円 一時・緊急 日額 200 円 無償化の認定を申請し、承認されると、預かり保育料は無償になる。			
事業の実績・成果					
1 保護者の利用希望のあった 11 園で預かり保育を実施し、子育て支援を行った。					
2 実施形態					
(1) 定期利用 年間又は 3 か月以上を通じて継続的な利用者					
(2) 一時・緊急時利用 短期間の継続的な利用者又は断続的な利用者及び緊急時の一時的利用者					
3 預かり保育利用者延べ人数 (単位：人)					
幼稚園名		令和 5 年 度			
		うち定期利用者		うち一時・緊急時利用者	
加須幼稚園		857	478	379	
不動岡幼稚園		121	109	12	
三俣幼稚園		739	478	261	
礼羽幼稚園		458	233	225	
大桑幼稚園		1,515	1,264	251	
水深幼稚園		693	413	280	
大越幼稚園		166	139	27	
花崎北幼稚園		787	649	138	
騎西中央幼稚園		818	532	286	
騎西南幼稚園		317	273	44	
北川辺幼稚園		874	777	97	
合 計		7,345	5,345	2,000	
※ 子育てのための施設等利用給付の認定を受けると、預かり保育料は無償となる。					

事業名		公立幼稚園管理運営事業			2141-01
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	133,708,000 円	—
項	04	幼稚園費	最終予算額	129,384,000 円	—
目	01	幼稚園費	決 算 額	111,469,098 円	—
事業の目的		公立幼稚園（13 園）の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・ 公立幼稚園 13 園について、必要な消耗品費、印刷製本費、光熱水費、修繕費、委託料、土地借上料、備品購入費などを適正に管理し、管理運営を行う。 ・ 幼児、教職員の健康診断等を実施する。 ・ 幼稚園の環境衛生検査を実施する。 ・ 産休代替、欠員補充職員を配置する。 ・ 幼稚園業務補助員を配置する。			
事業の実績・成果					
諸経費過去 5 年間の推移					
(単位：円)					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
電気料	7,951,569	8,207,323	9,008,101	10,514,677	9,162,553
水道料	1,678,161	1,370,036	1,333,647	1,322,909	1,245,067
修繕料	4,534,529	4,526,960	4,251,253	4,478,132	4,469,775
電話料	1,173,675	1,313,709	1,156,360	999,698	930,986
委託料	5,058,233	6,841,521	4,704,808	4,532,505	5,068,561
機械警備の委託、消防設備、給食用リフトの点検及び施設の修繕を行い、防犯・防火・安全対策の機能維持並びに浄化槽及び受水槽の維持管理を行い、環境・衛生の保全に努めた。					
公立幼稚園園児数の推移（各年 5 月 1 日現在）					
(単位：人)					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
園 児 数	669	662	636	550	488
【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 1,669,800 円					
・ 翌年度への繰越事業の内容					
令和 5 年度 加須市立礼羽幼稚園空調機設置工事【R6.2 補】（1,669,800 円）					
・ 令和 5 年度から令和 6 年度へ繰り越す理由					
空調機設置工事は、2 月補正予算により予算を措置したもので、令和 5 年度内に完了しないため令和 6 年度へ繰り越した。					

事業名		公立幼稚園施設整備事業			2142-01
担当課		こども保育課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	0 円	—
項	04	幼稚園費	最終予算額	1,892,000 円	—
目	01	幼稚園費	決 算 額	1,848,000 円	—
事業の目的		公立幼稚園の施設整備を行い、教育環境の充実を図る。			
事業の概要		第 2 期加須市子ども・子育て支援計画及び加須市学校施設長寿命化計画に基づき、計画的に施設の改修、改築等を行う。			
事業の実績・成果					
水深幼稚園の駐車場について、小学校の下校時と、幼稚園の降園時の混雑が激しく、幼稚園の保護者から駐車場増設を要望する声が多いため、保護者が安心して送迎ができるよう、駐車場 11 台分の増設を行った。					
(単位：円)					
施設名		内容	工事金額		
水深幼稚園		駐車場の台数不足に伴う駐車場整備 (碎石舗装 230 m ² 駐車台数 11 台)	1,848,000		

事業名		家庭の学びと地域の絆推進事業			2215-05
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	115,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	115,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	49,000 円	—
事業の目的		家族・地域の絆づくりの一層の推進のため、「家庭の教育力」と「地域の教育力」の向上を図る。			
事業の概要		・家族や地域の絆を深めるために「就学前子育て講座、親の学習講座、家庭教育学級」を子育て中の保護者を対象に開催するなど、こどもと親の育ちを応援する学びの機会を充実する。 ・関係団体と連携して絆づくり啓発品を配付しながらあいさつ運動を継続する。			
事業の実績・成果					
1 加須地域 「世代間の交流」、「子育て講座」、「人権教育」等をテーマに心豊かな人間形成を育むための講座などを開催した。 開催内容 実施コミセン：加須地域5 コミセン（加須、不動岡、三俣、礼羽、水深） 延べ実施回数：14 回 延べ参加者数：527 人 ○子育てワンポイントセミナー 市民ボランティア「子育て支援“ひだまり”」と連携を図りながら、未就学児を持つ親子の居場所や交流場所、学習機会を提供した。 会場： 志多見幼稚園 10 回 23 組 89 人 毎月第3 火曜日開催（8 月・3 月お休み） 会場： 市民プラザかぞ 7 回 49 組 112 人 毎月第4 月曜日開催（9 月～3 月実施） 2 騎西地域 就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「子育て講座」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。 開催内容 ・子育て講座（騎西地内 5 小学校（各1 回）にて開催） 延べ参加者数：140 人 3 北川辺地域 就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「家庭教育学級（親の学習講座）」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。 開催内容 ・親の学習講座（北川辺地内 2 小学校（各1 回）にて開催） 延べ参加者数：52 人 4 大利根地域 就学時健康診断の機会を捉え、その保護者を対象にした「家庭教育学級」を開催し、学校や家庭での児童に対する保護者の悩みや不安の解消を図った。 開催内容 ・子育て講座（大利根地域内4 小学校（各1 回）で実施） 延べ参加者数：121 人					
※家庭の学びと地域の絆推進事業は各地域で実施されており、各地域の実情を周知するため、各地域での実績報告としている。					

事業名		青少年健全育成事業		2215-07	
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,007,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	3,007,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,943,070 円	—
事業の目的		青少年の健全な発達を促し、自主性・社会性や正義感・倫理観を持った豊かな人間性を育むため、地域と一体となった青少年関係団体の活動の充実を図る。			
事業の概要		・ 青少年の健全な発達および地域の教育力の向上のため、青少年関係団体の活動を支援したり、青少年関係団体と連携し協働で事業を行う。			
事業の実績・成果					
1 社会教育関係団体への活動支援、助成等を行い、社会教育の振興を図りつつ、団体としての自立を促した。 ・ 青少年健全育成事業は各地域で実施されており、各地域の特性を周知するため、地域毎での実績報告としている。					
(1) 社会教育団体への助成、組織等 ・ 加須市PTA連合会 ・ 加須市青少年相談員協議会 ・ 加須市青少年育成市民会議 ○加須地域 ・ ボーイスカウト ・ ガールスカウト ○騎西地域 ・ 加須市騎西子ども会育成連絡協議会 ○北川辺地域 ・ 加須市北川辺子ども会育成連絡協議会 ○大利根地域 ・ 加須市大利根子ども会育成連絡協議会					
(2) 社会教育団体活動内容 ○加須市PTA連合会 市長と語るタウンミーティング、教育座談会、役員等研修会、広報紙P連だより第14号発行、役員会議(4回) ○加須市青少年相談員協議会 合同事業(バスツアー) 加須支部：少年教室、二十歳の集い協力、加須地域市民まつり協力(雨天中止)、定例会議 騎西支部：定例会議、加須支部事業・北川辺支部事業協力参加 北川辺支部：主催事業、商工会サマーフェスタ協力、子ども会アドベンチャースクール協力、子ども会バスツアー協力、定例会議 大利根支部：定例会議、加須支部事業・北川辺支部事業協力参加 ○加須市青少年育成市民会議 第11回加須市郷土かるた大会、加須市少年の主張大会 青少年育成加須市民会議 青少年非行防止パトロール、あいさつ運動、広報紙「スマイル」発行 加須地域市民まつり参加、非行防止特別強調月間街頭キャンペーン、親子ふれあい事業(クリスマス会の集い)、お雛祭り・お茶会、節分会、防犯キャンペーン・ 青少年育成加須市騎西市民会議 青少年非行防止パトロール(一部中止)、各支部助成					

○加須地域

- ・ボーイスカウト
規律訓練、宿泊訓練、野営訓練
- ・ガールスカウト
駅清掃、募金活動、花植え込み

○騎西地域

- ・加須市騎西子ども会育成連絡協議会
彩の国 21 世紀郷土かるた騎西地域大会(中止)、加須市郷土かるた大会、役員会議

○北川辺地域

- ・加須市北川辺子ども会育成連絡協議会
商工会サマーフェスタ協力、アドベンチャースクール、子ども会バスツアー、
イルミネーション大作戦、加須市郷土かるた大会、役員会議、彩の国 21 世紀郷土
かるた北川辺地域大会、同県大会

○大利根地域

- ・加須市大利根子ども会育成連絡協議会
おおとね郷土かるた大会、加須市郷土かるた大会、福祉ふれあい広場協力、
彩の国 21 世紀郷土かるた大利根大会、同県大会、お楽しみ会

2 令和5年度加須市少年の主張大会

日時：令和6年2月10日（土） 午前9時30分から午後3時30分

場所：加須文化・学習センター（パストラルかぞ）小ホール

- ・新型コロナウイルス感染拡大以降、これまでの大会運営方法からの見直しを図り、
運営スタイルも形化される。

- ・参加児童生徒31名（市内市立小・中学校代表各1名）※開智未来中学含む

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
観 覧 者 数	569	0	0	201	280

事業名		かぞ子ども大学事業			2215-16
担当課		子育て支援課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	274,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	209,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	198,844 円	—
事業の目的		地域でこどもを育てるしくみをつくり、地域の教育力の向上を図る。			
事業の概要		子ども大学かぞ実行委員会に参画し、入学・修了式のほかに年間 5 回程度の講義を行い、「はてな学」、「ふるさと学」、「生き方学」の 3 つのテーマを学習する。また、子ども実行委員として、「子ども大学かぞ」の 0B・0G である中学生の参画を得てイベントの計画や運営を行う。			
事業の実績・成果					
平成国際大学や加須青年会議所、埼玉県と協働して「子ども大学かぞ」を実施し、こどもの学ぶ力及び地域の教育力の向上を図ることができた。 また、令和 5 年度は、「子ども大学かぞ」の 0B・0G である中学生 8 名が、子ども実行委員としてイベントの計画や運営に携わった。 なお、「子ども大学かぞ」は平成 26 年度から実施している。					
1 対象者 市内在住の小学 4 年生～6 年生					
2 学習回数及び参加者数					
(単位：回、人)					
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
学習回数	6	3	0	6	5
参加者数	54	29	0	27	36
※ 令和 2 年度及び令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、講義を縮小開催・中止とした。					

事業名		二十歳の集い開催事業			2215-17
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,004,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	2,004,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	1,397,894 円	—
事業の目的		青少年の健全育成のため、成人(二十歳)を祝い、励まし、成人としての意識の高揚と自覚を促す。			
事業の概要		二十歳の集い実行委員会の協議・運営により、二十歳の集い式典およびアトラクションを行う。			
事業の実績・成果					
新成人の門出を祝福し、社会人としての自覚と心構えを認識していただくように式典を実施した。					
1 開催内容					
○全地域合同で開催					
○出身中学校区ごとに記念撮影					
開 催 日	令和6年1月7日(日)				
開 催 場 所	加須文化・学習センター(パストラルかぞ) 大ホール				
式 典 内 容	オープニングセレモニー・式典・アトラクション・記念写真撮影				
該当者数(人)	991				
出席者数(人)	760				
出席率(%)	76.7				
記 念 品	DVD-R (集合写真、個人写真等)				
2 実施形態					
実行委員制度により実施					
(市内中学校出身の新成人による実行委員会を組織し、主体的な式典の企画・運営が行われた。)					
3 参加者の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
該当者数(人)	1,119	1,000	1,014	994	991
出席者数(人)	794	701	760	707	760
出席率(%)	71.0	70.1	75.0	71.1	76.7
住所を有している方及び連絡を受けた方に、11月に案内状を送付した。					

事業名		生涯学習推進計画進行管理事業			2311-02		
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越		
款	10	教育費	当初予算額	133,000 円	—		
項	05	社会教育費	最終予算額	133,000 円	—		
目	01	社会教育総務費	決 算 額	87,600 円	—		
事業の目的		市民の生涯学習活動の充実を図るため、学習機会の拡充や学習情報の提供、学習相談の充実、自主学習活動の支援など、市民の学習活動を支援する環境整備を計画的に推進する。					
事業の概要		・計画の進捗状況の把握及び点検、評価を実施するとともに、推進会議や市民等からの助言や意見等を踏まえ、適切な進行管理を行う。					
事業の実績・成果							
社会教育委員会議を一元化した「生涯学習推進会議」を開催し、「第 3 次加須市生涯学習推進計画」に掲載する関係事務事業の点検・評価やその他議事に関して説明を行い、各委員から意見をいただき改善を図った。 令和 5 年度は、新型コロナウイルス感染症の感染予防に配慮しながら、会議を実施した。							
1 会議の開催 ○加須市生涯学習推進会議開催回数：2 回 ・第 1 回加須市生涯学習推進会議 令和 5 年 7 月 31 日（月） ・第 2 回加須市生涯学習推進会議 令和 6 年 3 月 22 日（水）							
2 「第 3 次加須市生涯学習推進計画」に位置付けられた事業の取組結果 「第 3 次加須市生涯学習推進計画」の策定した計画の実施状況の点検・評価を行った。 ○令和 4 年度 (単位：事業数)							
基本目標		目標を達成	概ね達成	やや遅れている	大幅に遅れている	未着手	計
1 生涯学習活動の促進		1	3	2	0	0	6
2 芸術文化の振興		1	0	1	3	0	5
3 文化財の保存継承による郷土愛の醸成		4	5	0	0	0	9
4 読書活動の推進		2	0	2	1	0	5
5 家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進		1	1	1	5	0	8
計		9	9	6	9	0	33
割合（％）		27	27	19	27	－	100

事業名		生涯学習きっかけづくり支援事業			2311-03	
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	5,114,000 円	—	
項	05	社会教育費	最終予算額	5,114,000 円	—	
目	01	社会教育総務費	決 算 額	4,067,619 円	—	
事業の目的		市民の学習参加のきっかけづくりとなる事業を展開し、生涯学習活動及び地域活動の促進を図る。				
事業の概要		・最新トレンドや社会問題、地域性を活かしたセミナー（講座）を各コミュニティセンターが企画開催 ・セミナー（講座）情報やサークル情報を掲載した情報紙の発行 ・生涯学習に係る人材のデータベース化				
事業の実績・成果						
1 コミュニティセンター講座						
こどもから高齢者まで心の豊かさや生きがいのための学習機会を提供し、一人ひとりの学習意欲を高め、生活を充実させ学習成果を生かせる生涯学習活動の一層の推進を図るため、コミュニティセンター講座を開設。						
令和5年5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、急遽、定員枠を広げる措置を講じ、より多くの希望者が受講できるように対応した。						
○講座受講者数の推移						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
講座延べ実施回数（回）	加須市	447	中止のため 実績なし	243	390	426
	加須地域（9施設）	407		232	359	394
	北川辺地域（1施設）	40		11	31	32
講座受講者延べ人数（人）	加須市	7,966		2,816	4,550	5,812
	加須地域（9施設）	7,447		2,677	4,032	5,401
	北川辺地域（1施設）	519		139	518	411
*家庭教育学級の実績は、「家庭の学びと地域の絆推進事業」にて計上。						
2 生涯学習情報提供						
さまざまな情報を提供することにより、セミナー（講座）や学習活動への参加者数の増加を図ることができた。						
・生涯学習情報紙発行：「やってみませんか」（毎月）を市内全戸配布						
・市広報紙及びホームページ等による情報提供						
・騎西、北川辺、大利根各文化・学習センターでは、行政区回覧時に講座案内を作成し地域内へ配布						

事業名		市民学習カレッジ事業		2311-04	
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,874,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	2,874,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	1,944,813 円	—
事業の目的		市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習参加のきっかけづくりと学習活動を支援するため、市全体を対象として生涯学習の広がりや深まりを求めた学習機会を提供する。			
事業の概要		・市内の公共施設と連携を図り、市民講師や市内講師、市内全域の会場を活用し、趣味的教養的セミナーや現代的、社会的課題を取り入れた総合的な幅広いセミナーを実施。 ・全市民対象のセミナーを毎年度4月に概ね60セミナーを募集、開講。 ・生涯学習を循環させるための、生涯学習フェスティバルなどのイベント等を開催する。			
事業の実績・成果					
1 市民学習カレッジセミナー					
市民の生涯学習への意欲の高まりと、市民一人ひとりの生涯学習を通じた学習活動を支援するため、セミナーの企画・運営をサポートするボランティア「生涯学習市民企画委員」と協働し、「きっかけづくりセミナー」「趣味的セミナー」「現代的・社会的課題セミナー」「まなびセミナー」を総合的に取り入れた、市民学習カレッジセミナーを実施した。また、学んだことの地域還元や自主活動に結びつけるため、サークル化を促進した。					
(1)生涯学習市民企画委員数 (単位：人)					
令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度
17		13		13	12
※各年度4月現在					
(2)市民学習カレッジセミナー					
【募集セミナー数】 71 セミナー					
【実施セミナー数】 65 セミナー					
【受講者延べ人数】 2,363 人					
2 生涯学習フェスティバル					
「新たな学びとの出会い」や、サークルや団体の学習成果発表の場を提供し、生涯学習のインプットとアウトプットを循環させることを目的に生涯学習フェスティバルを開催した。					
(1)かぞ生涯学習フェスティバル 2023					
日時：令和5年12月9日（土） 午前9時30分～午後3時00分					
場所：加須文化・学習センター（パストラルかぞ）					
内容：ライブパフォーマンス、サークルPR、チャレンジセミナー、マーケット、企業・かぞブランド 地元小学校作品展示					
(2)かぞ生涯学習フェスティバルの延べ参加者数推移 (単位：人)					
令和元年度		令和2年度		令和3年度	令和4年度
2,374		—		—	1,004
2,978					
3 生涯学習情報の提供					
各種情報を提供することにより、セミナー（講座）や学習活動への意欲増加を図ることができた。					
○ ライフステージ「募集号」（令和5年5月1日発行）…令和5年度実施の市民学習カレッジセミナー・シニアいきいき大学受講生の募集、生涯学習市民企画委員会の活動紹介					

事業名		シニアいきいき大学事業			2311-05
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	759,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	759,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	729,188 円	—
事業の目的		高齢社会を明るく活力に満ちたものとしていくため、60歳以上の市民が健康で主体的に学習に参加し、自発的な学習活動を促進する機会を平成国際大学と連携して提供し、高齢者の力を社会に活かしていく。			
事業の概要		・60歳以上の加須市在住者対象。 ・平成国際大学と連携して実施。 ・受講生に専門的な学習の場を提供し、学習活動の促進及びまちづくりへの参画を促進する。 ・人文科学部、自然科学部、社会科学部（1学部2年間実施）。 ・卒業生のグループ化を図り、グループ結成後は、その活動の支援を行う。			
事業の実績・成果					
・平成国際大学と連携し、加須市シニアいきいき大学を開校した。					
1 各学部共通					
学習期間：2年間		対 象：市内在住の60歳以上			
講 師：平成国際大学教授		会 場：平成国際大学			
学習単位：年10単位		開催期間：7月～2月			
2 各学部コース					
○ 社会科学部・現代社会コース					
・テーマ 『「平成時代」の世界と日本-1989年から2019年を振り返る-』					
・バブルの絶頂から崩壊そして日本再生へ向けての奮闘の30年「平成時代」の世界と日本について、さまざまな視点の振り返りと評価。					
・受講者数：76名					
○ 人文科学部・人間文化コース					
・テーマ 『世界で活躍した日本人』					
・幕末にペリーの来航をきっかけとして世界に門戸を開いた日本は、急速な近代化を遂げていくが、同時に、多くの日本人が世界に目を向け、世界を舞台に人生を過ごすようになっていく。「世界で活躍した日本人」をテーマに近代以後の日本人の人生を学ぶ。					
・受講者数：66名					
3 受講延べ人数（各学部とも年間10講義）					
(単位：人)					
学 部		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自然科学部・健康科学コース		—	中止	56	207
社会科学部・現代社会コース		969	—	—	625
人文科学部・人間文化コース		682	中止	104	—
					565
※大学の講義室や講義内容によって、募集定員の増減有り。					
※令和3年度は、両学部とも2講義実施後、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。					

事業名		生涯学習管理事業			2311-06
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,458,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	3,458,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,264,165 円	—
事業の目的		豊かな心を育む生涯学習によるいきがづくりを行うために、生涯学習における予算の適正な管理運営を行う。			
事業の概要		・生涯学習課における管理運営に係る事務経費を執行する。 ・社会教育委員による各種総会、研修会への参加。 ・継続的に社会教育主事講習の受講。			
事業の実績・成果					
社会教育委員及び職員に係る関係機関等の総会・研修会 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会総会（令和5年5月） 埼玉県市町村社会教育委員連絡協議会理事会（令和5年4、10月、令和6年2月） 北埼玉地区社会教育委員協議会総会（令和5年8月） 東部地区社会教育関係委員・職員研修会（令和6年1月）					

事業名		文化・学習センター管理運営事業			2311-09
担当課		文化・学習センター		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	265,667,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	287,807,690 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	268,387,145 円	—
事業の目的		市民の芸術文化活動や生涯学習活動の拠点施設として、より多くの市民が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備・充実を図る。			
事業の概要		センターの適正な管理運営と計画的な施設修繕を実施するため、運営方法の適時改善及び維持管理の効率化、設備の点検・改修を実施する。			
事業の実績・成果					
各文化・学習センターの適正な管理運営を行うとともに、計画的な施設修繕を行い、市民の芸術文化の振興及び生涯学習の拠点施設として、多くの方に良好な環境を提供することができた。					
◆加須文化・学習センター（パストラルかぞ）					
市民の芸術文化・生涯学習の拠点となる加須文化・学習センターは、建築後30年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に芸術文化・生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。					
1 利用者等の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	146,414	32,476	54,716	96,317	114,721
利用件数(件)	4,304	1,708	2,861	3,838	4,126
使用料(円)	19,972,060	6,621,050	14,382,790	22,455,400	21,327,250
2 各室稼働日率の推移					
(単位：％)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
大ホール	29.9	9.7	25.3	35.5	39.0
小ホール	51.0	18.6	30.1	52.5	52.2
リハーサル室1	65.5	21.2	36.6	39.3	36.6
リハーサル室2	51.8	18.3	37.3	47.9	44.8
展示室	70.5	39.7	56.2	69.7	74.7
多目的室	80.5	59.9	72.9	79.8	82.8
練習室1	87.3	31.4	58.5	65.0	72.6
練習室2	58.4	30.0	50.3	67.4	76.6
和室1	31.5	7.8	24.2	27.4	25.3
和室2	17.9	4.9	9.2	14.3	12.7
和室3	21.4	7.5	12.1	20.5	20.1
会議室	23.1	8.8	8.5	15.9	26.0
研修室1	48.1	14.0	26.8	25.1	33.8
研修室2	66.9	36.6	44.8	53.1	55.8
実習室1	37.3	19.2	24.2	28.7	28.3
実習室2	44.5	30.0	51.1	52.1	52.6
※稼働日率の算出方法：稼働日／開館日(令和2年度は緊急事態宣言を受けての休館日含む)					

3 主な工事・修繕

【工事】

- ① エントランスホールガラス落下防止ネット設置工事 10,901,000 円
 ② 事務室空調機更新工事 6,792,500 円

※①のエントランスホールガラス落下防止ネット設置工事は施設の安全対策として実施

【修繕】

- ① 展示室吊り下げパネル修繕 1,738,000 円
 ② 吸収冷温水器冷却水系水室交換修繕 880,000 円
 ③ 非常用発電機冷却水ポンプ交換修繕 825,000 円
 ④ 吸収冷温水器バルブ交換修繕 270,600 円
 ⑤ トイレ便器交換修繕 198,000 円
 ⑥ 舞台暗転幕修繕 179,300 円

◆騎西文化・学習センター（キャッスルきさい）

騎西地域の生涯学習の拠点となる騎西文化・学習センターは、建築後 20 年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

1 利用者等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	26,339	11,956	17,787	21,899	21,021
利用件数(件)	2,657	1,402	2,152	2,240	2,225
使用料(円)	1,618,900	925,700	1,636,600	1,704,000	1,506,810

2 各室稼働日率の推移

(単位：%)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
多目的室	83.8	54.4	83.1	82.6	87.1
展示室	2.3	4.9	0.7	8.6	5.8
研修室	83.4	60.3	74.6	74.0	83.8
パソコン研修室	38.7	20.2	35.5	35.9	37.2
音楽室	96.7	59.0	98.7	98.7	99.4
陶芸芸室	48.7	26.7	43.0	43.8	44.7
陶芸窯	33.4	22.8	14.7	20.4	7.4
料理研修室	26.8	6.5	5.2	5.6	19.7
視聴覚室	71.9	53.1	63.8	63.5	63.1
ボランティア室	6.0	4.6	6.2	6.6	13.6

※ 稼働日率の算出方法：稼働日／開館日(令和2年度は緊急事態宣言を受けての休館日含む)

3 主な修繕

- ① 誘導灯不良箇所修繕 232,760 円
 ② 空調室外機修繕 77,000 円
 ③ 非常照明不良箇所修繕 28,600 円

◆北川辺文化・学習センター（みのり）

北川辺地域の生涯学習の拠点となる北川辺文化・学習センターは、建築後 19 年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

1 利用者等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数(人)	25,899	8,431	18,759	24,634	23,442
利用件数(件)	1,945	981	1,672	2,021	1,866
使用料(円)	1,172,400	589,350	1,672,200	1,900,100	1,721,350

2 各室稼働日率の推移

(単位：％)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
多目的ホール	44.5	14.3	44.8	48.1	42.9
音楽室	68.5	37.1	74.0	72.4	79.4
工芸室	46.1	19.5	35.7	43.2	41.3
研修室	74.7	45.9	64.9	75.0	67.7
和室	54.2	15.6	25.0	52.3	51.3

※ 稼働日率の算出方法：稼働日／開館日(令和 2 年度は緊急事態宣言を受けての休館日含む)

3 主な修繕

- ① 事務室系統空調機修繕 2,171,620 円
- ② 非常用照明灯バッテリー交換修繕 478,500 円
- ③ 受水槽配管修繕 330,000 円
- ④ 浄化槽原水ポンプフロースイッチ交換修繕 67,100 円
- ⑤ 浄化槽放流ポンプ及びフロートスイッチ交換修繕 231,000 円

◆大利根文化・学習センター（アスタホール）

大利根地域の生涯学習の拠点となる大利根文化・学習センターは、建築後 24 年が経過する中で、維持管理を計画的に実施し、利用者が安心・快適に生涯学習活動に取り組める環境を提供することができた。

1 利用者等の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
利用者数(人)	26,607	7,171	12,559	16,610	18,883
利用件数(件)	1,812	766	1,383	1,628	1,772
使用料(円)	1,307,100	808,500	1,480,400	1,550,800	1,736,600

2 各室稼働日率の推移

(単位：％)

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
多目的ホール	66.4	35.1	62.4	69.1	68.9
和室 1	70.9	40.7	64.3	65.2	60.6
和室 2	53.9	31.5	54.6	59.9	49.7
会議室	82.9	32.0	63.0	80.8	73.9
調理室	20.1	4.7	13.6	20.9	19.4

※ 稼働日率の算出方法：稼働日／開館日(令和 2 年度は緊急事態宣言を受けての休館日含む)

3 主な修繕

- ① 浄化槽ブローア交換修繕 784,300 円
- ② 消防設備修繕（自動火災報知設備） 33,550 円

事業名		地域文化振興事業			2312-01	
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	6,000,000 円	—	
項	05	社会教育費	最終予算額	6,000,000 円	—	
目	01	社会教育総務費	決 算 額	4,942,724 円	—	
事業の目的		市民が多くの優れた文化・芸術に触れることにより教養を高め、また自ら参加することにより創造性の育成と芸術文化の振興を図る。				
事業の概要		市内文化団体の活動支援と文化祭や美術展といった活動発表の機会をつくる。				
事業の実績・成果						
1 地域文化祭の開催						
○観覧者数 (単位:人)						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	全域	18,600	—	—	14,000	14,500
	加須地域	9,600	—	—	6,330	7,000
	騎西地域	5,000	—	—	5,000	4,800
	北川辺地域	1,900	—	—	1,470	1,300
	大利根地域	2,100	—	—	1,200	1,400
※各地域でそれぞれ文化祭を行っている。						
(1) 加須地域文化祭						
期 間		11月3日(祝・金)～5日(日)				
場 所		加須文化・学習センター (パストラルかぞ)、市民プラザかぞ 多目的ホール				
内 容		【発表部門】歌謡・フラダンス・民謡民舞・合奏・演劇・社交ダンスなど 【展示部門】美術展(絵画・書)・陶芸・華道・俳句・郷土資料など 【文化講演会】テーマ「下總 皖一について」 講師：中島 睦雄 氏(下總 皖一を偲ぶ会 元会長)				
主 催		加須地域文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会				
(2) 騎西地域文化祭						
期 間		【芸能部門】10月29日(日) 【展示部門】11月3日(金・祝)～11月5日(日)				
場 所		騎西文化・学習センター (キャッスルきさい)				
内 容		【芸能部門】コーラス、ギター、大正琴、舞踊、新舞踊、和太鼓、フラダンスなど 【展示部門】絵画、書、写真、俳句、手工芸、華道、盆栽など				
主 催		騎西文化祭実行委員会				
(3) 北川辺地域文化祭						
期 間		【展示・体験の部】10月28日(土)～29日(日) 【芸能・音楽の部】11月3日(金・祝)				
場 所		北川辺文化・学習センター (みのり)				
内 容		【展示・体験の部】絵画、写真、書、俳句、絵手紙、工芸など 【芸能・音楽の部】フォークダンス、コーラス、オカリナなど				
主 催		北川辺いきいき文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会				
(4) 大利根地域文化祭						
期 間		10月27日(金)～11月3日(金・祝)				
場 所		大利根文化・学習センター (アスタホール)				
内 容		【展示の部】絵画、書、写真、俳句、絵手紙、文芸、手芸、陶芸など 【芸能・音楽の部】ミュージックフェスタ (コーラス、器楽演奏、フォークダンス等)				
主 催		大利根地域文化祭実行委員会、加須市、加須市教育委員会				

2 「第71回県展」かぞの開催

7月6日（木）～9日（日）の4日間、加須文化・学習センター（パストラルかぞ）展示室を会場に、第71回埼玉県美術展覧会（県展）の入選者及び招待者、委嘱者、審査員で、加須市に在住及び市内を拠点として活動する方の作品を展示した。

○展示内訳 日本画3点、洋画10点、彫刻2点、工芸2点、書5点、写真11点、合計33点

○入場者及び展示作品数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入 場 者（人）	494	—	—	219	391
展示作品（点）	39	—	—	38	33

3 第63回加須市美術展の開催

2月9日（金）～11日（日）の3日間、市民プラザかぞ多目的ホール・301会議室を会場に加須市美術連盟との共催により開催。日頃の美術活動の発表の場及び加須市美術連盟の会員と一般参加者との交流の機会を設けることにより、加須市の芸術文化の向上を図った。

○展示作品絵画・彫刻・書・写真・陶芸合計 139点

4 芸術文化団体への助成

○加須市文化団体連合会

文化講演会や文化祭、研修会、文連だよりの刊行などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は加須市の芸術文化振興の発展に寄与している。

○加須市美術連盟

加須市美術展の開催や研修会などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は、個々の技術向上と美術作品に親しめる場を提供することにより市の美術文化の振興に寄与している。

○加須市騎西文化連合会

騎西地域の文化振興に寄与するとともに、芸能文化に資するための補助である。当文化連合会では、会員間の相互交流・融和を図るための研修会の実施や、騎西文化祭等への協力を行っており、これらの積極的な活動は騎西地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

○騎西文化祭実行委員会

騎西文化祭の中心となる活動を行っており、この積極的な活動は活動発表の機会をつくり騎西地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

○加須市北川辺文化協会

いきいき文化祭や研修会、広報紙「せせらぎ」の刊行など事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は北川辺地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

○加須市大利根文化協会

研修会の開催や、広報紙「文化おとね」の刊行などの事業及び運営のための補助である。これらの積極的な活動は大利根地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

○加須市大利根文化展

文化展の開催のための補助である。これらの積極的な活動は大利根地域の芸術文化振興の発展に寄与している。

5 つるし飾り展の開催

期 間：令和6年2月29日（木）～3月3日（日）

場 所：加須文化・学習センター（パストラルかぞ）多目的室

協力団体：「あきざくら会」（活動拠点：大越コミュニティセンター）、「玉手箱」（活動拠点：三俣コミュニティセンター）、

「ももの実会」（活動拠点：大利根文化・学習センター）

（単位：人）

	2/29（木）	3/1（金）	3/2（土）	3/3（日）	合計
来場者数	191	202	139	204	736

6 第6回加須市民音楽祭の開催

市内で活躍する音楽演奏団体や合唱団を中心とした音楽団体等に、日頃の活動の発表、成果披露の場を提供し、当該団体の活動の活性化を促進するとともに、各団体間相互の情報交換、交流を深め、市の音楽文化の振興を図ることを目的として開催している。

令和5年度は、「生涯学習フェスティバル」と同日・同会場で開催した。

日 時 12月9日(土) 13時00分～16時30分

場 所 加須市加須文化・学習センター(パストラルかぞ) 大ホール

参加団体 コーラス、混声合唱、ピアノ演奏、リコーダー、ギター、バイオリン合奏など市内8団体が出演した。

来場者数(延べ) 約2,200人



下總皖一を歌う合唱団(コーラス)



アンサンブルベル・エポック(楽器演奏)

事業名		地区文化祭振興事業		2312-02	
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	855,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	855,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	854,693 円	—
事業の目的		市民の学習意欲の向上と生涯学習の振興を図るため、生涯学習に係る講座やサークルの成果発表の機会を設ける。			
事業の概要		・各コミュニティセンターにおいて文化祭実行委員会を組織し、地区文化祭を開催。 ・コミュニティセンター利用者及び講座の受講生等による学習成果の発表や作品の展示。 ・地元団体による地域産品や飲食販売。			
事業の実績・成果					
・加須地域の各コミュニティセンターにて、地域住民の交流と学習活動の成果発表の場として地区文化祭を開催。講座の受講生や利用団体、地元学校等による作品の展示や活動発表等を行い、学習意欲の向上と地域住民の相互の交流及び地域の絆を深めることができた。					
1 地区文化祭・作品展示会の状況					
加須 コミュニティ センター	10/28（土）	作品展示（親子生け花、フラワーデザイン、油絵、水彩画、写真、トールペイント、パッチワーク、パンフラワー、押絵、クラフト手芸、川柳、陶芸、園芸、ステンドグラス、デコナップ、加須幼稚園・第一保育所・加須小学校・加須南小学校・昭和中学校の園児児童生徒作品、一般応募作品）、武州加須囃子（加須小・加須南小）、活動発表（3B体操、輪投げ、着付け、太極拳、フルート・クラリネット、マジック、演劇、クラシックギター、落語、囲碁、健康マージャン、弓道体験）、バザー（加須女性会）、模擬店（加須女性会：赤飯、ガールスカウト：手打ちうどん、ヤクルト商品）、(株)湖池屋関東工場協賛商品配布			
	10/29（日）				
	10/30（月）				
不動岡 コミュニティ センター	10/21（土）	作品展示（洋裁、和裁、絵画、墨絵、ぬり絵、書、ステンドグラス、ベネチアンガラス、生け花、寄せ植え、スノードーム、不動岡幼稚園・不動岡保育園・不動岡小学校の園児児童作品、一般個人作品等）、武州かぞ囃子（不動岡支部、不動岡小学校）、琴演奏、南京玉すだれ、手品、音楽サークル発表会（バイオリン、クラシックギター、コーラス、フラダンス）、即売会・バザー（地元野菜、花卉、衣類等）、五家宝作り体験、グラウンドゴルフ大会（不動岡小校庭）			
	10/22（日）				
三俣 コミュニティ センター	10/28（土）	作品展示（編み物、バッグ、縫いぐるみ、ちりめん細工、手織り作品、切り絵、絵手紙、ストーンペインティング、草木染作品、ワンマイルバッグ（刺し子）、マクラメバッグ、一般個人参加（塗り絵、絵手紙、折り紙、ユニット折り紙））、模擬店（カレーライス、豚汁、綿あめ、おにぎり、肉じゃが等）、三俣幼稚園・三俣保育園・三俣小学校・昭和中学校の園児児童生徒作品			
	10/29（日）				
礼羽 コミュニティ センター	10/21（土）	作品展示（活け花、絵手紙、ちぎり絵、書道、ぬり絵）、講座受講生（折り紙・ベネチアンガラス・ハーバリウム）、礼羽小学校児童絵画、一般作品、草花展示、ふれあい市場（地元野菜等販売）、民踊、グラウンドゴルフ大会（礼羽小学校校庭）、焼きそば・草花・物産販売、もちつき（礼羽幼稚園園庭）、音楽祭			
	10/22（日）				
大桑 コミュニティ センター	10/21（土）	作品展示（陶芸品、水栽培植物、写真、竹工芸品、パッチワーク手芸品、和紙ちぎり絵、トールペイント、パステル画、絵手紙、ビーズアクセサリー等）、活動発表（アンサンブル・たんぽぽ、宇宙劇団、アルハンブラ・ギタークラブ等）、体験コーナー、模擬店（手打ちそば）			
	10/22（日）				

水深 コミュニティ センター	10/21 (土)	作品展示 (アートステンシル、粘土工芸、ステンドグラス、生け花、絵手紙、フラダンス、二胡、コミセンで遊ぼう児童作品、女性学級作品、ほがらか学級 (高齢者学級) 活動状況、一般作品、福寿会 (老人クラブ)
	10/22 (日)	作品、水深幼稚園・第四保育所・水深小学校・東中学校の園児児童生徒作品、屋外仮設ステージ発表会 (水深小太鼓クラブ、二胡クラブ合同)、屋内高座 (伝統芸能、落語)、模擬店 (水深まんじゅう)、災害伝承碑 (水害) 紹介コーナー、グラウンドゴルフ大会 (水深小校庭)
樋遣川 コミュニティ センター	10/28 (土)	作品展示 (陶芸、写経、ミニ盆栽、こども講座 (手描きこいのぼり)、押し花、篆刻、大人の塗り絵、絵手紙、絵画、写真、戸川保育園・樋遣川小学校・北中学校の園児児童生徒作品)、菊花展示、消防団活動紹介、模擬店 (花卉等販売、バザー、手打ちそば販売、焼きそば販売、ホールインワン、わなげ)、こども工作教室、『この冬瓜 何キロ?クイズ』、スポーツ吹矢体験
	10/29 (日)	
志多見 コミュニティ センター	10/28 (土)	作品展示 (生け花、書道、わら細工、俳句、絵手紙、ちぎり絵、陶芸、集会所学習生作品、志多見保育園・志多見小学校・西中学校の園児児童生徒作品)、模擬店 (パン販売、手芸小物、豚汁、コーヒー)、利用サークル発表会 (エイサー、太極拳、レクダンス、南京玉すだれ)、こども文化教室 (竹馬づくり体験)、(株)湖池屋関東工場協賛商品配布
	10/29 (日)	
大越 コミュニティ センター	10/28 (土)	作品展示 (書道、つるし飾り、竹細工、絵画、仏画、篆刻、切り絵、押し花、塗り絵、陶芸、個人出展作品)、防災展、行政展、福祉啓蒙作品、利用サークル発表会 (大正琴、観世流謡曲、合唱) 模擬店 (うどん、焼きそば、ピザ)
	10/29 (日)	

2 参加者数 (9地区：加須、不動岡、三俣、礼羽、大桑、水深、樋遣川、志多見、大越)

- ・来場者数：5,126人
- ・参加団体数 (個人出展含む)：409団体

事業名		文化・学習センター芸術文化振興事業			2312-03
担当課		文化・学習センター		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,752,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	5,752,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	1,612,200 円	—
事業の目的		市民が優れた文化・芸術に触れることにより、教養や人間性を高め、また自ら参加することにより創造性の育成を図る。併せて芸術文化の振興を図る。			
事業の概要		・文化・学習センター自主公演事業の企画・運営 ・共催型事業の活用 ・市民創造参加型文化・学習センター協働事業 ・市内外の各種団体によるホール公演開催の促進			
事業の実績・成果					
各種コンサート等を開催し、生の音楽等に触れる機会の提供、市民文化の向上と芸術文化の振興への醸成に寄与できた。					
◇加須文化・学習センター					
(1) 自主公演事業					
公演日		公演名	ジャンル	ホールの別	入場者数 (人)
10月9日 (月・祝)		気軽にクラシック	クラシック	小ホール	144
11月18日 (土)		CHRISTMASCAROL ～クリスマスキャロル～ 【3回公演】	ミュージカル	小ホール	1,200
11月19日 (日)					
3月16日 (土)		友の会クラシックコンサート	クラシック	小ホール	258
3月29日 (土)		かぞフェス 2024 【2回公演】	その他	大ホール	350
3月30日 (日)					
計					1,952
(2) 公演数及び入場者数の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
公演数	7	0	3	7	4
入場者数(人)	3,119	0	1,265	3,841	1,952
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は開催しなかった。					
◇北川辺文化・学習センター					
(1) 映画鑑賞会 上映回数・入場者推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
上映回数(回)	2	0	0	2	2
入場者数(人)	215	0	0	140	174
※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度及び令和3年度は開催しなかった。					

事業名		偉人顕彰事業		2312-04	
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	4,892,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	4,892,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	4,742,618 円	—
事業の目的		郷土の偉人を顕彰することによって、郷土愛の醸成と芸術・文化の向上を図る。			
事業の概要		・ 偉人を紹介するためのパネル展や現存する資料の整理、展示を行う。 ・ 各地域の偉人顕彰団体の活動を支援する。 ・ 偉人生没年節目においては記念事業を開催する。			
事業の実績・成果					
1 偉人パネル展等の実施					
郷土の偉人7人、斎藤与里、河野省三、田中正造、下總皖一、若林珣蔵、谷山豊、田口和美の功績をたたえる「加須の偉人」パネル展を開催した。					
・ 令和5年7月6日（木）～9日（日）		県展かぞ			
・ 令和5年9月4日（月）～令和6年2月22日（木）		市内22小学校巡回展示			
・ 令和5年10月1日（日）		渡良瀬遊水地まつり			
・ 令和5年11月3日（金・祝）～5日（日）		加須地域文化祭			
・ 令和5年12月9日（土）		生涯学習フェスティバル、市民音楽祭			
・ 令和6年3月12日（火）～24日（日）		田中正造没後110年記念展			
・ 令和6年3月13日（水）～24日（日）		河野省三没後60年記念展			
・ 令和6年3月20日（水・祝）～25日（月）		斎藤与里展			
2 斎藤与里作品の修復 1,540,000 円					
斎藤与里の絵画作品等のために頂いた寄付を充当し、「菊」、「聖母マリア」、「大阪美術学校ニテ」、「自画像」の4絵画を修復した。					
   					
「菊」 「聖母マリア」 「自画像」 「大阪美術学校ニテ」					
3 補助金					
地域で活動する偉人顕彰団体への支援					
・ 下總皖一を偲ぶ会					
・ 田中正造翁顕彰会					

事業名			まちかど美術館推進事業		2312-05
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	79,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	79,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	71,467 円	—
事業の目的		芸術に対する市民の関心と興味を広く創出するため、市内各地域のまちかどで小学生等の作品を展示し、その展示作品に気軽に見て触れ合えることで「芸術文化に親しむ環境づくり」の充実を図る。			
事業の概要		市内各小学校・公立幼稚園・保育園の協力により児童の絵画作品を募集し、商店等に展示する。			
事業の実績・成果					
【令和5年度加須市まちかど美術館の開催】					
○展示作品：（1）市内保育園及び幼稚園児の作品（市内各保育園および幼稚園に出品依頼） ※市内保育園6園、幼稚園11園の計17園全園が参加した。 （2）市内小学生の作品（公募） テーマ①「わたしたちの好きなかぞ」部門 ②「自由テーマ」部門 ※市内小学校22校中14校が出品した。 テーマ①は、騎西城、加須駅、ジャンボこいのぼり等を描いた作品が出品された。 テーマ②は、海、空、動物、魚等を描いた作品が出品された。					
○期 間：令和6年3月23日（土）～3月27日（水） 午前10時～午後4時30分					
○会 場：加須市商工会本所（商工会館） 1階 多目的室（加須市中央1-11-41）					
○主 催：加須市教育委員会 生涯学習課					
○協 力：加須市商工会					
○公募周知：加須市内22小学校全児童にチラシ配布					
○開催周知：広報かぞ、生涯学習情報紙「やってみませんか3月号」掲載、市ホームページ、SNS、パブリシティ等、会場にて商工会の周知パンフレット（加須FAN等）の配布					
○来場者数：356人（5日間計）					
					
令和5年度 まちかど美術館推進事業の様子					

事業名		文化財の保存と活用による地域活性化事業			2313-01
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	12,055,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	13,444,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	10,998,683 円	—
事業の目的		市内の文化財を保存・活用することにより、後世へ継承し、市民の文化財愛護に関する意識の高揚と地域活性化を図る。			
事業の概要		・市内文化財の調査・保護・啓発を行い、市民への文化財普及活動に努める。 ・開発に先立つ試掘調査を実施し、必要に応じ発掘調査を実施する。 ・発掘調査報告書を刊行する。 ・文化財の理解を深め、文化財愛護精神をつちかう為、文化財啓発活動を推進する。			
事業の実績・成果					
1 埋蔵文化財保護・管理事業					
○開発に伴う埋蔵文化財の調査					
工事等に伴う埋蔵文化財包蔵地(遺跡)保護のための試掘調査を実施した。(単位:件)					
年 度	平成元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
試掘調査数	25	13	13	16	17
※調査における地面からの平均掘削深:約145cm					
○埋蔵文化財調査の報告					
発掘調査による出土品の遺物整理・実測図作成を行い、騎西城武家屋敷跡についての発掘調査の報告書を刊行(1冊・400部)し、開発により滅失する遺跡の記録保存事業が完了した。県内外の市町村や図書館等に配布し、騎西城武家屋敷跡に関する情報を発信した。					
○埋蔵文化財出土品の保存					
騎西城跡から出土した金属製品について、出土後30年が経過し劣化が進んでいるため、後世に遺し展示公開が出来るように保存処理を実施した。					
○騎西城跡・騎西城武家屋敷跡出土資料の全国巡回展への出展および市内での特別展の開催					
騎西城跡・騎西城武家屋敷跡遺跡の出土資料を、文化庁等が主催する全国巡回展「発掘された日本列島2023」に出展した。巡回展終了後、加須文化・学習センター及び騎西文化・学習センターで特別展を開催し、全国を巡回した資料を展示したほか、文化庁調査官・市職員・甲冑師による講演会を実施した。					
2 文化財保護・管理事業					
○文化財保護審議会の開催					
文化財保護審議会を開催し、文化財保護事業についての審議を行った。					
○文化財の保護・管理					
文化財の保護・啓発を促すため、指定文化財所有・管理者に対し謝金を支払った。 騎西城土塁跡等の除草を行い、指定文化財の保全を図った。					
3 文化財関係団体への助成					
加須郷土史研究会					
郷土史研究会が行う郷土の歴史や文化の啓発事業の補助で、同研究会の積極的な活動は、郷土の歴史や文化の啓発に貢献している。・					

事業名		加須インターネット博物館管理運営事業			2313-02
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	617,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	617,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	616,000 円	—
事業の目的		市民が郷土の歴史・文化に親しみ、郷土への理解を深めるため、インターネット上に構築した博物館に、文化財や歴史資料を公開し広く発信する。			
事業の概要		・加須インターネット博物館には、原始古代から現代までの郷土の歴史を網羅した総合博物館としての機能をもたせる。 ・指定文化財をはじめとする収蔵資料・郷土の偉人等をインターネットをとおして市内外に情報発信する。			

事業の実績・成果

1 加須インターネット博物館の管理運営

加須市における歴史資料や美術資料、人物資料等について、一元化した博物館をインターネット上に構築することで、誰もがいつでも気軽に歴史情報を閲覧・見学でき、また、郷土の貴重な文化遺産を、こどもから大人までがともに楽しみながら学習でき、郷土への愛着と理解を深めることができた。

○令和5年度の実績

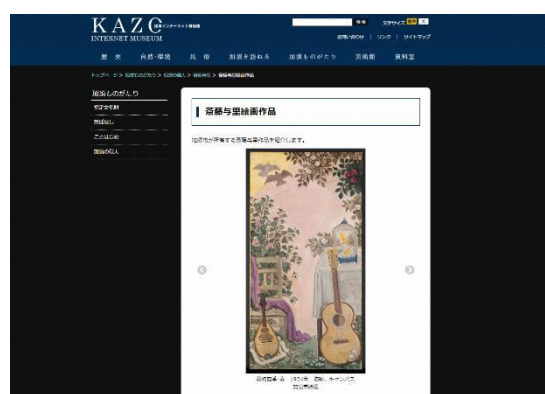
- ・騎西城跡発掘調査の十六間筋兜の取り上げの動画を公開した。
- ・加須の偉人、下總皖一作曲の作品と斎藤与里の絵画作品を公開した。
- ・無形民俗文化財の実演日等のリアルタイムな情報発信をし、市内外に広く提供した。
- ・市民が郷土の歴史・文化の情報を気軽に知ることのできる場や郷土への理解を深める機会の提供をした。

2 トップページアクセス件数

令和元年度	13,346 件
令和2年度	14,557 件
令和3年度	15,490 件
令和4年度	19,377 件
令和5年度	21,000 件



加須インターネット博物館トップページ



加須の偉人ページ

事業名		伝統文化継承支援事業			2313-03
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,899,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	3,899,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,899,163 円	—
事業の目的		市内の特色ある伝統文化を伝承していくため、地域における伝統文化の継承活動を支援する。			
事業の概要		・ 伝統文化を継承する保存団体への支援を行う。 ・ 加須市郷土かるたを活用し広く市民に伝統文化を啓発する。			
事業の実績・成果					
1 補助金					
○武州加須囃子保存会補助金					
各地区での継続的な練習などの加須囃子の普及に関する事業及び運営のための補助である。これらの活動は、武州加須囃子の普及や後継者育成に寄与している。					
○加須市獅子舞保存会連合会補助金					
各地区での獅子舞行事や練習などの獅子舞の普及に関する事業及び運営のための補助である。これらの活動は、伝統芸能として獅子舞を保存・活用する意識向上に寄与している。					
○玉敷神社神楽保存会					
継続的な練習や公開及び運営のための補助である。これらの活動は、会員相互の資質向上及び後継者育成に寄与している。					
2 第11回加須市郷土かるた大会の開催					
市民と協働でつくりあげた加須市郷土かるたを日常生活の中で活用していただき、地域の伝統文化や歴史に触れ、郷土への愛情と誇りを深めるとともに、地域における絆づくりによる新市の一体感の醸成と郷土加須を愛することもたちの健全な育成を図るため、第11回加須市郷土かるた大会を開催。以前の市内各学校対抗による、関係者への負担軽減を図るため、自由参加方式に見直しをし、審判員も参加チームから選出するなど運営面の見直しにつなげることができた。					
○開催概要					
開催日時		令和5年11月18日（土）午前8時30分から午後1時30分			
開催場所		騎西総合体育館（ふじアリーナ）			
参 加 者		低学年の部（市内小学生1年生から3年生） 高学年の部（市内小学生4年生から6年生）			

事業名		騎西・北川辺郷土資料館管理運営事業			2313-04
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,894,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	2,894,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	2,552,624 円	—
事業の目的		郷土に対する理解や愛着を深めるよう郷土史の学習機会を提供する。			
事業の概要		【北川辺郷土資料館】 郷土の歴史、考古及び民俗等に関する資料の保存、展示を行う。その運営のため施設の適正な管理を行う。 【騎西郷土史料展示室】 民俗資料や騎西城跡出土品等の考古資料を展示する。藤まつりや文化祭の時期にあわせて特別公開する。その運営のため施設の適正な管理を行う。			
事業の実績・成果					
1 郷土資料館等の公開 騎西郷土史料展示室(騎西城)では、藤まつり・あじさい祭り・文化祭・市民の日関連の時期に特別公開を実施し、市の内外に騎西地域の歴史及び文化を学ぶ機会を提供した。 北川辺郷土資料館では、主に毎週土曜・日曜に開館業務をシルバー人材センターに委託し資料の公開を行い、北川辺地域の生活及び歴史を紹介し、市内小学校社会科見学や市内団体等を受け入れ、郷土に対する理解や愛着を深める機会を提供した。 また、同資料館では、加須の地域性を象徴する「水塚」を中心とした「水辺のくらし」というテーマについてPRを行った。北川辺地域の水塚の説明のほか、水害当時の実体験をパネル展示するなど、郷土の先人たちのくらし等を広く理解する内容となっている。					
騎西郷土史料展示室・北川辺郷土資料館の入館者数の推移 (単位：人)					
年度/入館者数	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
騎西郷土史料展示室	3,184	101	601	2,899	5,382
北川辺郷土資料館	826	139	577	396	592
※市民の日を含む6日間、加須文化・学習センター、騎西文化・学習センターで「騎西城跡 騎西城武家屋敷跡遺跡出土遺物等特別展」を実施した(十六間筋兜を含む53点の出土品展示、文化庁調査官講演、発掘調査担当者講演、兜研究者講演、中学生制作の体験型兜及び障子堀模型の展示等)。					
2 郷土資料館等の管理 騎西郷土史料展示室及び北川辺郷土資料館の展示施設と資料の保護・管理のため、警備及び清掃を委託した。 北川辺郷土資料館について、環境調査(文化財害虫・カビ菌類の調査)を実施し、収蔵資料保存の適切な環境を整備した。					

事業名		人権教育推進事業			2511-04
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	9,470,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	8,507,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	6,043,829 円	—
事業の目的		豊かな人権感覚を身につけ、人権問題についての正しい理解と認識を深め、人権が尊重される共生共存の社会の実現を図る。			
事業の概要		市民が豊かな人権感覚を身につけ、さまざまな人権問題の解決に資することができるように、各種研修会や講演会を実施する。			
事業の実績・成果					
1 人権研修会及び講演会等の開催					
人権問題指導者研修会や人権問題講演会等を開催し、同和問題をはじめとする様々な差別の解消に向けて、参加者の各人権課題に対する正しい理解と人権意識の高揚を図った。					
(1)人権問題指導者研修会の開催（共催：人権・男女共同参画課、産業振興課）					
開 催 日 下記のとおり					
時 間 13:30～15:00					
会 場 パストラルかぞ小ホール					
(単位：人)					
開催日	講 師	テーマ	人 数		
第1回 9月22日(金)	上原 美子 氏	ヤングケアラーの現状と適切な支援について (こどもの人権)	167		
第2回 10月2日(月)	渡辺 大輔 氏	「性の多様性を尊重する」とはどういうことか (性的少数者の人権)	173		
第3回 10月18日(水)	小野寺 一規 氏	埼玉県部落差別解消推進条例の意義と課題 ～具体的な差別を禁止した「県条例」第3条の意義～ (同和問題)	170		
第4回 11月6日(月)	上松 広志 氏	人生100年時代 自立し、それなりの人生を送るには (高齢者の人権)	167		
第5回 11月22日(水)	永田 信雄 氏	外国人支援からみる人権 (外国人の人権)	168		
合 計				845	
(2)人権問題講演会					
開 催 日 下記のとおり					
時 間 13:30～15:45					
会 場 パストラルかぞ大ホール					
(単位：人)					
開催日	講 師	テーマ	人 数		
2月2日(金)	笠井 信輔 氏	「子育て、そして…がん アナウンサーパパ奮闘記」 (女性の人権等)	760		

(3)人権問題地域別研修会

開催日 下記のとおり

会場 各地域文化・学習センター

(単位：人)

開催日	地 域	講 師	テーマ	参加者数
11月16日(木) 14:00～15:40	騎 西	入船亭 扇蔵 氏	「落語から考える人権」～古典落語と子ども～	12
3月2日(土) 10:00～11:40	北川辺	又野 亜希子 氏	「命の輝き」 ～車イスから見える世界ってけっこうステキ～	51
2月17日(土) 13:45～16:00	大利根	山本 志都 氏	「暮らしと人権」－理解から行動へ－	45
合 計				108

2 人権啓発展の開催（共催：人権・男女共同参画課）

人権啓発パネルや市内小中学生による人権に関する標語を展示し、市民の各人権課題の理解と認識を深めることに貢献した。

期 間 令和5年12月1日（金）～25日（月）

会 場 本庁舎、各総合支所、田ヶ谷総合センター

3 加須市人権教育推進協議会への補助金交付

人権教育の推進を図り、同和問題をはじめとする人権問題の解決に寄与し、明るい地域社会をつくることを目的に、市人権教育推進協議会の活動費に対して補助金を交付した。

4 集会所事業及びコミュニティセンター人権教育講座の実施

地域住民の教養の向上、健康の増進、児童・生徒の学力の向上と仲間づくりの場となるよう、集会所において学習会や交流事業を実施した。

○小学生学級：人権学習、国語、算数、理科、図工、体育、習字、家庭科

延べ参加者数 985 人（加須 823 人、騎西 129 人、大利根 33 人）

○中学生学級：人権学習、国語、数学、英語、理科、社会、体育、習字

延べ参加者数 623 人（加須 322 人、騎西 122 人、大利根 179 人）

○成人学級：健康体操、わら細工、料理、手芸、音楽、生花、民謡、健康講座

参加者数 1,027 人（加須 1,017 人、騎西 10 人）

○ふれあい演劇鑑賞会（通算 30 回）

開催日 令和5年7月29日（土）

会 場 パストラルかぞ大ホール

演 劇 「銀河鉄道の夜」

観覧者 478 人

○移動学習会

開催日 令和5年10月6日（金）

令和5年10月13日（金）

訪問先 成田市、佐倉市

合 計 48 人

○コミュニティセンター人権教育講座

市内コミュニティセンター10 館

合 計 225 人

○北埼玉地区人権フェスティバル

開催日 令和5年10月21日（土）

会 場 行田市教育文化センターみらい

事業名		集会所管理運営事業			2513-03
担当課		生涯学習課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,839,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	7,682,000 円	—
目	01	社会教育総務費	決 算 額	7,023,798 円	—
事業の目的		集会所での諸活動を通して、人権感覚を高め、人権問題の解決を図る。			
事業の概要		・人権教育推進員による、小中学生学級や成人学級の指導、支援 ・集会所管理人の配置 ・集会所運営委員会の開催 ・集会所の維持管理、修繕の実施			
事業の実績・成果					
1 人権教育推進員への委託 人権教育推進員 1 名による、小中学生学級、成人学級の指導及び支援を行っている。					
2 集会所管理人の配置 集会所の管理を、管理人 6 名及び鍵管理人 1 名に委託した。					
3 集会所運営委員会の開催 各集会所において運営委員会を開催した。					
4 集会所の維持管理、修繕の実施 各集会所を地域住民が安全かつ快適に利用できるよう施設の維持管理を行った。 ・消防用設備、浄化槽保守点検業務の実施 ・各種修繕の実施					
5 集会所年間利用者数（7 集会所） 合計 4,724 人 志多見 310 人、阿良川 697 人、串作 1,093 人、礼羽西 213 人、川口 26 人、下戸塚 9 人、大利根 2,376 人					

事業名		絵本との親子ふれあい事業			2314-03			
担当課		図書館課		現 年	前年度からの繰越			
款	10	教育費	当初予算額	379,000 円	—			
項	05	社会教育費	最終予算額	379,000 円	—			
目	02	図書館費	決 算 額	359,300 円	—			
事業の目的		親子が絵本をとおしてふれあう時間をもつとともに、親子で本に親しみ、こどもが本の楽しさを知るきっかけをつくることでこどもの読書活動を推進する。						
事業の概要		9～10 か月児健診時に乳児とその保護者に絵本と絵本リストをプレゼントし、併せて図書館職員とボランティアによる読み聞かせを行う。 また、親子を対象としたわらべうた講座を開催するほか、ボランティア育成のための研修会を行う。						
事業の実績・成果								
9～10 か月児健診時に、受診した親子に対して、絵本のプレゼントなどを行い、絵本を通した乳児の健やかな心の成長を支援した。 また、フォローアップとして、こどもと保護者を対象とした講座を実施し、継続的な読書活動の支援に努めた。								
1 健診時の活動								
・希望の絵本を1冊プレゼント								
・乳幼児に読んでもらいたい絵本のリストや読書ノート等を配布								
・図書館の利用方法やおはなし会等について説明								
(1) 実績								
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
健診受診予定者（人）		650	507	623	638	571		
健診受診者数（人）		588	483	570	593	523		
絵本配布数（冊） ※図書館での後日配布分 （健診未受診者）含む		583	478	577	600	530		
(2) 絵本の種類								
(単位：冊)								
タイトル		がたんごとん	かおかお	しろくま	じゃあじゃあ	おつきさま	どうぶつの	
冊数		がたんごとん	どんなかお	ちゃんのかぼちゃ	びりびり	こんぼんは	おかあさん	計
購入冊数		0	0	0	170	180	230	580
配布冊数		60	134	6	141	71	118	530
※配布冊数が購入冊数を上回っているタイトルは、前年度までの購入分を使用								
2 パパ・ママといっしょに絵本・わらべうた講座								
実施日：令和5年11月11日（土）								
場 所：童謡のふる里おおとね図書館 おはなし室								
参加者：12名（親子6組）								
講 師：吉田 優子氏（地域文庫主宰・浦和子どもの本連絡会）								

事業名		ブックトーク・おはなし会開催事業			2314-04
担当課		図書館課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	105,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	105,000 円	—
目	02	図書館費	決 算 額	90,300 円	—
事業の目的		こどもが物語や本に親しみながら本の楽しさを知るとともに、読書のきっかけづくりや読書活動の習慣化を図り、自主的な読書活動を推進する。			
事業の概要		小中学校等から依頼を受け、職員やボランティアが出向いて、ブックトーク、絵本の読み聞かせ、ストーリーテリングなどを行う。 図書館では、ボランティアや職員が参加者の年齢にあわせ、絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべうた、紙芝居、ストーリーテリングなどを行うおはなし会を定期的に開催する。			
事業の実績・成果					
学校の依頼により、授業中に職員が訪問し、ブックトークを行った。訪問時には、参考となる図書を多数持参し、展示・貸出に供し、こどもが直接、物語や本に触れて読書に親しむ機会をつくり、こどもの読書活動を推進することができた。 図書館の児童室を活用し、おはなし会ボランティア等が来館者に対しておはなし会を行うことで、気軽におはなしを楽しむ居場所づくりに貢献した。					
1 ブックトークの実施					
学校名	実施回数 (回)	対象児童数 (人)	実施日		
種足小学校	7	155	6月23日、10月5日(2回)、10月6日(2回)、 10月12日(2回)		
三俣小学校	4	173	7月6日(3回)、7月14日		
騎西小学校	5	96	7月6日、10月26日、12月14日(2回)、2月7日		
鴻荃小学校	6	95	9月22日(2回)、9月28日(2回)、9月29日(2回)		
大桑小学校	9	260	11月8日(3回)、11月10日(3回)、11月15日(3回)		
大越小学校	1	17	11月9日		
豊野小学校	4	92	11月15日、11月16日、11月24日(2回)		
田ヶ谷小学校	6	136	11月16日(2回)、11月21日(2回)、11月22日(2回)		
高柳小学校	9	196	12月6日(4回)、12月7日(3回)、12月8日(2回)		
騎西中学校	4	144	2月2日(2回)、2月9日(2回)		
計	55	1,364			
※ブックトーク…テーマに沿いながら本の紹介などを行い、その本の面白さを伝えることで、こどもたちに本への興味を持たせるための活動					
2 定例おはなし会の開催					
乳幼児とその保護者に絵本の読み聞かせや手遊びなどを楽しむ機会を提供するため、ボランティアとの協働により定例おはなし会を開催した。					
図書館名	団体数(団体)	開催数(回)	参加者数(人)		
加須図書館	2	84	1,265		
騎西図書館	3	34	300		
北川辺図書館	3	51	372		
おおとね図書館	1	23	204		
計	9	192	2,141		
※参加者数は延べ人数					

3 ボランティアの育成、活性化のための研修等

読み聞かせ等を行うボランティアの資質向上とボランティア活動の活性化を図るため、研修会を実施した。

(1) 大人のためのおはなし会

開催日：令和6年1月30日（火）

場 所：騎西文化・学習センターキャッスルきさい 視聴覚室

参加者：27名

講 師：神原 和子氏（元公共図書館職員）



令和6年1月30日
騎西文化・学習センター

(2) 絵本の読み聞かせ講座

開催日：令和6年2月2日（金）、2月16日（金）

場 所：加須図書館 1階集会室

参加者：16名

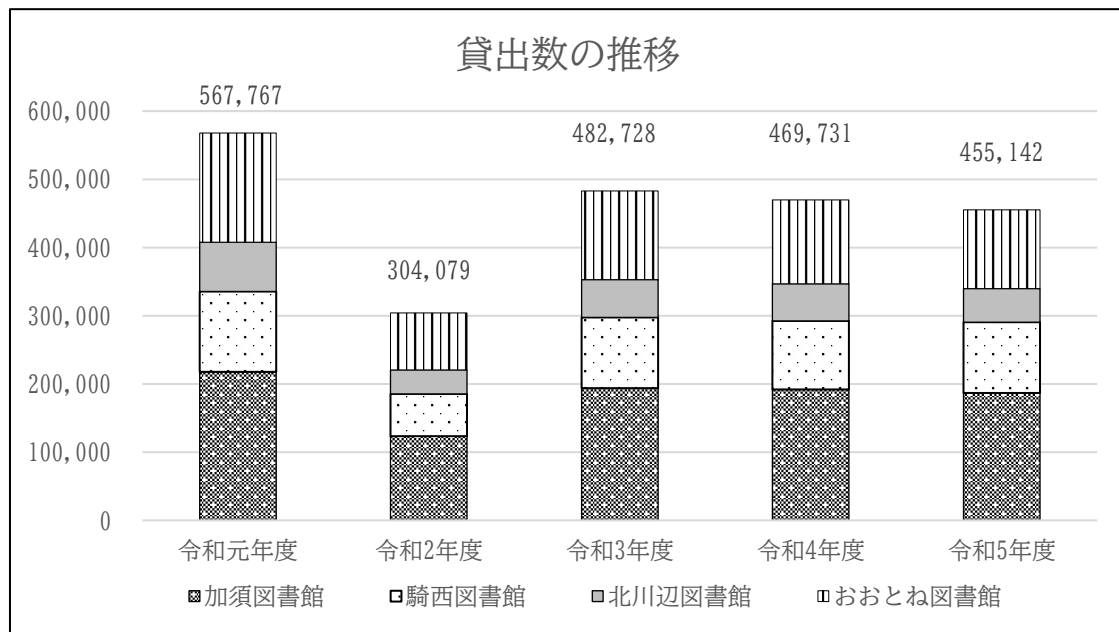
講 師：五十嵐 静江氏（元公共図書館職員）



令和6年2月2日
加須図書館

事業名		図書資料整備充実事業			2314-05
担当課		図書館課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	21,003,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	21,003,000 円	—
目	02	図書館費	決 算 額	20,921,648 円	—
事業の目的		高度化・多様化する市民ニーズに応え、市民の教育と文化の発展に寄与する。			
事業の概要		加須市立図書館資料収集要綱及び収集基準に基づき、新刊案内情報誌や貸出傾向等を参考に、利用者からリクエストのあった図書、基本図書など多様な資料を購入し、地域行政資料も積極的に受入整備することで蔵書の充実を図り、市民ニーズに対応できる魅力ある図書館づくりを図る。			
事業の実績・成果					
加須市立図書館資料収集要綱等に基づき、基本図書をはじめ、利用者からのリクエストのあった本などを幅広く購入することで、市民ニーズに応え、蔵書の充実を図り、魅力ある図書館づくりに努めた。					
1 資料の購入					
種 別	点 数	購入額（円）	税込平均単価（円）		
一般書	4,610	10,779,901	2,338		
児童書	2,007	3,909,814	1,948		
雑 誌	4,436	3,587,282	809		
C D	10	31,529	3,153		
DVD	10	147,576	14,758		
計	11,073	18,456,102	—		
※DVDの単価は、館外貸出許諾処理済のものを購入するため、市販品よりも高価となる。					
2 蔵書数と貸出数（一般書には、郷土資料、参考図書、録音、点字及び童謡を含む）					
(1) 分類別蔵書数（令和6年3月31日現在）（単位：点）					
種 別	総 数	内 訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
一般書	412,183	182,522	87,068	56,512	86,081
児童書	171,720	74,670	34,455	28,564	34,031
雑 誌	22,489	7,291	5,333	4,943	4,922
C D	6,714	1,218	2,314	1,313	1,869
DVD	4,670	1,298	1,608	842	922
ビデオ	1,687	558	440	224	465
計	619,463	267,557	131,218	92,398	128,290
(2) 分類別貸出数（個人利用）（令和6年3月31日現在）（単位：点）					
種 別	総 数	内 訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
一般書	240,619	107,567	47,701	28,777	56,574
児童書	161,992	59,255	43,744	13,441	45,552
雑 誌	36,066	13,455	7,684	4,741	10,186
C D	7,481	2,428	2,007	1,129	1,917
DVD	8,813	3,734	2,703	1,023	1,353
ビデオ	171	111	7	18	35
計	455,142	186,550	103,846	49,129	115,617
※加須図書館には、ホームページからの貸出延長を含む					

(3) 図書館別貸出数の推移（図書・雑誌・視聴覚合計 個人利用）



(4) 利用別貸出数

(単位: 点)

	総 数	内 訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
個人利用	455,142	186,550	103,846	49,129	115,617
団体貸出	37,532	17,948	14,337	926	4,321
相互貸出	2,438	1,053	585	251	549
計	495,112	205,551	118,768	50,306	120,487

※加須図書館には、ホームページからの貸出延長を含む。

3 来館者数及び利用者数

(単位: 人)

	総 数	内 訳			
		加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館
来館者数	341,063	146,106	80,892	54,667	59,398
利用者数	143,245	79,760	24,502	12,837	26,146
来館者/日	1,166	499	277	187	203
利用者/日	490	272	84	44	90

※加須図書館の利用者数には、ホームページからの貸出延長を含む。

※「来館者数」とは、図書館に来館した延べ人数。

「利用者数」とは、図書館資料の貸出を受けた延べ人数。

4 障がい者サービスの取組み

誰もが読書を楽しめるよう、「LLブック※」や「点字付きさわる絵本」等の図書を充実したことにより、より多くの方に利用してもらうことができた。

・令和5年度新規購入数

(単位: 冊)

	LLブック	点字付きさわる絵本
一般書	7	0
児童書	0	7
合計	7	7

※LLブック…知的障がいのある人や母語を異にする人など読むことが苦手な人のために、読みやすいように工夫して作られた本

事業名		図書館管理運営事業		2314-06	
担当課		図書館課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	81,541,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	89,362,000 円	—
目	02	図書館費	決 算 額	84,638,523 円	—
事業の目的		市民に資料を提供して、調査研究及びレクリエーションに資するために、利用し易い環境を整備する。			
事業の概要		図書館を適正に管理運営して図書館サービスの充実に努める。 図書館情報システムを活用した貸出、返却、予約処理及び返却の督促等を効率的に行う。 時節ごとの展示等を行い、親しみやすい図書館づくりに努める。			
事業の実績・成果					
図書の貸出、返却等の図書館業務全般を円滑に行うため、図書館情報システムや設備の維持管理を適正に行い、市民が快適に図書館を利用できるよう環境を整備した。					
1 展示等					
(1) 全館共通テーマを設定した共通展示のほか、各館ごとに工夫を凝らした企画展示を実施した。 ・共通展示 160 回、PR 展示 76 回、企画展示 182 回、計 418 回					
令和 5 年度の主な展示		実施館	内 容		
加須市うどんの日		全 館	加須市うどんの日（6 月 25 日）を記念して、うどんに関連する本を 121 点展示（6 月）		
十和運送(株)寄贈資料		全 館	十和運送(株)より寄贈された本を 50 点展示(10～12 月)		
季節の変わり目から体を守る発酵食品		加須図書館	発酵食品に関する本を 57 点展示（4～7 月）		
兜・甲冑・戦国時代（騎西城関連）		騎西図書館	騎西城に関する本を 30 点展示（4～5 月）		
第 168 回芥川賞・直木賞		北川辺図書館	第 168 回芥川賞・直木賞に関する本を 20 点展示（4～7 月）		
大河ドラマ「どうする家康」特集		おおとね図書館	大河ドラマ「どうする家康」に関する本を 51 点展示（7～1 月）		
(2) 図書館資料等を活用した行政情報の PR23 件（展示 19 件・レシート 19 件・WEB 掲載 5 件） 貸出票に各課の PR を掲載し、加須市の行政情報への関心を深めた。					
【図書館内展示風景】			【貸出票レシートでの PR】		
			 6月23日から29日までの1週間は「男女共同参画週間」です。 今年度のキャッチフレーズは、 「女だから、男だから、ではなく、 私だから、の時代へ」 私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、 この機会に考えてみませんか？ 男女共同参画 — 加須市役所 人権・男女共同参画課 —		
「環境月間及びゼロカーボンシティ宣言」 の周知（環境政策課）			「男女共同参画週間」の周知 （人権・男女共同参画課）		

2 学校支援等

小中学校のほかにも、幼稚園、保育園と連携し、支援の幅を広げた。

(1) 学校貸出の実績

(単位：回、冊)

区分	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	利用回数	貸出冊数	利用回数	貸出冊数	利用回数	貸出冊数
保育園 幼稚園	106	2,112	128	3,502	171	4,226
小学校 中学校	623	12,670	947	20,690	1,113	26,148
計	729	14,782	1,075	24,192	1,284	30,374

(2) 図書館見学の受入れ

小人数単位で館内整理日（休館日）に実施するなどの工夫をした上で、実施した。

学校名	人数(人)	実施日
元和小学校	47	令和5年 5月31日
北川辺西小学校	19	令和5年 6月16日
種足小学校	20	令和5年 10月3日
鴻基小学校	14	令和5年 10月31日
加須南小学校	36	令和5年 11月1日
加須幼稚園	31	令和5年 11月1日
加須小学校	78	令和5年 11月6日
高柳小学校	45	令和5年 11月30日
花崎北小学校	33	令和5年 11月30日
礼羽小学校	55	令和6年 1月31日
計	378	



令和5年11月30日
花崎北小学校

(3) 出張図書館見学の実施

職員が、図書館見学の実施日（館内整理日）の日程が調整できない学校や、遠方のため図書館見学に来館できない学校に出向き、スライド等により図書館の利用の仕方や施設等の説明を実施した。

大桑小学校2年生 76人 令和5年10月25日

原道小学校2年生 15人 令和5年11月28日



令和5年10月25日
大桑小学校

(4) ビブリオバトル支援

実施方法や、模擬バトルの実施

三俣小学校6年生 94人 令和5年 7月12日

種足小学校6年生 23人 令和5年 7月14日

三俣小学校5年生 76人 令和5年 7月19日

大越小学校5・6年生 19人 令和5年 11月16日

田ヶ谷小学校6年生 24人 令和5年 12月20日

種足小学校5年生 23人 令和6年 1月26日

3 ブックリスト

「こどもたちが出会う本が素敵な本であってほしい」、
「親子のコミュニケーションを深めながら、楽しい経験をしてほしい」との願いから、加須市立図書館で所蔵している本の中から、おすすめの本をまとめたブックリストを作成し、配布した。



ブックリスト 4種

(1) 種類

タイトル	対象年齢	内 容	配布場所	発 行
はじめての本	0～3 歳	何度でも絵本を楽しめるように おすすめの絵本とわらべうたの 本 計 54 冊掲載	図書館 保健セン ター	平成24年7月
図書館おすすめの本 (4～6 歳向け)	4～6 歳	ブックスタートで絵本を読み成 長したこどもが、引き続き親子 で本に親しむため 年齢ごとに 18 冊 計 54 冊掲載	図書館 保育所 幼稚園	平成29年6月
図書館おすすめの本 (小学生向け)	小学生	小学生を対象に読みたい本を見 つけるきっかけをつくるため 低学年・中学年・高学年ごとに 18 冊 計 54 冊掲載	図書館 小学校	令和3年3月
図書館おすすめの本 (中学生向け)	中学生	図書館が中学生におすすめする 本をノンフィクション15冊、小 説・絵本等30冊 計45冊掲載	図書館 中学校	令和5年3月

(2) 配布実績

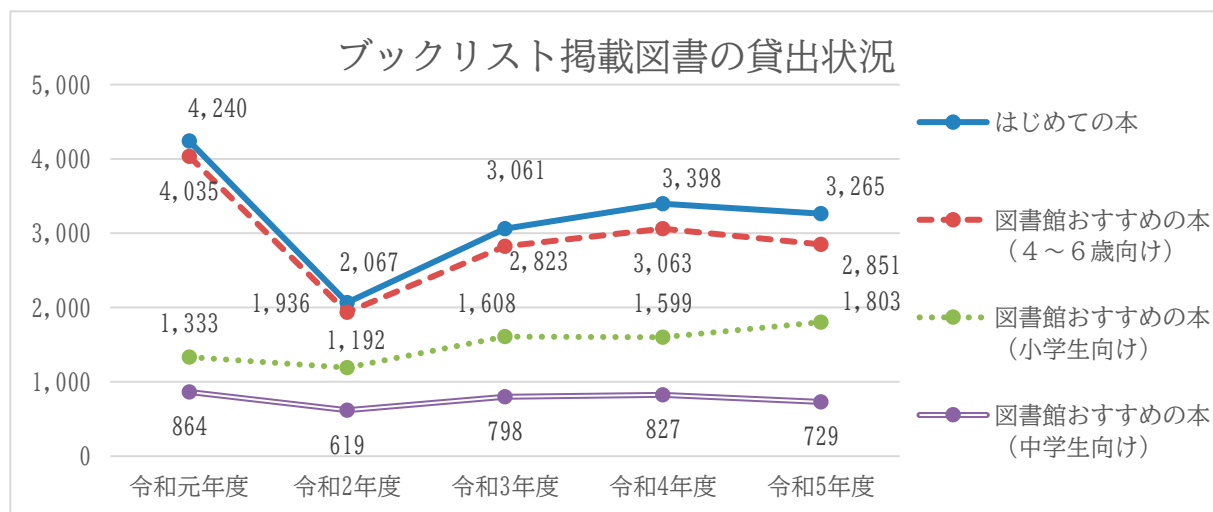
(単位：冊)

タイトル	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
はじめての本	741	565	630	596	559
図書館おすすめの本 (4～6 歳向け)	1,000	881	864	829	881
図書館おすすめの本 (小学生向け)	—	—	5,450	839	1,218
図書館おすすめの本 (中学生向け)	—	—	—	—	3,138

(3) 貸出実績

(単位：冊)

タイトル	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
はじめての本	4,240	2,067	3,061	3,398	3,265
図書館おすすめの本 (4～6 歳向け)	4,035	1,936	2,823	3,063	2,851
図書館おすすめの本 (小学生向け)	1,333	1,192	1,608	1,599	1,803
図書館おすすめの本 (中学生向け)	864	619	798	827	729



4 マイナンバーカードの利用状況

令和元年度の図書館情報システムの入替えにより、マイナンバーカードの利用が可能となった。

登録者数 (人)		令和5年度 利用人数 (人)	令和5年度 貸出冊数 (冊)
累計	令和5年度		
295	91	658	2,416

5 読書ノートの配布

読書活動の推進のために、5種類の読書ノートを作成・配布し、図書館ホームページなどでPRに努めた。

(単位：冊)

読書ノートの名称	対 象	配付数				
		令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
_____に読んであげた本	乳 児	659	567	612	677	554
ぼくのわたしの読んだ本	小学校 低学年	303	78	166	144	166
	小学校 高学年	198	33	74	78	74
My Reading Record	中学生	67	22	41	48	56
私の読書全記録	一 般	202	89	128	121	175
計		1,429	789	1,021	1,068	1,025

6 童謡のふる里おおとね図書館の主な修繕

必要な修繕を行い、安心して利用できる環境整備に努めた。

- ・児童室空調設備更新 6,985,000 円

事業名		加須未来館管理運営事業			2311-13
担当課		文化・学習センター		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	54,493,000 円	—
項	05	社会教育費	最終予算額	54,493,000 円	—
目	03	加須未来館費	決 算 額	50,737,549 円	—
事業の目的		市民の宇宙や科学に関する関心を高めるため、宇宙・天体や科学について楽しく学ぶことができる教育施設としての機能の充実を図る。			
事業の概要		宇宙・科学を始め、様々なことに興味・関心を抱き、何事にもチャレンジしていく好奇心を養うため、プラネタリウム投影や少年少女発明クラブ、フリー・トライデー、天体学習会等を開催する。			

事業の実績・成果

・家庭や学校では経験できないような実験・観察等の機会の提供や、実験装置などを活用した科学的体験学習の促進を図るために適切な管理運営を行った。階段雨漏りの修繕や消防設備不良箇所修繕、小型天体望遠鏡の修繕など、計画的に施設や備品の修繕を図った。

また、市の広報紙やホームページ等を活用した情報発信や、フリーペーパー等への情報提供により、入館者の増加を図った。

1 事業概要

・プラネタリウム一般及び学習投影の実施	296 日 (14,062 人)
・フリートライデー（工作教室）の実施	67 回 (1,002 人)
・夜間天体観望会の実施	25 回 (387 人)
・特別天体イベントの実施	1 回 (19 人)
・親子星空教室（おやこでほしをみよう）の実施	6 回 (104 人)
・天体写真教室（星の写真を撮ろう）の実施	2 回 (3 人)
・少年少女発明クラブの実施	24 回 (402 人)

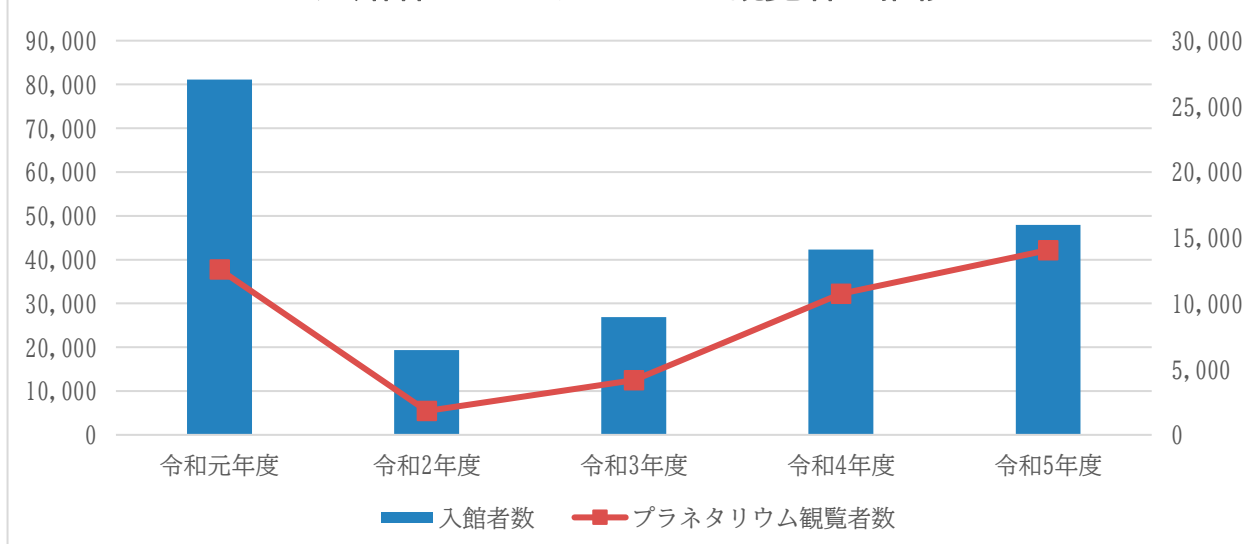
2 来館者数及びプラネタリウム観覧者数の推移

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
入館者数	81,123	19,341	26,908	42,337	47,947
プラネタリウム観覧者数	12,590	1,819	4,153	10,753	14,062

※プラネタリウム観覧者数は一般投影と学習投影を含む

入館者とプラネタリウム観覧者の推移



3 プラネタリウムの利活用

コロナ禍で中止していたプラネタリウム内でのコンサートを再開するなど、施設利用の活性化を図った。

魅力的な子供向け投影作品のほか、幅広い年齢層に向けた作品も投影し、プラネタリウムの利活用に努めた。また、市内小中学校に無料優待券付きチラシを3回配布し、観覧者増加を図った。

4 主な修繕

① 東側階段雨漏り修繕	673,200 円
② 消防設備修繕	539,000 円
③ 土手階段修繕	440,000 円
④ 小型望遠鏡席動議修繕	297,000 円
⑤ セキュリティシステム落雷復旧工事修繕	60,500 円
⑥ 調理実習室前廊下天井ボード修繕	59,290 円
⑦ 非常照明不良箇所修繕	39,600 円
⑧ レストラン水栓交換修繕	36,300 円

事業名		スポーツ・レクリエーション推進計画進行管理事業			2411-02
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	103,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	103,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	47,200 円	—
事業の目的		スポーツ・レクリエーションの振興を総合的かつ計画的に推進する。			
事業の概要		スポーツ推進審議会を開催し、意見を聴き、スポーツ・レクリエーションを推進する。 【計画期間：令和3年度～令和7年度】			
事業の実績・成果					
スポーツ・レクリエーション推進計画に基づく施策の進捗状況について実績を取りまとめ、スポーツ推進審議会を開催し、各種施策の事業実施状況について進行管理を行った。 ○スポーツ推進審議会の開催 令和5年8月30日（水）					
加須市スポーツ推進計画の令和4年度の進行管理及び評価					
【達成度評価】			(単位：件)		
基本目標 (施策)	基本目標 達成度評価	数値目標達成度評価			
		1 目標を 達成	2 概ね 達成	3 やや遅れている	4 大幅に遅れている
1 スポーツを楽しむ元気な 市民	③やや達成で きなかった	4	4	3	4
2 スポーツで元気な加須市	③やや達成で きなかった	4	1	2	2
(基本目標評価基準)					
①計画どおり達成できた		全ての事業（取組）において達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」			
②概ね達成できた		達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」となった事業数の割合が80%以上			
③やや達成できなかった		達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」となった事業数の割合が80%未満			
④達成できなかった		達成度評価が「1 目標を達成」又は「2 概ね達成」となった事業数の割合が50%未満			
(数値目標評価基準)					
1 目標を達成		当該年度に実施すべき取組を予定通り、計画的に行い、事業実施による効果が表れた。 (成果指標の実績値がいずれも目標値の100%以上に達し、当該年度の目標を達成)			
2 概ね達成		当該年度に実施すべき取組を円滑に行い、事業実施による効果が概ね表れた。 (成果指標の実績値がいずれも目標値の80%以上)			
3 やや遅れている		当該年度に実施すべき取組を行ったものの、事業実施による効果が小さかった。 (成果指標の実績値が目標値の80%未満)			
4 大幅に遅れている		何らかの課題があり、事務事業が滞ってしまっており、事業実施による効果が表れなかった。 (成果指標の実績値がいずれも目標値の50%未満)			

事業名		スポーツ普及推進事業			2411-03
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	16,493,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	16,493,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	15,923,833 円	—
事業の目的		スポーツ関係団体との連携協働により、市民スポーツの普及を図る。			
事業の概要		市民スポーツを推進するため、関係団体の支援や加入促進を図る。			
事業の実績・成果					
スポーツ協会、スポーツ少年団、レクリエーション協会の事業などへの支援として補助金を交付した。 各団体で事業計画に基づき事業が実施され、市民の健康増進に寄与した。					
1. 補助金・会員数の推移					
(1) スポーツ協会					
①補助金額の推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補 助 金	10,288,000	6,027,250	7,991,118	10,288,000	10,288,000
②会員数の推移(基準：毎年4月1日) (単位：世帯)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
全 域	47,749	48,375	48,715	49,842	50,783
(2) スポーツ少年団					
①補助金額の推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補 助 金	2,410,000	1,466,798	1,732,494	2,410,000	2,410,000
②会員数の推移 (指導者会員を除く) (単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会 員 数	633	559	622	569	556
(3) レクリエーション協会					
①補助金額の推移 (単位：円)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補 助 金	1,148,000	708,836	844,803	1,148,000	1,148,000
②会員数の推移 (単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会 員 数	655	648	610	613	602

2. 各団体の事業

(1) 加須市スポーツ協会

主 な 事 業
【加須市スポーツ協会】 加須市騎西藤まつり剣道大会、加須ふじの里駅伝大会、スポーツ表彰授与式、小学生スキー・スノーボード教室、広報紙の発行（全戸配布）
【加須地域スポーツ協会】 体育祭、フロアカーリング大会、グラウンド・ゴルフ大会、健康チャレンジ 2023
【騎西地域スポーツ協会】 スポレクカーニバル、グラウンド・ゴルフ大会、ふじの里ウオーク、健康チャレンジ 2023 ※スポレクカーニバルは、天候不良のため中止
【北川辺地域スポーツ協会】 スポーツまつり、球技大会、健康チャレンジ 2023 ※球技大会は、熱中症対策のため中止
【大利根地域スポーツ協会】 スポーツフェスティバル、フロアカーリング大会、安心・安全事業、菜の花ウオーク、健康チャレンジ 2023、広報紙の発行（大利根地域内全戸配布）
【競技団体】 各加盟団体別大会の開催

(2) 加須市スポーツ少年団本部

主 な 事 業
スポーツ表彰授与式、スタートコーチ養成講習会、指導者母集団研修会、運動適性テストの実施、加須こいのぼりマラソン大会、加須ふじの里駅伝大会への協力

(3) 加須市レクリエーション協会

主 な 事 業
レクリエーション祭、ディスコン大会、スポーツ表彰授与式、グラウンド・ゴルフ交流大会の実施 市主催事業（市民平和祭、加須こいのぼりマラソン大会、渡良瀬遊水地まつり in KAZO）への協力

事業名		市民体育祭支援事業			2411-04
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,526,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	2,526,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	1,862,484 円	—
事業の目的		地域住民が交流し絆を深めることのできる市民体育祭を通して、健康で活気のある地域づくりを図る。			
事業の概要		地域スポーツ協会等との協働により、市内の4地域で開催される市民体育祭を開催する。			
事業の実績・成果					
スポーツ・レクリエーションを通して、市民の健康増進と参加者相互の交流を図るため地域ごとに開催された体育祭へ補助金を交付し支援した。 各地域で4年ぶりまたは5年ぶりの開催にあたり、熱中症対策等による半日開催や、これまでの対抗戦を中心とした内容から自由参加型のスポーツフェスティバルとして開催するなど工夫を凝らして開催をした。					
1. 開催日及び参加者数					(単位：人)
	加須地域体育祭	騎西スポレクカーニバル	北川辺地域スポーツまつり	童謡のふる里 おおとねスポーツフェスティバル	
開 催 日	令和5年10月8日(日)	令和5年10月15日(日)	令和5年10月8日(日)	令和5年10月15日(日)	
参加者数	1,000	—	500	500	
※騎西スポレクカーニバルは天候不良のため中止した。 ※童謡のふる里おおとねスポーツフェスティバルは雨天により体育館のみで開催した。					
2. 補助金					(単位：円)
	加須地域体育祭	騎西スポレクカーニバル	北川辺地域スポーツまつり	童謡のふる里 おおとねスポーツフェスティバル	
交 付 額	1,000,000	526,000	500,000	500,000	
支 出 額	584,902	353,194	424,388	500,000	
返 納 額	415,098	172,806	75,612	0	

事業名		スポーツ支援人材育成・活用事業			2411-13
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	5,150,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	5,150,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	3,694,049 円	—
事業の目的		スポーツ推進委員事業を推進するとともに、スポーツボランティアの活用を推進する。			
事業の概要		スポーツ推進委員によるスポーツ教室等の充実を図るとともに指導者としての資質向上を図る。また、各種大会にボランティアとして市民の協力をいただけるよう人材育成や活用を推進する。			
事業の実績・成果					
スポーツ推進委員協議会によるニュースポーツ普及などの各事業が行われ、地域のスポーツ振興を図った。					
スポーツ推進委員協議会					
①定員等 (単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会 員 数	53 (56)	52 (56)	52 (56)	51 (56)	50 (56)
() 内は定数					
②主な事業					
加須市健康づくりウォーク、ボッチャ・プレ大会、加須市フロアカーリング大会、全体会研修会、加須地域フロアカーリング大会、みんなでスポーツ！なんでもアリーナ、Do You！スポーツミックス、スポーツ協会及び市主催スポーツ大会などへの協力 スポーツ推進委員だよりを令和6年3月に発行した。					

事業名		総合型地域スポーツクラブ育成事業			2411-15
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	22,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	22,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	0 円	—
事業の目的		多世代にわたる多くの市民が地域で多様なスポーツを自由な時間を楽しめる生涯スポーツの振興を図る。			
事業の概要		既存のクラブへの支援のほか、新たなクラブの設立に向けた支援を行う。			
事業の実績・成果					
市内にある総合型地域スポーツクラブに対して情報提供や助言などを行った。クラブチームの活動により、健康・体力の増進、技術向上と地域コミュニティづくりが促進された。 また、新たなクラブの設立予定者に対して進捗状況の確認や情報提供を行った。					
1. 市内の総合型地域スポーツクラブ（1 団体） ○埼玉KAZOスポーツクラブ ※旧FC KAZO（平成 24 年 11 月に県で認知） 定例活動：サッカー、フットサル、 その他：障がい児スポーツ、バスケットボール、ソフトテニス、コミュニケーションスポーツバドミントン ○平成国際大学が主体となって設立する総合型地域スポーツクラブの創設に向け、情報提供や助言を行った。					
2. 会員数の推移 (単位：人)					
	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
埼玉KAZO スポーツクラブ	530	450	350	350	350

事業名		民間・県施設活用事業			2411-19
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	20,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	20,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	5,040 円	—
事業の目的		様々なスポーツを広く行えるよう民間・県施設の活用を推進する。			
事業の概要		彩の国KAZOヴィレッジのほか、県施設や高校・大学・民間施設の利用促進を図る。			
事業の実績・成果					
ホームページや市のスポーツ協会加盟団体等に施設利用等に関する案内を行うとともに、彩の国KAZOヴィレッジにおいて加須市民の日無料事業としてグラウンド・ゴルフ大会を開催した。					
【彩の国KAZOヴィレッジ】					
彩の国KAZOヴィレッジ利用状況					
利用団体数			1,473 団体		
うち市内団体			290 団体		
彩の国KAZO貸出施設					
・グラウンド（A／B）、トレーニング室、剣道場、卓球場、柔道場、体育室、教室					
【加須はなさき公園多目的グラウンド】					
スポーツ団体の活動の支援及び生涯スポーツの推進を図ることを目的に、加須はなさき公園多目的グラウンドで大会を主催する市内のスポーツ団体に対し、補助金を交付した。					
加須はなさき公園多目的グラウンド使用料補助					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請件数	3 件	0 件	1 件	1 件	3 件
補助額	9,840 円	—	3,360 円	3,360 円	5,040 円
内 容	ソフトボール		ソフトボール	ソフトボール	ソフトボール

事業名	女子硬式野球振興事業			2412-01
担当課	スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,781,000 円
項	06	保健体育費	最終予算額	3,781,000 円
目	01	保健体育総務費	決 算 額	2,936,047 円
事業の目的	女子野球のさらなる推進と「女子野球の聖地」の定着を図る。			
事業の概要	全国高等学校女子硬式野球選抜大会等を推進する。 全日本女子野球連盟や埼玉西武ライオンズ・レディースと連携し、女子野球の推進と地域活性化を図る。			

事業の実績・成果

第 25 回記念全国高等学校女子硬式野球選抜大会を開催し、全国的女子硬式野球の底辺拡大と女子野球を通じたスポーツの推進及び支援のほか、次代を担う女子野球に打ち込む女子生徒の活躍の場を提供した。

決勝戦を 3 年連続、全日本女子野球連盟、読売新聞社及び読売巨人軍の特別後援により、東京ドームで開催した。

【第 25 回記念全国高等学校女子硬式野球選抜大会】

1 大会概要

大会期間	令和 6 年 3 月 21 日（木）～4 月 7 日（日） 予備日 3 月 26 日（火）、29 日（金）、30 日（土）、31 日（日）		
会 場	加須きずなスタジアム・田ヶ谷サン・スポーツランド野球場 行田市総合運動公園野球場・幸手市総合運動公園野球場 東京ドーム（決勝戦のみ）		
主 催	全国高等学校女子硬式野球連盟・加須市		
主 管	全国高等学校女子硬式野球選抜大会加須市実行委員会		
特別後援	全日本女子野球連盟・読売新聞社・読売巨人軍		
特別協力	東京ドーム		
負担金補助 及び交付金	1,400,000 円（全国高等学校女子硬式野球選抜大会実行委員会補助金 400,000 円、全国高等学校女子硬式野球選抜大会東京ドーム開催負担金 1,000,000 円）		
参 加 数	54 チーム	観客者数	20,700 人 （東京ドーム 3,600 人）

2 参加チーム数の推移

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
参加チーム数	30	33	38	45	54

※全国高等学校女子硬式野球選抜大会は、平成 26 年度から加須市で開催している。



※東京ドームで行われた決勝戦

【埼玉西武ライオンズ・レディース】

令和2年7月に連携協定を締結し、加須市を拠点に活動を開始した。
土・日・祝日を中心に加須市で練習や練習試合を行っている。

【女子野球タウン】

「女子野球タウン」として、令和2年度に一般社団法人 全日本女子野球連盟から認定されたことを受け、女子野球の推進と女性の活躍を推進するイベントとして加須市を拠点に活動する埼玉西武ライオンズ・レディースと読売ジャイアンツ女子チームによる公式戦を加須きずなスタジアムで開催した。

市内野球チームはもとより、県内外から多くの観客が訪れ、スポーツを通じた若者が集う地域づくりを推進した。

【ベースボール5講習会】

男女問わず「気軽に」「短時間で」参加できるアーバンスポーツとして、2026年ユースオリンピックから公式種目として開催される「手打ち野球」。

埼玉西武ライオンズ・レディースの選手も活躍しており、市内での普及推進として、小学校の教員を対象に講習会を開催した。

【その他】

令和5年8月12日（土）・8月13日（日）に開催された第2回宮本慎也杯女子中学生軟式野球大会において、市内球場の提供等支援した。

事業名		自転車普及推進事業			2412-03
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	77,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	77,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	32,460 円	—
事業の目的		新たに「自転車のまち」となるよう自転車を推進する。			
事業の概要		自転車競技大会の開催を推進するとともに、こどもから大人まで参加できるサイクリング教室を開催するなど、自転車利用を促進する。			
事業の実績・成果					
自転車競技大会の開催を支援するとともに、市民への自転車、サイクリングの普及を目的としたサイクリング教室を開催した。					
1 自転車競技大会					
大 会 名		開催日	参加者数 (人)	区分	
		会 場			
2023 加須こいのぼり杯第 18 回タイムトライアル・ロードレース大会		令和 5 年 4 月 30 日（日）	101	平成 22 年度～ 後援	
		利根川河川敷工事用道路			
第 61 回全日本学生選手権チーム・ロード・トライアル大会		令和 5 年 6 月 3 日（土）	中止	平成 22 年度～ 後援	
		利根川河川敷工事用道路			
第 8 回全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会		令和 5 年 6 月 4 日（日）	中止	平成 22 年度～ 後援	
		利根川河川敷工事用道路			
※第 61 回全日本学生選手権チーム・ロード・トライアル大会、第 8 回全日本学生選手権個人ロードタイムトライアル自転車競技大会は、会場となる利根川河川敷の増水のため中止					
2 サイクリング教室					
開催期日 令和 5 年 6 月 4 日（日）					
会 場 渡良瀬遊水地 彩の国トライアスロン大会会場内					
実施内容 デュアスロン体験					
講 師 埼玉県トライアスロン連合					
参加者数 15 人					

事業名		こいのぼりマラソン大会開催事業			2412-04
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	24,194,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	24,194,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	22,228,296 円	—
事業の目的		市民の健康増進や体力向上を図るとともに、健康で生きがいのある暮らしづくりに寄与するとともに、市のイメージアップを図る。			
事業の概要		市内スポーツ団体等との協働により、全国から参加する加須こいのぼりマラソン大会を開催する。			
事業の実績・成果					
市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図ることを目的とした第 28 回加須こいのぼりマラソン大会が開催され、市内外から参加した約 3,500 人の選手は、加須市の市街地や自然に親しむコースを堪能した。					
令和元年度以来 4 年ぶりに全種目開催となったが、参加者や市民で賑わい、各種団体に御協力いただき、市民との協働で賑わいのある大会となった。					
1. 開催内容					
(1)開催日		令和 5 年 12 月 3 日（日）			
(2)申込人数		4,013 人（3,969 人+44 人招待選手等）			
(3)参加費総額		9,413,500 円			
【内 訳】		一 般 3,500 円×2,141 人 高校生 2,000 円×22 人 中学生 1,500 円×44 人 小学生 1,000 円×178 人 親 子 2,000 円×202 組（404 人） 団 体 1,000 円×1,228 人（団体申込にあっては実走者のみ）申込者：1,382 人 ※団体は不動岡高等学校、開智未来中学・高等学校、花咲徳栄高等学校の学校申込（不動岡高校 664 人、開智未来中学・高校 502 人、花咲徳栄高等学校 62 人）			
(4)協賛金総額		1,270,000 円（50 社）			
(5)種目		6 種目 36 部門			
(6)表彰		各部門 10 位まで表彰 1～6 位：賞状・賞品 7～10 位：賞状			
(7)その他		参加賞にて手打うどん会乾麺 3,450 個配布			
2. 参加人数の推移					
(単位：人)					
	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 4 年度	令和 5 年度
一 般 参 加 者	6,658	6,241	5,907	2,975	3,449
うち市内参加者 (団体・ゲストラナーは除く)	1,519	1,395	1,318	459	557
ゲストラナー等	25	24	30	25	30
合 計	6,683	6,265	5,937	3,000	3,479
※令和 2・3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止					



事業名		加須ふじの里駅伝大会支援事業			2412-05
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,332,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	1,332,000 円	—
目	01	保健体育総務費	決 算 額	1,332,000 円	—
事業の目的		市民の健康増進や体力向上、生きがいづくり、人と人との交流を図り、絆を深めるとともに、市のイメージアップを図る。			
事業の概要		多くの駅伝愛好者を募り、市内のスポーツ団体が主体となり、騎西総合体育館周辺道路を周回する 1.8 km×5 人及び 3.0 km×5 人のふじの里駅伝大会の開催を支援する。			
事業の実績・成果					
第 11 回加須ふじの里駅伝大会参加者の健康増進及び体力向上に寄与するとともに、大会を通じて人と人との交流が深まり、市内外に本市の P R をすることができた。					
1 補 助 金		加須ふじの里駅伝大会加須市補助金	1,332,000 円 (総事業費)3,283,326 円		
2 開催内容		(1)主 催 加須市スポーツ協会/加須市陸上競技連盟/加須ふじの里駅伝大会実行委員会 (2)開催日 令和 6 年 3 月 10 日(日) (3)参加費総額 905,000 円 (5,000 円×181 チーム 招待チーム さくら市 5 チーム) (4)申込チーム 186 チーム・1,085 人(市内 29 チーム・181 人)			
		小学生男子	56 チーム・326 人 (市内 17 チーム・106 人)		
		小学生女子	26 チーム・154 人 (市内 4 チーム・24 人)		
		中学生男子	38 チーム・217 人 (市内 1 チーム・6 人)		
		中学生女子	22 チーム・125 人 (市内なし)		
		一 般 男 子	40 チーム・241 人 (市内 7 チーム・45 人)		
		一 般 女 子	4 チーム・22 人 (市内なし)		
(5)種 目 6 部門		1.8km×5 人	小学生 (男子・女子)		
		3.0km×5 人	中学生 (男子・女子)、一般 (男子・女子)		
(6)コ ー ス		騎西総合体育館周辺コース			
(7)協賛金総額		405,000 円 (47 社)			
3 参加チーム数の推移		(単位：チーム)			
	平成 29 年度 (第 5 回)	平成 30 年度 (第 6 回)	令和元年度 (第 7 回)	令和 4 年度 (第 10 回)	令和 5 年度 (第 11 回)
参加 チーム数	325	287	278	183	181
県 内	94	150	133	101	97
うち市内	60	54	51	37	29
県 外	171	137	145	82	84

※令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、申込受付後、中止

※令和 2・3 年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

事業名		スポーツ施設整備事業			2411-16
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	2,618,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	2,618,000 円	—
目	02	体育施設費	決 算 額	2,528,900 円	—
事業の目的		市内スポーツ施設の環境整備を図る。			
事業の概要		市内スポーツ施設の修繕・改修を実施する。			
事業の実績・成果		加須市民運動公園陸上競技場利用者の安全確保を図るため、老朽化した市民運動公園観客席仮設スタンドの解体工事を実施した。			

事業名		スポーツ施設管理運営事業			2411-17
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	155,629,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	169,430,700 円	—
目	02	体育施設費	決 算 額	152,977,085 円	—
事業の目的		スポーツ施設を安全かつ円滑に利用できる環境を実現する。			
事業の概要		体育施設の適正な運営と維持管理を行い、スポーツ活動を促進する。 ・体育館 5 館 ・公園施設 16 ヶ所、30 施設			
事業の実績・成果					

安全・安心なスポーツ施設として市民に利用していただけるよう、適切な施設の維持管理を行った。

○市立体育館概要

施設名	加須市民体育館	南篠崎体育館	騎西総合体育館	北川辺体育館	大利根文化体育館
建築年	昭和 50 年	昭和 56 年	平成 11 年	昭和 53 年	昭和 55 年
延床面積(㎡)	4,165	1,238	4,938	1,982	2,831
アリーナ面積(㎡)	1,292	952	2,088	1,050	1,300
施設概要	アリーナ 可動式クライミングウォール ボルダー壁 卓球室 柔道場 剣道場 研修室 談話室 保育室	アリーナ クライミングウォール 談話室	メインアリーナ サブアリーナ トレーニング室 武道場 ランニングコース 会議室 幼児室 談話コーナー	アリーナ	アリーナ 格技室 集会室
利用者数(人)	70,026	34,110	69,680	20,807	43,344
対前年度比(人)	13,025	△582	12,539	784	4,146
使用料(円)	1,943,665	1,709,610	10,065,340	1,354,882	1,420,440
対前年度比(円)	4,880	52,280	1,051,350	92,659	168,070

○屋外体育施設概要

地域名 (施設名)	加須地域 (加須市民運動公園、鎮守前公園)	騎西地域 (騎西総合公園、騎西中央公園他)	北川辺地域 (渡良瀬総合グラウンド他)	大利根地域 (大利根運動公園、星子沼公園他)
利用者数(人)	74,844	64,315	16,738	74,883
対前年度比(人)	△15,963	1,178	1,329	1,694
使用料(円)	1,139,450	635,400	259,800	850,850
対前年度比(円)	90,950	△1,400	△79,850	△21,950

事業名		スポーツ教室等開催事業			2411-05
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	1,327,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	1,327,000 円	—
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	518,509 円	—
事業の目的		スポーツへの関心を高め、スポーツ参加機会の拡充を図る。			
事業の概要		こどもから高齢者まで幅広い年齢層の方が参加できる教室を開催する。また、障がいの有無に関わらず参加できる教室を開催する。			
事業の実績・成果					
各競技の底辺拡大をはじめ、市民の健康づくり、コミュニティづくり、スポーツの振興、普及を図るため各種スポーツ教室を開催した。					
○開催内容					
開 催 日 令和5年6月～令和6年3月					
教 室 数 15 教室					
参加人数 387 人（詳細は以下の表参照）（単位：人）					
前期スポーツ教室					
みんなでスポーツ！なんでもアリーナ	57	Do You！スポーツミックス	32	ウォータースポーツ教室	31
クライミング教室	5	J r クライミング教室	26	小学生硬式テニス教室	15
サイクリング教室	15	合 計			181
（単位：人）					
後期スポーツ教室					
クライミング教室	5	J r クライミング教室	19	ニュースポーツ教室	8
パドル体操教室	19	初心者スケートボード教室	15	小学生スキー・スノーボード教室	66
ボルダリング体験会	12	ポッチャ体験会	63	合計	207
※クライミング教室については「クライミング普及事業」、「サイクリング教室」については、自転車普及推進事業に掲載					
教室数と参加者数の推移（単位：人）					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教 室 数	15	6	11	12	15
参加者数	449	126	210	289	387

事業名		グラウンドゴルフ推進事業			2411-06
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	305,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	305,000 円	—
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	300,000 円	—
事業の目的		グラウンド・ゴルフを通して高齢者の仲間づくりや健康づくりを推進する。			
事業の概要		グラウンド・ゴルフ協会等と連携し、市民等の愛好者が交流を図れる大会を支援する。 ・さわやかグラウンド・ゴルフ大会 （実行委員会への補助金交付） ・加須市長杯 ・宮崎義重杯 ・ふじの里グラウンド・ゴルフ大会 ・加須市老人クラブ連合会 GG 大会 ・市民グラウンド・ゴルフ大会			
事業の実績・成果					
市民の健康の保持や体力の維持向上を図るとともに、生きがいづくりや交流により人と人との絆を深める。					
1. 加須市さわやかグラウンド・ゴルフ大会					
(1) 補助金額の推移				(単位：円)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
さわやかグラウンド・ゴルフ大会補助金	300,000	中止	300,000	300,000	300,000
(2) 参加者数の推移				(単位：人)	
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
さわやかグラウンド・ゴルフ	989	中止	660	686	807
※関東1都6県及び県内全域から参加できる大会であるが、令和3・4年度は県内の参加者とした。					
2. その他の主な大会					
大 会 名			開 催 日	参加人数	
加須市春季グラウンド・ゴルフ大会			令和5年4月11日（火）	261人	
加須市レディスグラウンド・ゴルフ大会			令和5年5月30日（火）	205人	
加須市夏季グラウンド・ゴルフ大会			令和5年6月13日（火）	245人	
加須市長杯グラウンド・ゴルフ大会			令和5年6月21日（水）	607人	
ふじの里グラウンド・ゴルフ大会			令和5年6月17日（土）	173人	
宮崎義重杯グラウンド・ゴルフ大会			令和5年9月17日（日）	763人	
加須市老人クラブ連合会グラウンド・ゴルフ大会			令和5年10月26日（木）	340人	
加須市秋季グラウンド・ゴルフ大会			令和5年10月3日（火）	187人	
加須市グラウンド・ゴルフ協会会長杯			令和5年10月24日（火）	236人	
加須市郵便局長杯			令和5年11月22日（水）	347人	
加須市スポーツ協会会長杯 ペア大会			令和5年12月13日(水)	177組354人	

事業名		健康スポーツ推進事業			2411-07
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	207,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	207,000 円	—
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	181,476 円	—
事業の目的		ウォーキングを通して市民の健康づくりや仲間づくりを推進する。			
事業の概要		身近に健康づくりに取り組むためのきっかけづくりとして「ウォーキング大会」の各地区での開催を促進する。			
事業の実績・成果					
各地域・地区スポーツ協会が主催となりウォーキング大会が開催された。 各地域スポーツ協会では、個人でもできるウォーキング事業として、ウォーキング等の記録を記入できる記録表を全戸に配布し、「健康チャレンジ 2023」を開催した。積極的にウォーキング等の健康づくりを行い、市民の健康の保持増進や体力の維持向上を図ることができた。					
【開催したウォーキング事業の内容】					
○「健康チャレンジ 2023」					
主 催		各地域スポーツ協会			
期 間		令和 5 年 10 月 1 日（日）～令和 6 年 2 月 29 日（木）			
参加方法		各自が期限内に 500,000 歩以上又は 360km 以上をウォーキング・ランニングのほか、サイクリング・ラジオ体操（消費カロリーから歩数換算）し、チェックシートに記入する。			
達成者数		677 人（加須 330 人、騎西 159 人、北川辺 54 人、大利根 134 人）			
○市・教育委員会主催及び各地域・各地区スポーツ協会のウォーキング事業					
大 会 名（参加者）		主 催 団 体		日 程	
加須市健康づくりウォーク（228 人）		加須市・加須市教育委員会・加須市スポーツ推進委員協議会		令和 5 年 11 月 19 日（日）	
ふじの里ウォーク（65 人）		騎西地域スポーツ協会		令和 5 年 12 月 10 日（日）	
菜の花ウォーク（76 人）		大利根地域スポーツ協会		令和 6 年 3 月 17 日（日）	
地区歩け歩け大会（100 人）		不動岡地区スポーツ協会		令和 6 年 1 月 14 日（日）	
地区歩け歩け大会（114 人）		三俣地区スポーツ協会		令和 6 年 3 月 17 日（日）	
礼羽地区歩け歩け大会（200 人）		礼羽地区スポーツ協会		令和 6 年 2 月 4 日（日）	
水深地区歩け歩け大会（85 人）		水深地区スポーツ協会		令和 6 年 2 月 12 日（月）	
地区歩け歩け運動大会（200 人）		樋遣川地区スポーツ協会		令和 6 年 1 月 3 日（水）	
大越地区歩け歩け大会（47 人）		大越地区スポーツ協会		令和 6 年 3 月 2 日（土）	
健康づくりウォーキング大会（22 人）		北川辺第 2 支部スポーツ協会		令和 5 年 11 月 12 日（日）	

事業名		クライミング普及事業			2412-02
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	3,516,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	3,516,000 円	—
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	2,724,027 円	—
事業の目的		スポーツクライミングのさらなる推進とクライミングのまちの定着を図る。			
事業の概要		・ KAZO カップ、体験会、認定会等を埼玉県山岳・スポーツクライミング協会及び加須市山岳連盟と連携して開催する。 ・ 日本山岳・スポーツクライミング協会主催の全国高等学校選抜クライミング選手権大会の支援を行う。			
事業の実績・成果					
スポーツクライミングの普及を図るため、大会やスポーツ教室、体験会を開催した。					
1. 第 24 回リード KAZO クライミングカップ 2023 大会の主催					
・ 主 催 加須市、加須市教育委員会、(一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、埼玉県、埼玉県教育委員会、(公財)埼玉県スポーツ協会					
・ 主 管 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会競技委員会、加須市山岳連盟					
・ 後 援 加須市スポーツ協会、(公社)日本山岳・スポーツクライミング協会					
・ 開 催 日 令和 5 年 5 月 21 日 (日)					
・ 会 場 加須市民体育館 (加須こいのぼりクライミングウォール)					
・ 参加者数 70 人 (うち市内参加者 3 人)					
2. コバトンリードクライミングカップ 2023 第 36 回県民スポーツ体育大会の後援					
・ 主 催 (一社)埼玉県山岳・スポーツクライミング協会、埼玉県教育委員会 (公財)埼玉県スポーツ協会、埼玉県高等学校体育連盟登山専門部					
・ 主 管 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会競技部					
・ 後 援 加須市教育委員会					
・ 開 催 日 令和 5 年 11 月 26 日 (日)					
・ 会 場 加須市民体育館 (加須こいのぼりクライミングウォール)					
・ 参加者数 59 人					
3. 第 14 回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会の主催					
・ 主 催 (公社)日本山岳・スポーツクライミング協会					
・ 主 管 埼玉県山岳・スポーツクライミング協会 (公財)全国高等学校体育連盟登山専門部					
・ 共 催 (公財)全国高等学校体育連盟、加須市、加須市教育委員会					
・ 後 援 スポーツ庁、(公財)日本スポーツ協会、埼玉県教育委員会、 (公財)埼玉県スポーツ協会、加須市スポーツ協会、毎日新聞社					
・ 開 催 日 令和 5 年 12 月 23 日 (土) ~ 24 日 (日)					
・ 会 場 加須市民体育館 (加須こいのぼりクライミングウォール)					
・ 参加者数 200 人 (うち市内参加者 2 人)					
4. クライミング体験会 (加須市山岳連盟主催) (4 回開催) 参加者数 58 人					
・ 開 催 日 令和 5 年 6 月 3 日(土)、7 月 22 日 (土)、11 月 11 日 (土)、令和 6 年 2 月 17 日 (土)					
5. クライミングウォール利用認定会 (4 回開催) 参加者数 42 人					
・ 開 催 日 令和 5 年 6 月 3 日(土)、7 月 22 日 (土)、11 月 11 日 (土)、令和 6 年 2 月 17 日 (土)					
6. クライミング教室 (前期) 参加者 一般：5 人、ジュニア：26 人					
クライミング教室 (後期) 参加者 一般：5 人、ジュニア：19 人					

7. 加須市民の日記念事業 親子スポーツクライミング体験会

- ・開催日 令和6年3月23日(土)
- ・主催 加須市
- ・会場 加須市民体育館(加須こいのぼりクライミングウォール)
- ・参加者数 10人

8. ボルダリング体験会

- ・開催日 令和5年11月18日(土)
- ・主催 加須市
- ・会場 南篠崎体育館(ボルダー壁)
- ・参加者数 12人



事業名		全国大会等支援事業		2412-06	
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	94,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	94,000 円	—
目	03	スポーツ振興普及費	決 算 額	77,246 円	—
事業の目的		全国・世界規模の大会をはじめとする各種大会を開催し、スポーツへの関心を高め市民スポーツを推進する。			
事業の概要		トライアスロンや自転車競技等の全国レベルの大会等に共催及び後援し、さらに主催団体、市民との協働により実施する。			
事業の実績・成果					
全国規模等の大会を誘致し開催することで、市民がスポーツに親しむきっかけづくりや加須市を全国に広めることができた。					
○共催・支援した大会					
大 会 名		開催日	参加者数 (人)	区分	
		会 場			
2023 加須こいのぼり杯第 18 回タイムトライアル・ロードレース大会		令和 5 年 4 月 30 日（日）	101	平成 22 年度～ 後援	
		利根川河川敷工事用道路			
第 61 回全日本学生選手権チーム・ロード・タイムトライアル大会		令和 5 年 6 月 3 日（土）	中止	平成 22 年度～ 後援	
		利根川河川敷工事用道路			
第 8 回全日本学生選手権ロードタイムトライアル自転車競技大会		令和 5 年 6 月 4 日（日）	中止	平成 22 年度～ 後援	
		利根川河川敷工事用道路			
2023 彩の国トライアスロン加須大会 in スペシャライズドカップ兼埼玉県総合スポーツ大会トライアスロン競技大会		令和 5 年 6 月 4 日（日）	332	平成 7 年度～ 後援	
		渡良瀬遊水地			
チームケンズカップ紅葉チャレンジトライアスロン・デュアスロンフェスティバル in 加須大会		令和 5 年 10 月 29 日（日）	368	平成 16 年度～ 後援	
		渡良瀬遊水地			

事業名		学校体育施設開放管理運営事業			2411-18	
担当課		スポーツ振興課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	3,428,000 円	—	
項	06	保健体育費	最終予算額	3,428,000 円	—	
目	04	学校体育施設開放施設費	決 算 額	2,731,903 円	—	
事業の目的		地域のスポーツレクリエーションの場を確保し、生涯スポーツの振興を図る。				
事業の概要		学校教育に支障のない範囲でスポーツを楽しむ団体等へ学校体育施設の貸出を行ないスポーツ活動を促進する。				
事業の実績・成果						
スポーツの普及振興を図るため、学校教育に支障のない範囲で市内小中学校の体育施設等を市民に開放した。						
○学校体育施設利用状況 (単位：人)						
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
小中別 (校数)	小学校(22)	160,696	70,812	114,509	184,409	154,397
	中学校(5)	19,013	7,782	11,578	9,276	14,740
合 計	27 校	179,709	78,594	126,087	193,685	169,137
※中学校は加須東、加須平成、加須北、騎西、北川辺中の5つを使用						
○学校体育施設修繕						
主な工事・修繕箇所		(単位：円)				
件 名		金 額				
北川辺西小学校体育館床修繕		594,000				
礼羽小学校物置修繕		25,300				
豊野小学校体育館入口ドア修繕		8,800				

事業名	給食センター管理運営事業				2213-01
担当課	学校給食課		現 年	前年度からの繰越	
款	10	教育費	当初予算額	760,211,000 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	893,283,000 円	—
目	05	学校給食費	決 算 額	804,626,575 円	—
事業の目的	児童生徒の心身の健全な発達に資するため、学校給食センターを適正に管理運営し、栄養バランスに優れた安全安心な学校給食を提供する。				
事業の概要	各給食センターの施設を最大限に活用し栄養バランスに優れた安全安心でおいしい給食を継続的に提供する。 各給食センターの維持管理及び衛生管理の徹底を図る。また必要に応じて修繕を行う。 地場産野菜等の使用の拡大を図る。				

事業の実績・成果

- ・令和5年9月より、3センター体制を再編し、2センター（加須・騎西）体制とした。
- ・令和5年9月の3センターから2センター体制への再編に合わせて、幼稚園給食の統一を行った。
統一の内容：給食の内容を「主食と副食」に統一。
給食費については、加須地域の給食費である3,000 円に統一。
- ・2センターとも衛生管理を徹底した結果、事故等による給食停止日は発生せず、安全安心な給食を提供することができた。
- ・野菜の地元農産物使用率は、気象などの影響により出荷量・使用量が減少したことに伴い、使用率も前年度より低下した。

1 給食の年間実施日数と提供食数

(単位：日、食)

年度	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
施設名	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数	日数	提供食数
加須学校給食センター	173	1,030,860	176	1,053,208	183	1,067,965	188	1,080,074	190	1,100,151
騎西学校給食センター	173	488,973	176	481,647	183	491,205	188	489,182	190	531,414
北川辺学校給食センター	173	128,514	176	128,187	183	125,375	188	120,791	66	42,430
計		1,648,347		1,663,042		1,684,545		1,690,047		1,673,995

2 各センター別配送校・園

センター	令和5年7月までの配送校・園			令和5年9月からの配送校・園		
	小学校	中学校	幼稚園	小学校	中学校	幼稚園
加須	加須、三俣、大桑、水深、樋遭川、大越、花崎北、加須南、大利根東、原道、豊野、元和	昭和、加須東、加須北、加須平成、大利根	加須、三俣、大桑、水深、大越、花崎北、(樋遭川)	加須、不動岡、三俣、大桑、樋遭川、大越、花崎北、加須南、北川辺西、北川辺東、大利根東、原道、豊野、元和	昭和、加須東、加須北、加須平成、北川辺、大利根	加須、不動岡、三俣、大桑、大越、花崎北、北川辺、(樋遭川)
騎西	不動岡、礼羽、志多見、騎西、田ヶ谷、種足、鴻荃、高柳	加須西、騎西	不動岡、礼羽、騎西中央、騎西南、(志多見)	礼羽、水深、志多見、騎西、田ヶ谷、種足、鴻荃、高柳	加須西、騎西	礼羽、水深、騎西中央、騎西南、(志多見)
北川辺	北川辺西、北川辺東	北川辺	北川辺			
計	22	8	11	22	8	11

※網掛け：配送先が変更となる学校・園

※ ()：休園の幼稚園

3 一食あたりの経費の状況

区分	経費(円)	総給食数(食)	平均単価(円)	経費率(%)
賄材料費	455,557,430	1,673,995	272.14	56.62
賄材料費以外	349,069,145		208.52	43.38
計	804,626,575		480.66	100.00

※計の平均単価は、区分ごとの平均単価の合計とは一致しない場合がある。

4 地元農産物の使用率の推移

品目	使用量	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
白米	全体使用量(kg)	96,239	102,597	104,109	109,727	109,499
	地元農産物使用量(kg)	96,239	102,597	104,109	109,727	109,499
	地元農産物使用率(%)	100	100	100	100	100
野菜	全体使用量(kg)	117,358	117,533	120,432	111,770	108,886
	地元農産物使用量(kg)	20,255	21,510	24,041	23,590	17,213
	地元農産物使用率(%)	17.3	18.3	20.0	21.1	15.8

物価高騰に係る対応（生活者支援）を実施した（巻末参照）。

【翌年度への繰越事業（繰越明許）】 72,274,500 円

・ 翌年度への繰越事業の内容

加須学校給食センター屋上消音パネル張替え修繕（3,088,500 円）

加須学校給食センター屋根防水改修工事（14,716,000 円）

騎西学校給食センター空調設備他改修工事（54,470,000 円）

・ 令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由

加須学校給食センターの屋上消音パネル張替え修繕と屋根防水改修工事は、12月補正予算で計上し、施工期間が短く、年度内の事業完了が困難であるため。

騎西学校給食センターの空調設備他改修工事は、令和6年度の夏休み中にしか施工できないため。

事業名		給食を喫食していない児童・生徒の保護者へのちょこっとおたすけ絆サポート券配布事業			2213-07
担当課		学校給食課		現 年	前年度からの繰越
款	10	教育費	当初予算額	0 円	—
項	06	保健体育費	最終予算額	3,967,000 円	—
目	05	学校給食費	決 算 額	423,086 円	—
事業の目的		物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯のうち、市立学校給食センターから提供される給食を喫食しなかった児童生徒の保護者を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、児童生徒一人につき1万円分の「ちょこっとおたすけ絆サポート券」を配布する。			
事業の概要		【配布対象者】令和5年12月1日現在、加須市に住民登録がある次の児童生徒 ・平成20年4月2日～平成29年4月1生まれ(令和5年7月から12月までの加須市立小中学校給食費一時免除の対象となる児童生徒を除く) 【配布物】絆サポート券1万円分			
事業の実績・成果					
・物価高騰の影響を大きく受けている子育て世帯のうち、市立学校給食センターから提供される給食を喫食しなかった児童生徒の保護者を支援するとともに、地域経済の活性化を図るため、加須市商工会が発行する「ちょこっとおたすけ絆サポート券」(児童生徒一人につき1万円分)を配布した。 また、配布事業の円滑な実施を図るため、ちょこっとおたすけ絆サポート券の発行等を行う加須市商工会に対し補助金を交付した。 配布状況 配布対象者数 267 人 絆サポート券利用期間 令和6年3月1日から令和6年8月31日 物価高騰に係る対応(生活者支援)を実施した(巻末参照)。 【翌年度への繰越事業(繰越明許)】 3,543,434 円 ・翌年度への繰越事業の内容 ちょこっとおたすけ絆サポート券配布に係る郵便料(35,302 円)、事業補助金(508,132 円)、事業交付金(3,000,000 円) ・令和5年度から令和6年度へ繰り越す理由 絆サポート券の利用期間(令和6年3月～8月)に対応する加須市商工会の換金作業等が、令和6年4月以降となり、事業完了予定日が令和6年12月27日までのため。					

事業名		市債元金償還事業			5311-08
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	11	公債費	当初予算額	3,476,601,000 円	—
項	01	公債費	最終予算額	3,477,861,000 円	—
目	01	元金	決 算 額	3,477,859,957 円	—
事業の目的		市債に係る元金について、管理、償還する。			
事業の概要		・市債元金の償還			
事業の実績・成果					
・市債の元金を 3,477,859,957 円償還した。					

事業名		市債利子支払事業			5311-09
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	11	公債費	当初予算額	70,727,000 円	—
項	01	公債費	最終予算額	61,636,000 円	—
目	02	利子	決 算 額	61,445,993 円	—
事業の目的		市債に係る利子について、管理、支払いを行う。			
事業の概要		・市債利子の支払い			
事業の実績・成果					
・市債の利子を 61,445,993 円支払った。					

事業名		予備費		5311-28	
担当課		財政課		現 年	前年度からの繰越
款	12	予備費	当初予算額	30,000,000 円	—
項	01	予備費	最終予算額	30,000,000 円	—
目	01	予備費	決 算 額	※各充当先にて計上	—
事業の目的		予算外の支出又は予算超過の支出に充てるため、歳入歳出予算に計上する。			
事業の概要		・不測の事態が生じた場合、予備費充用により対応する。			
事業の実績・成果					
款項目	事業名称		課名	充用額 (円)	摘要
10.5.1	文化・学習センター管理運営事業		文化・学習センター	902,000	パストラルかぞのエントランスホールガラス屋根劣化調査に対応
3.2.1	子育て支援センター事業		すくすく子育て相談室	1,375,000	大利根子育て支援センター屋上の雨漏り修繕に対応
2.1.4	会計管理事業		会計課	158,000	本庁舎の光回線切替に伴う空配管工事に対応
10.5.1	文化・学習センター管理運営事業		文化・学習センター	1,708,190	北川辺文化・学習センターの事務室系統空調機の部品交換修繕に対応
9.1.4	防災情報機器管理運営事業		危機管理防災課	297,000	加須市役所第1再送信子局IF盤の修繕に対応
10.6.2	スポーツ施設管理運営事業		スポーツ振興課	689,700	加須市民体育館アリーナの雨漏り修繕に対応
3.2.3	公立保育所管理運営事業		こども保育課	660,000	騎西保育所の空調設備更新工事に対応
10.6.2	スポーツ施設管理運営事業		スポーツ振興課	462,000	大利根ファミリーグラウンドゴルフ場内の高木緊急伐採に対応
10.5.1	文化・学習センター管理運営事業		文化・学習センター	6,792,500	加須文化・学習センターの空調設備更新工事に対応
4.1.3	「浮野の里」自然環境保全事業		環境政策課	715,000	浮野の里の多目的トイレドア交換工事に対応
4.2.2	大利根クリーンセンターごみ処理事業		資源リサイクル課	2,000,000	大利根クリーンセンターの活性炭吸着塔扉修繕に対応
10.3.1	中学校管理運営事業		教育総務課	1,977,800	加須東中学校の体育館ステージ吊りボタン装置交換修繕に対応
6.1.5	北川辺排水機場維持管理事業		農政建設課 (北川辺)	3,252,400	北川辺排水機場の計器類故障修繕に対応
2.1.12	鳥獣対策推進事業		地域振興課 (北川辺)	876,339	北川辺地域の有害鳥獣（イノシシ）対策に要する経費に対応
9.1.4	防災管理事業		危機管理防災課	257,764	能登半島地震における職員派遣に要する経費に対応
2.1.1	人事管理事業		職員課	744,182	非常勤職員の公務災害補償料に対応
合計				22,867,875	

Ⅲ 特別会計の状況

【財政の状況】

歳 入

区 分	令 和 5 年 度				令 和 4 年 度			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	※被保険者 一人当たり 額 (円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	※被保険者 一人当たり 額 (円)
国 民 健 康 保 険 税	2,196,353	18.6	△1.6	89,845	2,233,073	18.6	△1.6	87,373
使 用 料 及 び 手 数 料	—	—	—	—	—	—	—	—
国 庫 支 出 金	569	0.0	159.8	23	219	0.0	△95.6	9
県 支 出 金	8,548,167	72.4	△0.3	349,675	8,575,234	71.3	△2.5	335,521
繰 入 金	964,762	8.2	△12.2	39,465	1,099,323	9.1	4.4	43,013
繰 越 金	76,303	0.6	△17.2	3,121	92,125	0.8	92.5	3,605
諸 収 入	16,028	0.1	△27.0	656	21,965	0.2	△24.9	859
合 計	11,802,181	100.0	△1.8	482,786	12,021,938	100.0	△1.5	470,379

歳 出

区 分	令 和 5 年 度				令 和 4 年 度			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	※被保険者 一人当たり 額 (円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	※被保険者 一人当たり 額 (円)
総 務 費	139,626	1.2	5.7	5,712	132,131	1.1	△4.9	5,170
保 険 給 付 費	8,369,972	71.4	△0.7	342,386	8,425,763	70.5	△2.5	329,672
国民健康保険 事業費納付金	3,035,553	25.9	△5.3	124,174	3,204,672	26.8	0.8	125,388
共 同 事 業 拠 出 金	0	0.0	0.0	0	0	0.0	0.0	0
財政安定化基 金 拠 出 金	—	—	—	—	—	—	—	—
保 健 事 業 費	105,235	0.9	0.1	4,305	105,159	0.9	3.3	4,115
諸 支 出 金	67,144	0.6	△13.8	2,747	77,911	0.7	64.2	3,048
合 計	11,717,530	100.0	△1.9	479,323	11,945,635	100.0	△1.4	467,393

※ 表示単位未満四捨五入のため、各欄と合計が一致しない場合がある。次頁以降の表も同じ。

※ 被保険者一人当たり額は、各年度の年間平均被保険者数により算出
（令和5年度：24,446人・令和4年度：25,558人）

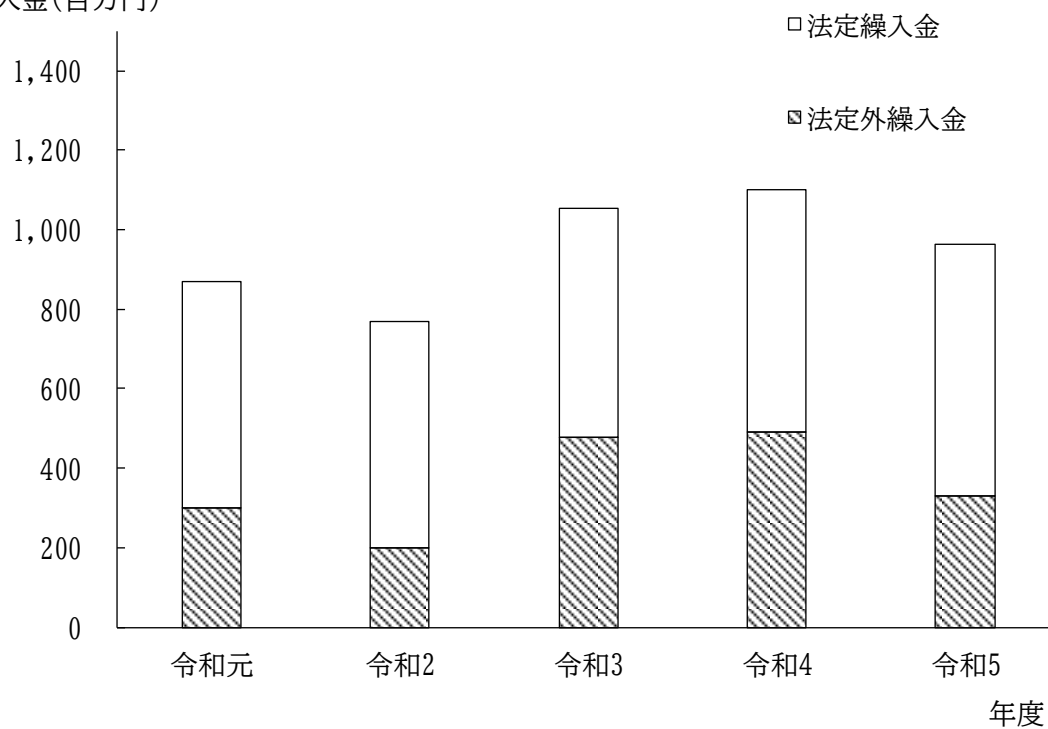
■ 一般会計からの繰入金の推移

(単位：千円)

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
予算	繰入金額	1,049,652	987,927	1,326,999	1,277,655	1,140,783
	うち法定外繰入金	504,273	416,349	755,928	715,386	530,005
決算	繰入金額	870,654	769,071	1,053,293	1,099,323	964,762
	うち法定外繰入金	299,660	198,000	478,000	492,400	329,500

一般会計からの繰入金の推移（決算）

繰入金(百万円)



【国民健康保険事業の状況】

1 加入状況（年間平均）

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
世帯数	総世帯	47,335 世帯	48,093 世帯	48,526 世帯	49,247 世帯	50,222 世帯
	国保世帯	16,824 世帯	16,754 世帯	16,736 世帯	16,341 世帯	15,922 世帯
	加入割合	35.5%	34.8%	34.5%	33.2%	31.7%
人口	総人口	113,088 人	112,882 人	112,323 人	112,116 人	112,171 人
	被保険者数	27,553 人	27,109 人	26,707 人	25,558 人	24,446 人
	加入割合	24.4%	24.0%	23.8%	22.8%	21.8%

2 被保険者の内訳（年間平均）

（単位：人）

		令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
総数		27,553 人 (100.0%)	27,109 人 (100.0%)	26,707 人 (100.0%)	25,558 人 (100.0%)	24,446 人 (100.0%)
	65歳未満	14,288 人 (51.9%)	13,672 人 (50.4%)	13,126 人 (49.1%)	12,498 人 (48.9%)	12,034 人 (49.2%)
	65歳以上 74歳以下	13,265 人 (48.1%)	13,437 人 (49.6%)	13,581 人 (50.9%)	13,060 人 (51.1%)	12,412 人 (50.8%)

3 保険税率等の推移

【令和元年度】

（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	21,000	560,000	2.30%	9,500	190,000	2.40%	11,000	160,000
市標準保険税率	5.83%	33,697	610,000	2.42%	13,841	190,000	1.69%	12,604	160,000

【令和２年度】

（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	21,000	580,000	2.30%	9,500	190,000	2.40%	11,000	160,000
市標準保険税率	5.65%	32,994	630,000	2.39%	13,675	190,000	1.89%	13,858	170,000

【令和３年度】

（単位：円）

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	21,000	630,000	2.30%	9,500	190,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.45%	37,918	630,000	2.43%	13,957	190,000	2.60%	18,993	170,000

【令和4年度】

(単位：円)

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	23,000	630,000	2.30%	10,500	190,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.51%	39,718	650,000	2.39%	14,096	200,000	2.53%	18,365	170,000

【令和5年度】

(単位：円)

	医療給付費分			後期高齢者支援金分			介護納付金分		
	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額	所得割	均等割	限度額
加須市保険税率	7.50%	27,700	650,000	2.30%	10,500	200,000	2.40%	11,000	170,000
市標準保険税率	6.24%	37,728	650,000	2.71%	15,857	220,000	2.30%	16,687	170,000

4 調定額の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
現年度分(千円)	2,380,851	2,335,106	2,292,481	2,250,225	2,213,701
滞納繰越分(千円)	391,887	412,995	401,744	375,126	328,110
被保険者数(人)	27,553	27,109	26,707	25,558	24,446

5 低所得者軽減の内訳

(単位：円)

区分	種別	均等割	
		世帯数	税額
7割	医療分	5,198	114,413,855
	後期分	5,198	43,464,748
	介護分	2,073	15,034,215
5割	医療分	2,645	55,465,471
	後期分	2,645	21,084,899
	介護分	919	5,084,186
2割	医療分	2,126	18,251,268
	後期分	2,126	6,932,283
	介護分	720	1,582,250
合計	医療分	9,969	188,130,594
	後期分	9,969	71,481,930
	介護分	3,712	21,700,651

※7割・5割・2割…前年所得が一定額以下の世帯について、
均等割額の軽減が適用されます。

6 保険税収納状況

(単位：円)

種 別	調 定 額 A	収 納 額 B	不納欠損額 C	未 収 額 A-B-C	収 納 率 B/A
現 年 度 分	2,213,701,100	2,094,574,489	—	119,126,611	94.6%
医療分	1,540,533,012	1,461,573,923	—	78,959,089	94.9%
後期分	505,940,988	479,337,517	—	26,603,471	94.7%
介護分	167,227,100	153,663,049	—	13,564,051	91.9%
滞納繰越分	328,109,554	101,778,054	71,476,098	154,855,402	31.0%
医療分	230,860,699	71,611,912	49,733,887	109,514,900	31.0%
後期分	66,374,995	20,589,213	14,804,828	30,980,954	31.0%
介護分	30,873,860	9,576,929	6,937,383	14,359,548	31.0%
計	2,541,810,654	2,196,352,543	71,476,098	273,982,013	86.4%

7 保険税収納率状況（現年度分）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収納率	92.5%	93.2%	94.0%	94.3%	94.6%

8 一人当たり・一世帯当たり保険税収納状況

(単位：円)

種 別	一人当たり		一世帯当たり	
	調 定 額	収 納 額	調 定 額	収 納 額
現 年 度 分	90,555	85,682	139,034	131,552
医療分	63,018	59,788	96,755	91,796
後期分	20,696	19,608	31,776	30,105
介護分	6,841	6,286	10,503	9,651
滞納繰越分	13,422	4,163	20,607	6,392
医療分	9,444	2,929	14,499	4,498
後期分	2,715	842	4,169	1,293
介護分	1,263	392	1,939	601
計	103,977	89,845	159,641	137,945

9 医療給付の状況

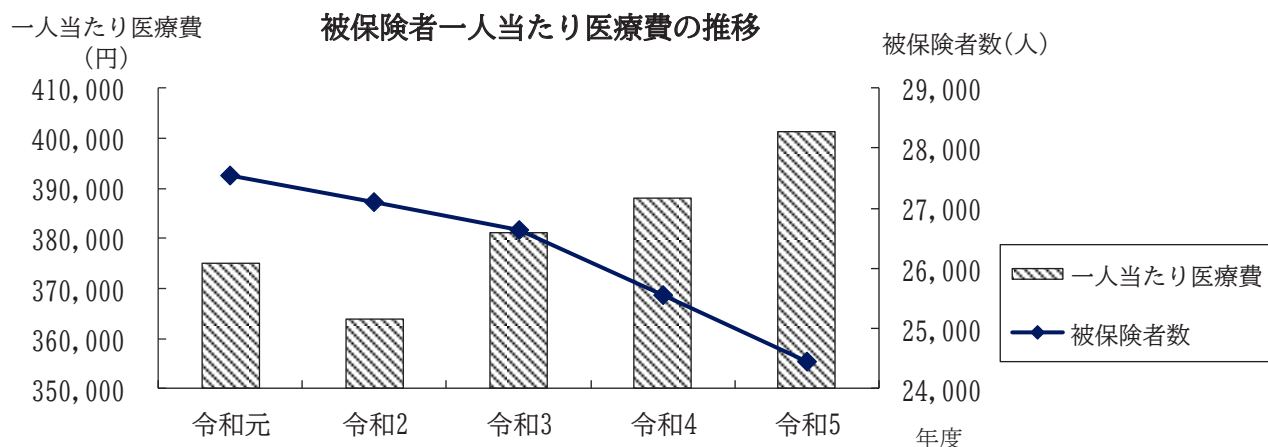
(単位：円)

	件 数	費用額①+②+③	保険者負担分①	一部負担金②	他法負担分③
療養の給付	417,227 件	9,751,684,527	7,189,981,842	2,414,616,864	147,085,821
療 養 費	6,074 件	60,063,991	43,971,426	15,085,914	1,006,651
移 送 費	2 件	38,670	38,670	0	0
計	423,303 件	9,811,787,188	7,233,991,938	2,429,702,778	148,092,472

10 一人当たり医療給付の状況

(単位：円)

	件 数	費用額①+②+③	保険者負担分①	一部負担金②	他法負担分③
療養の給付	17.07 件	398,907	294,117	98,773	6,017
療 養 費	0.25 件	2,457	1,799	617	41
移 送 費	0 件	2	2	0	0
計	17.32 件	401,366	295,917	99,391	6,058



	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
医療費総額 (千円)	10,332,132	9,865,398	10,153,786	9,917,341	9,811,787
被保険者数 (人)	27,553	27,109	26,707	25,558	24,446
一人当たり医療費 (円)	374,991	363,916	380,192	388,033	401,366

11 療養の給付内訳

	件 数 (件)	一人当たり件数 (件)	日 数 (日)	一人当たり日数 (日)	費 用 額 (円)	一人当たり費用額 (円)
診療費	入 院	5,402	0.2	79,678	3,393,825,420	138,829
	入院外	218,083	8.9	325,340	3,798,812,860	155,396
	歯 科	51,572	2.1	84,847	627,033,820	25,650
調 剤	140,825	5.8	—	—	1,671,944,062	68,393
食事療養	—	—	—	—	140,031,975	5,728
訪問看護	1,345	0.1	10,445	0.4	120,036,390	4,910
計	417,227	17.1	500,310	20.5	9,751,684,527	398,907

12 高額療養費支給状況

件 数 18,274 件 支給額 1,079,028,453 円

13 出産育児一時金支給状況

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
件数 (件)	64	51	70	55	55
支給額 (円)	26,847,390	21,308,000	29,357,730	23,107,820	27,899,010

14 葬祭費支給状況

	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
件数 (件)	204	195	191	254	190
支給額 (円)	10,200,000	9,750,000	9,550,000	12,700,000	9,500,000

15 国民健康保険事業費納付金の状況

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
事業費納付金 合計	3,064,923	2,941,287	3,179,139	3,204,672	3,035,553
医療給付費分	2,050,005	1,953,105	2,145,331	2,196,492	2,010,567
後期高齢者支援金等分	795,050	759,823	755,143	742,156	791,568
介護納付金分	219,868	228,360	278,665	266,024	233,417
1人当たり納付金額	111	108	119	125	124

※平成30年度からの国民健康保険の県単位化(広域化)に伴い埼玉県に納付。

16 保養施設利用助成状況

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
延べ利用者数	大 人	930	142	188	129
	小 人	6	1	0	3
延べ利用者総数	936	143	188	132	164

※助成単価(大人：3,000円/人・小人：1,500円/人)

17 人間ドック・脳ドック利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人間ドック	利 用 者 数 (人)	797	598	723	796
	助 成 金 額 (円)	15,940,000	11,946,400	14,460,000	15,911,900
脳ドック	利 用 者 数 (人)	82	52	58	58
	助 成 金 額 (円)	1,640,000	1,040,000	1,160,000	1,160,000
併診ドック	利 用 者 数 (人)	—	—	—	—
	助 成 金 額 (円)	—	—	—	—

※令和5年度から併診ドックを開始。

18 国保健診(特定健康診査)等実施状況

(国民健康保険特定健康診査等事業)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度※
国 保 健 診 (特定健康診査)	対象者数(人)	19,723	19,668	19,013	16,031
	受診者数(人)	8,174	6,843	6,781	6,638
	受診率(%)	41.4	34.8	35.7	41.4
特定保健指導	対象者数(人)	942	715	782	762
	実施者数(人)	129	76	115	195
	実施率(%)	13.7	10.6	14.7	25.6

※受診率、実施率は暫定値(翌年度11月に確定)

19 生活習慣病重症化予防対策実施状況

(糖尿病性腎症重症化予防対策事業)

		令和4年度	令和5年度	事業内容
未受診者等への受診勧奨	対象者数(人)	62	123	糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者や受診中断者に対して受診勧奨通知書を送付し、糖尿病性腎症ハイリスク者を医療につなげ、早期治療を促し重症化を防止した。
糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導	対象者数(人)	337	432	糖尿病の重症化リスクの高い者のうち、保健指導プログラムへの参加について、本人及びかかりつけ医の同意があった者に対して保健指導を実施した。
	実施者数(人)	17	22	
	実施率(%)	5.0	5.1	

20 国保運営協議会開催状況

	開催日 出席委員数	協議事項
第1回	8月1日 (13人出席)	1 令和4年度加須市国民健康保険事業特別会計決算(案)について 2 令和4年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計決算(案)について 3 加須市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の進捗状況について
第2回	12月21日 (12人出席)	1 令和6年度 国民健康保険事業の賦課方法について 2 次期加須市国民健康保険保健事業実施計画(案)について
第3回	1月18日 (13人出席)	1 加須市国民健康保険事業の賦課方法(答申案)について 2 加須市国民健康保険税条例の一部を改正する条例(案)の要旨について 3 令和6年度加須市国民健康保険事業特別会計予算(案)について 4 令和5年度加須市国民健康保険事業特別会計補正予算(案)について 5 令和6年度加須市国民健康保険直営診療所特別会計予算(案)について 6 加須市国民健康保険表彰規程に基づく表彰(案)について 7 次期加須市国民健康保険保健事業実施計画(案)について

21 国民健康保険保健事業実施計画・特定健康診査等実施計画策定

国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)・特定健康診査等実施計画は、第2次加須市総合振興計画に掲げる「安心安全でいきいきと暮らせるまちづくり」に掲げる「地域医療体制の充実」の実現に向けて位置づけられた部門計画である。

第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の計画期間が令和5年度をもって終了することから、これまでの取組の評価や効果の検証を踏まえ見直しを行うとともに、幅広い年代の被保険者に対し、様々な年代の身体的な状況等に応じた健康課題を的確に捉え、課題に応じた保健事業を実施することにより、「健康の保持増進」、「生活の質(QOL)の維持及び向上」が図られ、結果として、「医療費の適正化」に資することを目的とする、加須市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画)・第4期特定健康診査等実施計画(計画期間：令和6年度～令和11年度)を策定した。

新型コロナウイルス感染症に係る対応を実施した(巻末参照)。

【財政の状況】

歳 入

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	決算額 (円)	構成比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)
診療収入	75,411,272	73.9	72,444,036	67.7
使用料及び手数料	10,500	0.0	14,000	0.0
財産収入	516	0.0	1,169	0.0
繰入金	421,000	0.4	3,421,000	3.2
繰越金	26,065,495	25.6	30,186,327	28.2
諸収入	134,558	0.1	918,330	0.9
歳 入 合 計	102,043,341	100.0	106,984,862	100.0

歳 出

区 分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	決算額 (円)	構成比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)
総務費	46,613,998	58.4	50,809,858	62.8
医業費	27,651,508	34.6	27,571,740	34.1
施設整備費	592,763	0.7	2,536,600	3.1
基金積立金	5,000,516	6.3	1,169	0.0
公債費	0	0.0	0	0.0
予備費	0	0.0	0	0.0
歳 出 合 計	79,858,785	100.0	80,919,367	100.0

国民健康保険直営診療所事業の状況

地域住民の健康状態を的確に把握するよう診療にあたった。また、保健センター、地域包括支援センター及び地域基幹病院との連携を図り、身近でなんでも相談できるかかりつけ医として患者の立場に立ったきめ細やかで、かつ適切な診療業務を実施した。

○令和 5 年度診療状況（一般診療・入院外）

国民健康保険診療分			後期高齢者医療診療分			そ の 他 の 診 療 分			計		
件数	日数	費用額	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額	件数	日数	費用額
件	日	円	件	日	円	件	日	円	件	日	円
2,130	2,363	17,118,000	2,640	3,017	22,535,230	2,553	2,892	20,306,620	7,323	8,272	59,959,850

※「件数」は受診した人数、「日数」は受診した回数を表す。

【財政の状況】

歳 入

区 分	令和 5 年度				令和 4 年度			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	被保険者 一人当たり 額 (円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	被保険者 一人当たり 額 (円)
後期高齢者 医療保険料	1,112,762	75.3	6.0	66,346	1,050,147	74.8	14.6	65,688
使用料及び 手数料	—	—	—	—	—	—	—	—
寄 附 金	—	—	—	—	—	—	—	—
繰 入 金	302,945	20.5	4.2	18,063	290,608	20.7	12.3	18,178
繰 越 金	13,771	0.9	△7.1	821	14,830	1.1	1.4	928
諸 収 入	47,975	3.2	△2.0	2,860	48,949	3.5	27.7	3,062
合 計	1,477,453	100.0	5.2	88,090	1,404,534	100.0	14.4	87,855

歳 出

区 分	令和 5 年度				令和 4 年度			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	被保険者 一人当たり額 (円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	被保険者 一人当たり 額 (円)
総 務 費	68,023	4.6	1.6	4,056	66,972	4.8	27.1	4,189
後期高齢者 医療広域連 合納付金	1,397,759	95.2	5.7	83,339	1,322,467	95.1	14.1	82,721
諸 支 出 金	1,992	0.1	50.5	119	1,324	0.1	△16.8	83
合 計	1,467,775	100.0	5.5	87,513	1,390,763	100.0	14.6	86,993

※ 表示単位未満四捨五入のため、各欄と合計が一致しない場合がある。
被保険者一人当たり額は、各年度の平均被保険者数に基づき算出。
（令和 5 年度：16,772 人 令和 4 年度：15,987 人）

【後期高齢者医療保険事業の状況】

1 加入状況（年間平均）

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
総 数	14,514	14,786	15,141	15,987	16,772
75歳未満	227	226	221	222	210
75歳以上	14,287	14,560	14,920	15,765	16,562

2 保険料率等の推移

（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
均等割額	41,700	41,700	41,700	44,170	44,170
所得割率（％）	7.86	7.96	7.96	8.38	8.38
賦課限度額	620,000	640,000	640,000	660,000	660,000

3 保険料収納状況

（単位：円）

種 別	調 定 額	収 納 額	不納欠損額	未 収 額	収納率（％）
現年度分	1,114,698,300	1,109,464,980	0	5,233,320	99.5
特別徴収	600,494,500	601,610,800	0	△1,116,300	100.2
普通徴収	514,203,800	507,854,180	0	6,394,620	98.8
滞納繰越分	11,753,800	3,297,200	2,787,890	5,668,710	28.1
計	1,126,452,100	1,112,762,180	2,787,890	10,902,030	98.8

4 不納欠損状況

保 険 料	発生年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合 計
	人数(人)	1	1	4	33	33	12	56
	金額(円)	6,090	2,900	36,800	1,070,300	652,100	1,019,700	2,787,890
延 滞 金	発生年度	合 計						
	人数(人)	0						
	金額(円)	0						

※複数年度で欠損になった者がいるため、人数の合計欄が各年度の欠損人数の合計数と一致しない。

5 一人当たり保険料収納状況

（単位：円）

種 別	一人当たり	
	調 定 額	収 納 額
現年度	66,462	66,150

6 一人当たり医療費の推移

(単位：円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
医療費	830,862	812,265	777,973	805,358	814,402

7 一般会計からの繰入金

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
繰入金	256,161	252,918	258,771	290,608	302,945

8 健康診査受診状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
受診者数 (人)	3,702	3,657	3,716	4,242	4,515
個別健診(人)	3,230	3,329	3,272	3,703	3,893
集団健診(人)	472	328	444	539	622
受診率(%)	27.2	25.9	26.0	28.5	28.7

9 保養施設利用助成状況

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	819	91	144	142	271

※ 助成単価 3,000 円／泊

10 人間ドック・脳ドック助成状況

(単位：人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人間ドック	121	91	127	172	192
脳ドック	26	25	16	22	14
併診ドック					40

※ 助成単価 人間ドック及び脳ドック 上限 20,000 円／件、併診ドック 上限 30,000 円／件

【財政の状況】

歳 入

区 分	令 和 5 年 度				令 和 4 年 度			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	第1号被保険者 一人当たり額 (円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	第1号被保険者 一人当たり額 (円)
保 険 料	2,473,537	22.9	1.5	70,572	2,437,549	23.7	1.4	70,490
分 担 金 及 び 負 担 金	3,898	0.0	△0.4	111	3,913	0.0	0.3	113
使 用 料 及 び 手 数 料	0	0.0	-	0	0	0.0	-	0
国 庫 支 出 金	1,969,870	18.2	1.9	56,202	1,932,201	18.8	5.8	55,876
支 払 基 金 交 付 金	2,487,491	23.0	3.2	70,970	2,409,220	23.4	△0.6	69,671
県 支 出 金	1,553,861	14.4	2.9	44,333	1,510,290	14.7	6.4	43,675
財 産 収 入	23	0.0	△20.7	1	29	0.0	0.0	1
繰 入 金	1,638,765	15.2	0.5	46,755	1,630,089	15.8	7.0	47,140
繰 越 金	686,111	6.3	83.1	19,575	374,740	3.6	14.1	10,837
諸 収 入	1,838	0.0	△61.4	52	4,759	0.0	4.5	138
合 計	10,815,395	100.0	5.0	308,570	10,302,789	100.0	3.7	297,941

歳 出

区 分	令 和 5 年 度				令 和 4 年 度			
	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	第1号被保険者 一人当たり額 (円)	決算額 (千円)	構成比 (%)	前年比 (%)	第1号被保険者 一人当たり額 (円)
総 務 費	104,920	1.0	12.8	2,993	92,997	0.9	△9.4	2,689
保 険 給 付 費	9,015,340	87.9	3.2	257,214	8,735,489	90.8	0.2	252,617
基 金 積 立 金	295,023	2.9	48.2	8,417	199,029	2.1	△5.2	5,756
地 域 支 援 事 業 費	438,109	4.3	6.6	12,500	411,050	4.3	4.1	11,887
諸 支 出 金	400,632	3.9	124.9	11,430	178,114	1.9	28.4	5,151
予 備 費	0	0.0	-	0	0	0.0	-	0
合 計	10,254,024	100.0	0.6	292,554	9,616,678	100.0	0.6	278,099

※表示単位未満四捨五入のため、各欄と合計が一致しない場合がある。

※第1号被保険者数 令和6年3月31日 35,050人、令和5年3月31日 34,580人（介護保険事業状況報告より）

【保険事業】

1 第1号被保険者数と要介護（要支援）認定者数

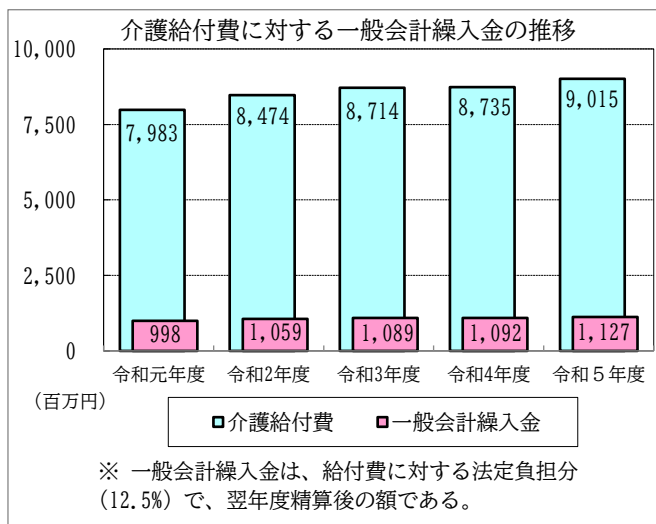
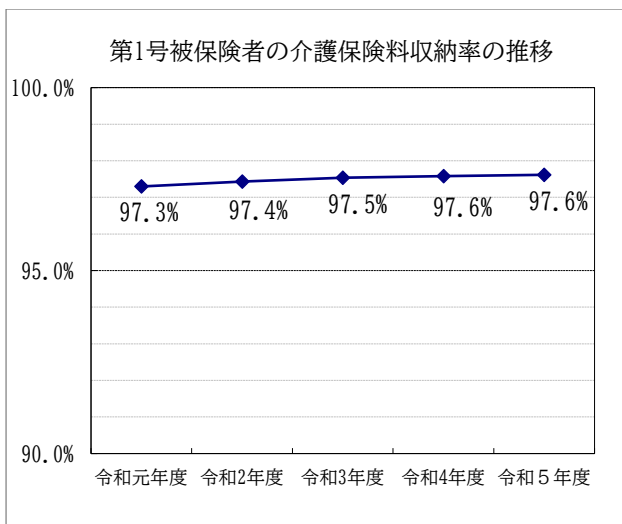
（単位：人）

	令和2年3月末	令和3年3月末	令和4年3月末	令和5年3月末	令和6年3月末
第1号被保険者	33,107	33,755	34,208	34,580	35,050
認定者(合計)	5,033	5,144	5,256	5,323	5,464
要支援1	347	354	410	435	471
要支援2	596	601	649	620	655
要介護1	1,124	1,127	1,117	1,187	1,233
要介護2	892	912	952	960	970
要介護3	846	843	852	870	846
要介護4	731	788	750	730	743
要介護5	497	519	526	521	546

2 保険給付の状況

（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
居宅サービス費	3,295,413,200	3,443,128,432	3,587,788,450	3,665,944,535	3,928,994,402
地域密着型サービス費	668,548,767	668,221,322	707,900,599	773,483,945	767,115,034
施設サービス費	3,388,294,238	3,687,430,318	3,787,233,267	3,709,975,269	3,732,947,307
高額介護サービス費	190,824,749	214,591,571	220,612,795	222,602,932	232,061,306
高額医療合算サービス費	27,068,654	28,717,605	29,713,257	29,668,999	28,739,581
特定入所者介護サービス費	408,726,631	427,835,762	376,323,991	328,972,810	320,460,119
審査支払費	4,350,680	4,441,840	4,660,000	4,840,440	5,022,320
合 計	7,983,226,919	8,474,366,850	8,714,232,359	8,735,488,930	9,015,340,069



3 第1号被保険者の保険料収納状

（単位：円）

区 分	調定額	収納額	不納欠損額	還付未済額	収入未済額	収納率 (%)
現 年 度						
特別徴収	2,243,626,950	2,246,419,750	0	2,792,800	0	100.1
普通徴収	243,754,350	222,906,770	0	269,170	21,116,750	91.4
滞納繰越	46,459,080	4,210,310	20,929,290	85,600	21,405,080	9.1
合 計	2,533,840,380	2,473,536,830	20,929,290	3,147,570	42,521,830	97.6

【介護人材確保対策事業】

増加する介護需要への対応として、市内の介護サービス事業所等に従事する介護職員を確保するため、介護に関する基本的な知識や技術を学ぶことを内容とした入門的研修を実施するとともに、新たに介護資格を取得した者に補助金を交付した。

1 介護に関する入門的研修

実施日 令和5年10月18、19、20、25、26日 参加者数 18人

2 介護職員資格取得支援補助金

補助金交付者数 18人（介護支援専門員 3人、介護福祉士 15人）

【地域支援事業】

4 地域支援事業費

1-1 介護予防・生活支援サービス事業費

01:介護予防・生活支援サービス等事業

元気あっぷ通所型サービス

(単位:人)

事業名	利用者数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
元気あっぷ 通所サービスS事業	新規人数	90	127	106	129
	延べ人数	3,252	3,459	3,845	3,998
元気あっぷ 通所サービスA事業	新規人数	4	0	2	4
	延べ人数	148	92	62	69
元気あっぷ 通所サービスC事業	実人数	18	35	39	40
	延べ人数	102	326	367	408

元気あっぷ訪問型サービス

(単位:人)

事業名	利用者数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
元気あっぷ 訪問サービスS事業	新規人数	38	46	34	37
	延べ人数	1,284	1,414	1,528	1,485
元気あっぷ 訪問サービスA事業	新規人数	5	3	2	3
	延べ人数	180	173	145	120
元気あっぷ 訪問サービスB事業	新規人数	0	0	0	0
	延べ人数	0	0	0	0

1-2 介護予防ケアマネジメント事業費

01:介護予防ケアマネジメント事業

適切なアセスメントを行い、高齢者の状況をもとにした目標を設定し、高齢者自身が目標を理解し、目標達成に必要なサービスを主体的に利用できるようケアプランを作成した。

なお、平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始したことにより、介護予防ケアマネジメントが3種類となった。

(単位:件)

ケアマネジメントの類型	実施件数	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
介護予防ケアマネジメントA	新規件数	112	158	127	154
	延べ件数	3,540	3,557	3,781	3,863
介護予防ケアマネジメントB	実件数	18	33	37	38
	延べ件数	34	64	73	77
介護予防ケアマネジメントC	新規件数	0	0	0	0
	延べ件数	0	0	0	0

2-1 一般介護予防事業費

01:ふれあいサロン事業（総合戦略）

身近な場所に仲間との交流の場を提供し、高齢者のおしゃべりや運動の機会を増やすことで、閉じこもりや認知機能の低下を予防するサロン活動の継続及び立ち上げを支援した。

高齢者ふれあいサロン

（単位：箇所）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
サロン数	122	122	127	135	132
再掲：新規立ち上げ・把握数	15	1	8	11	5

高齢者ふれあいサロン（新規立ち上げ会場）

（単位：回、人）

サロン名（会場）	回数	参加者 （実人数）	サポーター （実人数）
コスモスサロン（中央二丁目会館）	14	20	0
ほほえみサロン（久下三丁目集会所）	12	13	0
ポピークラブ（久下東会館）	10	10	1
水深フラワー（水深コミュニティセンター）	23	14	1
八軒ひまわりの会（八軒集会所）	4	9	2

※高齢者相談センターが立ち上げた会場のみ掲載

02:元気はつつ介護予防事業（総合戦略）

「わかめ（㊦かい㊦らだを㊦ぎそう）倶楽部」では、転倒予防体操や脳のトレーニングを実施し、介護予防に関する普及啓発等を一体的に取り組み、市民の生活機能の維持向上を図ることができた。

さらに、地域において高齢者の介護予防の取組を支援する「介護予防サポーター」の養成講座を開催し、新たに13人の介護予防サポーターを養成することができた。

また、認知症講演会を開催し、認知症予防に関する普及啓発を図ることができた。

介護予防教室の開催状況

（単位：回、人）

	令和元年度 （あたまの健康教室）	令和2年度 （あたまの健康教室）	令和3年度 （あたまの健康教室）	令和4年度 （わかめ倶楽部）	令和5年度 （わかめ倶楽部）
開催回数	72	0	72	16	16
参加者（実人数）	98	0	46	54	50
サポーター（実人数）	10	0	1	0	0

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

※令和3年度までは、あたまの健康教室の実績を計上。令和4年度以降は、あたまの健康教室と元気はつつ体操教室を統合した介護予防教室「わかめ倶楽部」の実績を計上

介護予防サポーターの登録状況

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	80	94	105	119	132

※令和5年度 新規登録者 13人 登録者の内、活動休止の申出者 9人

認知症講演会の実施状況：1回開催

（単位：人）

実施日	会場	参加者数
令和6年1月31日	パストラルかぞ	31

介護予防普及啓発講座等の実施状況

(単位：回、人)

	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	回数	回数	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
加須・大桑・水深高齢者 相談センター愛泉苑 (愛の泉高齢者相談センター)	30	515	2	33	13	136	3	64	4	61
不動岡・礼羽・志多見高齢者 相談センターみずほの里 (加須中央高齢者相談センター)	15	295	3	30	11	84	3	53	8	257
三俣・樋遣川・大越高齢者相 談センター利根いこいの里 (加須中央高齢者相談センター)	14	175	1	20	21	190	21	132	4	62
騎西高齢者相談センタ ー多賀谷寿光園 (騎西高齢者相談センター)	20	233	3	59	14	221	2	59	3	91
北川辺高齢者相談セン ター加須清輝苑 (北川辺高齢者相談センター)	36	346	4	55	14	173	7	107	11	133
大利根高齢者相談セン ターふれ愛の郷 (大利根高齢者相談センター)	16	297	4	69	13	128	10	156	2	38
合 計	131	1,861	17	266	86	932	46	571	32	642

※参加者は、延べ人数

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成30年度までの高齢者相談センターの名称

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、元気はつらつ体操教室を中止

※令和3年度までは、高齢者相談センターが実施した介護予防普及啓発講座等と市が実施した元気はつらつ体操教室の実績を計上

※令和4年度以降は、高齢者相談センターが実施した介護予防普及啓発講座等の実績のみ計上（元気はつらつ体操教室は、あたまの健康教室と統合し、介護予防教室「わかめ倶楽部」として実施したため。）

03:高齢者筋力アップトレーニング事業（総合戦略）

市民の介護予防及び健康寿命の延伸を目的として、体力測定結果に基づいた個別運動プログラムによる筋力トレーニングと有酸素運動を実施し、体力年齢の若返りを図った。また、修了生が自主活動グループの活動を継続できるよう各グループへの巡回支援を実施した。

養成会場年間活動回数・人数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	年間活動回数（回）	69	0	71	47	24
（人） 実人数	40～64 歳	14	0	10	9	4
	65～69 歳	15	0	14	11	7
	70 歳以上	7	0	8	9	24
	計	36	0	32	29	35
	延べ人数（人）	669	0	611	612	358

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

新規養成者数

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実人数	36	0	32	29	35

自主会場・自主トレーニングでの実施者数

（単位：人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
自主会場	748	679	614	566	532
自宅トレ※	584	663	699	758	795

※転出・死亡者を除く。

自主会場・自主グループ数

（単位：箇所）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
会場数	16	16	15	15	15
グループ数	40	38	36	36	36

3-1 包括的支援事業・任意事業費

01: 高齢者相談センター運営委託事業

(1) 包括的・継続的ケアマネジメント支援の実施

(単位: 回、件)

	関係機関との連携・調整	ケア会議等の開催	介護支援専門員への個別支援	事業所連絡会議の開催
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	120	41	134	2
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	80	42	95	4
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	42	41	73	0
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	7	35	12	3
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	262	41	84	2
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	35	25	29	4
合 計	546	225	427	15

(2) 指定介護予防支援等の実施

高齢者相談センターの職員が、予防給付又は介護予防・日常生活支援総合事業の対象となる要支援認定者又は基本チェックリスト該当者のケアプランを作成し、介護予防サービス事業者等と連絡調整を行うことによって、指定介護予防サービス又は介護予防・生活支援サービスを必要とする人に対し、必要なサービスを提供することができた。

(単位: 件)

	直 営 分	委 託 分	合 計	うち新規分(再掲)	
				直 営 分	委 託 分
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑	1,246	918	2,164	44	31
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里	674	534	1,208	23	28
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里	960	266	1,226	25	13
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園	868	358	1,226	32	7
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑	506	412	918	20	14
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷	611	546	1,157	32	24
合 計	4,865	3,034	7,899	176	117

※「新規分」とは、要支援認定者又は基本チェックリスト該当者に対し、新規にケアプランを作成した件数

(3) 介護マーク貸与

認知症の人（異性）を外出先で介護する場合、外見では介護をしていることが分かりづらく、周りの人から誤解を受けることがあるため、介護中であることを周りに知らせる「介護マーク」を無償で貸与する事業を実施し、家族の介護負担の軽減を図った。

<介護マーク イメージ>



(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新規貸与件数	3	0	0	3	1
累計貸与件数	12	12	12	15	11
各年度末利用件数	8	8	7	10	8

02: 高齢者総合相談支援事業

高齢者総合相談件数（延件数）

(単位：件)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑 (愛の泉高齢者相談センター)	1,791	1,446	1,409	1,255	1,937
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里 (加須中央高齢者相談センター)	883	919	1,220	883	895
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里 (加須中央高齢者相談センター)	189	348	262	465	290
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園 (騎西高齢者相談センター)	343	438	469	830	659
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑 (北川辺高齢者相談センター)	481	659	715	661	778
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷 (大利根高齢者相談センター)	325	391	596	808	856
合 計	4,012	4,201	4,671	4,902	5,415

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成30年度までの高齢者相談センターの名称

03: 権利擁護事業

市長が成年後見等の審判請求を行い、家庭裁判所において成年後見人等を選任された高齢者等のうち成年後見人等に対する報酬の支払いが困難な人に対し、報酬の一部を助成すること等によって、高齢者の権利擁護を図ることができた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
市長申立件数（件）	5	3	2	3	6
報酬助成件数（件）	3	4	7	3	4
報酬助成決定金額 （円）	704,000	1,085,000	1,534,000	522,000	678,000

成年後見制度相談件数（延べ件数）

（単位：件）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑 （愛の泉高齢者相談センター）	2	26	30	3	0
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里 （加須中央高齢者相談センター）	4	5	4	20	7
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里 （加須中央高齢者相談センター）	3	2	5	10	25
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園 （騎西高齢者相談センター）	1	1	0	3	3
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑 （北川辺高齢者相談センター）	2	3	11	6	9
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷 （大利根高齢者相談センター）	9	2	36	20	6
合 計	21	39	86	62	50

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成 30 年度までの高齢者相談センターの名称

高齢者虐待相談通報件数（実件数）

（単位：件）

	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
加須・大桑・水深 高齢者相談センター愛泉苑 （愛の泉高齢者相談センター）	13	4	4	5	7
不動岡・礼羽・志多見 高齢者相談センターみずほの里 （加須中央高齢者相談センター）	4	2	4	3	1
三俣・樋遣川・大越 高齢者相談センター利根いこいの里 （加須中央高齢者相談センター）	5	1	3	4	4
騎西 高齢者相談センター多賀谷寿光園 （騎西高齢者相談センター）	1	10	8	12	4
北川辺 高齢者相談センター加須清輝苑 （北川辺高齢者相談センター）	4	6	4	10	3
大利根 高齢者相談センターふれ愛の郷 （大利根高齢者相談センター）	10	7	4	6	3
合 計	37	30	27	40	22

※高齢者相談センター名の下段の括弧書きは、平成 30 年度までの高齢者相談センターの名称

04:在宅医療・介護連携推進事業（総合戦略）

医療と介護の両方を必要とする人が、住み慣れた地域で医療・介護サービスを受けられるよう、加須市在宅医療・介護連携推進委員会の開催や ICT システム「北彩あんしんリング」の活用により、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、介護支援専門員等の多職種の医療・介護関係者の情報共有を図るとともに、多職種研修会の開催等により、医療と介護の連携を推進することができた。

(1) 在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置

介護保険法の規定を踏まえ、平成 30 年度から、加須市と羽生市の共同事業として、在宅医療・介護連携に関する相談窓口（北埼玉在宅医療連携室）を設置・運営（委託）

(2) 在宅医療・介護連携推進委員会の開催（書面会議 1 回）

入退院支援ルールの作成や認知症初期集中支援チームなど在宅医療・介護に関する地域課題について議題とした。

(3) 多職種研修会等の開催

多職種研修会

配信日：令和 5 年 12 月 28 日～令和 6 年 2 月 15 日（Web 配信により開催）

テーマ：地域連携とスピリチュアルケア

講 師：池内 龍太郎氏（医師・元関東臨床宗教師会代表・神社神道神職）

対象者：医療・介護関係者

(4) 市民への普及啓発

講演会の開催を行い、加須市における在宅医療・介護連携の取組の周知を図った。

在宅医療・介護連携推進講演会の開催

開催日：令和 6 年 3 月 14 日

テーマ：人生会議について

講 師：福島 祐一氏（本町福島クリニック）

参加者：市民 29 人

05:認知症総合支援事業（総合戦略）

(1) 認知症カフェの設置促進

認知症カフェを運営する団体等への支援（補助金交付等）を通じて、認知症の人やその家族等の居場所づくり、交流、相談等の支援により、家族等の介護負担の軽減を図っている。

令和2年度及び令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、認知症カフェを運営する団体等に活動の自粛を要請したため、補助金の交付はなかった。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認知症カフェの設置箇所数	4	0	0	5	9
補助金交付団体数 (補助金支出額)	2 (197,526 円)	0 (0 円)	0 (0 円)	5 (132,090 円)	8 (436,782 円)

(2) 認知症初期集中支援チームによる支援

認知症の専門医及び医療・保健・福祉等の分野の複数の専門職で構成する認知症初期集中支援チームが、認知症の人とその家族等への初期の支援（訪問、観察・評価、家族支援等）を包括的、集中的に行い、医療又は介護サービスの利用につなげることができた。

令和5年度認知症初期集中支援チームによる支援事例数 … 8件

06:行方不明高齢者等早期発見支援事業

位置探索専用端末を貸与し、及び認知症高齢者等早期発見ステッカーを配付した結果、所在不明となった認知症高齢者等の早期発見や認知症の人を介護する家族の負担軽減につながった。

(1) 位置探索サービス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸与人数（人）	13	10	11	11	10
利用実績（円）	15,120	48,188	38,500	7,700	15,400

※各年度末時点

※令和5年度 新規利用者 2人 廃止者 3人

(2) 早期発見ステッカー配付

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
配付数（人）	24	16	19	18	28
配付累計（人）	85	87	97	86	107
早期発見（延べ件数）	3	3	2	2	1
実績（円）	220,000	0	0	0	220,000

※平成27年12月25日から開始

※令和元年度及び令和5年度の実績は、ステッカーの作成経費。令和2年度から令和4年度までは、ステッカーの作成なし。

※早期発見件数は、ステッカーを配付した人のうち一時所在不明となりその後発見された人の数

07:認知症サポーター養成研修事業

(1) 認知症サポーター養成講座

認知症サポーター養成講座を開催して、認知症を正しく理解し、自分のできる範囲で認知症の人とその家族の住み慣れた地域での生活を支える認知症サポーターを養成した。

また、認知症サポーター養成講座の講師を務めるキャラバン・メイトの交流会を1回開催した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開催回数（回）	21	5	16	13	25
受講者数（人）	447	61	214	253	503
サポーター延数（人）	4,964	5,025	5,239	5,492	5,995

(2) チームオレンジの支援

認知症の人とその家族などの日常生活におけるちょっとした困りごとの支援ニーズと、認知症サポーターによる支援とを結びつける「チームオレンジ」を1箇所整備することができた。

令和5年度までに整備されたチームオレンジ数 … 3箇所

08:地域ケア会議推進事業

高齢者相談センターごとに地域ケア会議を開催し、支援困難事案の解決及び地域の支援体制の構築につなげることができた。

また、自立支援型地域ケア会議を開催し、会議における事例検討を通じて、保険者としての介護予防ケアマネジメントの考え方を周知するとともに、多職種（医師、歯科医師、薬剤師、理学療法士、作業療法士及び管理栄養士）の助言を与えることによって、介護支援専門員の介護予防ケアマネジメントの質の向上を図ることができた。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
高齢者相談センター主催の地域ケア会議の開催回数（回）	56	175	185	189	194
市主催の自立支援型地域ケア会議の開催回数（回）	12	8	10	12	12

09:地域ブロンズ会議事業（総合戦略）

高齢者の在宅生活を支える活動を行っている団体間のネットワークづくりや、地域で不足しているサービスの担い手の創出等を行う「生活支援コーディネーター」を配置し、各種団体等との意見交換等を行うなどして、地域における支え合いの必要性等について啓発を行った。

また、日常的な生活圏域（概ね中学校区域）ごとに「地域支え合いのしくみづくり」について協議する「地域ブロンズ会議」の設置促進を推進した結果、移動スーパー等、地域で必要とするサービスにつなげることができた。

【財政の状況】

歳 入

区 分	令 和 5 年 度			令 和 4 年 度		
	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)
分担金及び負担金	6,059,000	0.9	△13.8	7,033,000	1.0	△17.0
使用料及び手数料	124,979,471	17.8	△18.3	152,965,205	20.8	6.4
県支出金	0	0	—	0	0	—
繰入金	488,789,000	69.7	△1.0	493,651,000	67.3	△2.9
繰越金	67,261,497	9.6	14.3	58,858,349	8.0	48.7
諸収入	203,433	0.0	△25.5	272,957	0.0	△3.8
市債	13,500,000	1.9	△35.7	21,000,000	2.9	皆増
合 計	700,792,401	100	△4.5	733,780,511	100	4.7

歳 出

区 分	令 和 5 年 度			令 和 4 年 度		
	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)	決算額 (円)	構成比 (%)	前年比 (%)
総務費	57,077,426	9.1	△7.5	61,708,283	9.3	△4.5
維持管理費	190,515,775	30.4	△14.8	223,637,069	33.6	13.5
公債費	379,011,078	60.5	△0.6	381,173,662	57.2	0.3
予備費	0	0	—	0	0	—
合 計	626,604,279	100	△0.6	666,519,014	100	3.9

1 加入戸数等の推移

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
加入戸数（件）	3,133	3,157	3,198	3,242	3,269
加入率（%）	76.1	76.5	77.1	77.7	78.2
未加入件数（件）	985	971	948	929	911

2 施設の維持管理費の推移

（単位：円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
維持管理費	224,242,037	216,394,390	197,077,288	223,637,069	190,515,775

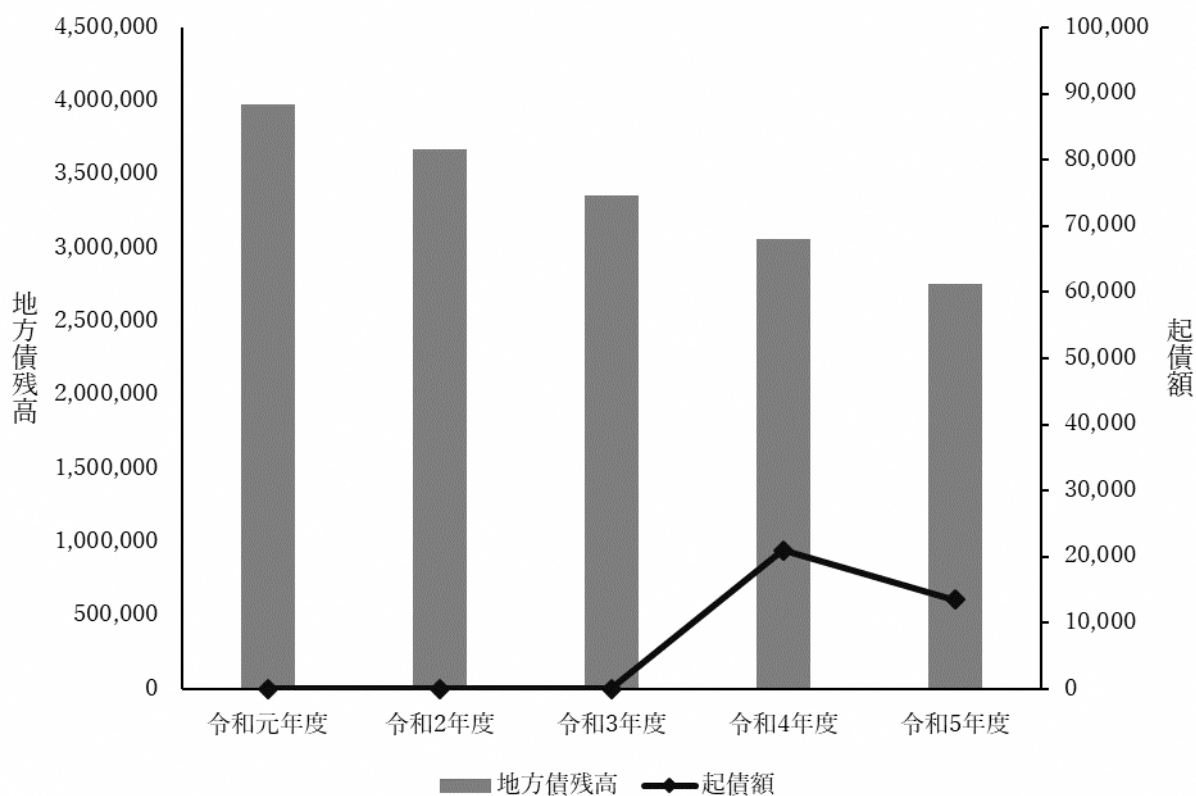
3 地方債現在高等の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
起債額	0	0	0	21,000	13,500
元金償還額	298,191	304,083	310,095	317,419	321,478
利子償還額	81,788	75,902	69,890	63,755	57,533
年度末残高	3,974,516	3,670,433	3,360,338	3,063,919	2,755,941

地方債残高と起債額の推移

(単位：千円)



農業集落排水事業特別会計は、令和6年4月1日に地方公営企業法を適用するとともに、下水道事業会計へ会計統合した。歳入歳出差引残額 74,188,122 円は、下水道事業会計へ引き継いだ。

【財政の状況】

歳 入

151,562,362 円

(単位：円)

区分	現年度	繰越明許	計
国庫補助金	15,601,000	0	15,601,000
不動産売払収入	0	0	0
繰越金	32,960,762	0	32,960,762
市預金利子	600	0	600
一般会計繰入金	103,000,000	0	103,000,000
計	151,562,362	0	151,562,362

※現 年 度：令和 5 年度決算分

※繰越明許：令和 4 年度から令和 5 年度に繰越されたもの

歳 出

112,408,780 円

(単位：円)

区分	現年度	繰越明許	計
総務費	227,241	0	227,241
建設費	80,442,031	0	80,442,031
公債費	31,739,508	0	31,739,508
計	112,408,780	0	112,408,780

※現 年 度：令和 5 年度決算分

※繰越明許：令和 4 年度から令和 5 年度に繰越されたもの

◎歳出の内訳

1 款 総務費 1 項 総務管理費 1 目 一般管理 227,241 円

2 款 建設費 1 項 建設費 1 目 建設費 80,442,031 円

仮換地指定を行った一部箇所について、街区・画地確定杭設置業務や区画街路築造工事、宅地整地工事等を実施した。

[建設費の内訳]

○ 需用費	消耗品費	0 円
○ 修繕料		198,000 円
○ 委託料		15,853,231 円

[委託料の内訳]

・ 物件費的委託料	雑草刈払、樹木伐採	5 件	8,223,851 円
・ 投資的委託料	調査・測量・設計	4 件	7,629,380 円

※令和 5 年度から令和 6 年度へ繰越を行った理由

第 2 調整池詳細設計業務委託及び地質調査業務委託については、年度内の完了が出来なかったため、令和 6 年度に 43,000,000 円繰越した。

○ 賃借料	土地借上料	1,644 円
○ 工事請負費		59,614,800 円

[工事請負費の内訳]

・ 街路築造工事	6 件	29,947,800 円
----------	-----	--------------

※令和 5 年度から令和 6 年度へ繰越を行った理由

区画街路 6-76 号線築造に伴うお谷が池護岸整備工事については、年度内の完了が出来なかったため、令和 6 年度に 14,600,000 円繰越した。

・ 雨水幹線工事	1 件	26,675,000 円
・ 整地工事	1 件	2,992,000 円

○ 負担金	配水管工事負担金	0 円
-------	----------	-----

○ 補償費		4,774,356 円
-------	--	-------------

[補償費の内訳]

・ 物件移転等補償料	0 件	0 円
・ 支障電柱等移転補償料	0 件	0 円
・ 101 条補償料		4,774,356 円

3 款 公債費	1 項 公債費	1 目 元金	30,515,417 円
		2 目 利子	1,224,091 円

土木債の償還等を実施した。

【財政の状況】

歳 入 5,388,456 円

1 款	財産収入	1 項	財産運用収入	1 目	利子及び配当金	641 円
2 款	寄附金	1 項	寄附金	1 目	総務費寄附金	300,000 円
3 款	繰入金	1 項	基本繰入金	1 目	河野博士育英基金繰入金	4,800,000 円
4 款	繰越金	1 項	繰越金	1 目	繰越金	287,767 円
5 款	諸収入	1 項	市預金利子	1 目	市預金利子	48 円

歳 出 5,100,641 円

1 款	総務費	1 項	総務管理費	1 目	財産管理費	300,641 円
2 款	育英事業費	1 項	育英事業費	1 目	育英事業費	4,800,000 円

※ 令和 3 年度生 11 人、令和 4 年度生 14 人、令和 5 年度生 15 人の合計 40 人に年額 120,000 円の奨学金、合計 4,800,000 円を給付した。

※ 加須市に住所を有する者で経済的理由により就学が困難な者に対し学資金を給与し、有用な人材を育成することを目的とした育英事業である。
昭和 51 年に旧騎西町において、地元出身の文学博士である河野省三氏の遺徳をたたえ、ご遺族の寄附金により設立された。

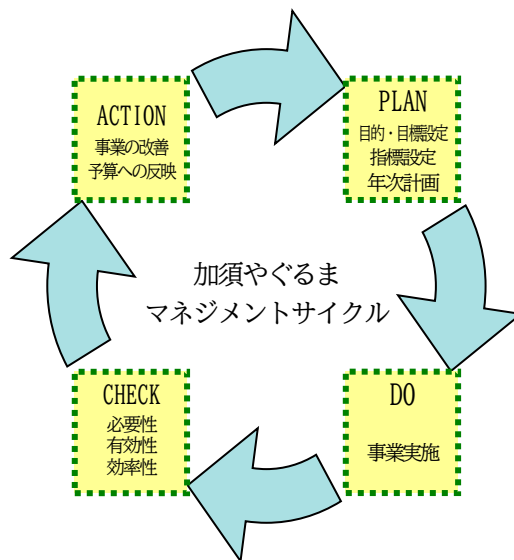
IV ゼロ予算事業の状況 (実績・成果 部課別)

事業名	市長と語るタウンミーティング事業											
担当課	秘書課	総合振興計画コード	5121-03									
事業の目的	市民の意見や要望を伺い、市民と行政の情報の共有化を図るとともに、市政に対する市民の理解と協力を得ることによって、市民と目標を共有し、協働のまちづくりを推進する。											
事業の概要	市内に在住、在勤又は在学の方 10 名以上の集会を市長が訪問し、市政についての説明や質疑応答を行う。事前に質問内容等をお預かりし、これに応じた担当部長等が同席する。Web 会議にも対応する。											
事業の実績・成果												
・令和 5 年度は 12 回実施し、307 名の方々にご参加いただき、日ごろ市民が感じている問題や課題等についての質疑応答を通して市民と行政の相互理解を深めた。												
<table><tr><td>年 度</td><td>令和 4 年度</td><td>令和 5 年度</td></tr><tr><td>開催回数（回）</td><td>14</td><td>12</td></tr><tr><td>延参加人数（人）</td><td>325</td><td>307</td></tr></table>				年 度	令和 4 年度	令和 5 年度	開催回数（回）	14	12	延参加人数（人）	325	307
年 度	令和 4 年度	令和 5 年度										
開催回数（回）	14	12										
延参加人数（人）	325	307										
※この事業は令和 4 年 7 月より実施												

事業名	ふるさと融資活用事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	3231-04
事業の目的	市が民間金融機関と共同で地域振興に資する民間事業活動を支援し、活力と魅力ある地域づくりを推進する。		
事業の概要	（一財）ふるさと財団のふるさと融資を活用し、民間事業者等の設備投資に係る無利子資金の貸付を行う。 ・市が起債し、返済する利子については、75%分が特別交付税で措置される。 ・借入額は、対象事業費の35%が限度。 ・民間金融機関とのセットでの借入が条件。 ・新規雇用の確保、公益性及び事業採算性の観点から実施されるものが対象。		
事業の実績・成果			
地域振興に資する事業を行う民間事業者を支援するため、一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）の制度である地域総合整備資金貸付金（ふるさと融資）を活用して、市が民間金融機関と共同して無利子の資金貸付を行うことで、活力と魅力ある地域づくりの推進を図るため、ホームページで制度の周知をした。 また、平成30年度と令和元年度に融資をした医療法人藍生会から、35,398,000円の償還を受けた。 ○融資（貸付）事業者 医療法人藍生会 ○事業内容 患者の療養環境の改善を図るため、不動ヶ丘病院の病棟の建替等を行う医療法人藍生会に対し、融資（貸付）を行った。 ○融資（貸付）額 416,000,000円（平成30年度）、115,000,000円（令和元年度） ※融資（貸付）額は、医療法人藍生会から15年で償還 ○その他 市が負担する利子の75%が特別交付税措置			

事業名	産・学・官連携推進事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	5131-13
事業の目的	市民と行政の協働の推進を図るため、特に市内で学ぶ若者のアイデアや活力を市政に反映させ、地域に開かれた学生（若者）参加による行政運営を推進する。		
事業の概要	加須市と平成国際大学との包括連携に関する協定に基づき、まちづくりに関する事項等について、市と大学が連携し学生主体による情報収集・実践活動を実施する。 高校や大学と連携して取り組んでいる連携事業について、取組状況を把握する。 包括連携協定締結企業との連携事業について、取組状況を把握する。		
事業の実績・成果			
平成国際大学学生によるテーマに基づいた課題解決プログラムにおいて、学生による情報収集活動から導き出した提案に対し評価を行うとともに、高校や大学、包括連携協定締結企業と幅広い分野において連携事業を展開するなど、協働事業の推進を図った。			
○平成国際大学学生による調査研究テーマに基づく市と大学との協働事業			
・「学生による加須市への地域価値創出」をテーマに、学生による情報収集活動を通した課題解決プログラム（PBL）を実施した。			
・加須市に関する提案はなかったが、平成国際大学、ものづくり大学、埼玉純真短期大学と連携事業の実施についての会議を行った。			
○高校や大学と連携した協働事業			
・「地方公務員論における講師派遣」「かぞグルメ協働事業による商品開発」「障がい者スポーツ交流大会」などの25事業を実施した。			
○民間企業との包括連携協定			
・令和5年4月26日に、明治安田生命保険相互会社熊谷支社と包括連携協定を締結した。			
包括連携締結企業：5社（令和6年3月31日時点）			
・協定による取組として、「あんしん見守りサポート事業協力」「SDGs セミナー&ビジネス懇談会の開催」「研修会等への講師派遣」などを実施した。			

事業名	行政評価推進事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	5311-05
事業の目的	計画的な行政運営を推進し、本市の将来都市像である「絆でつくる 緑あふれる 安心安全・元気な田園都市 加須」を実現するため、加須市独自の自治体マネジメントシステムである「やぐるまマネジメントサイクル」による事業評価を実施する。		
事業の概要	施策ごとの優先度評価や事業管理シートによるPDCAマネジメントを実施することにより、全施策・事業の見直し・改善を実施する。		
事業の実績・成果			
加須市独自の行政評価、“加須やぐるまマネジメントサイクル”による事務事業評価を実施した。			
[加須やぐるまマネジメントサイクルの特徴]			
■総合振興計画と予算において事業の一元化を図り、PDCAマネジメントサイクルによる進行管理を行う。 ■目的・目標を明確化 ①仕事の意義を認識し、何を優先して考えるのか、改善の方向性が明らかになる。 ②いつまでにどうするのか、具体的な到達点を示すことで、より効率的に仕事を進めることができる。 ■計画・予算・組織の連携 必要性、有効性、効率性、達成度の4つの角度から評価、改善策を検討し、予算・定員管理などに反映させる。 ○事業管理シート（事業評価調書）を更新し、PDCAマネジメントサイクルによる事業点検を行った。 事業管理シートの事業数：令和5年4月1日現在 762 事業(再掲除く) ○令和5年10月4日 「加須やぐるまマネジメントサイクル」について、令和6年度予算編成説明会の中で研修を実施し、事務の目的や成果に対する意識の向上を図った。 ACTION 事業の改善 予算への反映 PLAN 目的・目標設定 指標設定 年次計画 CHECK 必要性 有効性 効率性 DO 事業実施 加須やぐるま マネジメントサイクル			



事業名	広域行政推進事業		
担当課	政策調整課	総合振興計画コード	5315-01
事業の目的	広域行政を推進するため、時代のニーズに応じた広域行政の可能性や効果について検討し、推進する。		
事業の概要	関東どまんなかサミット会議や北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会に参画し、公共施設の相互利用等を推進する。 また、三県境のPR事業のための自治体間連携など、新たな広域的な取組を推進する。		
事業の実績・成果			
広域的な取組に参画し、公共施設の相互利用等、広域行政の推進を図った。			
○北埼玉地域「彩の国づくり」連絡協議会			
・公共施設の相互利用：構成市（加須市、行田市、羽生市）の体育施設、図書館等			
・広報紙への共同掲載：各市で開催されるイベント情報の提供			
○関東どまんなかサミット会議			
・令和5年10月5日 関東どまんなかサミット会議（会場：野木町煉瓦窯及び野木ホフマン館）			
≪主な内容≫			
・野木町から「野木町煉瓦窯の修復までのあゆみと利活用」の取組事例発表			
・施設見学（煉瓦窯）			
・煉瓦土を使ったミニ植木鉢作り体験			
・公共施設の相互利用：構成市町（加須市、茨城県古河市、栃木県栃木市、小山市、野木町、群馬県板倉町）の体育施設、図書館等			
・広報紙への共同掲載：各市町で開催されるイベント情報の提供			
○久喜市			
・公共施設の相互利用：加須市・久喜市の体育施設、図書館等			
○三県境の利用促進に係る取組			
埼玉県加須市、栃木県栃木市、群馬県板倉町が平成29年5月19日付けで締結した「三県境整備等に関する覚書」に基づき、2市1町が共同し、三県境のPR及び観光資源としての推進を図った。			
・三県境8周年記念フェア（実施日：令和6年3月2日）			
・パンフレット配布（市内公共施設にて三県境をPR）			

事業名	フィルムコミッション事業		
担当課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-05
事業の目的	加須市に人や物呼び込み、観光振興や産業振興につなげるとともに、市民の郷土への誇りや郷土愛の醸成を図るために、フィルムコミッションを活用して本市の魅力を市内外に情報発信する。		
事業の概要	市内のロケーション情報を提供、映画やテレビドラマ等の撮影地として誘致し、撮影に係る支援をする。		
事業の実績・成果			
恵まれた自然環境や資源を活かして、テレビドラマ等あらゆるジャンルのロケーション撮影の誘致・支援を行った。 市公式ホームページやSNSを活用し、フィルムコミッションを通じた市の魅力を市内外に向けて広く発信した。			
【ロケ誘致等実績】			
情報提供件数 25 件			
撮影件数 10 件			
主な作品 ○ドラマ（8 件）			
・日本テレビ「君と世界が終わる日に」 ロケ地：北川辺排水機場			
・テレビ朝日「ケイジとケンジ、時々ハンジ。」 ロケ地：昭和中学校			
・日本テレビ「君が死ぬまであと 100 日」 ロケ地：加須市役所本庁舎 屋上			
・TBS テレビ「不適切にもほどがある」 ロケ地：彩北自動車整備工場			
・テレビ朝日「仮面ライダーガッチャード」 ロケ地：加須市環境浄化センター			
○その他（2 件）			
・モヤモヤさまぁ〜ず2 ロケ地：むさしの村、ワク井ミュージアム、加須駅北口 ほか			
・食品メーカー映像作品 ロケ地：玉敷公園、騎西中央公園			

事業名	パブリシティ事業			
担当課	シティプロモーション課	総合振興計画コード	5112-06	
事業の目的	各メディアに報道してもらうことで、市の様々な事業等を市内外に広く周知し、加須市のPRを図る。			
事業の概要	市の様々な事業等について、東部記者クラブをはじめとする報道機関に、タイムリーかつ効果的にパブリシティを行う。			
事業の実績・成果				
東部記者クラブへの定例記者会見の実施や、行政情報やイベント情報等を積極的に情報提供した結果、令和5年度に加須市が新聞・テレビに掲載（放映）された件数は485件となった。				
(単位：件)				
年 度	情報提供件数	掲載・放映件数（延べ）		
		新 聞	テレビ	合 計
令和元年度	456	438	67	505
令和2年度	542	500	70	570
令和3年度	461	569	42	611
令和4年度	524	428	42	470
令和5年度	478	415	70	485

事業名	自治協力団体加入促進事業				
担当課	市民協働推進課	総合振興計画コード	5131-02		
事業の目的	市民と行政の協働によるまちづくりを進めてゆくためには、人の盛り上がりが必要であり、そのために協働のパートナーである自治協力団体への加入率向上を図る。				
事業の概要	自治協力団体加入促進マニュアル及び三者協定等を活用し、自治協力団体、宅建団体及び市の連携により、市民に積極的に加入を働きかけ、意識啓発を図る。				
事業の実績・成果					
○転入者等への啓発 市への転入者に対し、市民課及び各総合支所市民担当で配布している転入者用封筒に、自治協力団体への加入を呼び掛けるチラシを同封するほか、封筒に加入促進の文言を記載した。また、すくすく子育て相談室窓口での母子健康手帳の交付時に、同様のチラシを配付し加入を呼び掛けた。					
○ホームページによる周知 自治協力団体の活動が分からないとの問い合わせに対し、ホームページに自治協力団体の役割や具体的な活動内容を掲載し、加入に対する理解を求められるよう周知した。					
○加入促進ポスターによる啓発 自治協力団体への加入を呼び掛けるポスターを市内公共施設や商業施設、駅等に引き続き掲示し、啓発を強化した。					
○行政情報・広告放映モニターによる啓発 1月の1か月間、本庁舎及び各総合支所での「行政情報・広告放映モニター」を活用し、来庁者等に自治会への加入促進を呼び掛けた。					
○電子申請サービスによる自治会加入取次申請の受付 電子申請サービスを利用し、住民等からの自治協力団体への加入の申請を受け付け、市が自治協力団体への取次ぎを行うことで、スムーズに加入できるようなサービスを提供した。(令和5年度取次件数：23件)					
○加須市ホームページでの「自治会活動NEWS！」の掲載 自治会への理解を深めてもらい、加入促進につなげるため、各自治会が日頃取り組んでいる活動や独自のユニークな活動を「自治会活動NEWS！」として市のホームページに掲載した。(令和5年度掲載件数：4自治会4件)					
○開発事業者への協力依頼 「加須市住みよいまちづくり指導要綱」中に、開発事業者が自治会への加入促進に協力する旨の文言を明文化し協力するよう求めた。					
[自治協力団体への加入状況] (単位：%)					
加入率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	80.0	79.0	78.3	77.5	75.8

事業名	DX推進計画進行管理事業		
担当課	業務改善課	総合振興計画コード	5251-02
事業の目的	デジタルを活用し、新しい時代の流れを力にするまちづくりを推進するため、加須市DX推進計画（計画期間：令和4年度～令和8年度）に定める事項の着実な実行を目指す。		
事業の概要	加須市DX推進計画の各取組項目における実施状況の進捗を的確に管理するため、加須市情報化推進委員会等の情報化推進体制による協議等を行い、多様な視点からの意見等を受け、評価や見直しを行う。		
事業の実績・成果			
1 令和4年度の実績結果			
令和5年1月に策定した加須市DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進計画（計画期間：令和4年度から令和8年度まで）について、各施策に掲げる重要業績評価指標（KPI）全23項目のうち、評価対象外を除く20項目の令和4年度評価結果及び全66取組項目における令和4年度の具体的な取組結果を加須市情報化推進委員会及び幹事会へ報告するとともに、進捗の遅れ等の見られる項目の取組を推進した。			
令和4年度の各施策における重要業績評価指標（KPI）については、評価対象20項目中、15項目（75.0%）が「目標を達成・概ね達成」となり、総合的には「成果があった」と評価された。			
[令和4年度 評価結果（評価区分ごとの項目数等）]			
区 分		項目数（件）	割合（%）
1 目標を達成		12	60.0
2 概ね達成		3	15.0
3 やや遅れている		2	10.0
4 大幅に遅れている		3	15.0
			75.0
			25.0
2 取組内容の見直し			
加須市DX推進計画においては、社会的な変化に応じた迅速な対応が求められることを前提として、PDCAサイクル（継続的な改善）に捉われることなく、個々の事案において情報収集による現状把握から、迅速な決定と実行に移行するOODAループ（社会変化への迅速な対応）の考え方を併用していることから、令和4年度の実績結果等を踏まえて具体的な取組の見直しを行った。			
[見直し概要]			
区分	項目数（件）	内容	
変更	11	取組内容、担当課、方向性の変更	
新規	1	「健康マイレージのデジタル活用」を追加	

事業名	窓口サービス改善事業						
担当課	業務改善課	総合振興計画コード		5252-05			
事業の目的	多様化する市民ニーズに対応するため、窓口サービスの向上に努め、市民が便利で快適なサービスを実感できる市役所づくりを推進する。						
事業の概要	転出者へのアンケート調査（市民課）及び窓口対応等実態調査（職員課）の結果を基に、接遇向上や事務改善、窓口環境の改善等に取り組む。 また、窓口受付マニュアルの整備活用を推進し、手続時間の短縮に取り組む。						
事業の実績・成果							
1 窓口対応等実態調査の実施 市役所の来庁者に“職員の対応”や“庁舎の環境等”についての率直な意見を伺い、その結果を活用して職員の接遇能力の向上と窓口環境の改善を図ることを目的に実施した。（隔年） 【調査の概要】 ① 実施日：令和5年10月2日（月）～令和5年10月31日（火） ② 実施場所：加須市役所（本庁舎）、各総合支所及びWEBアンケート ③ 有効票数：406票 【調査結果】 I 職員の対応 （単位：％）							
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の前回比
あいさつ	67.2	15.0	16.7	0.5	0.5	0.0	1.8
身だしなみ・言葉遣い	68.5	15.3	15.8	0.5	0.0	0.0	1.3
説明の分かりやすさ	69.0	15.8	13.1	1.5	0.5	0.2	0.7
用件が済むまでの時間	66.3	17.5	13.1	2.2	1.0	0.0	4.5
プライバシー（個人情報保護）への配慮	67.2	14.5	16.0	0.2	0.5	1.5	2.9
II 庁舎の環境等 （単位：％）							
	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答	満足・やや満足の前回比
案内表示の分かりやすさ	46.1	24.1	19.7	6.7	0.7	2.7	0.5
記入書類や記入例の分かりやすさ	48.5	20.4	24.9	2.2	1.0	3.0	0.3
ガイドブックなどの内容・見やすさ	36.7	22.9	32.0	2.0	1.5	4.9	4.5
待合スペースの過ごしやすさ	40.6	24.9	25.1	5.2	0.2	3.9	▲0.9
庁舎総合案内の職員対応	56.5	21.9	20.5	0.7	0.4		3.2
※各項目のパーセント表記は、小数点第2位で四捨五入しているため、各調査項目の合計が100%にならない場合がある。							

2 転出者・転入者へのアンケート調査の実施

今後の行政サービス提供の参考とするため、加須市に対する市民の印象や住みやすさ、転入・転出の理由等の把握を目的として実施した。

- (1) 調査対象 加須市から転出又は加須市に転入する方
- (2) 調査方法 ① 手続の待ち時間を利用したアンケート
② オンライン手続（電子申請サービス）によるアンケート
- (3) 調査期間 3月1日～3月29日
- (4) 調査項目 10項目

対象者	届出件数（件）	回収数（件）	回収率（%）
転出者	490	236	48.2
転入者	521	259	49.7

事業名	組織定員管理事務事業			
担当課	業務改善課	総合振興計画コード	5313-05	
事業の目的	将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要等に対する的確に対応していくため、組織体制の見直しと定員管理を実施する。			
事業の概要	各部課の調査やヒアリングを行い、組織・機構等に関する課題等の把握、改善を図り、必要に応じて組織の見直しを行う。 組織の見直しや業務量に応じた必要な定員を確保するため、適正な定員管理を進める。			
事業の実績・成果				
1 組織の検討・再編 全部局等を対象に組織に関する調査、ヒアリングを行ったほか、随時、個別課題等についての検討を行った。 市民ニーズを的確に捉えつつ、安定的かつ一体的な行政サービスの提供が行える組織体制を編成するため、令和6年度は現体制を基本にしながら、重要施策の着実な推進や更なる行政サービスの向上、効率的な組織体制に向けた組織を編成した。				
部課数等の概要				
	令和5年度	部課数の増減		令和6年度
本庁	14部局 48課所室	【廃止】1部5課 ・健康医療部 ・業務改善課 ・市民相談室 ・健康医療推進課 ・いきいき健康長寿課 ・文化・学習センター	【新設】1部3課 ・健康スポーツ部 ・DX推進課 ・いきいき健康医療課 ・都市計画課	14部局 46課所室
総合支所	3支所 6課	—	—	3支所 6課
合 計	17部局支所 54課所室	2課減		17部局支所 52課所室
(1) スポーツ振興課を市長部局へ移管 健康づくり及びスポーツ活動を一体的に推進することにより、いつまでも自分らしく、元気に暮らすことができるよう、効果的な執行体制を構築するため、スポーツ振興課を市長部局へ移管し、「健康スポーツ部」を新設の上、同部にスポーツ振興課を設置				
(2) 都市計画課の新設 都市計画や土地利用に関する事務に加え、これからの本市のまちづくりを進める上で基本的な方針となる都市計画マスタープラン策定事務を所掌する課として、都市計画課を新設				
(3) DX推進課の新設 ICTやAIをはじめとするデジタル技術を活用した市役所DX（業務・サービスの改革）の視点が今後ますます重要になることを踏まえ、デジタル化への対応を加速させ、更なるDX施策の推進を図るため、DX推進課を新設				

- (4) 業務改善課「改善推進担当」所掌事務を政策調整課、DX推進課及び職員課へ分散
複雑化、多様化する行財政課題や市民ニーズに対して、限られた人材で対応するには「集中と分散」の考え方に基づく効率的で効果的な組織運営が必要であることから、業務改善課改善推進担当の所掌する事務をそれぞれ関連のある部署へ移管
- (5) いきいき健康医療課の新設
今後ますます重要となる健康寿命や「元気な高齢者を増やす」という視点をより意識した施策展開を図るため、健康医療推進課といきいき健康長寿課を統合し、「いきいき健康医療課」を新設
- (6) 市民相談室を人権・男女共同参画課へ統合
人権・男女共同参画課が所掌する人権や女性のための相談業務と市民相談室が所掌する消費生活等の相談業務との連携強化を図るため、両課を統合
- (7) 文化・学習センターを生涯学習課へ統合
ハード及びソフトを一体的に推進することにより、更なる各種事業の充実、効果的な施設運営を行っていくため、両課を統合
- (8) 危機管理防災体制の強化に伴う危機管理監の設置
市民の安全を守り、災害に強い安全なまちづくりのため、新たに危機管理に関する事務を専任として所掌する危機管理監を設置
- (9) 本庁資源リサイクル課を加須クリーンセンターへ移転
加須クリーンセンターに人員を集約することにより事務効率を向上させるため、本庁資源リサイクル課を加須クリーンセンターへ移転

2 定員管理

将来にわたって行政サービスを確実に提供し、新たな行政需要に対しても的確に対応していくため、組織の見直しや再任用職員等を活用し、市民サービスの低下をきたすことのないよう適正な人員配置に努めた。

(1) 職員数 (R5.4.1) 700 人→(R6.4.1) 691 人

(2) 職員数の推移 (単位：人)

R2.4.1	R3.4.1	R4.4.1	R5.4.1	R6.4.1
706	705	703	700	691

事業名	子どもを見守る工事現場事業				
担当課	管理契約課	総合振興計画コード	1312-06		
事業の目的	安心なまちづくりを推進するため、円滑な地域コミュニケーションによる子ども達を見守る体制整備を図る。				
事業の概要	こどもを見守るネットワークの一端として、市発注の工事現場において、受注者の協力のもと、「子どもを見守る工事現場」である旨の看板を設置し、作業員による周辺への目配り、こどもへの声がけ、不審者情報の警察への提供などを実施する。				
事業の実績・成果					
子どもを見守る工事現場事業は、こどもたちを犯罪から守り、犯罪への抑止効果を高めることによって、子どもが安心安全に暮らしていけるまちづくりの実現を目的としている。 加須市が発注する公共工事等の現場付近において、こどもたちを見守り、不審者を見かけたときは110番通報する取組みを関係各課・受注業者の協力を得て、35件実施した。結果として警察への通報件数は0件であり、犯罪の抑止効果が得られた。					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
協力工事件数(件)	35	37	38	36	35

事業名	小規模契約希望者登録制度活用事業				
担当課	管理契約課	総合振興計画コード	3231-05		
事業の目的	地域経済の活性化を推進するため、市内中小事業者の受注機会の拡大を図る。				
事業の概要	市内中小事業者への優先的な発注を推進するため、市内に本店を置く中小事業者を名簿登録し、市が発注する 50 万円以下の小規模な工事や物品購入等に積極的に活用する。				
事業の実績・成果					
小規模契約希望者登録制度については、庁内各課に登録業者の積極的活用を呼びかけ、市内中小事業者の受注機会の拡大と市内経済の活性化に寄与した。					
小規模契約希望者登録制度活用実績					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
金額（円）	125,888,259	106,530,836	103,214,929	150,404,754	160,638,423
件数（件）	2,555	2,375	2,044	2,285	2,246
登録業者数	382	390	400	405	413

事業名	行政利用借地解消事業		
担当課	管理契約課	総合振興計画コード	5314-07
事業の目的	安定的・継続的な行政運営のため、事業用地を適切に確保し、行政借地の解消を図る。		
事業の概要	・ 借地の不安定な状況の解消に向け、所管課への情報提供を行う。 ・ 借地状況の確認・必要性・今後の方針等を契約更新時に所管課に確認してもらう。		
事業の実績・成果			
1 行政利用借地の解消の取組みとして、借地であった市役所職員駐車場を買収し、計1件(1筆、896.5㎡)の借地解消に至った。			
2 借地の現状			
借地筆数	154箇所・392筆(うち、有償86箇所・313筆、無償68箇所・79筆)		
借地面積	191,942.91㎡(うち、有償136,578.23㎡、無償54,468.18㎡)		
土地借上料	29,305,427円		

事業名	特定事業主行動計画進行管理事業		
担当課	職員課	総合振興計画コード	5313-02
事業の目的	こどもを産み育てやすい職場環境を構築し、子育て中の職員の仕事と子育ての両立を促進する。 また、一人ひとりの女性が個性と能力を十分に発揮できるよう、女性の採用・登用の拡大やワーク・ライフ・バランスを推進する。		
事業の概要	加須市特定事業主行動計画に掲げた各種取組を実施するとともに、同計画の進ちよく状況を取りまとめ、問題点がある場合はその解消・改善策を検討する。		
事業の実績・成果			
第3次加須市特定事業主行動計画の実施状況を取りまとめ、加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ報告し、計画の進行管理を行った。			
令和5年5月 第3次加須市特定事業主行動計画の実施状況とりまとめ			
令和5年7月 加須市特定事業主行動計画策定・推進委員会へ実施状況の報告			

事業名	男女共同参画出前講座事業					
担当課	人権・男女共同参画課		総合振興計画コード		2523-04	
事業の目的	男女共同参画社会への意識醸成を図るため、現在の国の動向をはじめ、県・市の取り組み状況や社会情勢を分かり易く、直接市民に伝達することにより、男女共同参画社会の実現を目指す。					
事業の概要	コミュニティセンターで開催される講座や、保健センターで実施している事業等に職員が出向き、男女共同参画に関する社会情勢や現状・方向性についての説明を行う。					
事業の実績・成果						
○人権・男女共同参画課職員による出前講座						
すくすく子育て相談室等と連携し、各種事業、研修会等の機会を捉え、職員が出向いて直接市民等に対し出前講座を実施した。女性相談窓口の案内や、男女共同参画に関する社会情勢や現状・方向性等について分かりやすく説明し、男女共同参画社会の推進に努めた。						
講座実績		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	回数(回)	14	22	23	31	38
	人数(人)	673	99	159	440	605
※令和5年度37回のうち21回は各保健センターでのチラシ配布						
○令和5年度 出前講座実施状況						
場所	事業名	実施日	参加人数	講座内容		
川口コミュニティセンター	民生委員大桑地区	6月8日	33人	男女共同参画週間 男女共同参画市民企画委員		
市民プラザかぞ	民生委員男女部会総会	6月8日	40人	男女共同参画週間 であいサポート i		
市民プラザかぞ	女性就業支援セミナー	6月29日	15人	男女共同参画週間 女性相談		
パストラルかぞ	男女共同参画週間 記念講演会	7月7日	126人	男女共同参画情報誌、女性 相談、男女共同参画セミナー		
市民プラザかぞ	男女共同参画セミナー	7月12日	22人	女性相談 女性就業支援セミナー		
VIVAぎょうだ	女性就業支援セミナー	8月29日	22人	女性相談 男女共同参画情報誌		
平成国際大学	平成国際大学 地方公務員論	11月8日	25人	男女共同参画、デートDV、 ワーク・ライフ・バランス、 女性相談、パートナーシップ 制度、男女共同参画市民 企画委員会委員募集		
市民プラザかぞ	女性就業支援セミナー	11月27日	7人	女性相談、女性に対する暴力 をなくす運動、男女共同 参画セミナー		
市民プラザかぞ	子育てワンポイント セミナー	11月27日	4人	女性相談、女性に対する暴力 をなくす運動、男女共同 参画セミナー		
市民プラザかぞ	男女共同参画セミナー	12月2日	132人	第2次加須市男女共同参画 基本計画、女性相談		
市民プラザかぞ	子育てワンポイント セミナー	12月25日	5人	第2次加須市男女共同参画 基本計画、女性相談、男女 共同参画セミナー		

市民プラザかぞ	男女共同参画セミナー	1月17日	23人	女性相談、みんなでフォーラム in かぞ
市民プラザかぞ	女性就業支援セミナー	1月29日	9人	女性相談、みんなでフォーラム in かぞ
市民プラザかぞ	みんなでフォーラム in かぞ	2月4日	93人	男女共同参画、男女共同参画推進条例、第2次男女共同参画基本計画、男女共同参画週間、パートナーシップ制度
志多見小学校	子育てワンポイントセミナー	2月20日	6人	女性相談、男女共同参画、女性リーダー研修会
市民プラザかぞ	女性リーダー研修会	2月22日	35人	第2次男女共同参画基本計画 女性人材リスト
市民プラザかぞ	子育てワンポイントセミナー	2月26日	8人	女性相談、第2次男女共同参画基本計画

○各保健センターで実施された乳幼児健康診査等の際、女性相談窓口案内チラシの配布（21回）

事業名	多重債務対策事業				
担当課	市民相談室		総合振興計画コード	1174-02	
事業の目的	市民の多重債務問題を解決し、安心した生活が送れるよう支援する。				
事業の概要	各課において多重債務問題があるとわかった場合、消費生活センターへ相談を繋げていただく。 消費生活センターの消費生活相談員は、多重債務問題の解決方法を説明し、専門機関（認定司法書士等）へ連絡する。紹介後も債務整理の状況を把握し、再度多重債務状態に陥らないよう生活再建に向けて支援する。				
事業の実績・成果					
1 多重債務問題の解決 各課窓口に来所された市民の中で、多重債務問題を抱えた方と分かった場合、消費生活相談員と連携を図り、早期問題解決に繋げた。 ・他課からの多重債務者の相談件数 生活福祉課 8件					
2 多重債務相談件数 (単位：件)					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
相談件数	44	36	19	22	39

事業名	環境基本計画策定事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4111-01
事業の目的	「豊かな自然と快適な環境のまちづくり」を進めるため、市の環境保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。		
事業の概要	環境基本計画の策定 ・第2次計画策定 令和3年度～令和12年度		

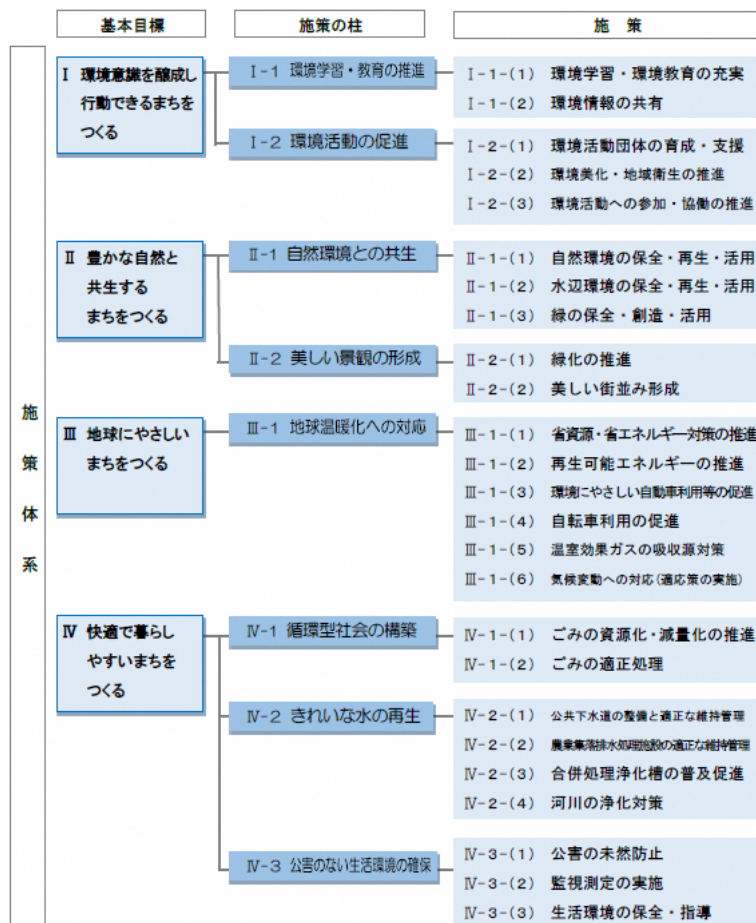
事業の実績・成果

1 第2次加須市環境基本計画

加須市環境基本条例第9条に基づき、平成24年3月に策定した第1次加須市環境基本計画が令和2年度をもって計画期間が満了となったことから、これまでの取組の点検・評価や市を取り巻く社会情勢の変化、関係法令の動向、市の関連計画を踏まえ、令和3年3月に「第2次加須市環境基本計画」を策定した。本計画は平成30年6月に策定された「気候変動適応法」に基づき、本市における地域気候変動適応計画を兼ねている。

計画期間：令和3年度から令和12年度まで

施策体系：4つの目標、8つの施策の柱、25の施策



事業名	志多見砂丘保全事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4213-04
事業の目的	豊かな自然環境の保全のため、志多見砂丘の貴重な赤松等の緑や特異な地形等の保全を図る。		
事業の概要	市の管理する加須西中学校敷地内の志多見砂丘の松林保全のため、定期的を実施する松くい虫防除対策をはじめとした保全活動を行う。 埼玉県自然環境保全地域の保全状況等の把握を行う。		
事業の実績・成果			
1 志多見砂丘の自然環境保全の推進 埼玉県自然環境保全地域の保全状況の現況及び土地所有者の確認を実施した。 加須西中学校敷地内の自生している松林について、本数と幹周を調査した。			

事業名	オープンガーデン促進事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4221-02
事業の目的	市民の絆づくりに寄与するため、市街地の景観形成や市民の憩いの場を創造する。		
事業の概要	オープンガーデンを市民等に周知するとともに、オープンガーデン登録者の募集を継続的に行い、オープンガーデンを定期的に開催する。		
事業の実績・成果			
1 「オープンガーデン加須 2023」の開催			
(1) 開催期間 令和5年3月31日(金)～令和5年5月28日(日) ※開催日は各オーナーの都合により異なる			
(2) 開催時間 概ね午前9時から午後3時まで ※各オーナーの都合により異なる			
(3) 参加オーナー数 6人			
(4) 周知方法 広報かぞへの掲載、市HPへの掲載、オープンガーデン情報紙の発行			
2 「オープンガーデン加須 2024」に向けての調整等			
令和6年度のオープンガーデン実施に向けて、登録オーナーと事業実施日程の調整、事業への意見聴取、スタンプラリー準備、チラシの作成等を適時行った。			

事業名	地球温暖化防止実行計画策定事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4311-01
事業の目的	地球温暖化の防止に寄与するため、市役所の事務事業から発生する温室効果ガスの排出を抑制するとともに、加須市区域内の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出を抑制する。		
事業の概要	温室効果ガスの排出実態を把握し、具体的な削減目標及び取り組みを定めた「地方公共団体実行計画」（事務事業編・区域施策編）を策定するとともに、ゼロカーボンシティ宣言の表明を行う。		
事業の実績・成果			
1 第3次加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編） 加須市役所の事務事業における温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出実態を把握し、それに基づき具体的な削減目標及び職員の温室効果ガスの排出抑制への取組を定め、本市の事務事業から発生する温室効果ガスの抑制を図るため、令和3年3月に「第3次加須市役所地球温暖化防止実行計画」を策定し、省資源・省エネルギー等の環境に配慮した取組を全庁一丸となって取り組んでいる。 令和5年3月には、国の「地球温暖化対策計画」の改訂に伴い、削減目標値を40%から51%に改訂している。 計画期間：令和3年度から令和12年度まで 削減目標：令和12年度の温室効果ガスの排出量を平成25年度（基準年度）に比べ51%削減			
2 加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）～ゼロカーボンシティ「かぞ戦略」～ 加須市の区域内における温室効果ガス（二酸化炭素等）の排出実態を把握し、それに基づき具体的な削減目標及び市民、事業者、市の3者の連携・協力による温室効果ガス排出抑制の取組を定め、本市全域から発生する温室効果ガスの抑制を図るため、令和5年3月に「加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）ゼロカーボンシティ「かぞ戦略」」を策定している。 計画期間：令和5年度から令和12年度まで 削減目標：令和12年度の温室効果ガスの排出量を平成25年度（基準年度）に比べ46%削減			

事業名	地球温暖化防止実行計画進管理事業				
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4311-02		
事業の目的	温室効果ガスの排出を抑制するため、市役所地球温暖化防止実行計画に位置づけた削減目標を達成する。				
事業の概要	計画の進捗状況の把握及び点検評価を行う。 また、環境審議会や市民等の意見を踏まえ、適切な進管理に努める。				
事業の実績・成果					
1 加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）の推進 「加須市地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」に基づき、ゼロカーボンシティを推進するため、二酸化炭素排出量削減のための取組等の周知・啓発を実施した。					
計画期間：令和5年度から令和12年度 計画目標：令和12年度の温室効果ガス排出量を平成25年度（基準年度）に比べ46%削減					
市内のエネルギー起源二酸化炭素換算排出量（単位：kt-CO ₂ ）					
	令和2年度	令和3年度	増減率 % R3/R2	平成25年度 （基準年度）	増減率 % R3/H25
産業部門	279.327	268.626	△3.8	286.923	△6.4
業務その他部門	96.307	106.300	10.4	130.140	△18.3
家庭部門	123.291	116.618	△5.4	159.299	△26.8
運輸部門	175.334	175.386	0.03	211.469	△17.1
合計	674.259	666.930	△1.1	787.831	△15.3
※各年度の値は、埼玉県が公表した「2021年度県内市町村温室効果ガス排出量算定結果」より算定					
2 加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）の推進 「第3次加須市役所地球温暖化防止実行計画（事務事業編）」に基づき、各課・各施設等において温室効果ガスを削減するための省資源・省エネルギー等の取組を実践した。					
計画期間：令和3年度から令和12年度 計画目標：令和12年度の温室効果ガス排出量を平成25年度（基準年度）に比べ51%削減					
二酸化炭素換算排出量（単位：kg-CO ₂ ）					
種 別	令和4年度	令和5年度	増減率 % R5/R4	平成25年度 （基準年度）	増減率 % R5/H25
電気の使用	13,171,104	12,825,167	△2.6	11,418,145	12.3
灯油の使用	593,972	578,539	△2.6	795,659	△27.3
A重油の使用	1,035,220	1,005,139	△2.9	1,104,054	△9.0
液化石油ガス（LPG）の使用	115,108	130,205	13.1	167,728	△22.4
公用車の走行	224,640	215,885	△3.9	321,910	△32.9
計	15,140,044	14,754,935	△2.5	13,807,496	6.9
※加須市役所地球温暖化防止実行計画に定める排出係数を用いて算出					
3 加須市地球温暖化防止実行計画推進委員会 地球温暖化防止に係る市の実行計画の推進を図るため、庁内に推進委員会を設置し、取組状況の報告、検証を行った。 開催日：令和5年7月27日（木）					

事業名	再生可能エネルギー利用促進事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4312-01
事業の目的	電力を創出し、節電社会の構築を図るため、太陽光などの再生可能エネルギーを活用した発電を促進する。		
事業の概要	広報紙等により再生可能エネルギー利用促進に向けた啓発を行う。		
事業の実績・成果			
1 太陽光発電設備について、事業者等に安全・安心な設置を促すよう窓口でチェックシートの配布を行った。			
2 南篠崎地内のバイオマス発電設置について、近隣住民との調整を図るよう指導した。			
※平成 20 年に共栄テクノスが開発して寄贈された風力発電システムが、加須市民運動公園内に設置されており、4 年に 1 度、点検・清掃を行っている。(次回は令和 8 年度を予定)			
			

事業名	気候変動適応対策事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4316-07
事業の目的	地球温暖化に伴う気候変動により考えられるリスクに対し分野ごとに想定される影響を踏まえ、適応策を促進する。		
事業の概要	第2次環境基本計画に、温室効果ガスの排出量削減に加えて、気候変動の影響への「適応策」について位置付けている。地球温暖化を防止するための緩和策の実施と並行して、気候変動に伴い生じる被害の防止・軽減策の実施を周知・啓発する。		
事業の実績・成果			
1 加須市気候変動適応センターの設置			
埼玉県と加須市が共同して、加須市内における気候変動影響及び気候変動適応に関する情報の収集、整理、分析及び提供並びに技術的助言を行い、気候変動適応の取組を推進することを目的に、埼玉県気候変動適応センター（埼玉県環境科学国際センターに設置）と共同で、加須市気候変動適応センターを設置した。			
また、センターの設置に伴い、加須市気候変動適応センターのホームページを開設し、気候変動適応の取組の周知・啓発を行った。			
【加須市気候変動適応センター】			
設置日：令和5年6月30日			
構成：埼玉県気候変動適応センター及び加須市環境安全部環境政策課			
2 第2次環境基本計画に位置付けられた気候変動の影響への適応策の実施			
(1) 農業分野に対する適応策			
埼玉県と連携し、高温に対する技術対策等について、市ホームページ等を通じて情報を周知			
(2) 自然生態系分野に対する適応策			
浮野の里における絶滅危惧種指定の「トキソウ」をはじめとする希少野生植物の調査の実施			
(3) 健康分野に対する適応策			
熱中症予防対策として、クールオアシスの周知・啓発の実施			
(4) 自然災害分野に対する適応策			
市民の防災意識の高揚と地域防災力向上のために、防災出前講座等の啓発活動を実施			
(5) 都市生活・市民生活に対する適応策			
消費電力の削減、暑さ対策のため、「グリーンカーテン」の設置の普及を目的に、「グリーンカーテンコンテスト」を実施			

事業名	生活排水処理施設整備計画進管理事業				
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4421-02		
事業の目的	生活排水処理施設の早期整備を実施し、河川などの公共用水域の汚濁等を改善し生活環境の保全と公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要	計画の進捗状況の把握や点検評価を行うとともに、環境審議会や市民等へ公表し、適切な進管理を行う。 ・基準年度 平成 29 年度 ・目標年度 令和 7 年度				
事業の実績・成果					
1 生活排水処理施設整備計画の推進					
公共下水道や農業集落排水事業等への加入促進、合併処理浄化槽への転換促進及び適正な維持管理の徹底をすることにより、市の生活排水処理普及率を向上させようとする計画の進捗状況の把握や点検評価を実施し、「加須市の環境」にその結果を掲載し、環境審議会へ報告するとともに市民等へ公表した。					
計画の目標値：令和 7 年度までに生活排水処理普及率 84.5%整備					
現 状：令和 5 年度末の生活排水処理普及率 81.2%					
(単位：人)					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
行政区域内人口 (X)	112,897	112,570	111,947	112,230	112,115
生活雑排水処理人口 (A) + (B) + (C) = (Y)	93,631	82,350	91,414	91,130	91,086
公共下水道接続人口	48,025	48,390	49,410	49,967	49,568
公共下水道処理人口 (A)	55,480	55,694	57,774	58,986	59,177
農業集落排水施設接続人口	9,777	9,661	9,673	9,677	9,697
農業集落排水施設処理人口 (B)	12,892	12,654	12,459	12,294	12,218
合併処理浄化槽処理人口	26,897	14,727	24,561	23,983	24,754
うち、浄化槽整備区域内の 合併処理浄化槽処理人口 (C)	25,259	14,002	21,181	19,850	19,691
生活雑排水未処理人口	19,266,	30,220	20,533	21,100	21,029
生活排水処理普及率 (%) (Y) ÷ (X)	82.9	73.2	81.7	81.2	81.2
※令和 6 年度、集計方法の一部を見直したため、過年度の数値を補正済					

事業名	浄化槽適正管理促進事業		
担当課	環境政策課	総合振興計画コード	4423-02
事業の目的	生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、浄化槽の適正な維持管理を促進することにより、公共用水域の水質改善を図る。		
事業の概要	浄化槽の維持管理の徹底に向けた普及啓発を実施するとともに、浄化槽管理者及び法定検査の未受検者への受検指導や法定検査結果が不適正と指摘された浄化槽管理者に対する改善指導を実施する。		
事業の実績・成果			
1 法定検査の実施状況の推移			
(1) 7条検査 設置された浄化槽が、適正に施工され、機能しているかを確認する検査である。浄化槽を使い始めてから3か月を経過した日から5か月以内に行わなければならない。 ・令和5年度合併処理浄化槽設置整備補助金申請者7条検査受検率 100%			
(2) 11条検査 保守点検や清掃が適正に行われ、浄化槽の機能が発揮されているかを確認する検査である。毎年1回行わなければならない。 ・平成18年度から令和3年度までに、本市（旧市町含む）の補助金の交付を受けて浄化槽を設置した者で、直近2年間法定検査を受検していない者に対して、法定検査の受検依頼通知を196件送付した。 ・21人槽以上浄化槽について、直近2年間法定検査を受検していない管理者に対して、法定検査の受検依頼通知を11件送付した。			
2 浄化槽の維持管理の徹底に向けての啓発活動			
・「広報かぞ」を通して、浄化槽の維持管理の意義及び必要性についてPRを行った。 ・浄化槽の維持管理の啓発について、浄化槽管理者への戸別訪問を行った。 加須地域：下樋遣川地区（100世帯）、騎西地域：上高柳下区（120世帯） 北川辺地域：大曾地区（121世帯）、大利根地域：生出地区・阿佐間地区（96世帯）で実施			

事業名	国土強靱化地域計画進行管理事業		
担当課	危機管理防災課	総合振興計画コード	1222-02
事業の目的	大規模自然災害等から市民の生命と財産を守り、地域への致命的な被害を回避し、速やかな復旧復興に資する施策を計画的に推進するために、加須市国土強靱化地域計画を策定し、適正管理するとともに周知を図る。		
事業の概要	・年次計画（国土強靱化地域計画アクションプラン）を作成し進行管理を行う。 ・国の情勢を注視し、適時、計画の見直しを図る。 ・当該計画の周知を図る。		
事業の実績・成果			
加須市国土強靱化地域計画は、東日本大震災や令和元年東日本台風（台風第19号）等の教訓を踏まえ、どのような大規模災害等が起こっても機能不全に陥らず、市民の生命・財産及び生活を守るとともに、市民や国、埼玉県、関係機関が一体となり、「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた自助・共助・公助で守る安心安全なまちづくりを推進するために、令和3年3月4日策定した。 国土強靱化を確実に推進するために、個別事業の進捗を定量的に把握し、数値目標等を用いて的確に進行を管理するため、年次計画（アクションプラン）を令和5年8月に作成した。			

事業名	全職員による青色回転灯パトロール事業				
担当課	交通防犯課	総合振興計画コード	1312-04		
事業の目的	市民が犯罪に巻き込まれることなく、安全で安心して生活を送ることができるようにするため、青色回転灯を装備した車両を使用し、パトロールを実施する。				
事業の概要	・全職員が交代で青色回転灯を装備した公用車で、市内をパトロールする。 ・実施者講習会（管理職対象）を行う。				
事業の実績・成果					
○ こどもたちをはじめ、市民の安全確保や様々な犯罪防止を図るため、青色回転灯装備車両を使用した防犯パトロール（市内全域）を実施した。					
・本庁2台、各総合支所1台の5台体制で小学校の通学路を中心に、パトロールを実施した。 ・民間パトロール団体（4団体）と共にパトロールを実施した。 ・行方不明者及び不審者情報の提供があった場合は、対象地域での重点的なパトロールを実施した。 ・パトロール実施者講習会を開催した。（4月20日、4月26日の2日間 計4回）					
【パトロール実施日数】（職員実施分） 218日					
【加須市内の犯罪発生件数の推移】（単位：件）					
	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
刑法犯総数	614	556	616	575	646
侵入盗計	61	84	89	63	61
街頭犯罪計	153	126	169	113	166
※侵入盗：空き巣・忍び込み・事務所荒しなど ※街頭犯罪：自転車盗・車上狙い・ひったくり・自販機ねらいなど					

事業名	企業立地促進事業		
担当課	産業振興課	総合振興計画コード	3111-01
事業の目的	市内への企業立地を促進することにより、雇用の創出や地域産業の活性化、新たな財源確保を図る。		
事業の概要	県や関係機関と連携し、工業団地や民有地物件などへの企業立地を促進するとともに、既存立地企業との関係を良好に保ち、継続的な支援を行う。 また、大規模小売店舗立地法に基づく届出等に関する円滑な支援を行う。		
事業の実績・成果			
県や関係機関と連携し、工場適地への優良企業の立地を促進するとともに、工業の振興を図り、雇用の創出や地域経済の活性化、新たな財源確保に努めた。			
・ 企業からの相談等（市内工業団地内空き区画及び工場立地適地に関する情報収集等） 相談件数 9件			
・ エコ産業団地づくり（産業活性化）サポート 快適かぞ市民活動への参加件数 3件			
・ 工業団地内への企業立地 企業立地件数 2件			

事業名	先端設備等導入促進事業		
担当課	産業振興課	総合振興計画コード	3222-06
事業の目的	「中小企業等経営強化法」を通じて、市内の中小企業・小規模事業者等の多様な設備投資を支援し、市内の労働生産性を高め、市内経済の活性化を図る。		
事業の概要	「中小企業等経営強化法」により、市が導入促進基本計画を策定し、その計画により先端設備等導入計画の認定を受けた場合、以下の支援が受けられる。 ・設備投資を行う際に、償却資産に係る固定資産税の特例(課税標準を3年間ゼロに軽減)を受けることができる。		
事業の実績・成果			
・ 加須市導入促進基本計画について 平成30年6月6日に施行された「生産性向上特別措置法」に基づき、平成30年7月17日、経済産業省より加須市導入促進基本計画の同意を得た。 平成30年10月17日に同導入促進基本計画の一部変更について同意を得た。 「中小企業等経営強化法」に移管されたことに伴い、令和3年6月30日に同導入促進基本計画の一部変更について同意を得た。 また、税制改正による新特例措置の開始に伴い、令和5年3月31日に同導入促進基本計画の一部変更について同意を得た。 ・ 先端設備等導入計画の認定について 令和5年度認定件数：新規44件、変更6件			

事業名	農業振興地域管理事業		
担当課	農業振興課	総合振興計画コード	3211-09
事業の目的	農業振興地域整備計画に基づき、優良な農用地の保全を図る。		
事業の概要	農業振興地域内農用地区域からの除外申出の受付を年2回実施する。また、除外申出等に係る農業振興地域整備計画の変更についての協議、検討等を行う。		

事業の実績・成果

令和5年度農業振興地域整備計画の変更として、農用地区域からの除外等を行った。

[申出に基づき農用地区域から除外した農地]

(単位：㎡)

	田		畑		合計	
	筆数	面積	筆数	面積	筆数	面積
令和元年度	10	6,500	11	3,015	21	9,515
令和2年度	13	8,339	20	8,223	33	16,562
令和3年度(4月)	19	8,962	16	7,314	35	16,276
令和3年度(10月)	13	7,639	17	4,046	30	11,685
令和4年度(4月)	8	4,263	10	3,010	18	7,273
令和4年度(10月)	7	3,756	4	1,055	11	4,811
令和5年度(4月)	3	476	8	2,496	11	2,722

※令和3年度から除外申出の受付を年2回(4月、10月)とした。10月受付分の農業振興地域整備計画の変更完了は翌年度となる。

[農業振興地域の状況(令和6年3月末)]

(単位：ha)

	総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	山林・原野	その他
		農地				採草放牧地	計				
		田	畑	樹園地	小計						
農業振興地域	10,644	4,921	2,164	101	7,186	0	7,186	0	13	82	3,363
うち農用地区域	5,552	4,038	999	101	5,138	0	5,138	0	13	0	401

事業名	中川上流地区高収益作物導入推進事業		
担当課	農業振興課	総合振興計画コード	3212-01
事業の目的	中川上流地区での水田農業における経営の安定化を図る。		
事業の概要	中川上流地区国営事業等推進協議会 営農部会において、地域農業の将来における振興方向を協議する。		
事業の実績・成果			
中川上流地区国営事業等推進協議会営農部会を開催しなかったが、次の会議で営農関係事項の話し合いを行った。			
・中川上流地区国営事業等推進協議会 令和5年度第2回担当者会議 日 時 令和5年5月31日（水）午前10時から 場 所 羽生領島中領用排水路土地改良区 大会議室 内 容 中川上流地区先進地視察開催結果等について			
・中川上流地区国営事業等推進協議会 令和5年度第4回担当者会議 日 時 令和5年8月3日（木）午前10時から 場 所 羽生領島中領用排水路土地改良区 大会議室 内 容 高収益作物導入に向けた実証事業について			
・中川上流地区国営事業等推進協議会 令和5年度第1回幹事会 日 時 令和6年3月27日（水）午後2時から 場 所 羽生領島中領用排水路土地改良区 大会議室 内 容 高収益作物導入に向けた実証事業について			

事業名	赤ちゃんの駅事業		
担当課	すくすく子育て相談室	総合振興計画コード	2112-03
事業の目的	子育て中の親が安心して外出できるよう、子育て支援の環境を整える。		
事業の概要	次の一方又は両方の要件を備えた施設を公共的施設を中心に整備することにより、乳幼児を連れての外出を容易にする。 ①おむつ交換ができる。 ②授乳ができる。		
事業の実績・成果			
○市内「赤ちゃんの駅」設置施設 102 施設 176 箇所 ホームページ等で周知を行うとともに、赤ちゃんの駅の表示の改善や、備品の修繕を行い、安心安全な利用に努めた。 ○加須市役所内の赤ちゃんの駅について、周囲の視線に配慮し、囲いを高くするとともに、天井を設置するなど改修し、より安心して利用できるようになった。			

事業名	主任児童委員・児童委員活動支援事業		
担当課	すくすく子育て相談室	総合振興計画コード	2114-01
事業の目的	主任児童委員・児童委員の活動を支援し、地域での子育て支援活動の充実を図る。		
事業の概要	研修会の開催や児童虐待啓発活動にて交流を図ることで連携を密にするとともに、研修会では児童虐待等に関する知識を提供することで安心して活動出来る環境を構築する。		
事業の実績・成果			
令和5年度は研修会を2回開催。			
・第1回 期 日：令和5年5月24日（金） 参加者：加須市民生委員・児童委員協議会183名 会 場：パストラル加須 小ホール 内 容：「ヤングケアラー支援スタートブックについて」 備 考：県政出前講座を活用			
・第2回 期 日：令和5年7月3日（月） 参加者：加須市民生委員・児童委員協議会児童福祉部会22名 会 場：パストラル加須 多目的室 内 容：「児童虐待について」			

事業名	母子自立支援施設入所事業				
担当課	すくすく子育て相談室	総合振興計画コード	2114-17		
事業の目的	保護を必要とする母子家庭に支援を行うことにより、子育て支援体制の充実を図ること、並びに、安全でかつ自立へ向けた指導が受けられるよう、生活の場を提供することを目的とする。				
事業の概要	母子での生活を余儀なくされている家庭で、精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど、生活の安定が得られない母子家庭が、自立の道を歩むことができるよう母子生活支援施設で、様々な指導、支援を受けながら自立促進を図る。				
事業の実績・成果					
母子での生活を余儀なくされている家庭で、精神的に不安定になったり、前夫から暴力を受けているなど保護を必要とする家庭に対し、安全でかつ自立へ向けた指導が受けられるよう、生活の場を提供する。 令和5年度は実績なし。					
1 施設入所世帯・措置費の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
措置入所世帯数	0	1世帯	1世帯	1世帯	0
措置費	0	1,454,556円	6,109,301円	3,459,086円	0
2 助産施設入所人数・措置費の推移					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
助産施設入所人数	0	1人	0	0	0
措置費	0	332,795円	0	0	0
令和2年度：出産1件					

事業名	多子世帯保育所保育料軽減事業		
担当課	こども保育課	総合振興計画コード	2113-10
事業の目的	低所得世帯等の保育料を軽減し、こどもを産み育てやすいまちをつくる		
事業の概要	収入が一定額未満の世帯について、保育所保育料の多子軽減措置の範囲を拡大し、軽減を受けられる対象を増やす。		
事業の実績・成果			
平成 28 年度から拡大した保育所保育料の多子軽減措置の範囲を、令和 5 年度も継続して実施した。			
【軽減内容】			
・年収約 360 万円未満相当の世帯について、これまでの多子計算に係る年齢制限（就学前児童のなかで数える）を撤廃し、第 2 子の保育料を半額、第 3 子以降の保育料を無償化。			
・年収約 360 万円未満相当のひとり親世帯については、第 1 子の保育料を半額、第 2 子以降の保育料を無償化。			

事業名	保育料収納対策事業			
担当課	こども保育課	総合振興計画コード	2131-19	
事業の目的	迅速かつ効率的な収納・滞納整理事務を実施し、保育料の収納率の向上、公平性の確保、市民サービスの向上及び自主財源の確保を図る。			
事業の概要	現年度の保育料の未納を作らないよう、滞納者へ働きかける。 滞納者へ催告書を送付、面談等を行い納付を促す。 市内私立保育園に保育料収納事務を委託（予算：就学前子ども教育・保育認定事業）。			
事業の実績・成果				
保育所保育料、幼稚園保育料の滞納解消に向けて、納付に対する積極的なPR等を行い、自主納付の推進を図るとともに、催告書の送付などを実施し、収納率の維持向上に努めた。 また、新たな未納を作らないように、口座振替による納付を推進した。 ※令和元年10月から幼稚園保育料は無償化された。				
保育所保育料（現年度分）収納率の推移（単位：％）				
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
99.13	99.24	99.29	99.09	99.31
幼稚園保育料（現年度分）収納率の推移（単位：％）				
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
100.00				

事業名	あんしん見守りサポート事業			
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1163-07	
事業の目的	市内のひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯、障がい者、生活に困窮している者、及びその他日常生活の中で見守りが必要とされる者が安心して暮らせる地域づくりを目的とする。			
事業の概要	ライフライン事業者等がお客様宅を訪問された際に、郵便ポストに新聞や郵便物がたまっていたなど、日常業務の範囲内で何らかの異変に気づかれた場合、市の安心見守り事業担当部署へ連絡をいただく。その後、市は関係機関や団体と連携し、対象者の安否確認等を行う。			
事業の実績・成果				
○あんしん見守り協力事業者 57 事業者 協力事業者には礼状を送付し、1 年間の見守りに対するお礼と引き続いての見守りへの協力依頼を実施した。				
○発生件数の推移 (単位：件)				
令和元年	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
2	1	3	2	3

事業名	行方不明者早期発見活動事業			
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1163-08	
事業の目的	警察へ届出があった市民の行方不明者情報を、関係機関等に情報提供を行うことにより、行方不明となった市民を早期に発見する。			
事業の概要	届出のあった行方不明者情報の詳細を確認し、早期発見に向けて関係機関等に情報提供する。			
事業の実績・成果				
関係各課より情報収集のうえ、防災行政無線の依頼、民生委員や自治協力団体への情報提供等を行い、行方不明者早期発見に向け、連携し事業を実施した。 その他、高齢者の行方不明者が多いため、「認知症高齢者等早期発見ステッカー」の配付(高齢介護課)について、ご家族等にご案内した。				
○発生件数の推移		(単位：件)		
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
29	24	22	22	17
※平成26年8月から事業実施				

事業名	社会福祉事業許可等事務事業				
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-01		
事業の目的	健全な福祉サービスを確保し、もってすべての市民が豊かに生活できる地域福祉の推進に資する。				
事業の概要	社会福祉法第2条第2項、第3項に規定される第一種・第二種社会福祉事業（社会福祉法第74条の規定により適用除外とされるもの及び県の権限未移譲の軽費老人ホームに係る事務を除く）の届出受理、許可等を実施する。 ・第一種社会福祉事業（5事業種） ・第二種社会福祉事業（17事業種）				
事業の実績・成果					
第一種・第二種社会福祉事業を行う社会福祉法人等からの事業開始の届出受理、許可等を行った。					
○ 社会福祉事業開始届受理、許可件数 (単位：件)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
開始届受理件数	1	0	0	0	0
事業許可件数	0	0	0	0	0

事業名	保育所等指導監査等事務事業				
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-04		
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もって子どもを産み育てやすい環境の整備に資する。				
事業の概要	民間保育所等設置認可・廃止（休止）承認・設置認可事項変更届出、児童福祉施設指導監査の実施 児童福祉施設指導監査対象の市内民間保育施設:15 施設/確認監査対象の教育・保育施設:公立保育所7 施設(内1 施設休止中), 民間保育所:14 施設, 認定こども園:2 施設, 公立幼稚園:13 施設(内1 施設休止中)/特定子ども・子育て支援施設等:38 施設・事業(内3 施設・事業休止中)				
事業の実績・成果					
民間保育所の設置認可・廃止（休止）承認・設置認可事項変更届出の受理及び児童福祉法に基づく児童福祉施設指導監査を実施した。併せて、子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設の確認監査及び特定子ども・子育て支援施設等確認監査を実施した。					
○ 児童福祉法に基づく児童福祉施設指導監査実施件数					
(単位:施設)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
定期指導監査（実地監査）	2	9	6	2	9
定期指導監査（書面監査）	12	6	8	12	6
随時指導監査（特別調査）	1	2	0	0	0
○ 子ども・子育て支援法に基づく特定教育・保育施設確認監査実施件数					
(単位:施設)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
実地指導	2	10	6	2	8
書面監査	8	6	7	8	6
○ 子ども・子育て支援法に基づく特定子ども・子育て支援施設等確認監査実施件数					
(単位:施設・事業)					
	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
実地指導	0	10	12		
書面監査	0	8	3		
※ 令和3年度から事業開始 ※ 令和3年度:対象施設等への集団指導を実施（新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、資料の送付に代えて実施）					

事業名	認可外保育施設指導監査等事務事業				
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード		1164-05	
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もってこどもを産み育てやすい環境の整備に資する。				
事業の概要	安全かつ良好な保育サービスの確保のため、市内の認可外保育施設の開設状況を管理するとともに、児童福祉法に基づく立入調査及び子ども・子育て支援法に基づく特定子ども・子育て支援施設等実地指導を実施し、基準の遵守や保育の質の確保等について必要な指導を行う。				
事業の実績・成果					
認可外保育施設の設置・事業内容等変更届出の受理、運営状況の把握及び人員や設備・運営等に関する立入調査に併せて幼児教育・保育の無償化に関する特定子ども・子育て支援施設等実地指導も行った。					
○ 市内認可外保育施設数（施設型：令和5年度末現在）（単位：件）					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認可外保育施設数（施設型）	7	7	7	8	8
うち企業主導型保育施設	3	3	3	3	3
※ 企業主導型保育事業は、平成28年度から制度開始					
○ 市内認可外保育施設数（居宅訪問型：令和5年度末現在）（単位：件）					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
認可外保育施設数（居宅訪問型）	2	5	3 (内 休止中1)	2 (内 休止中1)	3 (内 休止中1)
※ 居宅訪問型：ベビーシッター					
○ 立入調査実施件数（単位：件）					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
立入調査実施件数	7	7	7	8	8
○ 集団指導実施回数（単位：回／人）					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
集団指導実施回数（ ）は事業者数	—	—	1 (3)	1 (1)	1 (1)
※ ベビーシッターについては、令和3年度より集団指導を実施					
※ 令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面で実施					
※ 令和4年度、令和5年度は事業者1名のため個別での実施となった。					

事業名	放課後児童健全育成事業者指導監査等事務事業				
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-06		
事業の目的	良好な児童福祉サービスを確保し、もってこどもを産み育てやすい環境の整備に資する。				
事業の概要	市内の放課後児童健全育成事業所（学童クラブ）に係る各種届出等の受理及び立入調査等を実施し、運営状況の確認を行う。				
事業の実績・成果					
市内の放課後児童健全育成事業所（学童クラブ）に係る各種届出等の受理及び放課後児童クラブ運営指針や設備・運営に関する基準の遵守に関する書面監査・立入調査を実施した。 公営放課後児童健全育成事業所は、毎年書面監査を実施 民営放課後児童健全育成事業所は、原則３年に１回立入調査を実施し、これ以外の年は書面監査を実施					
○ 事業所件数(令和５年度末現在) (単位：件)					
	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
公営放課後児童健全育成事業所	17	17	17	17	17
民営放課後児童健全育成事業所	17	17	17	17	17
○ 書面監査実施件数 (単位：件)					
	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
公営放課後児童健全育成事業所	17	17	17	17	17
民営放課後児童健全育成事業所	11	11	12	11	11
○ 立入調査実施件数 (単位：件)					
	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
民営放課後児童健全育成事業所	6	6	5	6	6
※ 令和元年度より、原則として３年に１回実施					

事業名	指定特定相談支援事業者等指導監査等事務事業								
担当課	地域福祉課	総合振興計画コード	1164-07						
事業の目的	適切かつ良好な障害福祉サービスを確保し、もって障がい者及び障がい児の福祉の増進に資する。								
事業の概要	指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者に係る実地指導を実施し、運営状況の確認を行う。								
事業の実績・成果									
加須市が指定した指定特定相談支援事業者及び指定障害児相談支援事業者の実地指導を行い、適切な相談支援を提供するための体制（人員・設備・運営・給付等）について、法令の基準等に不適当な点がないか確認を行った。 ○ 実地指導実施件数 (単位：件) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指定特定相談支援事業者</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>指定障害児相談支援事業者</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> ※ 実地指導は、令和5年度より原則3年に1回実施する。					令和5年度	指定特定相談支援事業者	3	指定障害児相談支援事業者	3
	令和5年度								
指定特定相談支援事業者	3								
指定障害児相談支援事業者	3								

事業名	生活保護法による返還金等収納対策事業				
担当課	生活福祉課	総合振興計画コード	1173-07		
事業の目的	生活保護費の適正な受給を行うため、迅速かつ効率的な債権管理事務を実施するとともに、不正受給の防止と保護の適正実施を図る。				
事業の概要	・返還金等の計画的な納付指導を行うとともに、返還金等の未納者に対しては、督促状や催告書を送付し納付を促す。さらに、臨宅徴収を実施し、返還金等の早期収納を図る。				
事業の実績・成果					
・不正受給防止対策 受給者に対し収入申告徴収の徹底を図り、課税調査の時期を早めるなどし、返還金発生の防止・早期発覚を図った。 ・計画的な納付指導の強化 生活実態を把握するとともに、生活保護費支給時及び訪問時に分割納付などによる計画的な納付指導を実施した。 令和5年10月を「生活保護返還金収納対策強化月間」とし、未納者に対する積極的な声掛けや、収納相談・指導を実施した。 返還金が発生した時点で生活保護を受給している者は、本人の同意を得た上で毎月支給する保護費の一部を返還に充当した。 ・届出義務の周知徹底 返還金等の発生を未然に防ぐため、「保護だより」を定期的に発行するとともに、生活保護受給者に対し、来庁又は訪問時に収入申告等の届出義務の周知徹底を図った。 ・催告・臨宅の実施 文書催告及び電話催告を実施し、訪問時に自主納付を促した。 滞納者に対し催告（年4回）を送付する際、滞納者が中身を確認せず捨てることを防ぐため、封筒に「重要」の印を赤字で押すとともに、「必ず中身をご確認ください」の一文を印刷し、郵送した。 ・不納欠損処分の実施 死亡や居所不明の世帯を十分に調査し、消滅時効による不納欠損処分を実施した。					
【返還金等の収納率】 (単位：％)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
現年分	54.2	78.7	79.6	67.8	70.7
滞納繰越分	14.3	9.5	8.6	9.8	10.1
計	26.4	27.8	32.1	19.7	25.2

事業名	障害者虐待防止事業				
担当課	障がい者福祉課		総合振興計画コード	1151-04	
事業の目的	障害者の権利利益の擁護を図る。				
事業の概要	障害者虐待の防止、早期発見、虐待を受けた障害者に対する保護や自立の支援、養護者に対する支援を行う。				
事業の実績・成果					
・平成24年10月1日に、「障害者虐待の防止、障害者の擁護者に対する支援等に関する法律（障害者虐待防止法）」が施行され、市町村が障がい者虐待の通報・相談の窓口となった。 ・広報かぞ及び市ホームページにおいて、虐待防止に係る記事を掲載し周知を図った。					
虐待相談件数					
年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
件数	11件	10件	14件	15件	19件

事業名	熱中症予防事業																
担当課	健康医療推進課	総合振興計画コード	1111-17														
事業の目的	市民の熱中症罹患を予防するため、熱中症に対する知識の普及・啓発に努めるとともに、その予防対策を推進する。																
事業の概要	窓口やホームページ、広報紙等で広く熱中症に対する知識の普及・啓発を行うとともに、暑さ指数（WBGT）を基準に、防災行政無線放送、かぞホッとメールにて注意を喚起する。 また、各公共施設や市内薬局等と連携し、クールオアシスを設置する。																
事業の実績・成果																	
市内の公共施設にクールオアシス（冷房の入った一時休憩所）を設置し、熱中症の予防に努めた。 また、環境省が発表する暑さ指数（WBGT）を毎日確認し、加須市が設定した基準に当てはまる場合、防災行政無線、かぞホッとメールにて熱中症予防を呼びかけた。																	
1 各課の取り組み状況（6月～9月）																	
<table><tr><th>分類</th><th>内 容</th></tr><tr><td rowspan="6">設備・機器・物品類</td><td>空調管理・ブラインドの利用</td></tr><tr><td>グリーンカーテンの設置</td></tr><tr><td>遮光シートの設置</td></tr><tr><td>クールオアシスの設置</td></tr><tr><td>扇風機・サーキュレーターの設置</td></tr><tr><td>エアコンのフィルター清掃の実施</td></tr><tr><td rowspan="4">注意喚起</td><td>広報紙、ポスター掲示、チラシ配布、防災行政無線、現場職員への呼びかけ、民生委員等の訪問時に高齢者への呼びかけ</td></tr><tr><td>庁舎正面玄関へ外気温を表示</td></tr><tr><td>救命講習・消防訓練の実施時において予防を呼びかけ</td></tr><tr><td>熱中症警戒アラート発表時の対応を市立各小・中学校に周知</td></tr></table>				分類	内 容	設備・機器・物品類	空調管理・ブラインドの利用	グリーンカーテンの設置	遮光シートの設置	クールオアシスの設置	扇風機・サーキュレーターの設置	エアコンのフィルター清掃の実施	注意喚起	広報紙、ポスター掲示、チラシ配布、防災行政無線、現場職員への呼びかけ、民生委員等の訪問時に高齢者への呼びかけ	庁舎正面玄関へ外気温を表示	救命講習・消防訓練の実施時において予防を呼びかけ	熱中症警戒アラート発表時の対応を市立各小・中学校に周知
分類	内 容																
設備・機器・物品類	空調管理・ブラインドの利用																
	グリーンカーテンの設置																
	遮光シートの設置																
	クールオアシスの設置																
	扇風機・サーキュレーターの設置																
	エアコンのフィルター清掃の実施																
注意喚起	広報紙、ポスター掲示、チラシ配布、防災行政無線、現場職員への呼びかけ、民生委員等の訪問時に高齢者への呼びかけ																
	庁舎正面玄関へ外気温を表示																
	救命講習・消防訓練の実施時において予防を呼びかけ																
	熱中症警戒アラート発表時の対応を市立各小・中学校に周知																
2 市内クールオアシス設置数 18 施設																	
3 熱中症による市民死亡数 0 人																	

事業名	地域医療ビジョン進行管理事業		
担当課	健康医療推進課	総合振興計画コード	1131-02
事業の目的	市民が安心して医療サービスを受けられるよう、今後の地域医療提供体制を示した「加須市地域医療ビジョン」を推進する。		
事業の概要	加須市地域医療ビジョン（期間：令和３年度～７年度）に位置付けられた事業について、医療連携推進会議で進捗の確認、評価を行い、翌年度事業に反映する。		
事業の実績・成果			
加須市地域医療ビジョンに位置付けられた事業の進捗状況を評価した。			
○令和５年度第１回加須市救急医療体制推進協議会			
開 催 日 令和５年７月１３日			
出席委員数 ７名			
内 容 ・加須市医療連携推進会議設置要綱			
・加須市地域医療ビジョン(令和３年３月)			
・加須市地域医療ビジョン 令和４年度取組結果表			
・2022年度版「加須市の健康指数(出典：埼玉県)」			
・令和５年度 加須市医療連携推進会議スケジュール(案)			

事業名	国民健康保険保健事業実施計画進行管理事業		
担当課	いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1111-04
事業の目的	国保に加入する市民の病気を予防するため、被保険者の医療データを分析することにより、現状を把握し、効果的・効率的に保健事業を着実に実行する。		
事業の概要	実効性の高いものにするため、各保健事業の実施内容に掲げた指標について、PDCAサイクルのプロセスで進捗状況を把握し、必要に応じ保健事業の修正を行い、目標達成のために工夫を重ねながら、より効果の得られる計画となるように毎年度見直しを行う。 ※計画期間：H30 年度から R5 年度		
事業の実績・成果			
加須市国民健康保険保健事業実施計画に位置付けられた事業の進捗状況を評価した。 ○令和5 年度第 1 回加須市国保運営協議会 開 催 日 令和5 年 8 月 1 日 出席委員数 13 名 内 容 加須市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)の進捗状況について 国保健診(特定健康診査)受診率向上対策 特定保健指導終了率向上対策 生活習慣病予防対策 ・未受診者や受診中断者に対する受診勧奨 ・糖尿病性腎症病期 2 期以上の患者に対する保健指導 後発医薬品利用促進対策			

事業名	重症化予防保健指導事業									
担当課	いきいき健康長寿課				総合振興計画コード			1111-13		
事業の目的	市民の病気の重症化を予防する。									
事業の概要	特定健康診査結果等から抽出した対象者に対し、訪問、面接、電話などの方法で保健指導を行う。									
事業の実績・成果										
集団健診で特定保健指導に該当した者のうち、血液データが受診勧奨値に達している、もしくは受診勧奨値に達していない積極的支援対象者115名に対して電話もしくは訪問で受診勧奨及び保健指導を実施。 その結果として、特定保健指導に参加して生活改善した者や、医療機関受診に繋がった者が68名という結果となった。										
実績 (単位：人)										
	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
被保健指導者数	55	55	0	0	26	26	123	123	106	106

事業名	スローフード促進事業		
担当課	いきいき健康長寿課	総合振興計画コード	1112-03
事業の目的	市民一人一人が心身ともに健康で暮らせるよう、食生活についての知識習得や食行動を見直す機会を提供する。		
事業の概要	平成 30 年 2 月から減塩プロジェクトを開始し、塩分チェックシート等を活用した支援や減塩に関する知識の普及を行う。		
事業の実績・成果			
令和 5 年度は市の健康課題となる肥満・糖尿病・高血圧の解決に向け、産学官連携により減塩や栄養バランスについての普及啓発を図った。取り組み内容について、ホームページへの掲載やプレス発表を行うことにより、幅広い周知につながった。			
1 「まご弁」の開発			
『「まご」世代が「まご」ころこめて作った「ま」んてん「ご」はん』をコンセプトとし、生活習慣病予防やフレイル予防に注意が必要な成人からシルバー世代向けに、日本食のバランスの良い食材の頭文字である「まごわやさしい」を使用した減塩弁当を開発した。			
参画者：花咲徳栄高校（食育実践科によるレシピ開発）			
人間総合科学大学（栄養に関する監修）			
株式会社丸武（まご弁の製造、販売）			
地域ブロンズ会議（世代を代表した意見の提案）			
加須市（庁内横展開による事業連携）			
実績：令和 5 年 6 月 28 日 まご弁開発関係者打合せ			
令和 5 年 11 月 1 日 地域ブロンズ会議代表者試食会			
令和 5 年 11 月 6 日 関係者試食会			
令和 6 年 3 月 11 日 まご弁完成報告会			
令和 6 年 3 月 19 日 まご弁販売			
（市役所ロビー限定 100 食、加須市職員向け 186 食を販売）			
2 減塩 POP の作成			
啓発ツールの 1 つとして、人間総合科学大学へ依頼し減塩 POP を作成。			
まご弁のパッケージや、スーパーまるたけ騎西店での減塩ブースにて使用。			
【減塩 POP】			
【協賛店用】			
【まご弁 パッケージ】			
3 減塩ブースの設置			
スーパーまるたけ騎西店の一角に減塩ブースを設置。健康食メニューの材料や減塩商品を並べ、実際に商品を手に取れることから、減塩の知識を深めることのできる機会となった。			
4 塩分チェックシートの運用			
人間総合科学大学からの助言をもとに、塩分チェックシートの運用方法の見直しを行った。また、自動血圧計を設置している市内公共施設 41 か所に塩分チェックシートを配架する他、健康まつり、健康相談、健康講座等の機会を通して 1,383 枚配布した。			
5 健康食メニューの活用			
我が家の味自慢！健康食メニュー検討部会が開発している健康食メニューについて、レシピの特徴から新たにカテゴリーを設定し、分類することで市民が活用しやすい様式に整えた。			



【減塩 POP】



【協賛店用】



【まご弁
パッケージ】

事業名	ねんきんサテライト加須利用促進事業				
担当課	国保年金課		総合振興計画コード	1171-02	
事業の目的	『ねんきんサテライト加須』との連携強化による年金窓口の充実を図る。				
事業の概要	・『ねんきんサテライト加須』で年金に関する相談、手続きができることを周知する。 ・『ねんきんサテライト加須』との連携強化及びPRによる利用促進を図る。				
事業の実績・成果					
・ 加須市周辺の住民が、より近くで年金の相談や手続きができるよう、平成31年2月から「ねんきんサテライト加須（熊谷年金事務所加須分室）」が開所された。					
(単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用人数 A	8,520	7,611	7,039	9,066	8,802
うち加須市民 B	5,286	4,647	4,166	5,278	5,148
加須市民利用率 B/A (%)	62.0	61.1	59.2	58.2	58.5

事業名	産前産後国民年金保険料免除事業				
担当課	国保年金課		総合振興計画コード	1171-03	
事業の目的	次世代育成支援の観点から国民年金保険料の免除申請を促進する。				
事業の概要	国民年金保険料の産前産後期間の免除制度についての周知。				
事業の実績・成果					
・ 関係各課において、対象者にチラシを配布し周知を図った。					
(単位：人)					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
申請者数	25	27	25	23	45

事業名	公共施設バリアフリー化事業		
担当課	建築開発課	総合振興計画コード	1165-01
事業の目的	誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインを推進する。		
事業の概要	加須市バリアフリー条例、加須市市有施設設計方針及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、市有建築物の大規模改修工事等（新築・改築・増築）に併せてバリアフリー化を推進する。		
事業の実績・成果			
誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、市有建築物の大規模改修工事等（新築・改築・増築）と併せたバリアフリー化の設計、工事を実施した。			
1 建築物の設計、工事の状況			
(1)加須市立元和小学校校舎増築工事（国補）（県補）〔継続事業 令和6年度完成予定〕			
2 バリアフリー化の内容			
スロープ、バリアフリースイレ、手すり、車椅子使用者専用駐車場、誘導ブロックなど			

事業名	民間施設バリアフリー化事業				
担当課	建築開発課	総合振興計画コード	1165-02		
事業の目的	誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、ユニバーサルデザインを推進する。				
事業の概要	・加須市バリアフリー条例及び埼玉県福祉のまちづくり条例に基づき、県と連携し、民間施設のバリアフリー化を推進する。				
事業の実績・成果					
誰もが生活しやすい地域環境を形成するため、加須市バリアフリー条例、埼玉県福祉のまちづくり条例に基づく指導、助言等を行い、民間施設のバリアフリー化を推進した。					
設計者への指導、助言等の状況					(単位：回)
区 分	令和元年度	令和２年度	令和３年度	令和４年度	令和５年度
指導・助言回数	14	22	20	29	17

事業名	市営住宅使用料収納対策事業				
担当課	建築開発課	総合振興計画コード		5212-07	
事業の目的	市営住宅の使用料収納の適正化を図る。				
事業の概要	埼玉県住宅供給公社（管理代行）と連携し、督促、相談、指導等を行い、収納率向上を図る。				
事業の実績・成果					
市営住宅の家賃と駐車場使用料について、埼玉県住宅供給公社（管理代行）と連携し、督促、相談、指導等を行い、収納率の向上を図った。					
家賃・駐車場使用料の収納状況（単位：円）					
区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
調 定 額	37,769,600	38,137,900	37,567,800	35,439,600	35,121,900
収 納 額	33,195,000	34,125,900	35,475,000	33,790,400	33,680,600
不納欠損額	0	1,328,600	0	0	0
収納率（％）	87.88	89.48	94.42	95.34	95.89

事業名	南北幹線道路整備促進事業		
担当課	道路公園課	総合振興計画コード	5223-01
事業の目的	便利で暮らしやすいまちをつくるため、国・県道を含めた市内の幹線道路による交通ネットワークの構築を推進するとともに、市内を南北に結ぶ幹線道路の整備を行う。		
事業の概要	踏切による慢性的な交通渋滞を解消するため、ルートの検証や効率的な整備促進について検討を進めるとともに、関係機関への要望活動を実施する。		
事業の実績・成果			
南北幹線道路の整備を促進し、市内の道路ネットワークを強化するため、慢性的な交通渋滞が発生している県道北中曽根北大桑線と東武伊勢崎線が交差する花崎踏切の立体化等の渋滞解消に向けた取組みについて、埼玉県と調整を図った。			

事業名	道路網整備計画進行管理事業		
担当課	道路公園課	総合振興計画コード	5224-02
事業の目的	企業などの社会経済活動や市民の日常生活を支え、便利で暮らしやすいまちをつくるため、国・県道を含めた市内の幹線道路による交通ネットワークの構築を推進する。		
事業の概要	「道路網整備計画」の適正な進行管理を行う。		
事業の実績・成果			
令和3年2月に策定した「加須市道路網整備計画」（計画期間：令和3年度から令和12年度）に位置付けた各施策を推進するため、取組内容について令和4年度の状況を取りまとめ進行管理を行った。			

事業名	都市計画道路整備事業		
担当課	道路公園課	総合振興計画コード	5224-09
事業の目的	地域の特性を活かし、秩序ある整備と発展を目指すため、計画的な都市計画道路の整備を推進する。		
事業の概要	・ 県の方針に基づく都市計画道路の見直し路線の検討 ・ 都市計画道路見直し路線の選定・決定 ・ 計画的な都市計画道路の整備		
事業の実績・成果			
事業実施中の都市計画道路について、計画的な整備及び早期の供用開始に向けて、埼玉県や警察等の関係機関と協議・調整を行った。			
○事業実施中の都市計画道路			
・ 都市計画道路国道 125 号バイパス（一般国道 125 号加須羽生バイパス）			
・ 都市計画道路下高柳道地線（一般県道久喜騎西線バイパス）			
・ 都市計画道路幸手久喜加須線（一般県道久喜騎西線バイパス）			
・ 都市計画道路栗橋大利根加須線（主要地方道羽生栗橋線バイパス）			

事業名	橋りょう整備計画進行管理事業		
担当課	道路公園課	総合振興計画コード	5225-02
事業の目的	「橋りょう整備計画」は、橋りょうの長寿命化及び耐震化という目的の違う2つの事業を実施することにより、市民が安全で安心して通行できる道路橋の確保を図るとともに、「防災のまちづくり」の実現を図る。		
事業の概要	平成 30 年度に改訂した「橋りょう長寿命化修繕計画」による長寿命化、及び平成 24 年度に策定した「橋りょう整備計画」による耐震化の進捗に併せた進行管理を行う。		
事業の実績・成果			
現橋りょう整備計画に基づき、橋りょうの長寿命化修繕工事の進行管理を行った。			
○令和 5 年度実績			
・長寿命化工事数：2 橋			
・長寿命化設計数：2 橋			
・橋りょう点検数：268 橋（うち職員による点検数：138 橋）			

事業名	道路・公園等ウォッチャー事業				
担当課	道路公園課	総合振興計画コード		5226-01	
事業の目的	効率的・効果的な公共施設の補修等の実施により、公共施設利用者の安全性の向上を図る。				
事業の概要	市民には市報かぞで、民間企業等には依頼文で、市職員には依頼文をグループウェアに掲載することで、道路・水路・公園・駅前広場などの公共施設の損傷箇所や危険箇所の情報提供を依頼する。寄せられた情報を取りまとめ、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行う。				
事業の実績・成果					
市民・民間企業等関係機関・市職員から寄せられた情報を基に、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行った。					
○情報提供の依頼					
・広報かぞへの掲載（令和5年4月1日号、令和5年10月1日号）					
○情報提供・対応件数					
(単位：件)					
危険箇所等の内訳	加須地域	騎西地域	北川辺地域	大利根地域	合 計
駅前広場、 都市公園・遊具等	85	23	3	4	115
道路、側溝、橋梁等	821	93	82	45	1,041
河川、水路、調整池等	62	33	25	18	138
防犯灯、道路照明灯、 道路反射鏡、路面標示等	257	140	56	83	536
その他（県の管轄等）	123	19	1	3	146
合 計	1,348	308	167	153	1,976

事業名	雨水流出抑制対策事業（民間施設）		
担当課	治水課	総合振興計画コード	1217-12
事業の目的	市民との協働により浸水被害の軽減を図り、住民生活の安全を確保する。		
事業の概要	道路側溝などへの雨水が一気に流れ込む量の軽減を図り、浸水被害の軽減を図るため、新規の開発行為時等において、加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づき、適正な雨水流出抑制施設の設置促進に努める。		
事業の実績・成果			
加須市（北川辺地域を除く）を含む中川・綾瀬川流域では、昭和55年に総合治水対策協議会を設置、昭和58年に対策の目標・取り組み内容をまとめた流域整備計画を策定以降、40年以上の長きにわたり、流域（国、1都2県、28市区町）が一体となり総合治水対策を推進してきた。 一方で、気候変動の影響による降雨量や洪水発生頻度の変化という新たな課題や、流域における更なる市街化の進展、保水・遊水地域の減少等、将来への備えの観点から、浸水被害の軽減に向けた更なる治水対策として、特定都市河川浸水被害対策法の適用（特定都市河川の指定）について、国と流域の関係する自治体で意見交換を行ってきた。 令和5年12月25日に開催された「第7回中川・綾瀬川流域総合治水対策協議会」において、関係する流域自治体の首長が出席し、特定都市河川の指定に向けた手続きに着手し、令和5年度内の指定を目指すとともに、法適用について具体的な検討を進めることを確認した。 そのような中、国より令和6年3月29日に中川・綾瀬川流域が特定都市河川の指定を受けることとなった。 現状では、開発行為等の雨水浸透阻害行為（土地からの流出雨水量を増加させるおそれのある行為）に伴う雨水流出抑制施設の設置について、加須市住みよいまちづくり指導要綱に基づき指導してきたが、令和7年7月の法施行後は開発行為等の雨水浸透阻害行為の許可が必要となり雨水流出抑制施設の設置が義務化されるなど一層の治水対策の強化が図れることになる。			
・令和5年度 雨水流出抑制施設の設置件数 73件			

事業名	農業集落排水加入促進事業				
担当課	下水道課	総合振興計画コード		4422-03	
事業の目的	農業用排水路の浄化のため、農業集落排水処理施設への加入を促進し、快適な生活環境の確保をめざす。				
事業の概要	毎年度、加入促進計画を作成し、計画に基づき、貸付制度の周知を図りながら戸別訪問を実施する。				
事業の実績・成果					
令和5年度は、未接続世帯に戸別訪問し、加入促進活動を実施した。(合計70件) 〔内訳：串作地区26件、大越地区44件〕					
加入率及び増減					
地区名	公共ます 設置戸数	令和4年度末 接続戸数	令和5年度末 接続戸数	加入率	増 減
串作地区	238戸	159戸	161戸	67.6%	0.5%
大越地区	667戸	451戸	455戸	68.2%	0.6%
名倉地区	54戸	53戸	53戸	98.1%	0%
外田ヶ谷地区	293戸	239戸	240戸	81.9%	0.3%
下崎地区	217戸	183戸	185戸	85.3%	1.0%
上種足地区	340戸	303戸	307戸	90.3%	0.1%
中ノ目戸室地区	374戸	344戸	348戸	93.0%	0.5%
鴻荳川北地区	141戸	114戸	115戸	81.6%	0.7%
内田ヶ谷地区	112戸	80戸	80戸	71.4%	0%
上崎地区	316戸	239戸	240戸	75.9%	0.3%
中種足地区	509戸	336戸	338戸	66.4%	0.4%
川南芋白地区	163戸	134戸	134戸	82.2%	0%
本村戸塚地区	217戸	159戸	160戸	73.7%	0.4%
根古屋牛重地区	243戸	202戸	206戸	84.8%	1.0%
伊賀袋地区	90戸	90戸	90戸	100.0%	0%
北大桑・新井新田地区	206戸	156戸	157戸	76.2%	0.5%
合 計	4,180戸	3,242戸	3,269戸	78.2%	0.5%

事業名	「お花が池」自然環境保全事業		
担当課	地域振興課（大利根）	総合振興計画コード	4212-04
事業の目的	地域特有の豊かな水辺や緑などの自然環境やそこに生息する様々な生物種の減少を最小限にとどめるため、絶滅危惧種指定の希少生物が生息する「お花が池」の保全に努める。		
事業の概要	野中地区まちづくりプランとの整合を図るための調整を行うほか、周辺住民による草刈等の活動、自然保護団体による自然観察会や自然保護団体、周辺自治協力団体との間で定期的な会議を開催する。また、貴重な自然を住民に周知するための環境学習を実施する。		
事業の実績・成果			
1 お花が池の保全活動			
(1) 埼玉県生態系保護協会加須支部による継続的な観察 生態系保護協会加須支部の会員が毎月1回お花が池の調査を実施し、観察された動植物の記録を行った。			
(2) 地元住民の協力による池周辺の草刈り 令和5年6月4日及び8月6日にお花が池周辺の草刈りを実施した。			
(3) お花が池紹介掲示板を活用した情報提供 平成26年度に設置したお花が池紹介掲示板を利用し、生態系保護協会加須支部が実施した調査の結果などを掲示し、情報提供を行った。			
(4) 元和小学校児童に対する環境学習 ・目的 お花が池に生息する希少な動植物の観察をとおり、身近に残された貴重な自然環境を知るとともに、その生態系の保護について考える機会とする。 ・対象 第5学年 ・日時 ○座学 令和5年6月27日 午前9時25分～10時10分 【内容】「お花が池を例にした生態系ピラミッド」、「外来生物の生態」などについて、生態系保護協会加須支部の講師が写真や教材を使いながら講話を実施。 ○実地 令和5年7月4日 午前9時00分～午前10時00分 【内容】「お花が池の水質状況」、「アナゴかごで捕獲した生物の観察」、「お花が池の生態系や特定外来生物の生息実態」という内容で、生態系保護協会加須支部の協力のもと、実地で授業を実施。			
(5) 埼玉県生態系保護協会加須支部による外来生物の防除 令和5年5月13日、6月10日、9月9日、10月14日及び11月11日に、役員が外来生物防除作業を行った。			
(6) お花が池自然観察会の実施 令和5年12月9日、令和6年2月10日、3月9日に、お花が池自然観察会を実施し、生息する野鳥や野草を観察することで生態系について学ぶ機会を提供した。			
(7) 大利根地域市民まつりにおけるお花が池紹介ブースの出展 令和5年11月12日に開催した大利根地域市民まつりにおいて、お花が池を紹介するため、動植物の写真展示、オオモノサシトンボ及びサンショウモの紹介を行うブースを出展し、住民の方々に池の自然環境を周知した。			
2 お花が池の保全活動に係る周知(情報交換)について			
(1) 保護団体、地元自治協力団体代表者との定期的な意見交換 令和6年3月に生態系保護協会加須支部、地元自治協力団体代表者及び市の間で意見交換会を予定していたが自治会再編等(北下新井野中地区)の影響により中止。			

事業名	栗橋駅西（大利根地区）土地区画整理事業				
担当課	農政建設課（大利根）	総合振興計画コード	5212-09		
事業の目的	住み良い快適な居住環境の創造と宅地の利用増進を図るため、土地区画整理事業を実施する。				
事業の概要	清算金の分割徴収及び滞納整理を行う。				
事業の実績・成果					
平成 28 年 12 月 16 日換地処分を行い、平成 29 年度から清算金の徴収を開始したため、分割納付期限の令和 9 年 5 月 31 日まで徴収を行う。 分割の徴収について、令和 5 年度は 2 回の請求を行った。また、滞納分の徴収については、督促、電話催告及び自宅訪問を実施し徴収を行った。					
○栗橋駅西（大利根地区）清算金徴収状況					
単位（円）					
徴収方法	徴収額	徴収済額	滞納額	収納率	
一括徴収	117,367,049	117,367,049	0	100%	
分割徴収	27,419,082	26,305,910	1,113,172	95.9%	
合 計	144,786,131	143,672,959	1,113,172	99.2%	
○清算金年度別徴収済額					
単位（円）					
年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度
徴収済額	4,986,653	3,943,643	2,805,215	1,246,921	30,000

事業名	加須市人づくりプラン進行管理事業		
担当課	教育総務課	総合振興計画コード	2211-02
事業の目的	・「加須市人づくり宣言～教育大綱～」の基本理念である家族・地域の絆を大切に、生きる力を醸成し、三つの目指すべき市民の姿を実現させる。		
事業の概要	・「加須市人づくりプラン」の施策を的確に実施するよう、進行管理を行う。		
事業の実績・成果			
「加須市人づくり宣言～教育大綱～」を踏まえ、令和３年３月に策定した「第２次加須市人づくりプラン」に位置付けた各施策を推進するため、令和４年度の実施状況とその評価を取りまとめ、進行管理を行った。			

事業名	余裕教室等活用事業		
担当課	生涯学習課	総合振興計画コード	2311-12
事業の目的	余裕教室等の有効活用を図り、地域住民の学習と交流の場として提供し、開かれた学校づくりを進める。		
事業の概要	各小中学校（全 30 校）における余裕教室等を、登録許可制により市民団体の活動の場として提供し有効活用する。		
事業の実績・成果			
令和 5 年度実績			
・ 余裕教室等（一時利用可能教室）…市内公立小学校 5 校 5 教室 5 校（礼羽小、志多見小、鴻荃小、北川辺西小、北川辺東小）			
・ 活用実績…なし			

事業名	スポーツ施設安全点検事業		
担当課	スポーツ振興課	総合振興計画コード	2411-21
事業の目的	一般利用者が安心・安全に利用できるプレー環境の実現を図る。		
事業の概要	安全な施設、最適な運動施設環境をつくるため、体育館内、野球場、テニスコート、駐車場、各広場、鎮守前公園等を巡回し、施設・設備・用具等安全点検を行い、施設管理者に報告する。		
事業の実績・成果			
職員による日常的な安全点検を実施し、施設に起因する事故はゼロであった。			
○点検概要			
主な点検施設	体育館、野球場、テニスコート、陸上競技場、プール、多目的広場、グラウンド・ゴルフ場、ゲートボール場など		
点検体制	職員による日常点検		
点検項目	施設・器具・用具等の異常の有無、グラウンドコンディション・雑草の繁殖状況		

事業名	子ども読書活動推進計画進行管理事業		
担当課	図書館課	総合振興計画コード	2314-02
事業の目的	家庭・学校・地域・図書館等が連携・協働のもと、こどもの自主的な読書活動を推進し、読書をととして心豊かなこどもの成長を図る。		
事業の概要	庁内関係課による子ども読書活動推進会議において、事業の進捗状況を確認検証する。 また、図書館協議会において、検証結果について意見を求め、事業の推進を図る。		

事業の実績・成果

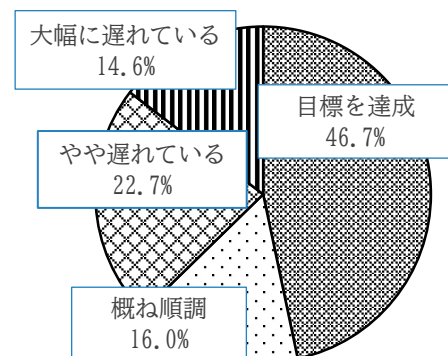
第3次計画（計画期間：平成30年度～令和4年度）の進捗状況について、庁内関係課の計画に対する取組及び進捗状況を把握し、加須市子ども読書活動推進会議（書面会議）及び加須市立図書館協議会を開催し、その結果を加須市立図書館協議会に諮り公表した。

1 評価の概要

基本方針	推進の柱	評価項目数に占める 1 目標達成 2 概ね達成 の割合		評価 項目数
		令和3年度	令和4年度	
1 家庭・地域における子どもの読書活動の推進	(1)家庭での読書活動への支援	100.0%	66.6%	3
	(2)地域での取組	100.0%	66.6%	3
2 学校等における子どもの読書活動の推進	(1)保育所・幼稚園での取組	100.0%	25.0%	4
	(2)学校での取組	83.3%	54.5%	11
3 図書館における子どもの読書活動の推進	(1)資料活用に関する取組	66.7%	33.3%	6
	(2)読書活動支援に関する取組	100.0%	87.5%	8
4 子どもの読書活動の推進体制の整備と普及・啓発の推進	(1)推進体制の整備	50.0%	100.0%	4
	(2)普及・啓発の推進	100.0%	100.0%	2
合 計				41

2 評価結果の概要

区分	具体的 取組項目数	割合
1 目標を達成	35	46.7%
2 概ね達成	12	16.0%
3 やや遅れている	17	22.7%
4 大幅に遅れている	11	14.6%
合 計	75	100.0%



第4次計画（計画期間：令和5年度～令和9年度）の進捗状況については、加須市子ども読書活動推進会議及び加須市立図書館協議会にて報告及び意見等を聴取したうえ公表する。

事業名	図書館まつり開催事業				
担当課	図書館課	総合振興計画コード	2314-07		
事業の目的	図書館やボランティア団体等の活動内容を周知し、利用への関心を高め、図書館利用者の増加と読書の推進を図る。				
事業の概要	図書館利用への関心を高め、利用者の増加と読書の推進を図るためのイベント等を実施する。 市民から寄贈を受けた本及び図書館で除籍された図書及び雑誌のリサイクル活用を目的とした古本市や、ボランティアによるおはなし会などを開催する。				
事業の実績・成果					
図書館ボランティアとの協働により、活動を紹介するとともに、こどもから大人まで図書館に親しみまた、関心を持てるような図書館まつりを開催したことで、図書館への関心や読書の楽しみを高めることができた。					
1 開館日及び参加者数					
	加須図書館	騎西図書館	北川辺図書館	おおとね図書館	計
開催日	令和5年 11月25日(土)	令和5年 11月3日(金・祝)	令和5年 10月28日(土)	令和5年 10月21日(土)	
参加者数 (人)	1,065	1,103	514	433	3,115
2 4館共通の催し物及び参加者数等					
	古本市提供数（配布数） （冊）※1	おはなし会 参加者数（人）	クイズ&スタンプラリー 参加者数（人）※2		
加須図書館	3,045（1,589）	71	66		
騎西図書館	1,200（848）	47	80		
北川辺図書館	916（484）	19	52		
おおとね図書館	1,070（407）	46	115		
計	6,231（3,328）	183	313		
※1「古本市」前年度に除籍した資料（図書）や寄贈図書等を無料配布					
※2「クイズ&スタンプラリー」					
図書館についてもっと知ってもらい、読書の促進を図ることを目的に、クイズを解きながら図書館内をめぐりスタンプを集めるイベント					
3 各館独自の主な催し物及び参加者数					
	内 容 ①	参加者数	内 容 ②	参加者数	
加須図書館	クリスマスかざりを作ってみよう	128人	・かぞのカマキリ先生の臨時昆虫館 ・講演会 「かぞのカマキリ先生図書館まつりに来たる！」 講師：大熊光治氏	157人 56人	
騎西図書館	マラカス作り	9人	書庫見学ツアー	19人	
北川辺図書館	カスタネットを作ってみよう	16人	ぐりとぐらのぬりえ	30人	
おおとね図書館	秋の工作	24人	下總皖一紙芝居	24人	

事業名	加須市学校教育推進計画進行管理事業			
担当課	学校教育課	総合振興計画コード	2211-04	
事業の目的	・「加須市学校教育推進計画～加須市子ども伸び伸びプラン～」の基本理念である「夢を育み未来を拓く人づくり」を実現させる。			
事業の概要	・「加須市学校教育推進計画～加須市子ども伸び伸びプラン～」の施策を的確に嫉視するよう、進行管理を行う。			
事業の実績・成果				
基本理念の「夢を育み未来を拓く人づくり」を中核に、4つの基本目標のもと、下表のとおり、取組を展開している。				
基本目標1：自ら学ぶ力と確かな学力の育成（知） (単位：％)				
施策	指標内容		現状値(令和5年度)	目標値(令和7年度)
一人一人を伸ばす教育の推進 教職員の資質能力の向上 特別支援教育の推進 学を支える経済支援 自立する力の育成	全国学力・学習状況調査	小6 国語	68.0(0.0)	県平均比 101％以上
		小6 算数	60.0(-2.0)	小6：国語、算数
		中3 国語	68.0(-3.0)	中3：国語、数学
		中3 数学	47.0(-5.0)	英語
		中3 英語	38.0(-8.0)	
	埼玉県学力・学習状況調査	小6 国語	57.5(-3.3)	県平均比 101％以上
		小6 算数	55.5(-1.0)	小4～中1：国語、算数
		中3 国語	52.1(-3.4)	中2～中3：国語、数学
		中3 数学	55.7(-5.1)	英語
		中3 英語	44.4(-6.0)	
	(全国学調)「読書が好きである」		64.9(小6) 59.3(中3)	85.0(小6) 85.0(中3)
	(県学調)「月に読む本が3冊以上」		38.0(小6) 17.9(中3)	70.0(小6) 40.0(中3)
	(県学調)「将来の夢や目標をもっている」		79.0(小6) 65.7(中3)	90.0(小6) 80.0(中3)
	(県学調)「平日に2時間以上勉強する」		－ (小6) － (中3)	40.0(小6) 50.0(中3)
基本目標2：豊かな心を育む取組の推進（徳） (単位：％)				
施策	指標内容	現状値(令和5年度)	目標値(令和7年度)	
いじめ対策の充実 教育相談の充実 人権教育の推進	いじめの解消率	69.6(小) 70.5(中)	100(小) 100(中)	
	不登校児童生徒の割合	1.1(小) 7.5(中)	0(小) 0(中)	
	(県学調)「自分にはよいところがある」	76.9(小6) 74.3(中3)	85(小6) 85(中3)	
	(全国学調)「人が困っていたら進んで助ける」	94.1(小6) 88.1(中3)	95(小6) 95(中3)	
基本目標3：安全で安心な学校給食の提供と健やかな体を育む取組の推進（体） (単位：％)				
施策	指標内容	現状値(令和5年度)	目標値(令和7年度)	
安心・安全な給食の提供 健康の保持増進と食育の推進	給食アンケート「給食はおいしい」	97.6(小中)	97.0(小中)	
	食べ残し量と廃棄割合率	22,224kg / 2.0％	24,000kg / 2.0％	
	(全国学調)「朝食を食べている」	95.0(小6) 90.4(中3)	100(小6) 100(中3)	
	虫歯処置率	85.1(小) 93.1(中)	100(小6) 100(中3)	
	体力調査「運動やスポーツが好き」	90.1(小5) 80.5(中2)	95.0(小5) 90.0(中2)	
基本目標4：家庭や地域で健やかな子どもを育む取組の推進（絆） (単位：％)				
施策	指標内容	現状値(令和5年度)	目標値(令和7年度)	
学校・家庭・地域が一体となった絆づくりの推進	(県学調)「自ら進んであいさつ」	82.3(小6) 81.9(中3)	90.0(小6) 85.0(中3)	
	(県学調)「家庭で学校の話をする」	－	90.0(小6) 90.0(中3)	
	(全国学調)「地域の行事に参加」	62.6(小6) 41.4(中3)	90.0(小6) 70.0(中3)	

事業名	市職員マンパワー活用事業			
担当課	学校教育課	総合振興計画コード	2211-19	
事業の目的	地域密着型教育の推進のために、市職員が有する専門的知識、技術等を学校教育に活用し、教育活動の充実をめざす。			
事業の概要	市内の公立小・中学校及び幼稚園（以下「小・中学校等」という。）からの要請に基づき、市職員を講師として、小・中学校等へ派遣し、市職員が有する専門的知識、技能等を活用した教科等の学習活動の支援及び教職員研修等を行う。			
事業の実績・成果				
1 活用状況				
番号	期 日	派遣場所	派遣者	派遣内容
1	令和5年 8月8日	加須東中	生涯学習課	接遇
2	令和5年 11月1日	鴻荃小	学校教育課	いのちの授業
3	令和6年 1月15日	大越小	学校教育課	いのちの授業
4	令和6年 1月18日	水深小	学校教育課	学級経営
5	令和6年 1月24日	大越小	危機管理防災課	防災・安全
2 成果				
専門的な知識を得ることで、児童生徒等の興味・関心が高まり、価値の高い研修や事業との評価を得ることができた。				

事業名	学校グリーンカーテン事業		
担当課	学校教育課	総合振興計画コード	2211-22
事業の目的	環境問題に真剣に取り組む幼児、児童生徒を育成するために、具体的かつ体験的な環境学習を実施する。		
事業の概要	市立各幼稚園及び小・中学校の壁面や花壇等を活用し、ゴーヤやヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校（園）舎南側にグリーンカーテンをつくる。また、小・中学校における学校ファームを活用した活動を推進する。		
事業の実績・成果			
1 実績 市立幼稚園 11 園、小学校 17 校、中学校 5 校（計 33 校（園））において、校舎等の壁面や花壇等を利用し、ゴーヤやヒョウタン、ヘチマ等を栽培してネットにはわせ、校舎南側にグリーンカーテンを作った。			
2 成果 ・各教科・領域等、多面的な学習の機会として各園、各校で実施し、その中で、児童生徒が主体的に取り組む姿が多く見られた。学校によっては、児童会活動や生徒会活動との関連で事業の充実を図っていた。 ・ヒョウタンやヘチマの実を活用し、環境教育の充実を図る中で、園や学校それぞれの創意工夫を凝らした取組を行う状況が見られる。			

事業名	地域密着型教育広報事業		
担当課	学校教育課	総合振興計画コード	2215-02
事業の目的	地域密着型教育を進展させるために、学校等の情報を広く地域に広報することを目指す。		
事業の概要	各学校のホームページ及び庁舎内の掲示コーナーを活用して、各学校（園）の教育活動を市民へ公開し、学校教育に対する理解を深める。		
事業の実績・成果			
1 みて わかる「地域密着型教育」掲示コーナー			
・ 庁舎内 3階「教育委員会前壁面」・・・・・・・・ 9点			
1階「正面玄関前」・・・・・・・・ 2点			
1階「高齢介護課前」・・・・・・・・ 1点			
1階「こども保育課前」・・・・・・・・ 1点			
展示場所をローテーションしながら、常時13点のパネルを展示し、学校（園）で取り組んでいるさまざまな特色ある教育活動について、市民に対して広報している。年間を通して、533点のパネルを展示した。			
・ 騎西総合体育館：騎西地域の5小学校1中学校のパネルを常時展示			
・ 大利根文化・学習センター：大利根地域の4小学校1中学校のパネルを常時展示			
・ 北川辺文化・学習センター：北川辺地域の2小学校1中学校1幼稚園のパネルを常時展示			
2 ホームページ			
すべての小中学校でホームページを作成し、随時更新しながら学校経営の方針や教育活動の様子を広く周知した。			
・ 学校教育課ホームページの更新：情報が市民に対して、見やすく分かりやすく伝わるように、ホームページの内容を更新。			

事業名	給食費収納対策事業					
担当課	学校給食課		総合振興計画コード		2213-06	
事業の目的	保護者からの学校給食費の収納を確実に行うことにより学校給食提供に係る財源を確保する。					
事業の概要	保護者に給食費納入の重要性について説明をする。 収納状況を正確に把握する。 学校と連携し、滞納家庭に納入を督促する。 必要に応じて面談や臨宅徴収を行う。					
事業の実績・成果						
・滞納家庭に対して、電話による催促や相談、督促の通知、臨宅による徴収等を計画的に行うとともに、学校と連携を密にし、児童手当から学校給食費の徴収を実施した結果、現年分（令和5年度）の収入未済額は176,090円となった。						
1 現年分						
区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)
小学校	56,108	99.97	147,700	99.92	68,022	99.97
中学校	74,800	99.94	89,778	99.92	27,290	99.98
幼稚園	0	100.00	0	100.00	0	100.00
計	130,908	99.97	237,478	99.93	95,312	99.98
令和4年度		令和5年度				
収入未済額(円)	収納率(%)	収入未済額(円)	収納率(%)			
22,800	99.98	48,490	99.97			
0	100.00	127,600	99.85			
0	100.00	0	100.00			
22,800	99.99	176,090	99.93			
※計の収納率は、区分ごとの収納率の平均とは一致しない場合がある。						
2 滞納繰越分						
区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
調定額(円)	201,840	130,908	237,478	95,312	22,800	
収入済額(円)	201,840	130,908	237,478	95,312	22,800	
不納欠損額(円)	0	0	0	0	0	
収入未済額(円)	0	0	0	0	0	
収納率(%)	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	